自家用有償旅客運送(福祉有償運送)の更新登録に係る協議 概要

1. 趣旨

- 道路運送法第78条に基づく自家用有償旅客運送(福祉有償運送)について、登録を受けている町内団体の有効期間が満了するが、引き続き事業継続の意思があることから、同法第79条の6に基づく有効期間の更新の登録を受けるもの。
- 更新の登録にあたって、福祉有償運送を行うことの必要性等を、江差町地域公共交通活性化協議会において協議を整える必要があるため、次のとおり登録内容の協議を行う。

2. 更新登録の対象団体

No.	団体名	登録番号	現登録の有効期間
1	江差町	北函市福第1号	
2	社会福祉法人江差町社会福祉協議会	北函福第10号	令和2年3月1日
3	医療法人道南勤労者医療協会 (ヘルパーステーションゆいっこ)	北函福第 11 号	~ 令和5年2月28日

※ 同じく、本協議会の協議対象団体である「特定非営利活動法人南桧山在宅福祉支援ゆい」については、協議に諮るべき議案が期日までに調わなかったことから、今回会議での協議は見送ることとし、次回の会議(書面開催を予定)において協議を行うこととする。

3. 主な登録事項等

団体名	①江差町	②江差町社会福祉協議会	③ハルパーステーションゆいっこ
運送の区域	檜山郡江差町	檜山郡江差町	檜山郡江差町
使用車両	・兼用車 1台	 ・車いす車 2台 (うち、軽自動車1台) ・兼用車 2台 ・セダン等 6台 (うち、軽自動車3台) 	・車いす車 1台・セダン等 1台(うち、軽自動車1台)
旅客の範囲	・身体障害者・要介護認定者・要支援認定者・その他障害者	 ・身体障害者 ・精神障害者 ・要介護認定者 ・要支援認定者 (※1) ・基本チェックリスト 該当者 (※1) ・その他障害者 	・身体障害者 ・精神障害者 ・知的障害者 ・要介護認定者 ・要支援認定者 ・その他障害者
旅客から収受 する対価の額	[4時間未満] 640円 [4時間以上] 所要時間4時間から計算 して所要時間が1時間を 増すごとに 160 円を上記 金額に加算した額	[介護保険事業及び障害者総合支援事業の対象者] 片道250円(※2) [上記サービスを受けられず、入退院等で車いす、ストレッチャーを利用する者] 片道2,000円	[介護保険事業及び障害者総合支援事業の対象者] 片道250円(※3) [上記サービスを受けられない事情があり、入退院等で車いすを利用する者] 片道1,000円

- (※1) 申請時点において、運送対象となる旅客名簿に該当者はいないが、当該区分に該当する旅客の運送に問題なく対応できる体制が既に整われており、今後該当者が発生した場合に迅速に対応することであることで協議。
- (※2) 燃料費の高騰など、事業継続性の観点による運送実態に即した変更協議【変更前:片道 150 円】
- (※3) 燃料費の高騰など、事業継続性の観点による運送実態に即した変更協議【変更前:片道 150 円】

4. 更新登録申請書類

別紙「①資料2」、「②資料3」及び「③資料4」のとおり

【申請様式第1号】

自家用有償旅客運送

□ 登録申請書

■ 更新登録申請書

函館 運輸支局長 殿	申請年月日 令和 5 年 月 日
〒 043 ← 8560	フリカナ ハタ ヒロユキ
住 所 檜山郡江差町字中歌町193番地1	担当者 畑 博之 氏 名
申フリガナエサシチョウ	担当者 度數表 1 人 现 英龄类 支持
# フリガナ エサシチョウ 諸 名 称 江差町 等	所属
サーフリガナ エサシチョウチョウ テルイ ヨノスケ	
代表者名 江差町長 照井 誉之介	E-mail アドレス hiroyuki.hata@town.hiyama-csashi
登錄年月日 平成18年 3月30日 登錄番号 北函市福第 1	号 種別 □ 交通空白地有償運送 ■ 福祉有償運
<u> </u>	項等
系統名 起点及び終点の地	名並びに地番及び主な経過地 キロ程
起点	
路線(主力経過地)	
又は「おき」	
運送の 線	
(主な経過地)	
□ 別紙1のとおり	
運送の区域	檜山郡江差町
事務所 名称 江差町役場 位置	量 檜山郡江差町字中歌町193番地1
所有 寝台車 車いす車 兼用車	回転 セダン等 バス 合計
事務所ごとに 区分 (軽) (軽) (軽)	(軽) (軽) (軽)
配置する自家	1
用有償旅客運 所有 () () () () () (
及びその種別 持込 ※ ※ ※	* * *
	こ。事業用自動車については、※欄に記入すること。
□ 別紙2のとおり(事務所が2つ以上の	
有償運送の種別	旅客の範.囲
交通空白地有償運送口地域住民又は観光旅	客その他の当該地域を来訪する者
	4条に規定する身体障害者
「建送しよりとする」 海州大陸海洋 「1)陸中央の各軍の担当	害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者
my 35-07 € 1778	等に関する法律第2条第4号に規定する知的障害者 81項に規定する要介護認定を受けている者
	2項に規定する要支援認定を受けている者
	140条の62の4第2号の厚生労働大臣が定める基準
(□ 来訪者を含む)	ックリスト該当省) 内部障害、知的障害、精神障害その他の障害を有する。
	特別は日、初りは日、福祉は日(の他のは日と行うの)
┃路線又は運送区┃┅┍┎╌を吹きぬお笠が山土控サービュま業は	た施要網」のとおり
路線×は速送区 域ごとの対価の額 別紙「江差町高齢者等外出支援サービス事業》	
	Ť

平成28年3月30日

告示第44号

江差町身体障害者(児)等移送サービス事業実施要綱(平成13年要綱第1-1号)の全部を改正する。 (目的)

- 第1条 この要網は、一般交通機関等を利用して外出することが困難な車椅子生活者及び身体に障害がある者等(以下「高齢者等」という。)に対し、移送用車両による送迎を行うことにより、当該高齢者等の自立と生活の質の確保及びその家族の負担の軽減を図るとともに、自立した日常生活を営むことができるよう支援し、高齢者等の総合的な保健福祉を向上させることを目的とする。 (実施主体及び委託)
- 第2条 この事業の実施主体は、江差町とする。ただし、町長は、利用者の決定等の事務を除き、この事業の運営は、社会福祉法人等に委託することができる。

(事業内容)

- 第3条 一般の交通機関等を利用して外出することが困難な高齢者等に対し、利用者の居宅と福祉サービスを提供する場所、医療機関等との間を移送用車両(リフト付車両等)により送迎するものとする。ただし、利用できる時間は、原則として、休日を除く午前9時から午後5時までの間とする。(利用対象者)
- 第4条 利用対象者は、江差町内に住所を有する在宅の者であって、次の各号のいずれかに該当する者とする。ただし、介護保険法(平成9年法律第123号)第7条第3項又は第4項に規定する要介護者又は要支援者に該当し、介護保険で外出支援サービス等の適用を受けている者又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)で外出支援サービス等の適用を受けている者を除くこととする。
 - (1) おおむね65歳以上の高齢者で、寝たきりの状態にある者、車椅子を利用している者又は通常 歩行に必ず介助者の支援が必要な者
 - (2) 身体の障害等により車椅子生活者又は歩行及び移動が著しく困難な者 (利用範囲)
- 第5条 原則として、江差町内とする。ただし、利用者の状態等により町長が特に必要と認める場合は、この限りでない。

(利用の申請)

第6条 この事業を利用しようとする高齢者等(以下「申請者」という。)は、外出支援サービス事業利用申請書(別記様式第1号)を町長に提出するものとする。

(利用の決定)

第7条 町長は、前条の規定による申請を受理したときは、その内容を審査し、利用の可否を決定し、 その旨を外出支援サービス事業利用決定(却下)通知書(別記様式第2号)により当該申請者に通知す るものとする。

(変更の届出)

第8条 前条の規定により決定の通知を受けた高齢者等(以下「利用者等」という。)は、第5条に規定する申請の内容に変更が生じたときは、外出支援サービス事業利用変更届(別記様式第3号)を町長に提出するものとする。

(決定の取消し)

- 第9条 町長は、利用者等が次の各号のいずれかに該当するときは、第6条の規定による決定を取り消すことができる。
 - (1) 本事業の要件を満たさなくなった場合
 - (2) 利用者が町外へ転出した(する)場合
 - (3) 利用者が死亡した場合
 - (4) その他利用申請に際し、虚偽の申請をした等不正行為が認められた場合

(事業者登録等)

- 第10条 この事業を受けようとする事業者は、次の各号の要件を満たす場合とし、外出支援サービス 事業者登録申請書(別記様式第4号)により、町長に申請しなければならない。
 - (1) 町内に事業所等がある事業者であること。
 - (2) 第1条に規定する目的を遠することができる事業者であること。
 - (3) 移送用車両(リフト付車両等)を有する事業者であること。
 - (4) 移送の際に、介助技術等に精通している者が乗車できる事業者であること。
- .2 町長は、前項の申請書の提出があつた場合には、速やかに要件等の必要事項を審査し、登録の可否を決定するものとする。

(指定事業者)

第11条 前条第2項の規定により決定を受けた事業者(以下「指定事業者」という。)は、事業の実施 に当たり町と委託契約をするものとする。

(委託料の支払)

第12条 指定事業者への委託料の支払については、委託契約書に基づき支払うものとする。

(利用者等の負担及び徴収)

第13条 利用者等は、別表第1に掲げる利用料を負担しなければならない。

2 町長は、事業の実施を委託している場合は、利用料の徴収を地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第158条第1項の規定に基づき、受託事業者に委託することができる。

(関係機関との連携)

第14条 町長は、この事業の実施に当たり、保健所、医療機関、社会福祉団体、地域包括支援センター等の関係機関との連携を図り、事業が効果的に実施できるよう努めるものとする。

(遵守事項)

- 第15条 外出支援サービスを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1) 健康状態に留意し、利用するに当たっては、家族等が付き添わなければならない。
 - (2) 救急移送等緊急を要する場合は、この事業の利用を行わないこと。

(利用者台帳等の整備)

- 第16条 町長は、利用者の利用状況を明確にするため、外出支援サービス事業利用者台帳(別記様式 第5号)に整備するものとする。
- 2 町長は、前項の台帳を磁気ディスク等(これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておく ことができる物を含む。)をもって調製することができる。

(その他)

第17条 この要綱に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の江差町身体障害者(児)等移送サービス事業実施要綱(平成18年要網第1-1号)に基づきなされた利用申請及び決定等の行為については、この要綱の規定によりなされたものとみなす。

附·則

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附則

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1(第13条関係)

2325N2 T(N2 TO MCN4 1414)	
利用時間(1往復)	利用者等負担額
4時問未満	640円
4時間以上	所要時間4時間から計算して所要時間が1時間を増すごと
	に160円を上記金額に加算した額

添付書類

1. 定款又は寄付行為及び登記事項証明書並びに役員名簿(市町村が運送主体である場合を除く。)	
(1)定款又は寄附行為	
(2)登記事項証明書	
(3)役員名簿(登記事項証明書により確認できる場合は不要)	
2. 路線図(交通空白地有償運送において路線を定めて行う場合)	
3. 欠格事由に該当しない旨を証する書類(市町村が運送主体である場合を除く。) (様式第1号)	
4. 地域公共交通会議等において協議が調っていることを証する書類(様式第2号)	
ただし、「地域公共交通計画」を策定済みで当該計画に自家用有償旅客運送の実施主体、路線・区域、輸送対象が記載されてい場合は以下の書類	いる
(1)地域公共交通計画の写し	
(2)地域公共交通会議等において協議が調っていることを証する書類(様式第2号)	
5. 自家用有償旅客運送自動車についての使用権原を証する書類	
(1)自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧 (参考様式第イ号)	
(2)自己保有・・・・自動車検査証、登録後に購入する場合にあっては車両購入契約書又は見積書の写し	
(3)リース車両・・・自動車検査証及びリース契約書又は見積書の写し	
(4) 持込車両・・・・自動車検査証及び車両使用に係る契約書又は使用承諾書の写し	
6. 運転者等が必要な要件を備えていることを証する書類	
(1)運転者の一覧 兼 運転者就任承諾書(様式第3号)	
(2)運転免許証の写し(事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
(3)運転者の過去2年間に係る運転記録証明書(第二種運転免許保有者、事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
(4)事業者協力型自家用有償旅客運送にあっては、宣誓書(様式第4号)	
(5)運転者が第一種運転免許保有者の場合は次の書類(事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
① 交通空白地有償運送	
イ) 交通空白地有償運送運転者講習修了証の写し	
ロ) (一社)日本自動車運行管理協会 自家用自動車運転士専門校の運転サービス士科を修了したことを証するものの写し等	
② 福祉有償運送	
イ) 福祉有償運送運転者講習修了証の写し	
ロ) (一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	
(6)福祉有償運送において、福祉自動車以外の自動車を使用して運送を行う場合は次の書類	
① 運転者のみで運送を行う場合	
イ)介護福祉士の登録を受けていることを証するものの写し等	
ロ) セダン等運転者講習修了証の写し	
ハ) (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	_
二)介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居	
宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示	
第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者	
② 運転者以外の乗務員が同乗して運送を行う場合は、当該乗務員に係る次の書類	
イ) 乗務員名簿 兼 乗務員就任承諾書(様式第5号)	
口) 介護福祉士の登録を受けていることを証するものの写し等	
ハ)セダン等運転者講習修了証の写し	
ハ) セダン等運転者講習修了証の写し ニ) (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	
, ,	
二)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	

7. 運行管理の体制等を記載した書類	
(1)運行管理の責任者の就任承諾書(様式第6号)	
(2)運行管理の体制等を記載した書類(様式第7号)	
(3)乗車定員11人以上の自家用有償旅客運送自動車にあっては1両、又は乗車定員10人以下の自家用有償旅客運送	
自動車5両以上の運行を管理する事務所における運行管理の責任者にあっては、次の①~⑤いずれかの書類	
① 道路運送法第23条第1項に規定する運行管理者の資格を有している者	
イ)旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
口) 一般乗合旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	П
ハ)一般乗用旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
二) 特定旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
② 旅客自動車運送事業運輸規則第48条の12に規定する運行管理者の受験資格を有する者	
イ)事業用自動車の運行管理に関する1年以上の実務経験を証する書面(様式第8号)	
ロ)独立行政法人自動車事故対策機構が行う運行管理者基礎講習を修了したことを証するものの写し等	
③ 道路交通法施行規則第9条の9第1項に規定する安全運転管理者の要件を備える者であって、	
申請者の安全運転管理者として選任されている者	
安全運転管理者証の写し	
④ 道路交通法施行規則第9条の9第1項に規定する安全運転管理者の要件を備える者	
イ)20歳以上であることを証する書面	•
住民票の写し、運転免許証の写し等	
口)2年以上の運転管理の実務経験を有することを証する書面	
a)実務経験が2年以上の場合にあっては、運転管理業務経歴証明書(様式第9号)	
b)実務経験が1年以上2年未満の場合にあっては、a)の書面に加え、運転管理に関する公安委員会の教習を修了	
していることを証する書面	
c)上記a)、b)に該当しない場合にあっては、自動車の運転の管理に関し公安委員会の認定を受けていることを証する書面	
ハ)過去2年間に係る運転記録証明書	
二)宣誓書(様式第10号)	
⑤ 旅客自動車運送事業運輸規則第47条の9第3項、第48条の4第1項、第48条の5第1項及び第48条の12第2項の	
運行の管理に関する講習の種類等を定める告示に規定する一般講習を修了した者	•
イ)1年以上の運転管理の実務経験を有することを証する書面(様式第9号)	
ロ)一般講習を修了した証明書	
8. 旅客その他の者の生命、身体又は財産の損害を賠償するための措置を講じていることを証する書類(市町村が運送主体	·
である場合を除く。)	
(1)保険(共済)加入証書の写し	
(2)保険(共済)契約申込書の写し	
(3)保険(共済)契約見積書の写し	
(4)宣誓書(様式第11号)	
(5)事業者協力型自家用有償旅客運送にあっては、宣誓書(様式第12号)	
9. 福祉有償運送にあっては、運送しようとする旅客の名簿(市町村が運送主体である場合を除く。)	
(1)旅客の名簿(参考様式第八号)	
(2)身体状況等、態様ごとの会員数(参考様式第ハ号)	
10. 登録証の原本(更新登録申請の場合に限る。)	

自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧

	~~ **	
自家用有償旅客運送者の名称	江 走 町 	•

番号	自動車登録番号 又は 車両番号	. 乗車定員 (人)	所有者名	使用者名	備考
1	函館 800 さ 3791	9	江差町	江差町	
2					
3					
4					
5					
6	•		'		
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16)				
17					
18	3				
19)				
20					

	1130km 2885km ※	選 面 も ど 覧 下 さ い 「	
(<u>[55]</u> 図館運輸支局長	東 所 終 鎮 班 2885ks 後 前 軌 重 後後 軸 重 (1130ks 45)	中(28年)	
函	車 体 の 1 1 後 随 直 後 前 後 随 直 後 1		
	前前等		
5 1.2 8	100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	「その他演画事」	
· 今和 34a	(E) (· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	1941 部	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用の本拠はN 5月8日) 9 5日8日)	(2) (2)
1111		** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	
	一部	24 II	
A iii		**** **** **** *** ** *** ** ** *** *** *** *** ** * * ** *	
960000		使用の本拠の位置 **** 4	698-0090
海 海 中		に、使一有 備 に用: 効 □自使×□□平□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	698-0090



運転者の一覧 兼 運転者就任承諾書

江差町

_が、申請した自家用有償旅客運送登録申請書に基づき登録を受けた

場合には、その運転者として就任することを承諾いたします。

			1	<u> </u>	運転免許	の種類等	施名	宁規則 5	1条	の16関	係資格
	氏	名	住	所	区分	種類		1項関		第31	
	白公	ル田			■ 普 通	口第2秒		認定講			福祉士 定 講 習
1	畠谷	公另			口大 型	■ 第 1 和		その		ロそ	の他
2	 杉村	- (K.l i			■ 普 通	■第2科		認定講	習	口 介部 口 叙 7	福祉士 定講 習
2	ניזכר	ли <u> </u>		-	■ 大 型	口第18		その	他	ロそ	の他
3	小笠原	正松			■普 通	口第2和		認定講	習		福祉士定講 習
٥	小立床	TEBE			口 大 型	■第1程		その		ロそ	の他
4	斉藤	白込			口普通	口第2秒		認定講	習		福祉士定 講 習
4	月旅	风 /口		·- · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	軍大 型	農第1科		その	他	ロそ	の他
5	佐藤	£n≰⊒			■ 普 通	□第2₹	Ē 🔳	認定講			福祉士定議 習
	KTIAK	イルルレ			口大 型	■第1秒		その	他	ロそ	の他
6					口 普 通	口第2秒		認定講	習		福祉士 定講習
						口第1和			他	ロそ	の他
7			·		ì	□ 第2科	1				養福祉士 定 講 習
Ĺ					口大 型	-			他	ロそ	の他
8						□第2₹					福祉士 定 講 習
$oxed{oxed}$				·	口大 型		+		他	ロそ	の他
9					i	口第2和	1				植独士 定 講 習
Ľ					1	口第1和	_!		他	ロそ	の他
10						口第2章				ᆸᇏ	€福祉工 定 講 習
'					口大 型	口 第1和		その	他	ロそ	の他

- 注1「運転免許の種類等」欄は、該当事項の口の中によりを記入すること。
- 注2 「運転免許の種類等」欄の「種類」欄が「第1種」となる場合は、「施行規則51条の16関係資格」欄の「第1項関係」欄に 次の区分により該当事項の口の中にレ印を記入すること。
 - ① 交通空白地有償運送

「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行う交通空白地有償運送運転者講習を修了している運転者 「その他」・・・(一社)日本自動車運行管理協会 自家用自動車運転士専門校の運転サービス士科を修了した運転者

② 福祉有償運送

「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行う福祉有償運送運転者講習を修了している運転者 「その他」・・・(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した運転者

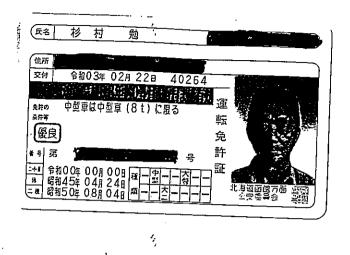
注3 福祉有償運送において、福祉自動車以外の自動車を使用して運送を行う場合には、「施行規則51条の16関係資格」欄の「第3項関係」欄に次の区分により該当事項の口の中にレ印を記入すること。

「介護福祉士」・・・社会福祉士及び介護福祉法第42条第1項の介護福祉士の登録を受けている運転者 「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行うセダン等運転者講習を修了している運転者 「その他」・・・・

①(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した運転者 ②介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居 宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示 第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者 entre transporter de la companya del companya de la companya del companya de la c

$\epsilon_{i,j}$. $\epsilon_{i,j}$. $\epsilon_{i,j}$
(氏名 畠 谷 公 男
使所 交付 令和04年03月25日 40206 2026年(全和08年) 04月03日まで有効 運 全計の 眼鏡等 条件等 中型車は中型車(8t)に限る 免 原良 15 令和00年00月00日 電子 (15) に限る 免 計画 (15) に限る 免 計画 (15) に限る の 原良 に対して、 (15) に限る の 原 (15) に限る

備考	
	_
. 以下の部分を使用して履む	路接供に関する意思を表示することができます(記入は自由です。)
・・・ハ・ン きっしい コンココエ	「「ひいすれかの美品太八分散」 マノル・・・
1. 私は、直死後及び心	CONTATOの哲学をOで聞んでください。 関が停止した死後のいずれでも、Xはのもあい思いる。
1. 私は、 <u>區死後及び心</u> 2. 私は、 <u>心臓が停止し</u> 3. 私は、破器を提供し	でのいすれかの看号を○で囲んでください。 <u>団が停止した死体のいずれでも、</u> 移植のために阻能を提供します。 <u>た死後に駆り、</u> 移植のために腹路を提供します。 ません。
1. 私は、 <u>原死後及び小</u> 2. 私は、 <u>心臓が穿止し</u> 3. 私は、碳器を提供し (1又は2を混んだ方で	でのいすれかの看号を〇で匿んでください。 <u>図が停止した死後のいずれでも、</u> 移縁のために風器を提供します。 <u>た死後に思り、移場のために</u> 風器を提供します。 ません。 ・ 接供したくない風楽がままげ、とこったで、
1. 私は、 <u>原死後及び小</u> 2. 私は、 <u>心臓が穿止し</u> 3. 私は、碳器を提供し (1又は2を混んだ方で	でのいすれかの看号を〇で囲んでください。 <u>団が停止した死体のいずれでも、</u> 移植のために阻能を提供します。 <u>た死後に取り、</u> 移植のために腹路を提供します。 ません。



備 考			\neg
} 	·····	•	
ļ			
			``]
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		∤
L			
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	``1
William Co. C.			
以下の部分を使用して経過程	供に関する意思を表示すること	こができます(記入は自由で	す。}。
記入する場合は、「から3までの			
	「 <u>体止した死徒のいずれでも、</u> 私 後に除り、移栖のために履器を		₹,
3. 私は、展議を提供しませ		「技法します。	
	. ~ ₀		
	はしんてん はちゃんちょう い	*************	
(1又は2を選んだ方で、投げ	供したくない複器があれば、X		
(1又は2を選んだ方で、投げ	ん) 展・庭(すい) 度・小闘・		
(1又は2を選んだ方で、投) 【心臓・肺・肝風・腎(U/			
(1又は2を選んだ方で、投げ	ん) 展・庭(すい) 度・小闘・		

-

-

氏名 小笠原	正能		
	10月26日 40167 2月22日まで有効 ^{型章 (8} t) に限る		
2計の 中型草は中 条件等	型車 (8 t) に限る	転免	
1 年 第 年成00年00月 1 昭和53年01月 1 年 年成00年00月	号 100日本一里一一二二 126日	許証	过面够方面 像图
三成 平成00年00	008		过面储方面 像照 安委员会

。備 考 」			·	·	
				1.8	
				(93.3 14.0 45.0	
以下の部分を使用して 記入する場合は、1から	.つ 生でのしなりかの?	よう シロでげん	でくたさい。		
一 1 以比 医死体为形	心臓が停止した死後の した死後に限り、移行	りいずれでも、 ネ	3種のために	民塾を提供し ・	₹ 7.
っ 化け 日半元選出	しません。 で、提供したくない				
「心臓・肺・肝臓・胃	(じん)臭・体付い)	最・小腸・腹球) <u> </u>	•	
(145124H :	(自業書	8)	**	-	<u>٠</u> ٠.

and the state of t

-:;

備考	<u> </u>						
					. . .		
							{
					·	13 44 Carbon	
以下の部分	を使用して図	発提供に関す	する意思を表示	でることが	できます(ほ	'Y在月日	CTale
記入する場合	は、1から3ま	さいいずれ	かの賽号も〇	く出んでくだ	さい。 ひと いき 175	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	*+
1、私は、	西水洼及辽	達が発生し	た死後のいる	CD-1311	ハンこのハーのまで	当となみし	÷) •
			り、移植のため	いいなるを投げ	残します。		
3. 私は、	魔器を提供し	ノギせん。					
(1又は2	を遅んだ方で	さ、提供したく	くない脱器があ	りれば、X を~	つけてくださ	· (', ')	
心思・数	· 2713 · 3	(じん) 風・	数(すい) 瓦	・小脇・既政	?]		
		• •	〈白新翠				
153288	:		(混名年	BOX	年	Ä	- E



備考				
				
				- 1
江下の部分を修	・用して放設提供に関する	意思を表示すること	ができます(記入は色	はです。)。
入する場合は、	.1から3章でのいずれかり	番号を○で囲んでく	ださい。	
	E存及び心臓が停止した3			共します。
2. 私は、小酒	が停止した死後に限り、	移植のために異器を	是供します。	
	そを提供しません。			
	はんだ方で、提供したくな			
心風・肺・	肝臓・腎(じん)膜・脚	(すい) 涙・小腸・脚	[理]	
-		(自筆落名)		
特記機	1	〈署名年月日〉	年 月	8

整理番号 2022013793 P011-1

043-8560 北海道檜山郡江差町中歌町193番地1 江差町役場

畠谷 公男 様

運転記録証明書

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
申	氏	名	畠谷 公男		<i>કરી</i> લ્ડેલ્ડ્રેલ્ડ્	
請	生 年 月		The second second			
者	免許証 番	号.			-	
	行政処分の前歴			累積点数	5.0	0点 🛒
,	一般処力の削削		,	累積点数	1	∪ <i>m</i>

		行政処分の前歴	0回 累積点数	0点。
	-	年 月 日	内容	点数
`	gi. Kranik		以下余白	12.00% 13.40%
١	1 13 -2 1 3			ন্দ্ৰ
				3.
	証			
i		The second second		
.	明			
:		12.50		
	事			
ļ				Section 1
				292 1
	項			
**	.:			
)))))))))))))))))))		
		備考		
ĺ	.\$ (3)			<u>.</u>

令和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 1 月 17 日

自動車安全運転センター 北海道函館方面事務F

~ <u>~ . . .</u>

自動車周田 調転センター 何表道面館5面 第一個記述

整理番号 2022013794 P012-1

043-8560

北海道檜山郡江差町中歌町193番地1 江差町役場

杉村 勉 様

運転記録証明書

申	氏	名	杉村 勉	
請	生 年 月	Ħ		
者	免許証者	是		

<u> </u>) 45-50 gas	7.4		Physic West
	行政処分の前歴	, O 🗇	累積点数	0点
<u>후</u> 참	年 月 日	内		点数
		以下余白		
				:
証				
	The second secon			1.175 (1.175) 1.175 (1.175)
明	1		,	
事	100 miles		<u>변화.</u>	
項		1000		
ila jira			mina Na Na	
:	備考			
1				
केकि				
		<u> </u>	<u>````</u>	<u> </u>

令和。5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 月 月 日

目動車安全運転センター 北海道函館方面事務所



整理番号 2022013795 P013-1

043-8560 北海道檜山郡江差町中歌町193番地1 江差町役場

小笠原 正能 様

運転記録証明書

申以	氏	名	小笠原 正能	46 TO 8	
請	生 年 月				
者	免許証	第号		100 Action 100	

	regard. Althor	77.94	ক্ষা ক্ষা ক্ষা ক্ষা ক্ষা ক্ষা ক্ষা ক্ষা	
	行政処分の前歴	00	累積点数	0点。
	年 月 日	内	容	点数
		以下余白		745. 325.
	40,000			1.3
	25117			
証				
3.50				
明				
				7 7 8 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6
事				\$4 \$4.50 - (0.656)
:				
項		4.4.20		1 1/2° 15.5°
4-	3			
	備考			
_5				120 W.
				<u>.</u>
12.	F 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		<u> </u>	

令和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 1 月 17日

自動車安全運転センター 北海道函館方面事務

7. V.



整理番号 2022013796 P014-1

043-8560 北海道檜山郡江差町中歌町193番地1 江差町役場

齊藤 良治 様

運転記録証明書

由	氏	名	齊藤 良治		
T 請	生 年 月		# 1		,
者	免許証番	∷⊣⊹			

L	·	1897년 - 1994 - 1897년 - 1994		188 820 ES A-5125 ES	
		行政処分の前歴	00	累積点数	0点
8].		年 月 日	内	容	点数
			以下余白		
					*** ****
	ļ				
言	E ·				
1 ::					
			\$ 50.00		
即	H				1,3
事	F	2/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/			
	:	1998			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
 項	5				
15	7.				
					<u> </u>
		;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;			
		備 考			er de la companya de La companya de la co
	Š				
	35. 35.				

令和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 1 月 17 日

自動車安全運転センター 北海道函館方面事務

:45÷ · .



整理番号 2022013797 P015-1 0 4-3-8-5 6 0 北海道檜山郡江差町中歌町193番地1 江差町役場 佐藤 和紀 様

運転記録証明書

							
申公	兵	名	佐藤	和紀	The state of the s	. చించేస్తారు	
Trib on	**************************************			منتهورة تعود معمورة والوالوالوالوا	r .		
請	生 年	月貝				- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
1 1 11 1	<u> </u>	- (12 12 12 12
者	A	==		The same to	-		
'-	免疫許良	証番号				_	
L		अ वि	<u> </u>		1919. 1818.		
. (a <u>. 1842</u>	行政処分				累積点数	(B)	
	一个政処分	の前歴		_0 回	累積点数		0点。

\$	SA- COM	п		· 内	容		点 数
	海 明	日				. 4 . 4 . 4 . 4	
			以下余白			and are the	
			<u> </u>				(,0) 24 500
	1 -	1 - The sale of the	gar a de sales a La ser de sales anomas	<u>्रि</u> १ कि. इस्के-स	•		
			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		September 1		1
	1			.•	or and the second		·, [
		S. H. 1	and the same		7 10 1	· A · A · A · A · A · A · A · A · A · A	
証							
BILL	A Company		e 1990				, 1855F
mark ign		in in the second	· · ·				1000000
	1 m			1 45	10 X		
	4.00	1-	3353				
明	15	1					· · · ·
	<u> </u>		100 PM	1947 (A)		061 Ad	1.00
		-: "\$***\$*				\$ > ∀	
			15 150 150 150 150 150 150 150 150 150 1				
事					x8.		
4					183		P 55
	135	₩85 		2.7			المرتبي مشاهرات م
	· 🔄 💮 😅		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>		9, 9, 4, 7
項		: '''			1965년 - 1964년 1967년 - 1964년 - 1964년		3 300
- 1		·	P 49 3 + 129	of the same	<u> </u>	·	
-		ł			3		1997
1:							الرفرون بالمراجع
				والمرابع المتراجع المتراجع المتراجع المتراجع			
	}						·
1	備	考	والمراجع والم والمراجع والمراجع والمراجع والمراجع والمراجع والمراجع والمراج	or of the			
	1 加	与 ()		*,••*			
		124	A Commence of the Commence of			1.7	· ·]
្ល		. [51		. 485			

令和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであること 証明します。

令和 5 年 1 月 17日

自動車安全運転センター 北海道函館方面事務

自動車原由 廻転センター 何深道函館5両 海線に設別修

.



į

移送サービス運転協力者講習

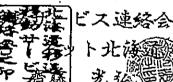
畠谷 公男 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 3.0年 9月 30日

· 国自旅幕217号認定。

北海道移送·伊



黄任インストラクター 行田



移送サービス運転協力者講習

修了証

杉村 勉 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 30年 9月 30日

国自旅第217号認定

北海道移送・大海道にス連絡は

大表中是 光孙

責任インストラクター 行田

第 01119066 号

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

小笠原 正能 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

令和 2年 1月 26日

国自旅第217号認定

北海道移送・アラガンドス

2 4 年 5 年 3

責任インストラクター 行日

第 01119065 子 🥼

移送サービス運転協力者講習 修 ア 証

齊藤 良路 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

令和 2年· 1月 26日

国自旅第217号認定

ト北海道

北海道移送·伊姆克

2 表 中 等 法

責任インストラクター 行田

苯 01119102 子

移送サービス運転協力者講習修 ア 証

佐藤 和纪 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会・ が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

令和 2年 3月29日

国自旅第217号認定

北海道移送·

で ビス連絡会

表甲氧氯光孔

責任インストラクター

好田

運行管理の責任者就任承諾書

下記の者が申請した自家用有償旅客運送登録申請に基づき登録を受けた場合には、その運行管理の責任者として就任することを承諾いたします。

また、乗車定員11人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員10人以下の車両を5両以上配置する事務所の運行管理の責任者として就任した場合には、道路運送法施行規則第51条の18に規定する国土交通大臣が告示で定める講習を受講することを宣誓いたします。

記

申請者名 江差町

令和 5年 月 日

住所 4

氏名 三好泰彦

運行管理の責任者就任承諾書

下記の者が申請した自家用有償旅客運送登録申請に基づき登録を受けた場合には、その運行管理の責任者として就任することを承諾いたします。

また、乗車定員11人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員10人以下の車両を5両以上配置する事務所の運行管理の責任者として就任した場合には、道路運送法施行規則第51条の18に規定する国土交通大臣が告示で定める講習を受講することを宣誓いたします。

記

申請者名 江差町

令和 5年 月 日

住 所,

氏名 廣島良二

運行管理の体制等を記載した書類

事務所の名称

江差町高齢者事業団

1. 運行管理・整備管理の体制

(ア)運行管理の責任者の就任予定名簿

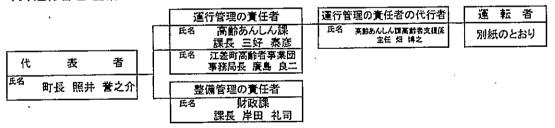
No.	氏名	住所	資格の種類	委託	協力
1	三好 泰彦		運行管理者		
2	廣島 良二		運行管理者	0_	
3			<u> </u>		

- ・乗車定員11人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員10人以下の車両を5両以上配置する事務所の運行 管理の責任者にあっては、運行管理者資格者証の写し又は施行規則第51条の17第2項各号のいずれかの要件を備え ていることを証する書類を添付すること。
- 資格の種類には、法23条第1項の運行管理者、その他の別を記載するものとする。
- ・運行を委託する場合は、受託者における運行管理の責任者を記載し、委託欄に○印を記載するものとする。
- ・事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、協力事業者における<u>運行管理者</u>を記載し、協力欄に〇印を記載するものとする。

(イ)整備管理の責任者の就任予定名簿

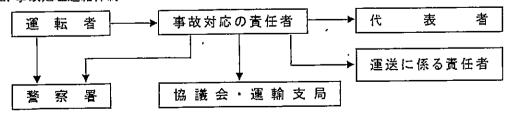
No.	氏名	住所	協力
1	岸田 礼司		-
2			
3			

- 事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載し、協力欄に〇印を記載するものとする。
- (ウ)運行管理・整備管理に係る指揮命令系統



事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載するものとする。

2. 事故処理連絡体制



事故対応の責任者: 高齢あんしん課 課長 三好 泰彦

3. 苦情処理体制

苦情処理の責任者: 高齢あんしん課 課長 三好 泰彦 苦情処理の担当者: 高齢あんしん課高齢者支援係 主任 知 博之 契約審区分 用作上种足

分担金合計

*

16, 160

41,950

56, 530

	4	J
ᅒ	۵	ρ
5	۰	٥

	28											
	対人陪做共済 上段:並改任和 2011 下段:今组金 11	無制限 2.710	無制限 9,340	無制限 6,130	無制限 9,340	無制限 6,130	無制限 7,750	無制限 9,340	無制限 7,750	新制限 6, 130	無制限 6,440	
	対物賠償共済 上段:其济州任和 nm 上段:分担金 nm	無制限 5,860	無制限 18,590	無制限 13,650	無制限 18,590	無制限 13,650	無制限 18, 970	無制限 18,590	無制限 18,970	無制限 13,650	無制限 14,650	
	車両共済 上段:共済東任航 ли 下段:分担企 п	60 7, 590	140 14, 020	765 36, 750	1, 465 37, 980	165 17, 380	405 28, 880	265 18, 270	. 330 25, 130	115 15, 280	40 11, 600	
	及 及 路 路 数		2		1	. 3	, 	9	3	3		4
	1年 1年 1年 1年 1年 1年 1月 1月 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	60	140	765	1, 465	165	405	265	330	115	40	合計
	取得価額 万円	110	460	2, 550	2, 090	250	575	875	1, 100	370	135	2
	製造 年次 取得年月 (西村) (西路)	20.03	09.05	06.11	19.11	11.09	19.08	92. 08	98.01	04.06	10.05	
	级语 年次(3.8%)	20	60	90	19	93	00	92	86	04	ទួ	
	用途名	四輪貨物	その他特種	普通貨物	その他大型 特殊	小型貨物	自家用乗合	その他特種・	自家用乗合	普通貨物	小型乗用	
								- 03	l	1		ĺ
	対 エロ・マート	90	83	01	66	6	21	88_	72	9	20	1
	. 車名 用途	++1)-	\$1007U704 89	39.63	66 620	37534429-	\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	ትን <i>ቴስን</i> ንት 88	21/4/7	ミッピシキャンター 10	አ ለ ‡ አ ለ ን} 50	
	名	+1)-		636	62	75>+1>9-	0H (H03.29		93162	7E>++>9-	አ ቶ አ ሰ ንኑ	
一般会計	自卯車登録番号等 車 名	え *+リー 56	\$1007U79\$	6368	620	37594129-) = 0 H (H 0 5 2 0) X	ち トショカソシヤ 184	# 703/CA	37694429-	ات مراج عرب المراج عرب المراج عرب المراج ال	
都道 回体 告号 財子 整理番号 01 0361 - 他会計 - 他会計	車 名	<u>函館、え</u> キャリー 480-6956	函館 さ キノウクソレンシャ 800-3791	函館 は ミッピシ 100-690	函館 名 277 000-1572	函館 す ミッピシキャンター 400-6237	函館 は ショウがイポシュウ 200-283 バス	函館 ち トショカンシャ 88-1184	面館 せ 7クシンイス 22-568	函館 さ ミッピンキャンター 100-3311	函館 に スズキスイフト 500-2799	

37, 160

55, 600

46, 200

51,850

35, 060

32,690

65, 910

共済委託申し込みを上記のとおり承認いたします。

05000099#

琙

江差町

函運輸第490号

自家用有償旅客運送者登録証

道路運送法第79条の3の規定に基づき、下記のとおり自家用有償旅客運送者 として登録を行ったことを証する。

記

- 1. 登録番号 北函市福第1号
- 2. 登録の有効期間令和2年3月1日 から令和5年2月28日 まで
- 3. 名称及び住所 江差町 檜山郡江差町字中歌町193番地1
- 4. 自家用有償旅客運送の種別 市町村運営有償運送(市町村福祉輸送)
- 5. 運送の区域 檜山郡江差町

令和2年2月6日 北海道運輸局函館運輸支局長 田中 勝利輸局函館 運輸支局長

【申請樣式第1号】

自家用有償旅客運送

□ 登録申請書

■ 更新登録申請書

	函館		運輸	支	局長		殿		_			申請年	月日			F	月	E		
	٠,			-	r	043	_	003	2			_		フリカ	}	ナカ	<u>ジマ</u>	ナオ	+	
	住		所	北	海道村	贄山郡	江差町	了字新	栄町2	264番	地σ)2		担当社氏	百十	中	島	直樹	ţ	
申		リガ	ナ	シュ	ヤカイン	クシホ	ウジン	エサシ	チョウ	シャカー	イフク	フシキョウ	ギカイ	担当						
申 請 者 等	名		 称	社	会福祉	上法人	江差町	J社会 [®]	福祉	劦議会				所	属	010		-2441		
等	-	リガ		カ	イチョウ	チョウ	カタ	イシ	アキ	<u></u>				TEL/F	AX			-2441 <i>)</i> 2-056(
		表者		会	Ę		片石	明廣	2					E-ma				iima@	beach	
	1						<i>/ </i>	777,54			_	1 1			アドレス ,ocn.ne.jr			<u>p</u>		
登録年月	月日	平原	18年	2月	27日	登録	录番号 │ 北函福 第			§ 10	号	種別	口 交	善空 白地	〖送 ■	福	扯有的	賞運送		
							登	ŝ	k	事	項	等					,			
		- 1		系統	充名		起点	気及び	終点	の地名	並て	グに地番.	及び主	な経過	地			キロ	程	
						起点						-					一		km	
路	線		路			終点:														
又	は		\perp			(主な経過地) 起点:													km	
	きの		線			· 延尽 終点											ł		KIII	
区	域						经過地)									<u> </u>			
		ļ	ロ 別紙1のとおり																	
			運送	との区域 北海道檜山郡江差町																
		一		, 在 社会福祉法人 / 位署 北海道豫山郡江美町宮新学町264署																
事系	务所		名称	称 社法領征法人											番片	1の2	,			
		\dashv							·	 		回転					1			
			所有 区分				車いす車 兼		用車	3	シート革	セダ	ン等	バ	ス		合語	it		
事務所	امزمتة	ا ء					(軽)		(軽)			(軽)	(≢	圣)				(軽)	
配置す	る自動	家「	所有	_			2		2				(3				10)	
│ 用有償 │ 送自動			アリヤ	3	()		1)() (3))		(4	-	
及びそ	の種類		持ジ	*		*	*		*				*	*			*	!		
ごと	の数	Į.	1.1 2		()	()									(<u> </u>	()			
		ļ	軽自動車は、()内に内数で記載すること。事業用自動車については、※欄に記入すること □ 別紙2のとおり(事務所が2つ以上の場合)														<u>۔ کہ</u>	·		
		_			紙2の		(事系	所が	2つり	(上の均										
		-	有值	美達	送の和	動	<u>i</u>				ħ	旅 客	の i	范 囲						
			交通3	空白	地有值	運送	口地	域住民	又は犯	現光旅?	らそ	の他の当	該地域	を来訪	する者	<u>:</u> Ī			,	
		ŀ					■身	本障害	者福	业法第4	条	こ規定する	身体	寶者						
 運送しよ	うとす	-る	1-	4.1		114						福祉に関		*****						
旅客0	り範囲	1	個	祉1	有償運	送						関する法律 に規定す						岐星:	育	
İ		l	(□	複数	を 乗る	行う)						に規定す								
					と客を含		一 介	漢保険	施行	見則第1	40	条の62の)4第2					める	と準に	
			(🗆	来記	方者を含	む)						スト該当		사회 소급 17 2 12	rate or or	N (44 A)	7382 (-	+ 7 ±	
			介護 4	2 RA:	重要为	ア(『音写						章害、知的 道250円		有伊坪	古てり	い回の	卓西	で有り	, の白	
路線又に 域ごとの:			上記で	7, 7	たれぞれ	れのサ	ービス	を受け	られな	い事情	がま	59、入退 2,000円	院、転	完、一時	好出、	、通院	(入)	完中・	入所中	
		-	名称		T-1141			, 4,	, ,,,,,	T		_,,								
	事業者協力型自家		口仰				住所													
用有償的	水谷 建	塔	名称							住所										

	•		
		•	
	·		
,			
,			
•			
•			
•			

添付書類

1. 定款又は寄付行為及び登記事項証明書並びに役員名簿(市町村が運送主体である場合を除く。)	
(1)定款又は寄附行為	
(2)登記事項証明書	
(3)役員名簿(登記事項証明書により確認できる場合は不要)	
2. 路線図(交通空白地有償運送において路線を定めて行う場合)	
3. 欠格事由に該当しない旨を証する書類(市町村が運送主体である場合を除く。)(様式第1号)	
4. 地域公共交通会議等において協議が調っていることを証する書類(様式第2号)	
ただし、「地域公共交通計画」を策定済みで当該計画に自家用有償旅客運送の実施主体、路線・区域、輸送対象が記載されて 場合は以下の書類	いる
(1)地域公共交通計画の写し	
(2)地域公共交通会議等において協議が調っていることを証する書類(様式第2号)	
5. 自家用有償旅客運送自動車についての使用権原を証する書類	
(1) 自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧 (参考様式第イ号)	
(2)自己保有・・・自動車検査証、登録後に購入する場合にあっては車両購入契約書又は見積書の写し	100
(3)リース車両・・・自動車検査証及びリース契約書又は見積書の写し	
(4) 持込車両・・・・自動車検査証及び車両使用に係る契約書又は使用承諾書の写し	
6. 運転者等が必要な要件を備えていることを証する書類	
(1)運転者の一覧 兼 運転者就任承諾書(様式第3号)	
(2)運転免許証の写し(事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
(3)運転者の過去2年間に係る運転記録証明書(第二種運転免許保有者、事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
(4)事業者協力型自家用有償旅客運送にあっては、宣誓書(様式第4号)	
(5)運転者が第一種運転免許保有者の場合は次の書類(事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
① 交通空白地有償運送	
イ)交通空白地有償運送運転者講習修了証の写し	
口)(一社)日本自動車運行管理協会 自家用自動車運転士専門校の運転サービス士科を修了したことを証するものの写し等	
② 福祉有償運送	
イ〉福祉有償運送運転者講習修了証の写し	
ロ)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス從事者研修を修了したことを証するものの写し等	
(6)福祉有償運送において、福祉自動車以外の自動車を使用して運送を行う場合は次の書類	
① 運転者のみで運送を行う場合	
イ)介護福祉士の登録を受けていることを証するものの写し等	
ロ) セダン等運転者講習修了証の写し	
ハ)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	
二)介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居	
宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示	
第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者	
② 運転者以外の乗務員が同乗して運送を行う場合は、当該乗務員に係る次の書類	
イ)乗務員名簿 萧 乗務員就任承諾書(様式第5号)	
口)介護福祉士の登録を受けていることを証するものの写し等	
ハ)セダン等運転者講習修了証の写し	
二)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	_
ホ)介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居	
宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示	
第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者	

7. 運行管理の体制等を記載した書類	
(1)運行管理の責任者の就任承諾書(様式第6号)	
(2)運行管理の体制等を記載した書類(様式第7号)	i
(3)乗車定員11人以上の自家用有償旅客運送自動車にあっては1両、又は乗車定員10人以下の自家用有償旅客運送	
自動車5両以上の運行を管理する事務所における運行管理の責任者にあっては、次の①~④いずれかの書類	
① 道路運送法第23条第1項に規定する運行管理者の資格を有している者	
イ)旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
ロ)一般乗合旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
ハ)ー般乗用旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	٠.
二) 特定旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
② 旅客自動車運送事業運輸規則第48条の12に規定する運行管理者の受験資格を有する者	
イ)事業用自動車の運行管理に関する1年以上の実務経験を証する書面(様式第8号)	
口)独立行政法人自動車事故対策機構が行う運行管理者基礎講習を修了したことを証するものの写し等	
③ 道路交通法施行規則第9条の9第1項に規定する安全運転管理者の要件を備える者であって、	_
申請者の安全運転管理者として選任されている者	
安全運転管理者証の写し	
④ 道路交通法施行規則第9条の9第1項に規定する安全運転管理者の要件を備える者	<u>:</u>
イ)20歳以上であることを証する書面	
住民票の写し、運転免許証の写し等	
口)2年以上の運転管理の実務経験を有することを証する書面	
a)実務経験が2年以上の場合にあっては、運転管理業務経歴証明書(様式第9号)	
b)実務経験が1年以上2年未満の場合にあっては、a)の書面に加え、運転管理に関する公安委員会の教習を修了	
していることを証する書面	
c)上記a)、b)に該当しない場合にあっては、自動車の運転の管理に関し公安委員会の認定を受けていることを証する書面	□
ハ) 過去2年間に係る運転記録証明書	
二)宣誓書(様式第10号)	
8. 旅客その他の者の生命、身体又は財産の損害を賠償するための措置を講じていることを証する書類(市町村が運送主体	
である場合を除く。)	
(1)保険(共済)加入証書の写し	
(2)保険(共済)契約申込書の写し	
(3)保険(共済)契約見積書の写し	
(4)宣誓書(様式第11号)	
(5)事業者協力型自家用有償旅客運送にあっては、宣誓書(様式第12号)	
9. 福祉有償運送にあっては、運送しようとする旅客の名簿(市町村が運送主体である場合を除く。)	
(1)旅客の名簿(参考様式第八号)	
(2)身体状況等、態様ごとの会員数(参考様式第八号)	
10. 登録証の原本(更新登録申請の場合に限る。)	111

定

款

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会

(目 的)

第 1 条 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、江差町における社会福祉事業その他の社会 福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進 を図ることを目的とする。

(事業)

- 第 2 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - (1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
 - (2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
 - (3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
 - (4) (1) から (3) のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な 事業
 - (5) 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡
 - (6) 共同募金事業への協力
 - (7) 居宅介護等事業の経営
 - (8) 老人デイサービス事業の経営
 - (9) 障害福祉サービス事業の経営
 - (10) 生活福祉資金貸付事業
 - (11) 法人後見事業
 - (12) その他この法人の目的達成のため必要な事業

(名 称)

第 3 条 この法人は、社会福祉法人江差町社会福祉協議会という。

(経営の原則)

- 第 4 条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に 行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並 びに事業経営の透明性の確保を図るものとする。
 - 2 この法人は、住民や福祉関係者等とともに地域の福祉課題・生活課題の解決に取り組み、支援を必要とする者に無料又は低額な料金で福祉サービスを提供するものとする。

(事務所の所在地)

第 5 条 この法人の事務所を北海道桧山郡江差町字新栄町264番地の2に置く。

第 2 章 評 議 員

(評議員の定数)

第 6 条 この法人に評議員10名以上20名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第 7 条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委 員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事2名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 評議員選任・解任委員の選任及び解任は、理事会において行う。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案は、別に定める規程に基づき理事会が行う。
- 5 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と 判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 6 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただ し、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。
- 7 評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

(評議員の資格)

第8条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、 評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者(租税特別措置法施行令第25 条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。)の合計数が、評議員総数(現在数) の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

- 第 9 条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員 会の終結の時までとし、再任を妨げない。
 - 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
 - 3 評議員は、第6条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第10条 評議員の報酬は、これを支弁しない。ただし、評議員には別に定める規程により費用を弁償 することができる。

第3章 評 議 員 会

(構成)

第11条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

- 第12条 評議員会は、次の事項について決議する。
 - (1) 理事及び監事の選任又は解任
 - (2) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
 - (3) 予算及び事業計画の承認
 - (4) 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録並びに事業報告の承認
 - (5) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
 - (6) 定款の変更
 - (7) 残余財産の処分
 - (8) 基本財産の処分
 - (9) 社会福祉充実計画の承認
 - (10) 解散

(11) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3ヶ月以内に開催するほか、3月及び必要がある場合に開催する。

(招集)

- 第14条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。
 - 2 評議員は、会長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 評議員会の議長は、その都度評議員の互選とする。

(決議)

- 第16条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。
 - 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く 評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。
 - (1) 監事の解任
 - (2) 定款の変更
 - (3) その他法令で定められた事項
 - 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第18条に定める定数を上回る場合には、 過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
 - 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第17条 評議員会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。
 - 2 議長及び出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2人は、前項の議事録に署名又は記名押印をする。

第 4 章 役

員

(役員の定数)

- 第18条 この法人には、次の役員を置く。
 - (1) 理事 6名以上9名以内
 - (2) 監事 2名
 - 2 理事のうち1名を会長、1名を副会長とする。
 - 3 前項の会長をもって社会福祉法の理事長とする。

(役員の選任)

- 第19条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。
 - 2 会長、副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員の資格)

- 第20条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
 - 2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)及び評議員(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)並びにこの法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

- 第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
 - 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
 - 3 副会長は、会長を補佐する。
 - 4 会長は、毎会計年度に4月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
 - 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

- 第23条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時 評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
 - 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。
 - 3 理事又は監事は、第18条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により 退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有 する。

(役員の解任)

- 第24条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することが できる。
 - (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
 - (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第25条 理事及び監事の報酬は、これを支弁しない。ただし、理事及び監事には別に定める規程により費用を弁償することができる。

第5章 理 事 会

(構成)

第26条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

- 第27条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては会長が専決し、これを理事会に報告する。
 - (1) この法人の業務執行の決定
 - (2) 理事の職務の執行の監督
 - (3) 会長、副会長の選定及び解職

(招集)

- 第28条 理事会は、会長が招集する。
 - 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。

(議長)

第29条 理事会の議長は、その都度理事の互選とする。

(決議)

- 第30条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。
 - 2 前項の規定にかかわらず、理事(当該事項について議決に加わることができるものに限る。) の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を 述べたときを除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第31条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
 - 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印をする。

第 6 章 会

員

(会員)

- 第32条 この法人に会員を置く。
 - 2 会員は、この法人の目的に賛同し、目的達成のため必要な援助を行うものとする。
 - 3 会員に関する規程は、評議員会において別に定める。

第7章 委 員 会

(委員会)

- . 第33条 この法人に委員会を置くことができる。
 - 2 委員会は、専門的事項について、この法人の運営に参画し、或いは会長の諮問に答え、又は 意見を具申する。

3 委員会に関する規程は、別に定める。

第8章 事務局及び職員

(事務局及び職員)

- 第34条 この法人の事務を処理するため事務局を置く。
 - 2 この法人に、事務局長を1名置くほか、職員若干名を置き、会長が任免する。
 - 3 事務局及び職員に関する規程は、別に定める。

第9章 資産及び会計

(資産の区分)

- 第35条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。
 - 2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。
 - (1) 定期預金10万円
 - 3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。
 - 4 基本財産に指定されて寄付された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

- 第36条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数(現在数)の3分の2以上 の同意及び評議員会の承認を得て、北海道知事の承認を得なければならない。ただし、次の各 号に掲げる場合には北海道知事の承認は必要としない。
 - (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
 - (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。) に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

- 第37条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、会長が管理する。
 - 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価 証券に換えて、保管する。

・ (事業計画及び収支予算)

- 第38条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。これを変更する場合も、同様とする。
 - 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第39条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
 - (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
 - (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書
 - (6) 財産目録
 - 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、 定時評議員会に提出し、承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
 - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第40条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第41条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において 定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第42条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第43条 この法人が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2以上の承認を要する。

第10章 解

散

(解散)

第44条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により 解散する。

(残余財産の帰属)

第45条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

第11章 定款の変更

(定款の変更)

- 第46条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、北海道知事の認可(社会福祉 法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けな ければならない。
 - 2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を北海道 知事に届け出なければならない。

第12章 公告の方法その他

(公告の方法)

第47条 この法人の公告は、社会福祉法人江差町社会福祉協議会の掲示場に掲示するとともに、官報、 新聞、この法人の機関紙又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第48条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員の選任を行うものとする。

会 長 増田 章 三 理 事 小笠原 吉 郎 良 夫 久 郷 岩沢 丈 夫 新 出 美則 明 良 西 谷 渋 谷 市四郎 田曜 富 蔵 白 石 アイ 高橋 良 治 薄 木 広 吉 山田 嘉太郎 中村 米 代

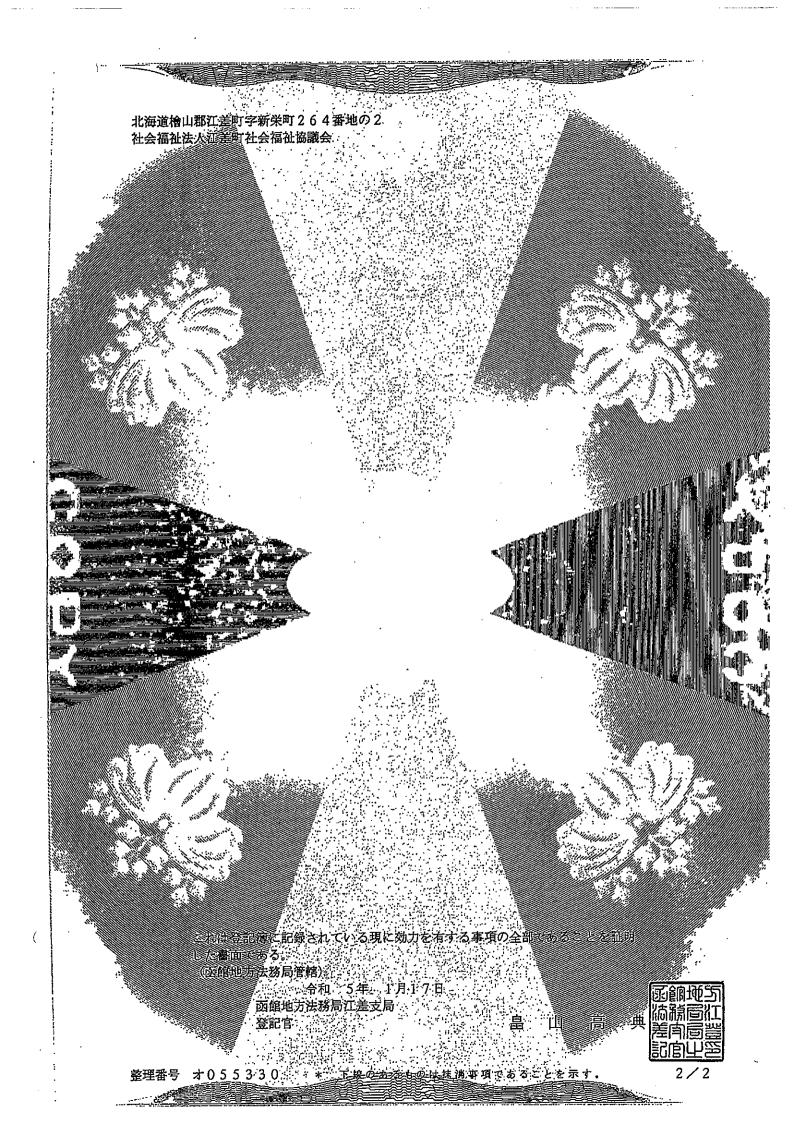
附 則 この定款は、平成29年4月1日から施行する。

, .

現在事項全部証明書

北海道橋川郡河差町字新栄町:2.6.4番地の2 社会福祉法人の差町社会福祉協議会

* 3		The second of th	
	会私法人等番号	4 0 0 - 0 5 - 0 0 1 9 4 2	
	E 155	社会福祉法人江差町社会福祉協議会	
	生产多事務所	治海道着山郡江差町字新栄町 2 6 4番地の	
	法人成立の年月日	昭和44年1月4日	
	目的集制 (1)	目的 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、江東 業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び	
		の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的と事業 この法人は、目的を達成するため、次の事業を行う。	ja.
		(1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 (2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための接 (2) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及・特	が 前伝、理経、態圏及必須供
		・ 成 ・ (例え。(D)から(3)のほか、社会福祉を目的とする事業の便 ・ 要が事業 ・ (B)・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業	
		(6) 共同募金事業への協力 (7) 居宅介護等事業の経営 (8) 老人デイサービス事業の経営	
		(9) 障害福祉サービス事業の経営(10) 生活福祉資金貸付事業(11) 法人後見事業	
Same.		San	7月紀 0日登記
1 11/1	後員に関げる事項	度海道和加那江差町字茂尻町199番地 理事長 片石明 廣	3年~6月2.8月 重任 1~3年。7月6月 2 部
110000	資産の総額	金645.9万8964円 令和 4年 3月31日変更 会新	4年 -6月28日安部



社会福祉法人江差町社会福祉協議会 役 員 名 簿

			 	
	氏			名
会 長 (登記上の理事)	片	石	明	度
副会長	<u>=</u>	上	幸	男
理事	万	年	雅	利
"	小	梅	洋	子
	室	井	常	雄
"	西西	谷	和	失
"	茶	森	茂	樹
ıı.	竹	内		強
監事	金	盛		護
и	髙	橋	勝	則

北海道運輸局 函館 運輸支局長 殿

宫 誓 書

当法人における役員の全員が、道路運送法第79条の4第1項第1号から第4号までのいずれにも該当しないことを宣誓いたします。

令和 年 月 日

住 所 北海道檜山郡江差町字新栄町264番地の2

名 称 社会福祉法人江差町社会福祉協議会

代表者名 会長 片石明廣



自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧

自家用有償旅客運送者の名称社会福祉法人江差町社会福祉協議会

番号	自動車登録番号 又は 車両番号	乗車定員 (人)	所有者名	使用者名	備考
1	函館880あ271	4	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
2	函館830さ1123	10	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
3	函館800さ4475	10	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
4	函館830さ1707	10	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
5	函館500ぬ4538	5	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	,
6	函館530な1716	5	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
7	函館500ぬ1704		社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
8	函館580こ8865		社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
9	函館580こ4915	4	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	
10	函館580ち4971	4	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	社会福祉法人江差 町社会福祉協議会	•
11					
12					
13					•
14					
15					
16					
17					
18					
19				-	
20					

. .

State of the second	3
70.	11.
	13
42.	. ~
	`~:!
	: :
4	2
医心 程度	
	×
144 Tab.),	
The Market	/ //
E . 3 . 44 . 7	
THE STATE OF	
7.3	
3 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	

	3
Conduction	ì
	112
間が宣	Ш
	Ш
AM 3	4
4 ale	
7. (17.)	11
: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ÇI.
	313
	٠,
生 油工品	41
``Kir°∵	44
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ķ
A. 17.56 #1	
8. B. F.	4
	43
	310
7 - P	, I
在海道主	H.
3 - 3 - 3 · 3	i .
	10
:::C7:-	Н
1 12 10 1	-
X 3#434.	: [}
	ľ
	14
	1
MHG.	13
	Į,
	10
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	۳
136.30	16
9 T 7 T	Į į
	12
- L	L
14条位 188	1.2
á Brig J	ľ
1575 676	
5 11 1 15	l,
化蒸装片	
	17
	14
•	١¥
•	ا ا
	Ιĕ
	ΙĒ
	ļ
	Ē
宗和·孙祥、2月、4日、 軽自動車株盛協 <u>等間</u>	
	1
	Į.
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	6
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
	-
90222 一台"動"華、梅、香、龍	-

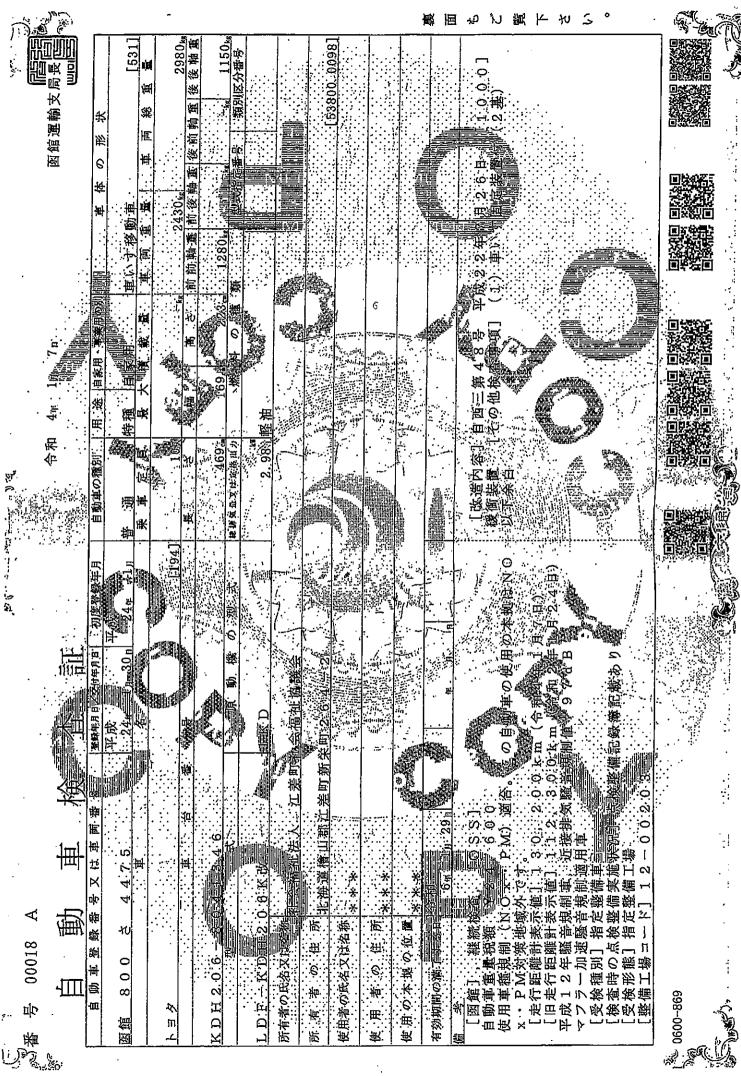
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	平成	· 東西軍量 [1000	地域的始初。斯斯·斯·斯·	カンリン 0.65。 5.00。 B40。		18800 00829]				J車 近接排気騒音規制値:9 7.6 B マプラー加速 <mark>騒音規制適用事 [通知番号] 2.4 軽検技改策22.2号 [通知番号] 2.4 軽検技改策22.2号 </mark>	(令和4年2月4日)、*、 m(令和2年2月7月) *	整備実施状況】点検整備記録簿記載あり沫	
日 日 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	2. 作 196年 2月 19		S3321V=0103941	《《《《《》》《《》 《《《》 》 《《》 《《》 《《》 》 《《》 》 《《》 》 《《》 》 《《》 》 《》 》 《《》 》 《》 《	***	捷	着。 第二二章 第二二章 第二二章 第二二章 第二二章 第二二章 第二二章 第二二	新 玩名文碑名称		少無者住所從同心。	年暦 な単存 ・	3月:118日 18 18 18 18 18 18 18		



ar ley noù :											144	四(₩ IJ	逐	 - 11∪	دہ				S)
大局長門		[531]		8 後衛	11.50kk 類別区分番号	4		53800:0098]						000	⊒.730		<u>, ,</u>			N. S.
函館運輸支	年の形状	国		画画後回画画	温原確心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								はなる。		四次、海迴二		, : :			
		直沙才黎凱車. 車. 雷. 痛. 虚.	2630 _k	<u> </u>	1 340 kg								英整備記 新華	6.1	(9-12-05) 表實行 (62-基					
22,1	自家用・事業構物別間			W Z	Seattle 2228 cm 3				de gale	-дин - 13) г. (п 4 - 2) чи			(第2002 第四94 年	也 依然事 項 一下。予固定					
令和 4m 2	※ 出一	4	100	記	(式定格単カー 1.50 (式定格単カー 1.50	2. 48引軽油			an ar	uh u			1. 後	D場 リード] 5条7 自湘南	● 接 個 ※ 「 後 の 0 · 0 · 5 · 3 三 ()			The state of the s		
	自動車の種別	(中) 中) 中		A	把排纸品及供			the rate of the ra					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	落。 [整備工場] [改造石容]	0.000000000000000000000000000000000000	y マ v マ w 体				には一般の対象
1	二	平成			機・の、型・式・						第一	でする		5.0%域稅措置	用の木物は以	<u> </u>	B S L			
		平成 = 304= 314-1				深節25	"	事 2:6-4:1-2	and the	Plate 13			H	所規劃級。 5.	の自動車の機	(金管4年2人)	制備 9.7.8			
· • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				() () () () () () () () () ()			**国带人. · · · · ·	那江华四新荣					10.0.0	年3月11日	%向上達成車(4):適合。	2.0. <u>@ K</u> m	50 K K K K K K K K K K K K K K K K K K K		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	野 車	1 1 3 ·	*		0.00000	2000年		所上海道检证	* * *	· * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	爾 米 米 米 米 米 米 米 米 米 米 米 米 米 米 **			29年度稅制]平成50年3月1日 新規	※養基準1.0.9 (NO※・P1	制数外心がであれば、大人が、大人では、大人は、カーは、	1. 数水值,数量 6. 规制 电二流 8. 故 抽 置 涵 用 i	智定整備車		:
0062		8 3 0	1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		V 8 E. 2 6 一画	A C HEW CHAN	所有者の氏名及は配数	所有者。0. 年. 原. 光海道检证那江差町新菜町 2.6~4~~ 2	使用者の氏名文は名称(*****	使用着の住所	使用の本拠の位置	加間の第二回名	個 本	1 岁 中 単 網 気 色 [2 9 年 陳 統 部 の な た 成 税 部 な な た ば が ま な な か か か か か か か か か か か か か か か か か	7成27年度が 5用車種規制:	c・PM対策 [走行距離計算 [14]	「日本行印幣計教不順」第 <u>三等分割が</u> エスホイイイ 420 日) 平成12年騒音規制車、 定義制義、強制 値…9.77-3 日 450 ランシー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	[受檢種別] 持		
海		图	11		C ₩ 8	<u> </u>	所 新	版	争	●	一	~ ~	鑫 1		. u. 金	^	P 1		- Jan	

ПÇ

海



面をこぼ下 鑑為

2940kg 後軸重 531 区分番号 田 *₹*₩ (H) 淮 关 臺 後前 E 坐 串 6 圅 矢 重前後 2390_{k} . 単領 移即 毒症 南いず 湿 三を第の 妈 囝 修油 酒 丧 ·Ш 合和 **书事友识又任何存日力** 86 自動車の種別 K 濧 ar[±] の本地はN 恜 蚪 ச் செ 0 Щ 藜 **4**1 衛記載を 1. . 6.4 江差町社会福祉協 登錄年月日, 際の自動 Ø 北海道增山郡江莞町新柴町 桉 ŲΠ 圕 1 비 Ħ Ö * * * × \sim u|c · : 44 重 敀 使用者の氏名文は名称 臣 욛 HU. 礟 岂 00352 ₩. 娂 鸺 使用の本数の 0 所有者の氏名又 0 有効期間の満了 e, 8 刪 က 4111 魯 Ø 袘 €N 护 LDF KDH Ш 邨 Ŋ 饭.用 育 函部 П 压 鄉

年間しまりりと









Ê. (

もご置下さ _ 100 ₩ 函館運輸支局長 鲴 \$ 坐 8 THE PARTY OF THE PROPERTY OF T nļο 퓉 綝 磁 00104 焖 0 卌 -Ⅲ零 വ 用者 所有者の 阜 ρ 俥 函館 m S 梅 Mg L No teal

- 15°°										•) Line	阿爾	" ₽	ĭJ	鐵上	- 10	ζ.	U		্যুম্ব	ئ ئ
		[00]		1385kg	後軸面	450kg	(分番号	0021		0.00981	.1		144			<u> </u>	15-4/			<u> </u>			
₩	‡	1	可終 重		軸 飯 後		: 類別区			[53800								·•					•
面的证券	<i>e</i>		車面		對便 後門		石番号	1.5008							おから					,			5
· .	車		Ē. \$	1.1.10	恒後		松屋													· · · ·			Š
		新	車・両・		前斯勒堡		籢								多級無點		2.0.3						voom= 1.11
: =:			載:景、	:1	和	154.	の。種				TOTAL STATE OF THE		ទន្ទឹ		四、一只4	-	0 0						3 6 6
7			大横	, a.,	皿		燃料	こと							编金标学	整備工業	- 2	097 037 24					
4	E	- 1::• 1⊞	E W	2013		378 378	(1)	29:1 X Y							五格數		1. 1.	nj Heren Veren	1				
	Dogward Progen	#1	事 危		30	3.7	正文は建格川力	1. 2							なが時の	承被被	格 新工物 下 条 口				100		
			*	194]	ŒΚ		おいない	; ; :								السال ن	, Z	, 1, 3 ; 7 , 1, 3 ; 7 , 1, 2 ;		· ·	17		
	4 mm mm 38.03.00 H		10 m	[15			北						3			ا : : د :) 解紀米 (年) (1)	所米上軍汽米		7月)			
		* 	N III O			er in	機の		্	~							<u> </u>	信が乗る機能を	月7日	10000000000000000000000000000000000000			
					,		原動	Z	江美町社会福祉協議会	6.4.	· •			Ė		. 114 1465		一下教教衙一	" 和4年]	<u>第</u> 0 k m(令和2年1月 騒音規制値:9.6 d B	*		
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	: 	聚. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			ZNEZ	17年全4	は海米車の				The state of the s			L T C 0 8年	(W.C.A.C.A.C.A.C.A.C.A.C.A.C.A.C.A.C.A.C.		K 由(規制値			
; < -	一位				乖					- 水			***************************************	23,		;.O	学 · (Y · C · A · C · A · C · A · C · A · C · A · C · A · C · A · C · A · C · C	* * * * * * * *	3 0.0	—3 <u>—0</u> —0 非気酸達		i F	
1	 	٠. رم ا	144		a	က္ခ			新光 大:人	所以維領移山湖江港町部祭町26.4.			¥	<u>===</u>	V	9	平一消費効率(1-消費效率(1	治療 子 治療	磨戏車 7.1		I制適用車 備車	İ	
∢ ;	判	i -				26-90				平光泽。	* * *	·····································	* *	19. E	in'i		ベナ	イイ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ	k費 据 維 8.示値] ·	表現字書	音 定整		
10020	ä	# c]. 		.5. — .0 <u>=@</u>	一型	9.6 N.N.	名文章	.€ .#	名文は名	ら 一	越の位	W. T. 64	学学	: क्रांसी-	2. 布爾日, 布爾內米/	中阪 上火 中 年 東 元	2 年度版 距離計志	语 網 網	一加速騒 種別]指		
5. 中		≩ u	0	日本		C P 9		C B A	/ 海	布	使用者の氏名又は洛称	使用者の佳所	使用の本地の位置	有効期間の満江	海 是	自動車	令	小智 表 表 2	平成 2 [赤行]	[田本(平成 1	マフラ・ [受検]	698-0090	
がある		<u> </u>	<u>a</u>		<u> </u>		-	! C	<u> </u> 底	所	一	 	- 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		軸				<u>-</u>) 8 	

		be 1 b2)		殿 }	面もご覧でさい。	
	[001]	_ 級	0000			
函館運輸支	※ ※	1 軌 重 後 次 2 次 2 次 2 次 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3	[53800			
函館	e 画	面	10.72		7910	ing cent
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1080kg 前 後 編				
	<u>事</u> 理	fi 前·軸·重	A District		······································	
		() () () () () () () () () ()			0 0 0	
2.1		10000000000000000000000000000000000000			2	
44F L	兼用、機		1 × 1 × 1			
	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	388年17	1.32		Hu	
	を を を を を を を を を を を を を を	東京和東京			対し、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には	
	i dialita	[194]		194		
THE STATE OF THE S	平成	8 日本			文章 2 元章 10	
	280	夏	₹ ₹		終費 日本 P を を を P を P を P を P を P を P を P を P	
	成 23.	5	此会福祉協 於町264		八世 作	
	0.4 至 23%	#	<u>高和性人、 江差町社会福祉協議会</u> 道 <u>惰</u> 山郡江差町新栄町 2 6 4 - 2		W 小	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Saldenia	30	次	27.4	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	
	3.7.0.4	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	3.5:	* * * # # # # # # # # # # # # # # # # #	を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	
	Q		2	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	能額 1 不然 英貼 备 路 省 食 是 核 一 水 然 表 計 备 陷 角 食 点 核 示 水 規 音 定 整 定 整 压 整 信 整 海 液 海	A A B B B B B B B B B B B B B B B B B B
等 00247 A	0 0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ルン: S調整 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	る権がある。		
, alc —	1 1 1	K W N N I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I I O N I O	DBA-N:S 3:5: 所有者の氏名又は 1 所有者の任名文は 1 使用者の氏名文は 2 株 2	使用者の住所 後用の本地の位置 有効期間の構造 100 を 100 を 1	備 海 「函値」…継続検査 自動車重量税額、電子 60.0 令和1.2年度 二ネルギー消費効率(W.C. Tocar - F. 松費値) 平成2.2年度 ※ 製 基準 1.5 %向 上達成車 「走行距離計表示値」 7.9 9 3.0 0 km (今和2年 1.9) 平成1.0年	Y S
脚	<u>. 24l.</u>			1 4 4 16	<u> </u>	

·			;	· .:.		r 1	145					••			•			
	4年3月14日 醛自動車檢查協会貿	用途、自永崩・水和前の物。。 車、棒・の、形・状・			1090 167 - 147 - 16	即當時間後 桷 重、 期型栽培定番号。 類別区分番号。	540 kg 330 kg 7 17660 0001		[53800 0098]			1	7年度燃費基準20%向上達成車 平成10年騒音規制車	・全知2年以エネルギー消費効率(MLTCホード整数値 		**************************************		
	令和	・・		車両重路 加斯森	870 kg	BURGIE	0.651	· .					表27年	所来 二	免税指置済み* 免税指置済み* 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	4 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	MANAGEME BLAKKET ALIEN	
	•	初度検査年月	平成 27年 3月	最大镇城區	i I	格料の種類	ガソリン						2年度燃費基準109%達成車 平 B マフラー加速騒音規制適用車*	ポート 続 :	举 。 然	各4年3月1日会社2日会社2日の対2年3月1日の対2年3月	富米噶尔佐	
	動車検査証	都 号 次 付 年 月 日	ıç	中 申	2.7	型 式 「 原助機の型式	DBA-JH2 so	· 社会福祉法人 江差町社会福祉協議会	北海道檜山郡江差町新栄町264-2	使用者に同じ	使用者住所に同じ		「阿飾」。 高提斯榮聯崙規制館96d	"和1.2'年度工术》学一消 ""),原定未不然。	27年3月30日 30年3月1日 -			
	》卷号 00353	超 海 二 公司			2 4 1	1.00	宋/4	(使 医名文试名称	着一件一部,所	· 斯 · 氏名又は名称	· 一	使用の本拠の位置	有効期間の満てする間が高い	会和 6年 3月 29日	年期		世 母	, (18)
						7.7	19.54	.,;v;+,			· ·	•	٠.				الم	

.														•			
11日 怪自動車検査協会副		くだって、『念』であった。	が	147	ののの言言	£ 2	20014	[63800 0008]				上邊成車 平成10年縣音規制車	令和2年度エネルギー消費効率 (WLTCモード燃費値			-	
令和 3年 10月	用途山塚川・年森川の泉		·			540 kg						平成27年度燃費基準20%向上遊成車	和2年度エネグキ		· ·	記載あり*	
	・自動車の船別	月軽自動車	車両抵張	-AU78	tatical custostation.	0.65						車 平成27年度	米人	免税措配済み*	00km (令和3年10月11日) **	一点核整備記錄稅	:
	日 初度検査年月	平成 日 26年 10月	股大稅收毀	<u>4</u>	機料の細類	ガンリン						年度燃費基準109%達成車 平成	r 女童 声が言画/L C ホー 下然強化	9日 新規検査日 総統検査 4	(令和3年10) n (令和1年1	贫鳖備実施状況]	
角龍	E A	令和 3年 10月 11日	発車定員	7	原動機の型式	S07A	江差町社会福祉協議会	深町264-2		**************************************		更 合和2年度燃費基準 の カラー サ	云	併冊	0	核*	
檢			de	ŧ.	社	JH2	_	北海道櫓山郡江差町新栄町	画じ	使用者住所に同じ	使用者住所に同じ	<u> </u>	他では、全球を引き、一般においる。	206年度税制]	[远布距解計表标值] 45, [旧龙征照雕制裝示值] 22	嵌型別]"指底整核形態] 指定整	
動車	帝 号	ල 	中	യ വ	齑	DBA-	社会福祉法	北統道櫓	使用者に同	 使用者住	使用者住			Z H		田の変	
Ш	車(荷	8 0 8	車	-10178	名	[296]	氏名又は名称	所	氏名又は名称	所	使用の本拠の位置	有効期間の満了が岩間が側端	5年 10頃 28日	年制制		年 月 巨	年 月 日
₹ 00154		函館 5		JH2-	井	ホンダ		钿		<u>—</u>	使用の本	有効期間の	令和 5				
無出				-			使田	一一		c₩		1 \		•			

OCR02-7332

g				• • *		,		•									W	•
	茶	[100]	を		· 区	:0002		[53800 0098]				見制車	、然米同					
軽自動車検査協会 <u>問題</u> 1890章	体の形		軍	2	7	17626		. 15				平成10年騒音規制車	令和2年度エネルギー消費効率(WLTCキード然要値					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	車	編型。									1	战車 平成:	東効率 (W]					
1982 月 6	। इता, भट्डाशकाभ	自家用	雅 &		高级 备 概	410 kg		÷				%向上達	ドクオー語					
令和 3年	明 家 田	素用圖				570 kg				·		3股基準2 (12年度エイ	*				
√ /-	自動車の観別	軽自動車	車両重量 編	000	TELEGISTATION NO.	0.65						2.7年	<u> </u>		* 8⊞) *		ļ	
	_				*	ジ				,		令和2年度株徴基準110%達成車 平成 6dB マフラー加速騒音規制適用車**	然後値) 解別	第 75%	9万~9日) 年11月29			
	1 初度検査年月	平成 日 27年 12月	最大資旅盘		4人 燃料の循類	ガンリン						単110% 加速騒音規	TO#1	7年12月4日 新規検査 75000 本則税率適用*	(6を5つ) 日 (6を1)			
聖	年月日	9月 29日	乗車定員		島機の型式		国化協議会	64 - 2				年度素徴期をレンシー	刻略(W℃	年12月4000	, 500 K			
極	交付	令和 3年		,	(M) (M)	KF	江差町社会福	新米町2				英 令和2 1096 d B		五元 15 25 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	示しつる			-
換			· 6) 	紙	DBA-LA610S	,	北海道檜山郡江差町新栄町	្ន	に同じ	に同じ	[函館] 新規檢 接排気脉音規制	12年度生术 定表高本。	広岳成税制1m 助車重量税額	品用解析		:	
 	哈	7 1	梅	. Γζ	ב ב	BA≒L	社会福祉法人	海道檜山	使用者に同	使用者住所に同じ	使用者住所に同	- T-	(新) (新)	67-111				
画	静	497	40	P. C	⋑ ⊃	C [tgt]	7/ 3		i		`					BI.	ш	-
·1111	(年)	580	13)) ()		氏名又は名称	小。	氏名又は名称	所	処の位置	苗丁加切即响		E	年 鴨山	年 月	年月	
00219		函館 5 8		1	7 7 7		氏名,	Ħ	氏名人	チ	使用の本拠の位置	有効期間の満了	5年		Å	7	73	
ūķ.		 <u> </u> <u> </u> <u> </u>		1-	1	7	· · · · · · · · · · · · · · · ·	一种	所を	正 拠	一一	有3	令和					

運転者の一覧 兼 運転者就任承諾書

社会福祉法人江差町社会福祉協議会が、申請した自家用有償旅客運送登録申請書に基づき登録を受けた場合には、その運転者として就任することを承諾いたします。

		7	A 50		運転	免討	Fの	重類 等	护施	行規	U515	その	16関係	資格
	氏名	1	住所		区	分	種	類	舅	1項	関係	角	[3項]	関係
	AA 1 34 mt			- _I	☑ 普	通		第2種	E 2	認定	講習		介護福	
1	│ 鈴木 美奈	₹· f *		Ī		迅	la	第1和		その	o eff		認定	
\vdash	<u>-</u>		個人情報保護のため住所を表示しない。	ŀ	1		! 		+		-	-	そ σ. 介護福	
1 2	石若 和		1	i	☑普		1			認定			初史	## 32P
_	"	•	li	1	口大	型	Ø	第1科		その	D·他		むた その	他
	· -		Ţ <u>.</u>	i	回普		_			認定		7=	介護福	
3	福田 美代	子		i			ı					17	認定	講習
			4	Ļ	1							_	その	
4	國仙 はる	.21		·I	2 普	通		第2種		認定	講習		介護福 認 定	
-	EMILIA 194.0°	7,01	1	i	口大	型	Ø	第1程		7 O	他			
-			i	-	夕普	涶		笙り灯	10	認定	== - 22	1=	介護福	
5	宮腰 奈緒	美		ŀ	i				1				韧 定	# 翌
<u></u>			! !	Ĺ	ㅁᄎ	型	Ø	第1相		₹ 0.	他		その	
		_	Į.	I	☑ 普	通		第2種		認 定	講 習		介護福	
6	浦屋 ミチ	=	1	i	l _{□ 大}	型	a :	第1科		 σ) 他		認定に	
			<u>'</u>	H			_		┼—			!=	そ の 介護福	
7	鈴木 茜	;	!	1	区普	週	י ען	弗と種		認定	語音		認定	
1		') !	i	口大	型	Ø :	第1種		その	他			
			1	Ī	夕音	通		第2種	Ø	認定	請習		介護福	祉士
8	中島 直相	討	1	!	四大				1	そ σ.		0	認 定	
<u> </u>	<u> </u>		! ጉ	<u>'</u>	<u> </u>									
9	澤田 直流	, [I	ı	夕普	通		第2種	2	認定	講習		介護福 認 定 a	他工 * 項
"	一样叫 巨龙	_	ì	1	四 大	型	Ø :	第1種		そ の	他	ָרַען ביין		他
			↓ !	ï	夕普	酒	П	室り廷	121	認定	谱型		<u>),</u> 介護福	
10	地本 大介	7	i	ı]				1			Ø	認定	
Щ			Į	! !—	ㅁㅊ	型	Ø 3	书 1 種	<u> </u>	そ の				_
	naturation of a	,	J 1	i	□ 普	通		第2種	Ø	認定	溝習	1	介護福	
11	齊藤 良洲	5		ı	日大	型	a :	萬1種		<i>ቅ ወ</i>	佃		忍定 i そ の	月宵
						-724		3. 1. J <u>. 2.</u>	<u> </u>		کار	ഥ '	と の	他

- 注1「運転免許の種類等」欄は、該当事項の口の中にと印を記入すること。
- 注2「運転免許の種類等」欄の「種類」欄が「第1種」となる場合は、「施行規則51条の16関係資格」欄の「第1項関係」欄に 次の区分により該当事項の口の中にイロを記入すること。
 - ① 交通空白地有償運送

「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行う交通空白地有償運送運転者講習を修了している運転者 「その他」・・・(一社)日本自動車運行管理協会 自家用自動車運転士専門校の運転サービス士科を修了した運転者

② 福祉有償運送

「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行う福祉有償運送運転者講習を修了している運転者 「その他」・・・(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した運転者

注3 福祉有償運送において、福祉自動車以外の自動車を使用して運送を行う場合には、「施行規則51条の16関係資格」欄の「第3項関係」欄に次の区分により該当事項の口の中によりを記入すること。

「介護福祉士」・・・社会福祉士及び介護福祉法第42条第1項の介護福祉士の登録を受けている運転者「認定講習」・・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行うセダン等運転者講習を修了している運転者「その他」・・・・

①(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した運転者 ②介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居 宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示 第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者

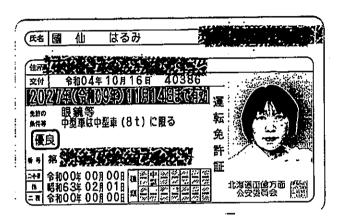


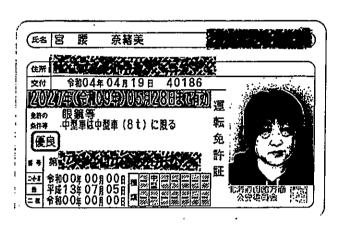
以下の部分を使用して製器接供に関する意思を表示することができます(記入は自由でき入する場合は、1から3までのいずれかの番号を〇で囲んでください。 1. 私は、超近後及び心理が使止した形状のいずれでも、影様のために開発を提供しま 2. 私は、規定を提供しません。 3. 私は、規定を提供しません。 (1又は2を選んだ方で、提供したくない製造があれば、米をつけてください。) [心臓・肺・肝臓・腎(じん)酸・好(すい)腹・小蝎・酸球]	1278	
1. 私は、 <u>起来後及び心理が保止した所持のいずれでも、</u> 移構のために開発を提供しま 2. 私は、 <u>心臓が使止した</u> 所径に <u>駆り、</u> 移植のために顕著を提供します。 3. 私は、競技を提供しません。 〈1又は2を選んだ方で、提供したくない理解とよる。	MANAGE ES ANGELO	
1. 私は、 <u>起来後及び心理が保止した所持のいずれでも、</u> 移構のために開発を提供しま 2. 私は、 <u>心臓が使止した</u> 所径に <u>駆り、</u> 移植のために顕著を提供します。 3. 私は、競技を提供しません。 〈1又は2を選んだ方で、提供したくない理解とよる。		
 私は、超光後及び小脳が停止した形状のいずれでも、移体のために開発を提供しまる。私は、心臓が停止した形径に駆り、移植のために顕著を接供します。 私は、競技を提供しません。 スは、変表を提供しません。 		
 私は、超五往及び小型が停止した元行のいずれでも、移信のために開発を提供しまる。私は、小屋が停止した五径に壁り、移植のために履発を接供します。 以は、度送を提供しません。 又は2を選んだ方で、昇催したくたい等をがせる。 		
 私は、超五往及び小型が停止した元行のいずれでも、移信のために開発を提供しまる。私は、小屋が停止した五径に壁り、移植のために履発を接供します。 以は、度送を提供しません。 又は2を選んだ方で、昇催したくたい等をがせる。 	する意用を表示する? レジュール・バース・・	لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
2. 私は、小屋が停止した光径に超り、移植のために開発を提供しま 3. 私は、超素を提供しません。 く1又は2を選んだ方で、提供したくない音楽がよから、		
3、私は、腹茎を提供しません。 〈1又は2を選んだ方で、提供したくない関系がよれば、A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.	かの番号をOで囲んでください。	自由です。)
《1又は2を選んだ方で、特性したくかい物味がよりです。	かがはのいっぱんでください。	自由です。) 鋭します。
(心臓・肺・肝臓・腎(じん)臓・膵(すい)腿・小腿・腕径)	ルッサッとして出たでください。 た <u>死後のいずれでも、</u> 移様のために顕然を担 込、移種のために顕新を提供します。	供します。
	ルンタッとして個んでください。 た <u>死性のいずれでも、移様のために</u> 風器を担 少、移植のために風器を提供します。	供します。
(自筆署名)	ルンタッとして個んでください。 た <u>死性のいずれでも、移様のために</u> 風器を担 少、移植のために風器を提供します。	供します。
特記機 (著名年月日) 年 月	バンスラミン(5組んでくたさい。 <u>た不好のいで付わても、</u> 野様のために興器を封 近、野様のために顕語を提供します。 「ない複點があれば、X をつけてください。」 好(すい)題・小師・晩味	供します。

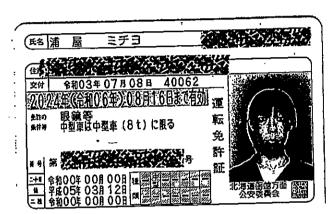


ť,



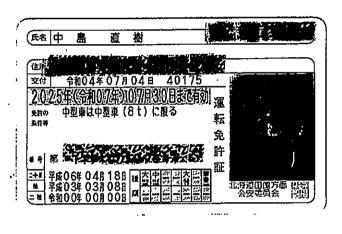


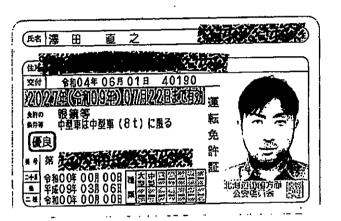


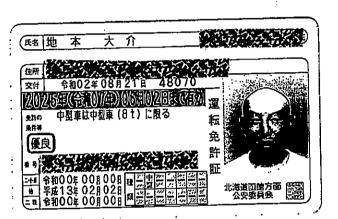




(









• . , .

043-0032 北海道権山郡江差町新栄町264番地の2 社会福祉法&江差町社会福祉協議会 鈴木 美奈子 様 整理番号 2022013697 P002-1

運転記録調場書

証

明

事

項

令和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 3年間の記録像、上記のとおりであること 証明します。

令種 5 年 1 月 月

自動車安全運転センター

皇師是他住 調整なセンター 明経過節が何 野神な部別の 04-3-0032 北海道檜山郡江差町新栄町264番地の2 社会福祉法及江差町社会福祉協議会 石岩 和子 様

整理番号 2022013698 P003-1

運転記録証明書

行政処分の前歴 0回 累積 数 カーカー 内 容	点 点数
为 日	点量
MTAL	
	athres.
明	
#	
項	
備考验	

令和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 3 年間の記録像、上記のとおりであること 証明します。

令和 5 年 1 月 5 日

目の単安全連転センダー

043-0032 北海道権山郡江差町新栄町264番地の2 社会福祉法&江差町社会福祉協議会 福田 美代子 様

MHENDER.

2022013699 P004-1

整理番号

運転記録趣明書

		臺					至	轉			**************************************	
á		行败呀	の前歴			0回		積態数	X .		点 0	
	L.	基	日			内		容		erilli.	点	<u></u>
			<u>nesitt</u>	业 以	下余白							
]					夏 	·			49.18 ³ 1	
					L	······································					Mars.	. : .]
	証						10					
			ALLEGATION SERVICES								<u>ن</u> <u>م</u> قور	
	_						\ 					
	明							'\@\\ 				
		- Min										
	事										₫	
	-											
	-ueuffur.				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	#						
	項			 Ting						.esti		
	•		-								ili.	
	ř						1					
		備	-tc. 10 P					ā	i Sililianal			
	j	л и	考幽神			Alter we	 .					-
					gigipes.							
_										:UFB:		4

令和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 3 年間の記録像、上記のとおりであることを 証明します。

令種 5 年 1 月 5 日

自動車安全運転センター

043-0032 北海道橋山郡江差町新栄町264番地の2 社会福祉法人江差町社会福祉協議会 國加 はるみ 様

2022013700 P005-1

整理番号

運転記録証明書

		·			e an institute de la constitute de la cons		NORTH NAME OF	STOK VANCK!	VADMAVXDMAV	X0M2	
į		行败场	ラー・・・・ の前歴 			0 🛮	累机	点数		 0点 ———	
		1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			7	心		容	mikski	点	数
			ellen.	业 以	下余白						
					<u> </u>	=					
	証(1_,						<i>-</i>
	1000116					<u>á</u>			<u> </u>	<u>.</u>	
								1			Ī
	明						"Iligil	1			
un de la company		The state of the s									
7	事										
	य ून										
	Allente,					19 0.					
	項								·		
			5	-nutti-				··· · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ta vigar	
#	#h							:			
								ļ <u></u>			(E
,		備	考例			1970m de 1911					
i	į		alle.							r.	
اح	萋							<u> </u>	Tipe:		4

令和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 3 年間の記録像、上記のとおりであること 証明でます

令種 5 年 月 月 日

自動車安全連転センダー

整理番号 2022013701 P006-1 **化海道和山那**江差町新栄町 指海道看过那江差町新宋町264番地 社会福祉法表江差町社会福祉協議会 宮腰 奈緒美 運転記録記 行政処分の前歴 0回 0点 内 日 点覆 以下余白 明 事 項 **3年間の記録深、上記のとおりであるこ** 年 1 証明します。 方面事務

整理番号 2022013702 P007-1 社会福祉法》江差町社会福祉協議会 ミチョ 様

名

l					A POPULATION AND DESCRIPTION OF	······································	A MERCYARGRAVAUSKY	
Name of the last		行政规劳	の前歴		0回	累 積 热 数		0点
	L.	F 9	日	ul.	内	容		点数
1		命和2年11	月23日	Tattle 1 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	一時不停了			2 是
				以下余	ė į			nuttilis
1		and the same			**************************************			
	証							
	dining.		illu india.				raft in curing"	
						Market Annual Control	Milmania	
	明					ועני		
		- JI-						
	事							
	•							,
1	n Millelin				- The state of the			
	項			.gmullard				
				〇印の違反は 順点数計算は	2年以 無事故	・無違反者に対する	る特例により	
H	h			一种,				
		##						
		備	考慮		ali di			
			::!!llis					أ أ

念和 5 3年間の記録隊、上記のとおりであること 月 5 現在の過去 年 1 証明します。

品品

館方面事務所 國際是和順度

整理番号 2022013703 P008-1

運転記録証明書

名 行政処分の前歴 0回 点 0 点蒙 内 Ξ 和3年7月7日 **心指定場所一時不停工等** 以下余白 明 事 項 2年以<u>年無事故・無違反者</u>に対する特例に 他ませれ。

令和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであること 証明します。

今種5年1月1月1日

自動車安全運転センター

043-0032 北海道倉山那江差町新栄町264番地の2 **备。在社会工差町社会福祉協議会** 直樹

2022013696 P001-1

整理番号

転記録 記

名

行政場の前歴 0回 累積高数		0点
事 目 内 容	went to the	点数
以下余白		
		ga.v.
		
項		
備考		
備考验		
		Tang Talika) di Galleya Pang Talika) di Hasar Pang Talika

日現在の過去 3年間の記録像、上記のとおりであること 5 証明します。 層

方面事務所

之館或首編列 训账品別報

043-0032 北海道橋山郡江差町新栄町264番地の2 社会福祉法太江差町社会福祉協議会 澤田 直之 様

2022013704 P009-1

整理番号

運転記録訊明書

者 免責证 者 免責证 者

		行数据	が前歴		.,44 1	0 0	累積款	数	0	л Д
			9 E			内	名		January Januar	i w
1			- Illing.	上 1	下余白				District 199	
										~~
					nrtit	- 				
	証				<u>h</u>				117 C 11 C 11 C 11 C 11 C 11 C 11 C 11	
	THE REAL PROPERTY.									
	明		III					TIMES		.毫
		diliteratification					** **			
	事									
					<u> </u>	************				
Ì	項			#	THE DECEMBER OF THE PERSON OF					
	烬			···				· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		La La Carta
Œ.	ji d		.45(1)							
"	ļ						يشي			· Property of
		備	考验			istrafillit				
ĺ										=

金和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであること 証明します。

令種5年 月 月 日

自動車安全運転センター

043-0032 北海道権山郡江差町新栄町264番地の2 社会福祉法
弘江差町社会福祉協議会 地本 大介 様

整理番号 2022013705 P010-1

運転記録証明書

	1 1	发音型: 番	KEZHOXEZHOXE VMDKAVHOKAVHOKAV	VAMON VAMON VANOR	HOKANOKATHOK HEAKSHEAKSHI
		行政場の前歴	0回	显 被 监 数	0点
	<u>a</u>	事 男 日	内	容	点蒙
E.			以下余白		Mineral Alle
	証(110		
İ					The state of the s
	明			100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	
	,-				
ļ .	專				
ļ	ĺ				
	項				
1					
) -				
		備考验			

令和5年1月5日現在の過去3年間の記録像、上記のとおりであること 証明します。

令租 5 年 月 月 日

自動車安全運転センダー

043-0032 北海道僧山那江差町新栄町264番地の2 社会福祉法太江差町社会福祉協議会 齊藤 良治 様

整理番号 2022013706 P011-1

運転記録電腦書

	والمستقدين		-								
		行政财	でである。			0回	東根	放数		0点	
					<u></u>	内		容		点数	
THE STATE OF				以	下余白						
							£			ulli.	
					<u> </u>	·	- <u> </u>				
	証				<u>ı</u>						
ŀ						- .			<u>u</u>		
 	明	All Eller					1011 1111 1111				_
	19/3										
					#			4 49 - MA			
	事										
i											
	項			F							
									o firme.		Career of Theory
	ì	-	.141 1111111				·) 1985 1940 - 1986	
lille.								<u>.</u>			
	ı	備	考验			Americania.	<u> </u>				ı
			tilit.							la.	
٠,	E	E	199					電	22		45

金和 5 年 1 月 5 日 現在の過去 8 年間の記録は、上記のとおりであること 証明します。

令種5 年 副月 厨 日

自動車安全運転センター



单 01115105号

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

鈴木 美奈子 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 27年 9月 6日

国自旅第217号認定

北海道移送·移



ビス連絡会

十北海

黄任インストラクター

行田

第 07010432 专 🖟

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

石名 和子 殿

MATERIAL STATE OF THE STATE OF

あなたは、北陸道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会(セダン等免除)において所定の全課程を 修了されたことをここに証します。

平成 19年 7月 22日

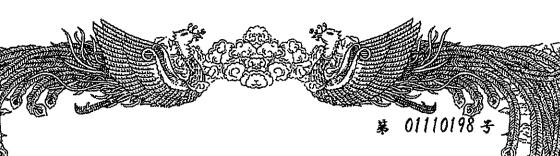
国自旅第217号認定

北海道移送・機構造じ

登りませて連り 全下装 ト北海 中 5 時 1 時 1

大 表中 海面 服

責任インストラクター 行田 保



移送サービス運転協力者講習 修 ア 証

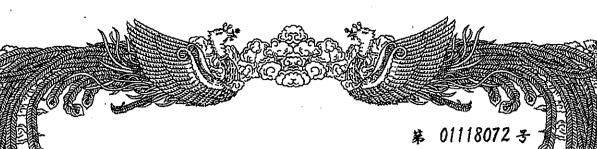
福田 美代子 殿

The second secon

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 22年 7月 11日

国自旅第217号認定



移送サービス運転協力者講習

園仙 はるみ 駁

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 30年 9月 30日

国自旅第217号認定

北海道移送・極いただらでス連絡会



責任インストラクター



移送サービス運転協力者講習

宫腰 奈绪美 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平城 29年 7月 23日

国自旅第217号認定

北海道移送·

代表中

責任インストラクター 行い

第 01110171 号

移送サービス運転協力者講習

修了証

浦屋 ミチョ 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 22年 7月 11日

国自旅第217号認定

北海道移送・標準がたビス連絡会

代 表 平 霜的 勝夫

責任インストラクター 行田 保

移送サービス運転協力者講習

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において祈定の全課程を修了されたことを ここに証します。

8月 28日

国自旅第217号認定

北海道移送·羅

責任インストラクタ



第 07010433 号色

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

中島 直樹 殿

The same of the sa

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

平成 19年 7月 22日

国自旅第217号認定

北海道移送·

を できる

ビス連絡念

責任インストラクター 行田 保

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

澤田 直之 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

令和 4年 8月 28日

国自旅第217号認定

北海道移送·胸膜

で 本 ト北海

大 表 チ 子 孫 責任インストラクター 4

纤田

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

地本 大介 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

令和 4年 8月 28日
国自旅第217号認定
北海道移送・大海道移送・大海道移送・大海道がより、大海道が大きない。 大北海道が大きない 大北海道が大 光弘 東任インストラクター 行田 保

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

齊藤 良治 殿

A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

令和 2年 1月26日

国自旅第217号認定

北海道移送·

建

ビス連絡会

¥.34

責任インストラクター 行田

· . .



第 0979876 号

介護福祉士登録証

本籍地 北海道 鈴 木 美奈子

登録年月日登録番号

平成26年9月11日 第1-979876号

平成26年3月

社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成26年9月22日

指定登録機関

公益財団法人社会福祉振興·試験センター

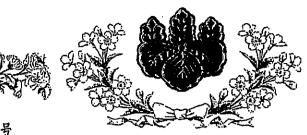
理事長多久島耕漁門



公益財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士 及び介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定に指定登録機関である

平成26年9月22日

厚生労働大臣。查书恭知即



第233053号

介護福祉士登録証

本籍地 北海道 石 若 和 子

登録年月日登録番号

平成16年4月16日 第1-233053号 平成16年3月

法第39条第4号該当年月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成16年4月30日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長面沃夹加



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成16年4月30日

厚生労働大臣 坂 口







第565951号

介護福祉士登録証

本籍地 北海道 福 田 美代子

And the second second second

登録年月日登録番号

平成22年4月7日 第D-565951号 平成22年3月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成22年4月16日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長四中放大學



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成22年4月16日

厚生勞動臣 長妻





TERMIT,



第 0273356 号

介護福祉士登録証

本 籍 地 氏 名

北海道 國 仙 はるみ

生 年 月 日 日 登 録 年 月 日 号 録 番 手 月 号 試 験 合 格 年 月

令和4年4月6日 第273356号 令和4年3月

厚生省令第49号第24条の2第4号 に基づく喀痰吸引等行為

該当無し

社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第42条第1項の規定により登録したことを証する

令和4年4月18日

指定登録機関

公益財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長 橋本正



公益財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士 及び介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

令和4年4月18日

厚生労働大臣後春天

北弧配弧弧

end examinate



第 0216253 号

介護福祉士登録証

本 籍 地 氏 名 北海道 宮 腰 奈緒美

生 年 月 日 登 録 年 月 日 登 録 番 号 試 験 合 格 年 月

令和3年4月6日 第216253号 令和3年3月

厚生省令第49号第24条の2第4号 に基づく喀痰吸引等行為

該当無し

社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第42条第1項の規定により登録したことを証する

令和3年4月15日

指定登録機関

公益財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長橋本正、



公益財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士 及び介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

令和3年4月15日

厚生勞飲臣田村憲。



調整調工



第320139号

介護福祉士登録証

本籍地 北海道 澤 田 直 之

登録年月日登録番号

平成18年4月21日 第D-32013.9号 平成18年3月

法第39条第4号該当年月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成18年5月8日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長面沃美麗



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成18年5月8日

厚生労働大臣 11 場 二





乗務員名簿 兼 乗務員就任承諾書、

<u>社会福祉法人江差町社会福祉協議会</u>が、申請した自家用有償旅客運送登録申請に基づき登録を受けた場合には、その乗務員として就任することを承諾いたします。

	氏 名	住 所		資格の種類
1	鈴木 美奈子		1	☑ 介護福祉士 ☑ 認定講習 □ その他
2	石若 和子]	☑ 介護福祉士 ☑ 認 定 講 習 □ そ の 他
3	福田 美代子	1 1 1	I I	☑ 介護福祉士 ☑ 認定講習 □ その他
4	國仙 はるみ]	☑ 介護福祉士 ☑ 認定講習 □ その他
5	宮腰奈緒美]]	☑ 介護福祉士 ☑ 認定講習 □ その他
6	浦屋 ミチヨ		1	□ 介護福祉士 ☑ 認定講習 □ その他
7	鈴木 茜		i i	□ 介護福祉士 ☑ 認 定 講 習 □ そ の 他
8	中島 直樹]] [□ 介護福祉士 ☑ 認 定 講 習 □ そ の 他
9	澤田 直之	 		☑ 介護福祉士 ☑ 認 定 講 習 □ そ の 他
10	地本 大介		3	□ 介護福祉士 ☑ 認 定 講 習 □ そ の 他
11	齊藤 良治			□ 介護福祉士 ☑ 認 定 講 習 □ そ の 他
12		•		□ 介護福祉士 □ 認 定 講 習 □ そ の 他
13				□ 介護福祉士□ 認定講習□ その他
14				□ 介護福祉士 □ 認定講習 □ その他
15		-		□ 介護福祉士 □ 認 定 講 習・ □ そ の 他

注「資格の種類」欄は、次の区分により該当事項に✔印を記入すること。

「介護福祉士」・・・社会福祉士及び介護福祉法第42条第1項の介護福祉士の登録を受けている運転者。 「認定講習」・・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行うセダン等運転者講習を修了している運転者。 「その他」・・・・

- ① (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した 運転者
- ②介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者

運行管理の責任者就任承諾書

下記の者が申請した自家用有償旅客運送登録申請に基づき登録を受けた場合には、その運行管理の責任者として就任することを承諾いたします。

記

申請者名 社会福祉法人江差町社会福祉協議会

令和 年 月 日

住 所 に個人情報保護のため住所を表示しない。

氏 名 中島 直樹

.

運行管理の体制等を記載した書類

事務所の名称 社会福祉法人江差町社会福祉協議会

1. 運行管理・整備管理の体制

(ア)運行管理の責任者の就任予定名簿

No.	氏名		資格の種類	委託	協力
1	中島 直樹	・ 個人情報保護のため住所を表示しない。 L	その他		
2	•				
3					

- ・乗車定員11人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員10人以下の車両を5両以上配置する事務所の運行 管理の責任者にあっては、運行管理者資格者証の写し又は施行規則第51条の17第2項各号のいずれかの要件を備え ていることを証する書類を添付すること。
- ・資格の種類には、法23条第1項の運行管理者、その他の別を記載するものとする。
- ・運行を委託する場合は、受託者における運行管理の責任者を記載し、委託欄に○印を記載するものとする。
- ・事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、協力事業者における<u>運行管理者</u>を記載し、協力欄に○印を記載するものとする。

(イ)整備管理の責任者の就任予定名簿

No.	氏名	住所	協力
1	澤田 直之	個人情報保護のため住所を表示しない。 し	
2		しューニーニーニーニー	
3			

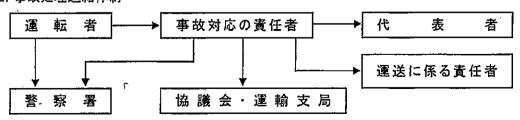
・事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載し、協力欄に〇印を記載するものとする。

(ウ)運行管理・整備管理に係る指揮命令系統



・事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載するものとする。

2. 事故処理連絡体制



事故対応の責任者: 中島 直樹

3. 苦情処理体制

苦情処理の責任者: 中島 直樹

苦情処理の担当者: 澤田 直之

安全運転管理者等講習修 了証書

事業所名 社 会 福 祉 法 人 江差町社会福祉協議会 氏 名 中 島 直 樹

道路交通法第108条の2第1項第1号 の規定に基づく安全運転管理者等 講習を修了したことを証する

令和 4 年 11 月 9 日

北海道函館方面公安委員



.

保険契約者 043-0032 北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2 あいおいニッセでは東京東京 取締役社長 社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 様 **2**+ 東京 Æ 置こ契約内容に関するお問合わせ先 北海道支店 函館支社 简和拼音保肤 (RAH-61) Ta 0138-26-2200 յլիաիցիլերիակիկերիկինի հերևինինի անունանականումիանի (1926-1945/中立人 有限会社 キムラ保険事務所 (A 8 4 4) 「A 0 1 3 555 0 0 0 3 5 5 5 5 5 0 0 0 3 202208231 5189 (RAH61-A844) Ta 0138-49-1277 0001838# 蟒 0003 契約日 画ご契約内容変更のご連絡先 上記表示の代理店・扱者/仲立人またはあいおいニッセイ同和損保をでご連絡ください。 0139-52-2441 **国事故のご連絡先** フリート契約省専用事放発付ダイヤル これはほ対延券に付款して用いられる明確表です。 多すで開延券をこれください。 明適置の記憶の表がより込内容と相違している場合は、減ちに代理店・ほ母/仲文人または当社にご違絡ください。 IL 0120-395-024 (ご注意) お客さまのお名前・ご住所、第名等の表記につきまして、模能上の制約により正確な業界ができない場合、要求可能な事またはカタカナ、もしく以前の要示方法で要求していることがありますので、何辛ご了求ください。 保険複類 タフビズ事業用自動車総合保険 1年間 (一般総合自動車保険) こ 契約のお車 お車の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。 国政者 配名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。 記名 **" レンタカー 一 " 教育家 一** "単純業界" 函館 880 お 271 住・ 保険契約者住所に同じ も ハイゼツト 所有権関係 保険契約者に同じ '区 分:法人 # 660 4WD ★: S331Vカイ · 🗹 ** 周建卓接:白家用輕四輪乗用車 ** \$331V-0103941 **使用 目的 迎転者年令条件等 車検測了日: 令和 6年 2月18日 約 2 御書 2 □ □ 横被車両: 鉄当 "初度登録: 平成26年 2月 料率クラス: 車両 2 対人・自損 2 対物 2 傷害 2 歴定なし 運転者限定 付属模樣發置: ⁶⁴享再登録地・保管場所: "先选環境対策享区分: *車両所有者: 保険契約者に同じ 対象外 令 20才以下 21~25才 26才以上 割引・割増等 割引・割増等は以下の内容でご契約いただいております。 便良割引 全事两一括特約 福祉車両割引 フリート多数割引5% 「〇」補償されます 「×」捕虜されません その他のご契約に関する事項

●改造車・ ○ 以不明車等 ○

公有 :

趙公省:

所

証券特記事項 14 SNET RAH61 HET 08 SNET F432

	056041						子: 函館 88						= ******						
・この明確要で ・明確實記載の ・自助セット(では、補償内容の同 の保険金額は支払短 動は明確書に表示(を説明して 間となって れませんの	31 27 7. C	(ハー補助 ・ 保険金額 (約のしおり	されます × 、免労金額、そ (新通保険的限	捕捉されませ の他に受的が ・何的)にで	ん)。但的等によ 客のIt相につきま 、こ契約条件をお	り補供範囲が存 しては、ご契約 確かめのうえ、	定される場合が)のしおり(普通 特的の有数をこ	ありますのでこ 保険的故・行的 確認ください。	注意と	名くださ	v.				機能		
補償内容	(保険金額等	補債内	容、保	険金額、	从込方法·保	険料等は、	以下の内容で	ご契約いただ	どいておりまで	r.									
保険種	質 タフピズ	F 業用自1	的車総	合保険			连転机	f 限 定 ^形	定なし					運転者年令	条件 対象	<u>ሃ</u>			
			賞の類					蹇	本の補償						特約				
相手への路(数	対人賠償		害賠	黄責任を	傷させ、法 負担する場		無制效						対歩行 対物超 不正ア	対人臨時費用特約 対歩行者等傷害特約 対歩記過性理費用特約 不正戸ケセス・車両の欠陥等による事故の被害者 教法費用特約					
3 00 3 00 3 00	対物賠償		の損	多赔债责	物を損壊さ 任を負担す		無制限		(免責金都	(なし)				心神喪失等による事故の被害者救済費用特約					
おケガの 横 横	人身傷害				中などの事 た場合の補		1名につき 無保険率との 後遺障害が5				堪含 2 (1		搭乗者	傷害一時金特約 搭乗者傷害 (死亡・後遺障害) 特約					
	语言一 時金	事故に 中の方	より、	、ご契約 が、傷害	払対象とな のお率に搭 を被り入院 補償です。	乗││	治療日数5日 治療日数5日 (107	日以上の場合			ъP	})							
	搭乘 省傷害	より、 が死亡	ご契! した!	的のお車	中の事故に に搭乗中の たは後遺陣 僕です。	ᆀᄉ	1名につき		500	万円									
お車の捕獲	車両保険	ご契約のお率が事故によって技 を被った場合の補償です。 車両保険				0	F ご契約タイプ :一般補債 車両保険金額 40万円 免責金額なし							越費用符約			Ü		
		①相手自動 の元天・遊放 手登む車が円 できる場合)	[植	6で説げ	①ご契約のお車 の所有者が所有 する別の自改車 との衝突・速度	 ④火奴·輝5	(多) 直動	⑥延接(じょう)等に伴う暴力行為または破場行為。	① 台 屋・電電・洗水・ 高潮	① 落 書・ いたずら・ 図ガラス破損	① 飛 た の 他 新実	採中ま 落下中 物との	優モの危保器 な事故(①~ 例および①~ 可を除く)	① 歩 行者・ 日石車・動物 との面突・発触	① 質 柱・ガードレール 等との面突	○皇帝-転覆	(6) 始 實 · 横火 · 津盗		
		0		0	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0	×		
サービス ・ 特 約	ロードアシス:) 	利用いた	だけます				ロードサー	-ピス費用		ロード代車補	サービス費	用特約 的					
その他の特 約 芳	法人 伯 卓惠 初回保険料			上費用()	自動車事故	型) 特約	保険料大口	分割払特約				,							
	合計保険料		_		37, 8	00 円			払	込 方 法			(口座振替) 料口座振替	12回払	<u></u>				
	分割払 払込保険料			3.	150円												\bigcirc		
払込方法 ・保険料											-		······		•				
										・他の保険 印度にもロジアン・ 自体を表する。 168年 168年 1987 - シア	#[#]	の有無・■証券	()		去1年間の別 内部総則	保険の有景			
									**	3年級ダウン事な	t _		**						



保険契約者

043-0032

北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2 侓 歽

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会会長 片石 明廣 様 氏 8

202208231 5189 (RAH61-A844)

0001830#

双约日

あいおいニッセルが利用を保険株式会社 **介** -丁目28番1号 取締役社長

画ご契約内容に関するお問合わせ先 あいおいニッセイ

北海道支店 図館支社 (RAH-61) fet Ta 0138-26-2200 因和福等保险

代理病・征者/仲立人

有限会社 キムラ保険事務所 (A844) Na 013 Ta 0138-49-1277

第5 0003 5,5,7 0003

■ご契約内容変更のご連絡先

上記表示の代理店・设备/仲立人またはあいおいニッセイ同和損保までご連絡ください。

0139-52-2441 营赁等异

これは保険証券に付款して用いられる明測書です。 あず保険品券を二取ください。 新選集の記述内容が全地及内容と相違している場合は、確ちに代理法・役者/神文人または当社にご連絡ください。

置事故のご連絡先 フリート契約者専用事故受付ダイヤル TL 0120-395-024

おおさまのお名前・ご住所、車名等の要配につきまして、機械上の制的により正確な表示ができない場合。 最余可能な漢字またはカタカナ、もしくは別の表示方法で表示していることがありますので、何年こ了承ください。 保険運転 タフビズ事業用自動車総合保険 医療量表 F O 5 6 O 4 1 4 8 O 保険期間 令和 4年 9月 1日 午後 4時から O O O O 3 : 令和 5年 9月 1日 午後 4時まで (一般総合自動車保険) 1年間 こ 契約のお車 お車の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。 引文者 記名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。 記名 "強縄等 函館 830 ざ 1123 保険契約者住所に同じ 住 も キヤラバン m × 保険契約者に同じ ・改造草・ 型式不明車等 〇 氏 . 紧 法人 甚. Ø 式 CWBE26カイ 用注率证 自家用普通乘用車 ・ 公太道突滅者(犯域ブレーキ 無 CW8E26-100460 ** 使 服 東台書号。 運転者年令条件等 《初度景錄: 平成30年 3月 令和 6年 2月29日 車技漢了日: 料率クラス: 車両 9 対人・自損 7 対物 7 傷苦 9 いっ 揺祉車両: 談当 運転者限定 限定なし 付馬機械装置: *車両登録地・保管場所: ⁴先游環境針簽寫区分: *東両所有者: 保険契約者に同じ 公有 英 枝 者 対象外 準公有: 车 专 20才以下 21~25才 26才以上 紅 医 割引・割増等 割引・割埋等は以下の内容でご契約いただいております。 70% 優良割引 全草两一括特約 担让事两割引 フリート多数割引6% 「〇」補償されます ×」補償されません

その他のご契約に関する事項

証券特記事項

EMMIN RAH61 1149 08 8885 F432 14 建铁灰金 明复台江

四か言う・・	056041	480 0	10003													
・この明確書で ・明日春起戦の ・日期セット特	は、補資内容の過剰 関議金額は支払規模 的は明期書に表示さ	を収明しておい 痛となっており れませんので、	注す(〇一幅) 注す。保険金額 ご契約のしおり	成されます × ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	通信されま の他ご製作 (行的)に	(せん)。特別者によ 対容の評細につきま で、こ英的条件をお	リ操作権の対抗 しては、こまり 連かめのうえ、	定される場合が のしおり(普通 特的の有質をこ	後期を下のでこ 経験的数・特的 対数ください。) E	42.	ė.				
補償内容(保険金額等	補償内容	、保険金額、	払込方法·保	険料等は	、以下の内容で	ご契約いた	どいておりまっ	t.	•		 ,				
# 「	条件 対象	.外														
1998年 19																
賠 (性	対人賠償	上の損害 の補債で	賠債責任を す。	負担する場	^e O	無制限			. = . = .			対抵行 対物規 不正ア	送等傷害物 過修理費用 クセス・車	約 特約	による事故	の被害者
- G-C	対物賠償	法律上の	損害賠償資			無制限		(免資金)	順なし)			. 心神野	失等による	事故の被害	F省教清費用	特約
補 供	人身傷害	により、				無保険率との		リケガをして	て、死亡した			搭乘 律		・後遺障器	影)特約	-
	催生一時金	事故によ 中の方な たは議院	り、ご契約 どが、傷害 した場合の	のお車に搭 を被り入院 補償です。	乗 ○	治療日数5 E	3以上の場合	ト ケガにり		万	"))		٠.			
	括乘省傷客	より、ご が死亡し	契約のお車 た場合、ま	に搭乗中の たは後週陣		1名につき		500	万円				·		•	,
					*	車両保険金額	X "		5P3			全換料	持該費用特約			<u></u>
	革荷保険				④火災・男	PR ©ER	(の高後(じょ う) 本に伴う	⑦ 台 温 管盤・導水・	⑥ 英 ★ いたでも	<u></u>	是来中:	記録その他項監 を事故(の~	①参行者・ 自転車・出物	受電性・ ガードレール	○ 學落・転復	迎 地 賞 · 様火 · 洋波
		そり打声な妊娠		する質の良助本			は被集行為	**	 	の行	146	@5#O	 		<u> </u>	<u> </u>
_		0		0	\bigcirc	0		0			$\overline{\Omega}$	10			0	×
	7 - L	7	-					<u> </u>	-ビス費用	0	口一I 代事者	ドサービス費 機関対象外特	用特約 約			
				自動車事故	型)特約	保険料大口	分割払特約									
	合計保険料			72. 4	80 P	 4		払	込 方 法							
_	分割払 払込保険料		6,	•	· · · · · ·				,	-						$\overline{\mathbf{C}}$
					··			_		-		,	- ···			
									*他の保険	契约			1 *2	去1年間の	解除の有無	L
									NATE TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO TO	하기 독표]• Œ	9望号) ()	-			



保険契約者

043-0032

北海道 槍山郡 江差町 新栄町 264-2 斻

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 様

202208231 5189 (RAH61-A844) 0001837#

契約日

あいおいニッセが規即標準保険株式会社 取締役社長 東京

■ご契約内容に関するお阿合わせ先 あいおいニッセイ 北海道支店 函館支社

(RAH-61) IL 0138-26-2200 同和損害保険

TB 0138-49-1277 5, 3, 5, 0003 555 0003

■ご契約内容変更のご連絡先 上記表示の代理店・提案/仲立人またはあいおいニッセイ同和損保までご連絡ください。

管護委員 0139-52-2441

これは保持は非に付款して用いられる明確をです。 必ず保険に終せ、立てくさい。 明確官の記述の書から中心内容と相違している場合は、彼らに代理点・征者/仲文人または当社にご連絡ください。

国事故のご連絡先 フリート契約者専用事故受付ダイヤル IR 0120-395-024

(ご注意) お書きまのお名前・ご住所、草名等の受記につきまして、後述上の契約により正確な表示ができない場合 表示可能な選字またはカタカナ、もしく以前の要示方法で表示していることがありますので、何平ご了承ください。 保険種類 タフビズ事業用自動車総合保険 **展券表示 F O 5 6 O 4 1 4 8 O 保険期間** 令和 4年 9月 1日 午後 4時か5 令和 5年 9月 1日 午後 ³4時まで 1年間 (一般総合自動車保険) こ 契約のお車 お車の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。 制設者 配名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。 記名 **夏曜号、 函館 800 さ 4475 ハレンタカー 一 一 社会管庫 一 保険契約省住所に同じ 性· ×M≅# 2.98 右: トヨタ ***** 所 保険契約者に同じ 所有権関係 氏名 坚 法人 擇 ※改造単 … 〇 型式不明末等 式 フメイ . · R途平長: 白家用 营通采用率 条大街安徽宮以近プレーキ 無 'KDH206-8041346 "售男 迎転者年令条件等 *初度登録: 平成24年 1月 - 草検測7日: 令和 6年 1月29日 料率クラス: 車両 9 対人・自損 8 対物 8 傷害 9 **福祉車両:旅当 限定なし 運転者限定: 付旗機械装置: 吟車両登録地・保管場所: "先谁玩坑对策率区分: 『車両所有者: 保険契約者に同じ 公有 : 效象外 進公有: 年 令 20才以下 21~25才26才以上 新 田 連転者 割引・割増等 割引・割損等は以下の内容でご契約いただいております。 フリート 全車両一括特約 福祉車両割引 フリート多数割引 5 % OJ 補償されます 「×」補償されません その他のこ契約に関する事項

証券特記事	項.										
-											
MR3-F										ames CK ∰	00001680糠粒
XL.	имка 1	制量会改	1.4	SEED	RAHK1	計上來	ብጸ	BMBS	Fムマク	Biress FOSOブグタスイ	กับกักกัก

	056041					号:函數 8					`			•		
・ この明経費で ・ 明備等記載が ・ 自動セット和	は、補償内容の数要 保験金額は宝払程度 的は明細書に優示さ	を世明しており 製となっており れませんので、	プます(○・・捕り グ生す。保険金額 ご契約のじおり	『されます ×… 『、免買金額、ぞ 』(普通保険的款	構体を打ま の他ご契約 ・特的)に	せん)。特的事によ 内容の詳細につきま て、ご契約条件をよ	り検信的問から しては、ご契約 健かめのうえ、	定される場合 のしおり(質 作的の有無を	がありますのでし 通保技的数・付款 ご確認ください。	注意 经表验	èv.		_			
捕償内容	(保険金額等	補償内容	、保険金額、	払込方法·保	検料等は	、以下の内容で	ご契約いた	だいておりま	.							
保険額	質 タフピズ子	業用自動車	東総合保険			運転有	i 限定 B	定なし ————				運転者年令	条件対象	外		
		補償	の数要				**	本の補償			•		特約			
相手への施(体)	対人賠償		赔償責任を	傷させ、法 負担する場		無制限					対歩行 対物制 不正ア	時費用特約 者等傷害状 過修理費用 クセス・車	約 将約	手による事故	次の被害者	
69 88 20-0	対物賠償		損害賠償責	物を損収さ 任を負担す		無制限		(免責金	領なし)			救済費用特約 心神喪失等による事故の被害者救済費用特約				
おケガの補債	人身傷害			中などの事 た場合の被		1名につき 無保険率との 後遺跡書が5				た場合また 2億円	搭乘者	·時金特約 :傷害(死亡	・後遺障割	g) 特約		
	傷害一時金	事故によ 中の方な	り、乙契約	払対象とな のお草に搭 を被り入院 補償です。	≰ ∩	治療日数5日 治療日数6日 (107	3以上の場1	ケガに		5万円)			•			
	送乘者復審	より、ご が死亡し	契約のお車	中の事故に に搭乗中の たは後遠降 (僕です。		1名につき		50	0万円							
お車の横横	The state of the s				0	ご契約タイプ :一般補債 車両保険金額 110万円 免責金額なし						話費用特彰	ı		0	
		①根手官当事と の衝突・接触(相 手自計事が発認 である場合)		○ご契約のお享 の原有者が原有 する別の自止享 との新奖・該社	 ⑥火灾·畑	兒 ③直覧	⑥延慢(じょう)等に伴う 多力行為また は破壊行為	ツ 台 星 電券・洪水 高潮	・ ② 死 者 ・ いたずら・ 窓ガラス強調	● 照来中で たは落下で の他特との 衝突	2 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1	① 歩 行 者・ 回転車・動物 との質質・無触	⑩ 電 松・ ガードレール 等との衝突	@坐落·标度	① 允 豊 ・ 模火・津波	
		0	0	0	0	0	0	Ö	0	0	0	0	.0	0	×	
サービス ・ 持 約	ロードアシスタ サ ー ビ		ご利用いた	:だけます				ロードサ	ーピス費用		サービス費 仮対象外特					
その他の 符 わ 等	法人他章運 初回保険料			自動車事故	2) 特約	保険料大口	分割払特約									
	合計保険料 分割払			66, 9	60 F]		丛	込 方 法		(口座援發)料口座援發					
払込方法 ・保険料	払込保険料		. 5.	580P3	. <u>. </u>				· .)	
		<u> </u>						(A) (A) (A) (A)	P他の保険 knichtabypa Affication auss (12-5) 出期日	契約の有無 類別 ・胚身			i去1年間の 的標準別			

Ta 0138-26-2200

TEL 0138-49-1277

TB28第1号

保険契約者

043-0032

北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 様 Æ

202208231 5189 (RAH61-A844)

0001832#

契約日

■ご契約内容変更のご連絡先

取締役社長

木 計

あいおいニッセイ

阎和摄害保険

代理耳·译奎/仲立人

555 0003

上記表示の代理法・扱者/仲立人またはあいおいニッセイ周和損保までご連絡ください。

あいおいニッセルの現象保険株式会社

北海道支店 函館支社 (RAH-61) fa

有限会社 キムラ保険事務所 (A844) Tel 013 59.5.7 0003

田田県

■ご契約内容に関するお問合わせ先

電話書券 0139-52-2441

これは役款延券に付款して用いられる明治者です。 必ず役扱延券をでしたらい。 初議者の記載内容がお中心内容と相違している場合は、匿ちに代項店・基金/仲文人または当社にご建稿ください。 (ご注意) お書きまのお名前・ご住所、東名等の差配につきまして、姜ば上の剣的により定確な表示ができない場合、 表示可能な漢字またはカタカナ、もしくは例の表示方法で表示していることがありますので、何等にて深ください。

■事故のご連絡先 フリート契約者専用事故受付ダイヤル TE 0120-395-024

証券番号 F O 5 6 O 4 1 4 8 O 保険期間 令和 4年 9月 1日 午後 4時から 0 0 0 0 5 日 年後 4時まで ご契約のお車 お車の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。 記名 住 保険契約者住所に同じ 所 ¥ 保険契約者に周じ <u>紧</u>法人 "氏 # tt

迎転者年令条件等

優定なし 運転者限定:

対象外

26 20 21	全 全 2 0 才以下	21~257	26才以上	
達転者	1 0		0 1	
「〇」補償されます		×」補償される	きせん	

相相自然

その他のご契約に関する事項

**景峰著寺・函館 830 さ 1707 ひレンタカー、一 だ独習家 ー 名 レジアスエース 所有権質保 *改造車・ 位式不明章等 ○ 型 式 KDH206Kカイ · 用油 本任: 自家用普通乗用車 ※大街交換室![延ブレーキ _{本台表子}: KDH206-8086998 "售朋

_{保険種類} タフビズ事業用自助車総合保険

(一般総合自動車保険)

『物度受録: 平成27年 3月 草検消了日: 令和 5年 3月29日 料率クラス: 車両 9 対人・自損 8 対物 8 傷害 9 叶福祉車両: 酸当 付属模块装置:

**東両量録地・保管場所: 『草寅所有者: 保険契約者に同じ *先选環境対策草区分:

公省: 準公有:

割引・割増等 割引・割増等は以下の内容でご契約いただいております。 優良割引 70% 全革両一抵特約 福祉軍両割引 フリート多数割引5%

証券特記事項. ямкя СК 田 00001675時的 якиная F050728310 -00005 14

<u> пинк RAH61 иля 08 виня F432</u>

証券養号:	F 0 5 6 0 4 1 は、補資内容の組 の保険全額は支払額 額的は明細書に表示	480 0	0005 生生 (2m)	rans r × ··································		号:函館 8			全がありますの 毎週間はおひ・1	<u>ئۆرى</u>	事ください。 またがください。	N.				
	協議 (保険金額等										2011111					LIARAA
保険種	1	東用自動車		Major Mix	1.4.4	1	/	民定なし	****				運転者年令	条件 対象	<u></u> 카	
1	1	補償の	/		1	l		本の補償				 		特約		
相手への時(伏	対人賠償	事故によ	り他人を列 路賃責任を	関係させ、法律 負担する場合		無制限		_, ,	,			対歩行 対 物 起	時費用特約 者等傷害物 過修理費用 クセス・車	約	による事故	の被害者
CONTRACTOR	対物賠償		損害賠償責	物を損寝させ 低任を負担する		無制限		(免責:	金額なし)				用特約 失等による	事故の被害	者教济费用	特約
おケガの 補 賞	人身傷害			(中などの事故) た場合の補償		1名につき 無保険車と 後遺跡書が	の事故によ	りケガを	00万円 して、死亡し 1名につき		 場合または 2 律 円	搭乘者	時金特約 傷害(死亡	・後遠障害) 特約	
	催苦一時金	事故によ 中の方な	り、ご契約 どが、傷害	(払対象となる)のお車に搭乗 な被り入院ま (を被り入院ま		治療日数5 治療日数5 (10)		合 ケガ	に応じた金額		万円)					
-	括 乘紫雉客	ご契約の より、ご が死亡し	お車に搭卵 契約のお車	中の事故に 【に搭乗中の方 『たは後遠降器		1名につき		5	0 0万円							
お車の補債					0	ご契約タイ 車両保険金 免責金額な	銰	投補償 15	0万円 -			全損時	諾曼用 梅幹			Ü
		①相手自用車と の振笑・接触(相 手自計車が接路 できる場合)	包含化油化	①二契約のお車 の所有者が所有 する割の日数車 との新英・接触	0火奴•组	ir Ožu	(6) 華便 (じょう) 等に 伴う 事力行為また は破壊行為	① 台 3 鬼琴·洪 高漢	・ ① 活 音 水・いたずら 窓ガラスな		①荒 元 中または落下中の他 味との 断突	優子の他风盤 な事故(①~ (別および⑪~ (優を強く)	心 歩 行 者・ 自転車・動物 との順果・接触	⑥ 電 柱 ・ ガードレール 等との新突	GEX-EU	⑥ 地 實 。 噴火・洋波
		0	Ö	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	×
サービス ・ 特 約	ロードアシス:		ご利用いた	こだけます				п- ř	サービス実月	11 (サービス費 質対象外特				
		転特約 弁 口座接替特		(自動車事故型)特制	保険料大口	分割払特約				·				,	
その他の特 約 等					ı			4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4				,			•	
	合計保険料		-	00.45		-		1 1	. 込 方	法		(口座返替 科口座派替				
	分割払			<u>68,40</u> 700円	<u> </u>						SHEET STORY	HANGARIN				\bigcirc
払込方法 ・保 険 科	払込保険料		5,	7001	-					,		 				• •
		•									約の有無		<u> </u>	去1年間の1	経験の有無	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
								<u> </u>	・美術的を比せるシア の選系を称を見たており ・会社を等 (コンパ)	7-71 (7-71	*証券	()				
								ŝ	始期日 ** 3等級ダウン	字故		••	iameun	约·原修印)] 		<u>-</u>



保険契約者

043-0032

北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2 所

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 様

[ֈ<u>ֈ</u>[ովելովուլույինընկիկի][կրի][կրիլելուրոյունդերելիր][կրի

202208231 5189 (RAH61-A844)

0001834#

契約日

あいおいニッセでは海洋海岸保険株式会社 取締役社長

■ご契約内容に関するお問合わせ先 あいおいニッセイ 北海道支店 日

北海道支店 国施支社 (RAH-61) R 0138-26-2200 同和損害保険

有限会社 キムラ保険事務所 (A844) fix 013 代理店·提著/仲立人

TE 0138-49-1277

5, 5 0003 95年 0003

国ご契約内容変更のご連絡先

上記表示の代理店・提者/仲立人またはあいおいニッセイ国和損保までご連絡ください。

0139-52-2441

1年間

これはほぼ技術に付属して用いられる明波変です。 のず位成員券をごなください。 明治者の記憶内容がお早込内容と相違している場合は、匿ちに代理区・技術/仲立人または当社にご議絡ください。

直事故のご連絡先

フリート契約者専用事故受付ダイヤル 111 0120-395-024

泛养養	F05604 1 480 00007	保険期間	令和 令和		9月 9月	1日	午後	4時から 4時まで
記名	に 2 段者 記名被保険者等は、	以下の内容で	でご契約	いただ	いており	ます。		
*住 所	採族契約者住所に同じ		_					
氏名	保険契約者に同じ						5	法人

	_
運転者年令条件等	

運転者限定 限定なし

対象外

\$ 20才以下	21~257	26才以上	
10	0_	0	
<u>!</u>	 		
 			
.]	 	7 14 /	
	0	0 0	* 2.0才以下 2.1~2.5才2.6才以上 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

**注解器等: 函館 500 ぬ 4538	プレンクカー 一 一 教育率 一
*本 名: ヴイツツ	
± # 1300 4WD F	・所有担留位 、 ・ 改油車・ ・ リー ス・ ・ 夏式不明電等
•⊭ x:N\$P135	
** 元单学至 白家用小型乘用草	※大当実施電はエブレーキ・ 無
*東台長号: NSP135-2019510	** 使 凡 目 約
°物度量線: 平成2.4年 6月 料率クラス: 車両 4 対人・自損 1 付属機械装置: □本車両登録地・保管場所: □車両所有者: 保険契約者に同じ	草族海了日: 令和 5年 6月28日 対物 7 傷害 6 **福祉草筒: *先递環境対策草区分: 公官:
	惟 公士•

保険運賃・タフビズ事業用自動車総合保険

(一般総合自動車保険) ご契約のお車 お草の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。

割引·割增等	割引・割増等は	以下の内容でごう	見釣いただいて	おります。	
フリート		便良割引	70%		
1	全車两一括特約				
┃ フリート多数	割引5%				

その他のご契約に関する事項

		_	
计关键	17	I	18.

1303-F .

BHER RAH61 NAM 08 BHEA F432

ямия СК П 00001677 (\$ # 1) яким F050728310 -00007

	耻务者号	: F D	560	41	480	000	ur
ı							
	この明細	BTU.	域传内客	の関す	「を以明して	おります	(0)

7 登録番号:函館 500 ぬ 4538 機関されます。X・機関を作ません。 特別等により機関面面が建定される場合がありますのでご注意ください。 全等、全員本限、その治に対し内部の対象につきましては、ご契約のしおり(普遍民族が改まれ)をご覧ください。

相野・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大		業用自 福 版 数の補 数 は 数 の 補 数 は ま る る る る る る る る る る る る る る る る る る	助車総合保険 債の原要 こより他人を死を により他責任を です。 こより機管的 こより機管的 こより機管です。 いのお事に がのお事を被っ いり、係害を被っ	海させ、法は 負担する場合 物を損壊され 任を負担する		運 転 者 無制級 無制級	視定限	定なし			引人校 扩坐校	運転者年令 (時更用特約	特約	外			
相野・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	対人賠償対物賠償	指は対対では 事上の補助は 事法場合の がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの がよるの がよる	債の概要 こより他人を発 別書賠償責任を 質です。 こより他人の関 上の損害賠償責 したの関 の報道です。	負担する場合 物を損壊させ 任を負担する	0	無制限						(時費用特約	特約				
時 (株) 大	対物賠償 人身傷害	事故は独立の報告を表している。	こより他人を死 関書所代表 成です。 こより他人の関 との損害的 は関連です。 かのお軍に搭乗 り、傷害を被っ	負担する場合 物を損壊させ 任を負担する	0			<u>φ-∨/πεί</u> μ)				
お補います。	人身傷害	法律上場合のご契約により	上の損害賠債責 り補償です。 めのお事に指乗 り、傷害を被っ	任を負担する		無制限			無利限						の被害者		
精構を基準を持続を表現しています。		により)、傷害を被っ	中などの事故				《免黃金數	なし)		救済事	(用特約 (失等による		-			
お本の情	但去一時金			た場合の補値			無保険車との事故によりケガをして、死亡した場合または 長遠陣害が生じた場合 1名につき 2億円						傷害一時金特約 指乗者傷害 (死亡・後遠降害) 特約				
お車の横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横横	l	事故に 中のカ	■ 客保険のお支こより、ご契約おなどが、傷害■ 院した場合の	のお車に搭乗 を被り入院を	1	治療日数5日 治療白数5日 (10万	以上の場合	ケガにな	がた金額 第円、100	万円)			·				
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	搭乘者傷害	より、 が死亡	りのお車に搭乗 ご契約のお車 こした場合、ま とした場合の補	に搭乗中のプ たは後遺障と	4 0	1名につき ·		500)万円								
	車両保険		内のお享が事故 った場合の補償		0	ご契約タイプ 車両保険金額 免責金額なし	l	₹補償 557	īP)		全損時	諸賓用特約					
		①担手食助 の衝突・進航 手食助車が行 できる場合)	1(権)	①ご契約のお享 の所有者が所有 する契の良以来 との衝突・後触・] 9次 见 -\$	ir (Ože	① 屋径 (じょう) 等に作う 多力行為また は破壊行為	① 台 里。 程學·洪水· 高潮	③ 落 音・いたずら・ 波ガラス破損	①原来中: たは落下り の他物との 面突	を ・ 後その推構器 ・ 本書社(①~ ・ ①および①~ ・ 名を除く)	① 歩 行 者・ 自転車・動物 との面実・接触	② 電 柱・ガードレール 等との衝突	G墨塔·托提	④ 地 震 ・ 順火・津波		
		\mathcal{O}	0	0	0		0	0	0	Q			0	0	×		
	ードアシスタ サ ー ビ		○ご利用いた	:だけます				ロードサー	・ビス費用		サービス費 (検対象外特						
	法人他李漢明初回保険料			自動車事故型	2) 特計	4 模様大口が	分割払特約					•					
	計保険料	1		46. 80	0 (9		-	込 方 法		「(口座振せ 料口座振せ						
松	割払 込保険料	-	3.	900円		<u>.</u>											
払込方法 ・保 険 料											·		•				
,								9	"他の保険	ÿ •1æ9	番号 ()	2000年	会(年間の)	解除の有無			

Ý

保険契約者

証券特記事項

043-0032

あいおい二ッセが記事は優秀保険株式会社 北海道 檜山郡 江楚町 新栄町 264-2 取締役社長 東京 社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 禄 本 社 氏 ■ご契約内容に関するお問合わせ先 あいおいニッセイ 北海道支店 ■ 北海道支店 函館支社 同和損害保険 (RAH-61) TEL 0138-26-2200 |լլիոյիդըիլուրարդիլըյինըիկեր-իրկերնունուներներներիկիլի 有限会社 キムラ保険事務所 (A844) IL 013 代理这-提索/仲立人 A844) 1a 0138-49-1277 202208231 5189 (RAH61-A844) 0001836# \$55 0003 ■ご契約内容変更のご連絡先 契約日 上記表示の代理成・収集/仲立人またはあいおいニッセイ間和遺保までご連絡ください。 复数香号 0139-52-2441 ■事故のご連絡先 フリート契約者専用事故受付ダイヤル これは保険は外に付成して用いられる物は表です。 必ず代数は分をご覧ください。 物価者の記述内容が中心内容と検達している場合は、誰ちに代理は・母童/弁主人または当社にご連絡ください。 IL 0120-395-024 (ご注意) お寄さまのお名称・ご住所、果本等の要記につきまして、提試上の制作により正確な展示ができない場合、 要示用度な選手またはカタカナ、もらくは例の要示方法で要示していることがありますので、何本に丁添ください。 保険機嫌 タフピズ事業用自動車総合保険 (一般総合自動車保険) 1 年間 こ 契約のお車 お車の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。 ②除者 配名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。 "養養者" 函数 530 な 1716 ** シンタカー ・ ・ 数 曹 率 ・・ 住 → 険契約者住所に同じ 名・ヴイツツ 죰 保険契約者に同じ 所有技術保 . 分. 法人 改造車・ 型式不明車等 氏. # 1300 4WD F 式. NCP95 . *月2年星,白家用小型乗用車 X大阪安全管理メブレーキ. "使用 運転者年令条件等 享檢測了日: 帝和 6年 1月19日 "初度景禄: 平成23年 1月 料取クラス: 草両 5 対人・自損 5 対物 8 傷害 5 **擅祉草简: 限定なし 付属機械装置: **車両登録地・保管場所: ¹先进環境対策草区分; 『享 両 所 有 者 : 保険契約者に同じ 公有: 対象外 革公有: *|20才以下 |21~25才26才以上 割引・割消等 割引・割損等は以下の内容でご契約いただいております。 便良割引 70% 全事两一括特約 フリート多数割引 5% 「〇」補償されます 「×」捕獲されません その他のご契約に関する事項

пики RAH61 илл 08 пись F432

14

жащя СК ⊞ 00001679 виеся F050728310 —00009

	056041					考: 函館 5					<u> </u>				回激回	
	は、傾信内容の避易 保険金額は支払機関 約は明備者に表示さ									計量と語るだ						
補償内容((保険金額等	補償内容	、保険金額、	払込方法·保	険料等は	、以下の内容で	ご契約いた	だいておりま	₹ .		,					
保険種類	タフピズ	禁用自動	車総合保険			運転	を限定	定なし				连転者年中	条件 対象	外		
		捕貨	の頻要				姜	本の捕債					特約			
相手への時(賞	対人賠償	上の損害の補償で	学院演奏任を です。	E傷させ、法 負担する場	² O	無制限					対歩行 対物調 不正フ	対人臨時費用特約 対歩行者等[審査特約 対参照過修理費用特約 不正アクセス・専両の欠陥等による事故の被害者				
3 040	対物賠償	法排上0		物を損壊さ 低を負担す		無制殺		(免責金	額なし)			教済費用特約 心神喪失等による事故の被害者救済費用特約				
おケガの精(伏	人身傷害			中などの事 た場合の補		1名につき 5,000万円 無保険率との事故によりケガをして、死亡した場合または 後遠障害が生じた場合 1名につき 2億円					搭乘者	傷害一時会特約 搭乘者傷害 (死亡・後遺障害) 特約				
	催暑一時金	事故によ 中の方な	いり、乙契料	私対象となりのお車に搭 を被り入院 が付援です。	乗	治療日数5日未満の場合 1万円 治療日数5日以上の場合 ケガに応じた金額 (10万円、30万円、50万円、100万円)							•			
[送乘者湯審	より、2 が死亡し	契約のおり	中の事故に (に搭乗中の たは後遠障 (僕です。	カヘー	1名につき		50	0万円						`	
お車の構体	草両保険)お車が事故 :場合の補値	なによって損 です。	Ö	ご契約タイプ : 一般補償 車両保険金額 免責金額なし				全損時	方話費用特利			ڻ ت		
		①相手自動車と の衝突・静脉(相 手自動車が確認 できる場合)	О БТ В И	のご見的のお草 の所有者が所有 する別の異計草 との選択・基地	④火贝•蝉	r (Ozn	の破損(じょう)等に伴う 多力行為また は破壊行為	① 台 里 理學·洪水 高潮	① 落 書・いたずら 窓ガラス破り	① 祝 奈 中または落下中の他物との 衝突	優その他偶然 企事故(①~ ①および⑪~ 優を除く)	① 歩 行 者・ 自転車・動物 との衝突・接触	③ 電 柱・ガードレール 等との研究	金里茶-転貨	⑪ 地 賞・ 関火・津波	
	`	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	
サーヒス ・ 特 約	ロードアシスタ サ ー ビ		ご利用いた	たけます				ロードサ	ービス資用	〇代三代	サービス費 償対象外特	用特約約				
	法人他率運! 初回保険料:			自動革事故	型)特約	保険料大口	分割払特約			<u> </u>						
その他の特約等				·											*.	
	合計保険料			48. 3	60 A	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	払	込方法		(口座振锋 料口座振锋) 12回払		<u></u>		
	分割払 払込保険料		4.	030円	<u> </u>					0	TI PICE MA				$\overline{}$	
払込方法 ・保 険 料												त		·		
						,		ុគ្គា កុរ្យ	(カリミロセコンドコー 関上的1 単くても日から	及約の有無 [^{20]} 「・証券	基号	1 *3	去1年間の)	経験の有無	<u>,</u>	
								前页:	始期日 		()	製頭日(桁	n·馬林日)			

ご契約内容(明細書)

保険契約者

- 043-0032
- 北海道 槍山都 江差町 新栄町 264-2



2023年 1月27日時点の内容

社会福祉法人 江芜町社会福祉協議会会長 片石 明晨 板

くご契約内容を変更された場合は、ご社会ください。> 〇保練期間が1年間の月払至たは本払のご契約では、長保険年度の1回分の保険料を表示しています。 〇岩社の事法手続きの都合上、ご契約内容の変更の反映に時間を要する場合があります。

〇保株国際の開始前に二発的円書交更の手続さぞされた場合は、保証期間が開始するまで変更内容が反映されません。

买为只

■ご契約内容に関するも関合わせ先 多いないニッセイ 北海運交店 関係交社 資和指集会施 (RAH-61) を050-3450-9063

| 「株式 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 1

第二変的内容を至のご連絡失 「国に取り時にはてるお得合わせ州」に記載の著場表でご重越ください。

フリートコード 81388

電話整号

0139-52-2441

画字位のご連絡大

フリート契約者専用事政受付ダイヤル 個 0120-395-024

F 0 5 6 0 4 1 4 8 0 日本	タフビズ事業用自動車路合保険 1 年間 (一股場合回動車保険)
記念。会保険者 配名後便業者等は、以下の内容でに要約いただいております。	
その他のと契約に関する必項	

F050728310-00001

	F05604					6·40 面質								27日時点	の内容		
- このご美 ・記念の保	的内容(明察表) 陸支援以安払票	では、物質的 ではとなっては	特別の教養を Bリます。保	利明しておりま 数金額、元要大	۲ (O ۱. ح	・現代されます の他と契約内容の しまり(普通保証	メン語向が	はなん)。 キャレイは、これ	を対象によりれ 例のしおり	(全要性質的)	Eされる場合 大・行行) モ	ダルリますの こ気ください	でご注意くだ !.	(E.).	٠		
福贷内容	(保険金額等	(多(多可定) 1 株式円字	にまたれ 、実験主義、	ませんので、こ3 私込方法・保険	対域に	2、以下の内容。	R的女・祭的) でご実勢いた	だいておりま	9泉井至三州: ず。	*BB734	INVSRE-	CMUS (15 o	U1,				
保险装		京 常用實驗					会区ま					美玩名 字	宋 作 对	49	•		
		祝養の	D接要		T.			本の無数		•	1.00	******	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	••			
担手への監査・賃	地人地位		agrae .	幅させ、法律 食担する場合	0	無利服					対人関码資用特別 対象行表等標準特別 対物超過修理費用特別 不正アクセス・事両の欠損等による事故の被害						
八	对构图使		典書用個質	物を技術させ 任を負担する	0	無制限	•	(先复金章	iru)			救護更用物的 心神要失名による事故の包含者救済費用特約					
おケガの 揺 気	・人計復居			中などの事故 た場合の研究	0	1 名につき 無保険重との 接近単落が					症荣誉:	有金特的 基告(死亡	· 低波障害	(特別			
8	· 信養 對金	事故により 中の方次。	人。二天的	払対象となる のお車に搭乗 を被り入院ま 補償です。	0	名類日数5 治療日数5	スキの場合 以上の場合	1万円		万円)							
	茶菜者傷食	より、ご		に搭乗中の方 には経過返去	0	1名につき		500	用								
対室の横っ位			日本が事故 場合の補償	こよって摂客 です。		ご契約タイプ 草角保険生態 免責金額なし	Ā	随便 45万	īP)		金换時	受 責用行約					
	平四保妝				0	:											
		()相字思维率と の音交通時(相 子凡馬北州世報 下表場会)	ক্রন্তে ল	のごを持りまま ((の声音をが示す でも見のおきま との概念とは、	15.48 A	69. © ACM.	の重要(じ. う) 単二 在 基本符為数 以表現行為	の 古 展 電台 海水 高利	の長妻を いたする 実式ラス書画	①東条中王 た以来下中 の他領との 管子・	の子供の のでのの できましの~ できましの~ できましている。	のき行所 日日記事業 との数実・報酬					
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.	×		
4 - E Z + 47 17	ロードアシス		ご利用い	たたけます			٠	□ドサ·	ーヒス資用		ドサービス) 作食対象分割						
_	法人他型 通 权 初回保険料			勤至季故 是()	和約	保税利大口	分割払特約							,			
その役割 特 45 音							٠										
								ë : 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4									
	合計保快料	(53:1	的保険料)	a. 7`	7.0_	FI		叔.	么 方 注		(口座海) (口座海)		4				
括弧方法 - 投 洪 科	•••	•	_	-		<u>`-</u> _				:				· .			
	<u> </u>					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			e zajta og a	٠.ا							
									#06k	製的の有紙 単本	## .	48	1年1年別の	無限の複集			



保険契約者

043-0032

北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2 住

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 様

իլիսիյլքիրիոլինին բանականինինինին անգագույնին 202208231 5189 (RAH61-A844) 0001839#

契约日

あいおいニッセが関連展開尿険株式会社 取締役社長

北海道支店 函館支社 (RAH-61) In あいおいニッセイ

周和损害保険 Ta 0138-26-2200

化理区 摄影/仲立人

有限会社 キムラ保険事務所 (A844) Ta 0138-49-1277 59-5-7 0003 555 0003

フリート契約省専用事故受付ダイヤル

国ご契約内容変更のご連絡先

上記表示の代理店・扱者/仲立人またはあいおいニッセイ同和損保までご連絡ください。

0139-52-2441

これは住住在学に付募して用いられる明細書です。 必ずは成は条を二立ください。 例画学の記念が記述があると相違している場合は、置らに代理な・復者・仲立人または当社にごは 例画学の記念がお呼込内容と相違している場合は、置らに代理な・復者・仲立人または当社にごは

(ご注意) お客さまのお名前・ご住所、事名等の表記につきまして、接ば上の別的により定義を表示がで

はください。	m	0120-395-024
tない場合。 なくがおい。		

国事故のご連絡先

近身養男 F O 5 6 O 4 1 4 8 O 保険期間 令和 4年 9月 1日 午後 4時から 保険援援 タフビズ事業用自動車総合 0 O O 1 2 令和 5年 9月 1日 午後 4時まで 1年間 (一般総合自動車保険)	保険
記名が民族者 記名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。	ただいております。
*性: **深険契約者住所に同じ 所: **本 名: N-WGN	
*氏: 保険契約者に同じ *区: 法人	所有相信使 ** 本改造車・ ・リース 型式不明本等
**是地平街: 白家用疑四輪乘用車	※大御支管官はKプレーキ: 無
迎転者年令条件等 JH2-1024127	"使用 自的
で初度登録: 平成27年 3月 車後消了日 源転者限定: 限定なし 財本クラス: 車両 1 対人・自接 1 対物 1 偏割 付属 模様 装置: *** で車両登録法・保管場所: ** *** ・本 未 条件 対象外 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	新 1 **福祉率再:
章 第 章 年 今 2 0 才以下 2 1 ~ 2 5 才 2 6 才以上 別引・割 増等 割引・割 増等 しいての内容でご 契約いただいて	準公有:
フリート 便良割引 70% 全車両一括特約 フリート多数割引5%	
「O」補償されます 「×」補償されません	
その他のこ契約に関する事項	

医养特配事項	 	 	
	 	 <u> </u>	
	•		

ENER RAH61 **IEM 08** 8465 F432

17类基县:	E 0 5 6 0 4 1	480	_	0012		**************************************	号:函館 5:	80 7	8865						;	PEND-FORD.SF STUDBUTESEL.
・目的セクト行列は別位をに表示されませんがで、これののしろり(普通は決ち化・行わ)にて、これの実行との他がのクス、行わり方式をこれぬください。																
補償内容	(保険金額等	物質と	1客、	保険金額、	払込方法·保	険料等は	、以下の内容で	ご契約いた	たいており	tt.	•					
保険種	類 タフピズ	F 業用自	動車	総合保険			運転名	断股定	定なし		,		運転者年年	条件 対象	外	
		補	黄の	類要				*	本の補償					特約		
相手への贈り機	対人賠償		養	賠償責任を	海させ、法 負担する場		無制限					分安行 対物思	対人庭時費用特約 対歩行省等傷害特約 対制超過等理費用特約 不正アクセス・車両の欠陥等による事故の被害者			
20 € C	対物賠償	法律。	ĻΦ		物を損壊さ 任を負担す		無制限		(免責金	:額なし)			₹用特約 ₹失等による	事故の被害 、	者救济費用	特約
おケガの 補 貸	(# Wy min		j. 1		中などの事 た場合の補		1名につき 5,00万円 無保険車との事故によりケガをして、死亡した場合または 後連算者が生じた場合 1名につき 2億円						- 時金特約 : 傷害(死亡	・後遺障害) 特約	
	傷害一時金	事故が中のス	こよ	り、ご契約	払対象とな のお率に搭 を被り入院 補償です。	*	治療日数5日 治療日数5日	日末漢の場合 日以上の場合	全 1万円 マカル							
	搭乘者僅寄	より、 が死で	こし	契約のお草	中の事故に に搭乗中の たは後遺淳 僕です。		1名につき	_	5 (0万円						:
お車の機				お車が事故 場合の補償	によって損 です。	* O	ご契約タイプ 単阿保険金数 免責金額なし	Œ.	食補償 8 8	· 万円		全損時	持路費用符約	`		0
	車両保険				,	.										}
		①様手印刷 の衝突・温波 手見計車が できる項合)	損	Фата и	①二見的のお本 の所有者が所有 する例の自治率 との衝突・推准	⑥火坝-雄	鬼の盗魔	() 展長(じょう) 等に伴う 単力行為また は被項行為	の 台 風 電機・洪水 高潮	・ ① 落 音 いたずら あガラス破り	①景采中間 たは落下中 の色物との 衝突	・ 砂モの他偶然 な事性(①~ ・ ①および①~ ・ ①を除く)	① 参 行 者・ 實販車・助物 との衝突・後肢	砂 電 柱・ガードレール 等との衝突	⊕整落∙较度	⑩ 地 賞 ・ 環火 - 津証
		0	ŀ	0	0	0	0	0	0			, ⁵ O	0	0	0	×
サーヒス ・ 持 約	ロードアシス:		0	ご利用いた	だけます				u-rt	ービス費用	〇紀章	サービス費 債対象外特	用物約 約	,		
	法人他事選 初回保険料				自動車事故!	型) 特約	保険料大口	分割払特約			! /	··				
その他の 特 約 莽																
	合計保険料				39. 2	40 E			払	込方法		(口座返餐 料口座返餐) 12回払			
	分割払 払込保険料	İ							<u> </u>		- BUCHARIO					$\overline{\wedge}$
払込方法 ・保険料	2020 PRINT		••·		21011		·			<u>-</u>			 			,
									e G	Rのまたりセンドカー は月本のを見たする日のた	契約の背無 	(委号	• 2	去1年間の8	解除の有無	
									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	* ● 25 6 * (3 — 2) 拾期日		()	海路日(県	n-編88)		

043-0032 北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2 あいおいニッセ
に神動
現憲保険株式会社 住 取締役社長 社会福祉法人 江差町社会福祉協議会会長 片石 明廣 様 氏 名 面ご契約内容に関するお問合わせ先 北海道支店 函館支社 (RAH-61) Ta 0138-26-2200 あいおいニッセイ **国和損害保険** յրիայիկիսիսիկիկինիներինիկինիրինինիսինինիրինի 代現取:但要/仲立人 有限会社 キムラ保険事務所 (A844) Te 013 555 0003 555 0003 TE 0138-49-1277 202208231 5189 (RAH61-A844) 0001833# 555 0003 置ご契約内容変更のご連絡先 契约日 上記表示の代理店・協会/仲立人をたばあいおいニッセイ制和推議をでご連絡ください。 复纸套身 0139-52-2441 国家故のご連絡先 フリート契約者専用事故受付ダイヤル これに保険起手に付置して抱いられる明確賞です。 必ず保険記録をこれてださい。 明治度の記載内容がお中込内容と他達している場合は、匿ちに代理店・提供/弁主人本たは当社にご建築ください。 TE 0120-395-024 (ご社業) お客さまのお名前・ご住所、本名等の景配につきまして、機能上の傾的により正確な表示ができない場合。 表示可能を選手またはカタカナ、もしくは例の表示力法で表示していることがありますので、何年こ了まください。 保険援頭 タフビズ事業用自動車総合保険 欧州番号 F O 5 6 O 4 1 4 8 0 保険期間 令和 4 年 9月 1日 午後 4 時から 令和 5 年 9月 1日 午後 4 時まで 1年間 (一般総合自動車保険) こ 契約の お車 お草の情報等は、以下の内容でご契約いただいております。 民政者 記名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。 記名 **重要表 函数 580 乙 4915 " レンクカー ー 住 採験契約者住所に同じ * & N-WGN 所 所有推留版 有 自改建率・ ・リース 有 型式不明率等 保険契約者に同じ **紧 法人** st JH2 - 20 "用biffit" 自家用程四輪乗用率 JH2-1017856 "售角 運転者年令条件等 物度登録: 平成26年10月 草棟消了日: 令和 5年10月28日 料率クラス: 草両 1 対人・自損 1 対物 1 傷害 1 **福祉車両: 限定なし 漢記者謀定 付属提拔被置: 『本真面登録地・保管場所: "先进環境対策享区分: 『草 再 所 有 者 : 保険契約者に同じ 항술성 年 专 20才以下 21~25才 26才以上 割引・割増等 割引・割損等は以下の内容でご契約いただいております。 发布率 便良割引 70% 全車两一括符約 フリート多数割引5% 【O】補償されます 「×」補償されません その他のこ契約に関する事項

UNAR RAH61 SLES 08 BROS F432

証券特記事項

**故實本 一

公有:

準公有:

***** CK 田 00001676 報約 F050728310 -00006

	4544	400 0			Transit	F - THA - F -								 -1	作用用ラードのため、会学 (全で見るなで見れなん。				
	056041 は、植牧内名の収集 可給全面は支払関係 的は明初署に表示さ			tenis x		号:函館 5			メルリますので、 Manager	注意ください。									
福伊 内安(施國前度景 保険金額等	おませんので、 新聞内容。	CighのUST 、保険会額、)(審溫保護)(成 払込方法・保	・作的にで 除料等は、	以下の内容で	減かめのうえ、 ご契約いた	様的の有責を といておりま	確認ください。 す。						121/3023				
	タフピズ					T I	. 1.	定なし				運転者年旬	· 条件 対象	外					
	<u> </u>	補償の	0概要		1		**	本の補償				<u> </u>	特約						
相手への発情で	対人賠償		疫債責任を	傷させ、法 負担する場		無制限	対人臨時費用特約 対歩行者等傷害特約 対物超過修理費用特約 不正アクセス・車両の欠略等によ							による事故	なの被害者				
nn G-C	対物賠償		损害赔赁責	物を損壊さ 任を負担す		無制限	救済費用特約 心神喪失等による事故の被害者救済費! (免責会額なし)												
おケガの横横横	人身傷害			中などの事 た場合の補		1名につき 無保険率との 後遺跡書が5				た場合またに 2億円	搭乘者	- 時金特約 香傷書(死亡	・後遺障害) 特約					
	三町 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一					治療日数5日 治療日数5日	後項序書が生むた場合 1万円 治療日数5日未満の場合 1万円 治療日数5日以上の場合 ケガに応じた金額 (10万円、30万円、50万円、100万円)								,				
						1名につき		50	0万円	•									
お単の情(食	準両保険		お率が事故 場合の補償	によって損 です。	0	ご契約タイプ 車両保険金額 免責金額なし	X	Q補償 7.52	万円		全損以	詩諸賽用特約)		$\hat{}$				
		①関手自動車と の例表・強勢(担 手自動車が確認 できる場合)	l *	びご契約のお本 の所有者が所有 する別の負別車 との間表・接及	●火火排料	()XE	●職機(じょう)等に伴う 暴力行為また は破壊行為	① 台 風 電琴·洪水 高潮	(i) 落 音 いたずら 窓がラス破損	②飛来中ま たは落下中 の他権との 研奏	例その放演器 な事故(①~ 例および⑥~ 優を除く)	① 歩 行 者・ 自転車・助物 との衝突・接触	① 電 柱 ガードレール 等との研究	心皇帝·松西	砂 地 賞・ 積火・洋波				
		0	0	0	0	0	0	Q	0	0	0	0	0	0	×				
サーヒス [・ 持 約	コードアシスタ		ご利用いた	だけます				ロードサー	-ビス費用	〇代事権	サービス質 資対象外符	用特約 約							
	法人他事選问			自動車事故	划) 特約	保険料大口分	分割払特約	<u>'</u>		<u>' . l</u>	·			-	· 				
その他の特 約 等	Parent Strategy 1		 -					; ; ; ; ;		,									
					····					1 denoted	/m w/F4	V 105#		<u>.</u>					
	合計保険料			38. 7	60 FI			払	込 方 法		(口度返到 村口度返到) 12回払							
払込方法																			
•保険料 -											-								
								* E	*他の保険 Inscress >> パー Instructions	契約の有無 調! ・証券	[2	• ½	去1年間の	除の有無					
							,	ŝ	始期日 3等級グウン率	槸	[99	MEG	的·用除日)						



In 0138-49-1277

043-0032

北海道 檜山郡 江差町 新栄町 264-2 住

社会福祉法人 江差町社会福祉協議会 会長 片石 明廣 様

[լիոլիկ[լիոլիոլիոլ[լիկ][իկիկիկիկիկութերդիալուկուկոլիկիկ

202208231 5189 (RAH61-A844)

0001835#

翠岭 6

屋ご契約内容変更のご連絡先

上記表示の代理店・扱者/仲立人またはあいおいニッセイ同和損保までご連絡ください。

有限会社 キムラ保険事務所 (A844) Int 013

5.4 F 0003

保険種類・タフピズ事業用自動車総合保険

(RAH-61) Ta 0138-26-2200

あいおいニッセ の対象 新

北海道支店 函館支社

東京 ■ご契約内容に関するお問合わせ先 あいおいニッセイ 北海道支店 B

常医接号 0139-52-2441

これは使物は水に付果して用いられる動態者です。 水下収は水子と口にください。 物態者の記む内容と中国内容と仲違している場合は、誰ちに代理は・食者/ 仲立人士たは当社にご連絡ください。

国事故のご連絡先 フリート契約者専用事故受付ダイヤル TR 0120-395-024

取締役社長

採集 0003

度発養号 F O 5 6 O 4 1 4 8 O 保険期間 令和 4 年 9月 1日 午後 4時から ○ O O O 8 令和 5 年 9月 1日 午後 4時まで 4時まで **『吟書 配名被保険者等は、以下の内容でご契約いただいております。** ・保険契約者住所に同じ 住 氏名 保険契約者に同じ **悠** 法人

迎転者年令条件等

展定なし 连転者限定!

対象外

|21~25才|26才以上 年 专 20才以下 「〇」補償されます 「×」補償されません

その	他のこ	契約に	関する	事項

6年 お草の情報等は、以下の	内容でご契約いただいております。
館 580 ち 4971	** レンタカー! 一 ** 教育率 一
ント	
60 4WD X	所有核理保 きび達取・・・・リー ス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
A610S	
家用裝四輪乗用車	※大道気装賞打足ブレーキ 無
A610S-0068853	一使 用 目 的
・ 平成27年12日	★★海ブロ・全新 名年 0日20日

料率クラス: 亨西 1 対人・自損 1 対後 1 傷害 1 ○*祖祉享高; 付属模械被徵:

○*車両登録地・保管場所:

1年間 こ契約の

4. 9

¥ 6 式, L Z "用这车班" 白 本台書号

『草 両 所 宥 者: 保険契約者に同じ

*先送環境対策 車 区 分 :

公有: 苯公有:

割引・割増等 割引・割増等は以下の内容でご契約いただいております。 便良割引 70% 全草两一括特約 フリート多数割引5%

証券特記事	FIJ.							·	
ガルコード エレ	2/189 1	用地名社	14	RMBN	RAH61 1	ин <u>08</u>	B M64	F432	RMR# CK

を見るつードのため、た それではませてきません

	F056041						香号:函館 5											
・この明報を	では、「検性内容の転列 の保険金額は支払課用 「動きの開催者に選択さ	を収明し ほとなっ れをせん	ており	ます。(八一様) ます。保険会 こ数的のしお	まされます。×・・ 以、交流会論、イ リ、を流体験的を	・構集され との独立を は・特的)	ません)。行的等に。 内内容の打細につき にて、ご契約条件を	とり妖仗的関が別 としては、ころが B破かめのうえ、	定される場合 9のしおり(答) 行的の有無を	がありますのでご 理像域的数・科的 ご確認ください。	きを行うだっ	u.				金数		
補償内容	(保険金額等	補償	内容、	保険金額、	払込方法·保	険料等	は、以下の内容で	ご契約いたが	だいておりま	† .								
保険額	類 タフピズ	以 業用 6	直動車	移合保険			運転:	者限定 网	定なし			-	運転者年令	条件 対象	外			
		1	南償の)類要				基	本の補償					特約				
相手への賠債	対人賠債	上の		賠償責任を	関させ、法 負担する場		無制限					対歩行 対物を 不正ア		粉	ぎによる事故	の被害者		
200	対物賠償	法律	上の		物を損壊さ 『任を負担す		無影限		(免責金	顔なし)			₹用特約 ₹失等による 	事故の被害	F者救济費用	特約		
補 賞	人身傷害		IJ,		中などの事 た場合の補		1名につき 5.000万円 無保険車との事故によりケガをして、死亡した場合または 後遠疎書が生じた場合 1名につき 2億円						傷害一時金特約 括乘者傷害 (死亡・後遠障害) 特約					
	復實一時金	事故中の	によ 方な	り、ご契約	払対象とな のお車に搭 を被り入院 対値度です。	乗	治療日数5	日未満の場合 日以上の場合 万円、307	合 ケガに)万円)							
おケガの 情 人身傷領		より が死	、 ご 亡し	契約のお草	中の事故に Eに搭乗中の たは後遺障 関です。	カー	1名につき		50	0万円		·	•					
	車両保険		ご契約のお車が事故によって損害 を被った場合の補債です。 、				ご契約タイプ : 一般補償 車両保険金額 免責金額なし						諸美用特莉			0		
		①担手自 の衝突・対 予自動車 できる場合	登事と 別(相 が刑は が刑は	倒断で選げ	①ご契約のお車 の所来をが所有 する別の自動車 との衝突・接触	1	ur Gan	① 築 授 (じょ う) 等に 伴う 多力行為また は被壊行為	⑦ 台 風 電學·洪水 高潮	③ 落 書・ いたずら・ 窓ガラス破損	① 飛来中または落下中の他 名との	徳その他保護 な事故(①~ ⑨および①~ ®を除く)	① 歩 行 者・ 自転車・動物 との衝失・接触	② 電 柱・ガードレール 等との衝突	@墨塔·右腹	迎 地 震 · 噴火 · 洋波		
1		С		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×		
	ロードアシス:		0	ご利用いた	たけます				ロードサ	-ビス費用	〇円一ド	サービス費 慎対象外特	用特約約					
	法人他幸運 初回保険料				自動車事故	型)特	的 保険料大口	分割払特約										
その他の特 行 等									*				-					
	合計保険料	Ī								込 方 法		(口座振賛						
	分割払				39, 2	40	<u> </u>		+		初以珠灰	料口座振音				$\overline{}$		
払达方法 ・保 阪 科	払込保険料 3,270円									· .								
		<u> </u>			<u> </u>	<u>-</u>				■他の保険	契約の有無		-4	去1年間の	解除の省無			
	<u> </u>								*# 63 10	HOSCETALYA- SAREMETARIA BUSH ID-17	● ● 証券	造 号 ()						
									3	柏斯段	<u> </u>	100	A RUBER	約·解除日)		•		
4									37 11	3等級ダウン事業	<u> </u>	1**		I				

旅 名 の

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称は社会福祉法人江差町社会福祉協議会

番号	氏	·	住 所	16580		j.	置送を	必要と	する理!	±		Mt atc
	, K	名	1± 19T	入会年月日	イ	п	^	=	ホ	^	۲	備考
1				R4.11.21				0	,			
2				R4.11.22				0				
3			報保	R3.12.21				0				
4			護 の	R4.5.13				0				
5			個人情報保護のため住所を表示しない。	R3.8.16				0				
6			任 所 大	H30.5.10				0				_
7			を 表 二	R4.7.19				0				
8			い し な	H31.2.5				0				
9				R4.4.2				0			,	
10				H1.7,11				0				
11				H29.8.25				0			,	
12				R3.12.7				0				
13				R4.6.9				0				
14				R4.5.23				0				
15				R4.1.17							0	
16				H30.1.23				0				ŕ
17		j		R4.7.20				0				
18			•	R2.5.22				0				
19		ļ		R4.6.13	0							
20	电/ 计[接速:	ļ		R4.8.26				0				

- 身体障害者
- 精神障害者
- /١ 知的障害者
- 要介護認定者
- 要支援認定者 木
- 基本チェックリスト該当者 その他(肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)

旅

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称 社会福祉法人江差町社会福祉協議会

番号	ı r		/4- ===	住 所 入会			運送を必要とする理由								
	出	名	住 所		入会年月日	1	п	/\	=	ホ	^	۲	備考		
21			個	Ī	H30.8.7				0						
22			人	I I	R4.10.12				0			-			
23			報保		R2.3.25	0									
24			個人情報保護のため住所を表示しない。	<u> </u>	R3,5.15							0			
25			ため		R3.8.2	0									
26			性所		H21.2.3				0		,				
27			表示	Ę	R3.3.25				0			-			
28			いした	[[R4.9.27				Ó			٠			
29			ິເຈີ	į L	R4.4.27				0						
30			[[-]] }	R4.12.21				0						
31			 	į	R4.12.22	,			0						
32]]	 	R4,10,26				0						
33				į	R4.3.4				0						
34				. [R1.11.26			į	0						
35			j	Ĺ	H25.9.26				0						
36]] [R4.5.12				0						
37			人情報保護のため住所を表示しない。	Ĺ	R4.10.11		0			•					
38			! !	[[—	H22.1.11				Ó	•					
39			į	į_	R4.11.29		-		0						
40	惠./大顺 等		! !========	,_,_i	R4.8.29	0									

- 要介護認定者
- 要支援認定者
- 基本チェックリスト該当者 その他(肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)

旅 の名

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称社会福祉法人江差町社会福祉協議会

番号	番号 氏 名	/a	7 4 5 5 5		ĭ	運送を	必要と	する理	——— 曲		備考	
	氏	名	住 所	入会年月日	1		^	=	ホ	^	۲	備考
41				H28,11,1	0							
42			Ĺ 人 慢	H29.8.2	0							
43			報 保	R4.11.8				0				
44			個人情報保護のため住所を表示しない。	R4.10.12	·						0	
45			ため	R4.10.19				0				
46		j	任 所 元	R3.9.10				0				
47			を表示	R4.10.24				0				
48			かした	H31,1.11	_			0				-
49		1	េ	R2,7,27	0							
50				R1,5,23							0	
51			•	H31.4.8				0				
52				R4,11.14				0		·		
53				R3.10.15				0				
54				R4.1.27				0				
55				R3.12.3				0			Ĭ	
56				R2.3.12				0				
57				R4.10.26				0				
58			·	R3.2.15				0				
59				R4.8.3				0		·		
60				R4.12.4				0				

- 身体障害者 1

- 要介護認定者
- 朩 要支援認定者
- 基本チェックリスト該当者 その他(肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)

簿 旅

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称
社会福祉法人江差町社会福祉協議会

				,		•		•					
番号	er.	名	住所	入会年月日	運送を必要とする理由								
	氏	扫	1生 初	八五千万日	1		ハ	=	ホ	^	۲	備考	
61			(因	R3.8.16	0	`							
62			人格!	R1.8.15				0			٠.		
63			報保	R2.11.5				0					
64			護の	R4.7.13				0					
65			■┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃	R4.7.21				0	3				
66			住所	R3.10.29				0					
67			を 表	R1.7.16							0	-	
68			示した	R3.9.16				0	· · ·	-			
69			は い I	R4.7.26	0		···						
70				R4.3.2	Q		,						
71			1	H29.4.10				0			,		
72				R4.3.29				0					
73				H27.5.19				0		·			
74				H31.4.25				0					
75				R4.1.14	-		-				0		
76				R4.3.31				0					
77				R4.3.31	-	_		0					
78			j. 1 1	R1.7.10	0								
79				R4.11.21	· ·			0					
80			; j [R3.3.2				0		-			

- 身体障害者 精神障害者 知的障害者
- 要介護認定者
- 木 要支援認定者
- 基本チェックリスト該当者 その他(肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)

身体状況等、態様ごとの会員数

自家用有償旅客運送者の名称 社会福祉法人 江差町社会福祉協議会

	身体障	害者		人		数		要	介護語	忍定	者		人		数
		6	級		0				要	介	護	1]	14	
		5	級		0				要	介	護	2		17	
		4	級		4				要	介	護	3		16	
		3	級		2				要	介	護	4	: :	8	
		2	級	0					要	介	護	5		7	
	1 級				5		合計							62	
								要	支援語	忍定	者	·	人		数
合計	今 計				1 1		\ \		要	支	援	1		0	
精神障害	精神障害者			人		数			要	支	援	2		0	
		3	級		0		合計							0	
		2	級	•	1		基本チ	·	w A I	17	ト誌	자 ^숙	人		数
		1	級	-	0		を作り	_ـــ	<i>y</i> 2 .		I RX	3 4		0	
							合計					-		0	·
合計					1		その	也の)障害	を有	व व	5者	人		数
知的障害	害者		į	人		数			肢(本 7	「自	由		0	
		軽	度	·		(内	部	障	害		6	:
		中	度			(知的障害	(認)	定者を	除く)		0	
		重	度			([精神障害	(認)	を者を	除く)		0	
									そ	Ø.) 1	也		0	
	合	計			0				合	計				6	
総合計	計 信念											 	{	30	



函運輸第508号

自家用有償旅客運送者登録証

道路運送法第79条の3の規定に基づき、下記のとおり自家用有償旅客運送者として登録を行ったことを証する。

記

- 1.登録番号 北函福第10号
- 2. 登録の有効期間令和2年3月1日 から令和5年2月28日 まで・
- 3. 名称及び住所 社会福祉法人江差町社会福祉協議会 檜山郡江差町字新栄町264番地の2
- 4. 自家用有償旅客運送の種別 福祉有償運送
- 5. 運送の区域 檜山郡江差町

令和2年2月17日 北海道運輸局函館運輸支局長 田中 勝利輸局函館 運輸支局長

. .

【申請様式第1号】

自家用有償旅客運送

□ 登録申請書

■ 更新登録申請書

												r -				
	函館	運輸	支局長		殿					申請年	月日	_	023年	月		日
		ᇎ	₹	041		085	3					フリカナ		ラ	マユ	3
	住	所	函館市中	卢道二	丁目5	1番1号						担当者氏名		良	真由	美
申	フリナ	ブナ	イリョウホウシ	・シト・ウナ	ンキンロウ	シャイリ	コウキョウ	かく				担当者				
清者等	名	称	医療法人	首南	勤労者	医榕	協会					所属		ДТ	ーション 	バタしいつこ
等	フリカ			•			<i></i>					TEL/FA	X 0139-52-	5066,	∕ 0139	-52-611
				チョウ ササキ サトル								E-mail	+			
	代表	百名	理事長	佐々ス	下倍							アトレス	yuikko	@h	<u>otwet</u>	b.or.jp
登録年月	月日	比18年:	2月 27日	登録	番号	北爾	福第	11	号	種別	口交	通空白地	有償運送■	福	补有	償運送
					登	釤		\$	項	等						
			5 4+ P					_		•	T - ^ _		Lif.	T		
		*	系統名		起点	ひ込み	終点の	ソ地名	亚ひ	に地番	及ひ3	とな経過	地		キロ	⊒程 ゛
		路		起点										Γ		kn
路	線				終点(
又	は	<u></u> _		起点	主な経過地)											kn
	送の	線			<u>には、</u> 終点:											
区	域				経過地)								1		
] 別紙1	のとお	かとおり											
		運送	の区域	檜山和	郭江差	町										
								ĺ	1					 -		
事利	务所	名称	ヘルパ・	ーステ	ーショ	ンゆし	いっこ	位置	İ	ŧ	會山郡	江差町:	字中歌町	99-	-6	
		l 所有	寝台	車	車い	す車	兼	再	回	転 車イー	セダ	ン等し	バス		合	計
l		区分		•						•		-				
事務所			- (里	(軽)) (軽) 1		圣)	(軽)	(9	圣)		(軽) 1		
	る自家 旅客運	所有	·		<u>-</u>		,		<u> </u>	 ,	,	4 \		<u> </u>		
送自動	車の数			<u>* </u>	(<u>)</u>	(ر *	(<u>)</u> *	(1)	<u> </u> *	₽	1) *
	の種別 の数	持込		()										<u> </u>	<u> </u>	
	V) 3 00		<u> </u>		()etar	- cts #4		()	787 ##	<u>기()</u> 무슨환경	1()	<u> </u>	 欄に記入す [。]	7 - 1	<u> </u>	()
			別紙2の								-10	Clack	第1~80人 9~	<u>a c</u>	- 0	
			運送の科		(=)+1/2	ינאולונ	2 2 10	<u> 0,,</u>	旅		Ø.	範 囲				
					1											
		交通空	白地有值	[運送	口地地	或住民	又は割	光旅	きその	他の当	該地域	を来訪す	る者			
	*				■身体	本障害	者福祉	法第4	条に	規定する	5身体	障害者				
運送しよ	うとする	<u></u> .		<u>.</u>									に規定する		,	
旅客0	り範囲	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	业有償運:	达									こ規定する 受けている		輝害	者
		(■:	複数垂重を	- 行う)									受けている			
			現光客を含												かる	 基準に
		(□ 観光客を含む) □ 介護保険施行規則第140条の62の4第2号の厚生労働大臣が (□ 来訪者を含む) 該当する者(基本チェックリスト該当者) ■ その他肢体不自由、内部障害、知的障害、精神障害その他の								•						
		A 244 Im		- 424							障害、	精神障害	手その他の	障害	<u>を有</u>	<u>する者</u>
路線又は			険事業及								险.满心	空(a R空n	中含む)等で	7		
域ごとの	対価の額	車いす	を利用す	るもの	こへで :片道1,	000円	シリレグ	× - - यम ब	" (עם י ניג	八八匹	いた。 対研究	ルハハボ	U/7F!	-		
		名称						住所			-					
事業者協		12 TV						エが								
│ 用有償別 ・	(各連送	名称	,					住所								
L		Щ1														



添付書類

1. 定款又は寄付行為及び登記事項証明書並びに役員名簿(市町村が運送主体である場合を除く。)	
(1)定款又は寄附行為	
(2)登記事項証明書	
(3)役員名簿(登記事項証明書により確認できる場合は不要)	
2. 路線図(交通空白地有償運送において路線を定めて行う場合)	
3. 欠格事由に該当しない旨を証する書類(市町村が運送主体である場合を除く。) (様式第1号)	•
4. 地域公共交通会議等において協議が調っていることを証する書類(様式第2号)	
ただし、「地域公共交通計画」を策定済みで当該計画に自家用有償旅客運送の実施主体、路線・区域、輸送対象が記載されて 場合は以下の書類	いる
(1)地域公共交通計画の写し	
(2)地域公共交通会議等において協議が調っていることを証する書類(様式第2号)	
5. 自家用有償旅客運送自動車についての使用権原を証する書類	
(1) 自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧 (参考様式第イ号)	
(2)自己保有・・・自動車検査証、登録後に購入する場合にあっては車両購入契約書又は見積書の写し	
(3)リース車両・・・自動車検査証及びリース契約書又は見積書の写し	
(4)持込車両・・・自動車検査証及び車両使用に係る契約書又は使用承諾書の写し	
6. 運転者等が必要な要件を備えていることを証する書類	
(1)運転者の一覧 兼 運転者就任承諾書(様式第3号)	
(2)運転免許証の写し(事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
(3)運転者の過去2年間に係る運転記録証明書(第二種運転免許保有者、事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
(4)事業者協力型自家用有償旅客運送にあっては、宣誓書(様式第4号)	
(5)運転者が第一種運転免許保有者の場合は次の書類(事業者協力型自家用有償旅客運送を除く。)	
① 交通空白地有償運送	
イ)交通空白地有償運送運転者講習修了証の写し	
口)(一社)日本自動車運行管理協会 自家用自動車運転士専門校の運転サービス士科を修了したことを証するものの写し等	
② 福祉有償運送	
イ)福祉有償運送運転者講習修了証の写し	
口)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	-
(6)福祉有償運送において、福祉自動車以外の自動車を使用して運送を行う場合は次の書類	
① 運転者のみで運送を行う場合	
イ)介護福祉士の登録を受けていることを証するものの写し等	
ロ)セダン等運転者講習修了証の写し	
ハ)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	_
二)介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居	-
宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示	
第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者	
② 運転者以外の乗務員が同乗して運送を行う場合は、当該乗務員に係る次の書類	
イ)乗務員名簿 兼 乗務員就任承諾書(様式第5号)	
ロ)介護福祉士の登録を受けていることを証するものの写し等	Ī
ハ)セダン等運転者講習修了証の写し	
二)(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了したことを証するものの写し等	
ホ)介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居	-
宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示	
第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者	

7. 運行管理の体制等を記載した書類	
(1)運行管理の責任者の就任承諾書(様式第6号)	
(2)運行管理の体制等を記載した書類(様式第7号)	_
(3)乗車定員11人以上の自家用有償旅客運送自動車にあっては1両、又は乗車定員10人以下の自家用有償旅客運送	
自動車5両以上の運行を管理する事務所における運行管理の責任者にあっては、次の①~⑤いずれかの書類	
① 道路運送法第23条第1項に規定する運行管理者の資格を有している者	
イ)旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
ロ)一般乗合旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
ハ) 一般乗用旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
二) 特定旅客自動車運送事業運行管理者資格者証の写し	
② 旅客自動車運送事業運輸規則第48条の12に規定する運行管理者の受験資格を有する者	
イ)事業用自動車の運行管理に関する1年以上の実務経験を証する書面(様式第8号)	
ロ)独立行政法人自動車事故対策機構が行う運行管理者基礎講習を修了したことを証するものの写し等	
③ 道路交通法施行規則第9条の9第1項に規定する安全運転管理者の要件を備える者であって、	
申請者の安全運転管理者として選任されている者	
安全運転管理者証の写し	
④ 道路交通法施行規則第9条の9第1項に規定する安全運転管理者の要件を備える者	
イ)20歳以上であることを証する書面	
住民票の写し、運転免許証の写し等	
ロ)2年以上の運転管理の実務経験を有することを証する書面	
a)実務経験が2年以上の場合にあっては、運転管理業務経歴証明書(様式第9号)	
b)実務経験が1年以上2年未満の場合にあっては、a)の書面に加え、運転管理に関する公安委員会の教習を修了	
していることを証する書面	
c)上記a)、b)に該当しない場合にあっては、自動車の運転の管理に関し公安委員会の認定を受けていることを証する書面	
ハ)過去2年間に係る運転記録証明書	
二)宣誓書(様式第10号)	
⑤ 旅客自動車運送事業運輸規則第47条の9第3項、第48条の4第1項、第48条の5第1項及び第48条の12第2項の	
運行の管理に関する講習の種類等を定める告示に規定する一般講習を修了した者	
イ) 1年以上の運転管理の実務経験を有することを証する書面(様式第9号)	
ロ)一般講習を修了した証明書	
8. 旅客その他の者の生命、身体又は財産の損害を賠償するための措置を講じていることを証する書類(市町村が運送主体	
である場合を除く。)	
(1)保険(共済)加入証書の写し	
(2)保険(共済)契約申込書の写し	
(3)保険(共済)契約見積書の写し	
(4)宣誓書(様式第11号)	
(5)事業者協力型自家用有償旅客運送にあっては、宣誓書(様式第12号)	
9. 福祉有償運送にあっては、運送しようとする旅客の名簿(市町村が運送主体である場合を除く。)	
(1)旅客の名簿(参考様式第八号)	Ì∎
(2)身体状況等、態様ごとの会員数(参考様式第ハ号)	
10. 登録証の原本(更新登録申請の場合に限る。)	

医療法人 道南勤労者医療協会定款

1980年4月26日制定 1992年5月24日改訂 2005年5月15日改訂 1980年10月25日改訂 1993 年 5 月 30 日改訂 2006年5月21日改訂 1981年5月30日改訂 1994年5月22日改訂 2007年5月20日改訂 1982年2月27日改訂 1995年5月21日改訂 2010年5月23日改訂 1985年5月26日改訂 1997年5月18日改訂 2012年5月20日改訂 1986年5月25日改訂 1998年5月17日改訂 2013年5月19日改訂 1986年10月22日改訂 1999年6月 4日改訂 2015年5月17日改訂 1988年5月29日改訂 2002年5月19日改訂 1990年5月30日改訂 2004年5月16日改訂

第1章 名称及び事務所

(名 称)

第1条 本社団は医療法人道南勤労者医療協会と称する。 (事務所)

第2条 本社団は事務所を北海道函館市中道2丁目51番1号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本社団は道南地域において医療機関を経営し、科学的でかつ適正な医療を普及するとともに、患者の立場にたって、親切でよい医療を行い、地域医療の向上をはかることを目的とする。

(事 業)

- 第4条 本社団は前条の目的達成のために次の事業を行う。
 - 1. 医療施設の開設
 - 地域住民の保健予防対策 集団検診、健康調査の実施
 - 3. 保健医療知識の普及啓蒙に関する事業
 - 4. その他目的達成に必要な事業

(医療施設)

第5条 本社団が目的達成のために開設する診療所の名称ならびに開設場所は次の通りと する。

道南勤医協 函館稜北病院 北海道函館 道南勤医協 江差診療所 北海道桧山和

道南勤医協 八雲ユーラップ医院

道南勤医協 稜北クリニック

北海道函館市中道2丁目51番1号 北海道桧山郡江差町字中歌町199番6号

北海道二海郡八雲町末広町 161番 北海道函館市中道2丁目 51番1号

2. 前条に掲げる医療施設開設のほか、次の業務を行う。 訪問看護ステーション稜北の経営 指定居宅介護支援事業所ゆいっこの経営 ヘルパーステーションゆいっこの経営

第3章 社 員

(入 社)

第6条 本社団の目的に賛同し、その目的達成のために積極的に参画しようとする者は、理 事会の承認を受けて本社団の社員となることができる。

(出資義務)

- 第7条 社員は入社にあたって所定の様式にしたがって出資10口以上を本社団に払い 込まなければならない。
 - 2. 但し、出資口数に応じて議決権について差違をつけることはできない。

(出資額)

- 第8条 1. 出資1口の金額を1千円とする。
 - 2. 社員はその出資口数を増加することができる。
 - 3. 社員はやむをえない理由あるときは、理事会の承認を経て出資口数を減少することができる。

但し、減少しようとする出資口数について予告しなければならない。

(資格喪失)

- 第9条 社員はつぎにかかげる理由により資格を失う。
 - 1. 退 社
 - 2. 死 亡
 - 3. 除 名

(除 名)

第10条 社員であって社員たる義務を履行せず、本社団の定款に違反し、また品位を傷つける行為のあったものは、総会の決議を経て除名することができる。

(退 社)

第11条 前条に定める場合のほか、やむを得ない理由のあるときは、社員はその旨を理 事長に届け出て退社することができる。

(出資金払戻し)

第12条 退社した社員は、その出資金額について払い戻しを請求することができる。

第4章 資産及び会計

(資産)

第13条 本社団の資産のうち別紙目録に掲げる財産を基本財産とする。 基本財産は処分してはならない。ただし、特別の理由がある場合には、総会の議 決を経て処分することができる。

(管 理)

第14条 本社団の資産は、総会で定めた方法によって、理事長が管理する。

(現 金)

第 15 条 資金のうち、現金は日本郵政公社、確実な銀行又は信託会社に預け入れ、若しくは信託し、又は、国公債若しくは有価証券に換え保管するものとする。

(予 算)

第16条 本社団の毎会計年度予算は、総会の議決を経て定める。

(会計年度)

第17条 本社団の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(決 算)

- 第 18 条 本社団の決算については、毎会計年度終了後 5 月末までに事業報告書、財産目 録、貸借対照表及び損益計算書を作成し監事の監査を経たうえ、総会の承認を受 けなければならない。
 - 2. 本社団は、事業報告書、財産目録、貸借対照表及び損益計算書、監事の監査報告書及び本社団の定款を事務所に備えて置き、社員又は債権者から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。
 - 3. 本社団は、毎会計年度終了後3ヵ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対服表及び損益計算書、監事の監査報告書を北海道知事に届け出なければならない。

(剰余金)

第19条 決算の結果、剰余金を生じたときは、総会の議決を経て、その全部又は一部を 基本財産に繰り入れ又は積み立て金として積み立てるものとする。

第5章 役 員 等

(役員の数)

第20条 本社団につぎの役員をおく。

理事長 1名

専務理事 1名

理 事 20 名以上 30 名以内 (理事長及び専務理事も含む)

監 事 2名以上 4名以内

(任期)

第21条 役員の任期は2年とし再選をさまたげない。補欠選任された役員の任期は、前

任者の残存任期とする。

(任期満了後の責任)

第22条 役員は任期満了後といえども、後任者が就任するまではその職務を行うものと する。

(役員の選出)

第23条 理事及び監事は総会で社員のなかから選出する。

但し、理事には本社団が開設する医療施設の管理者をふくまなければならない。 第24条 理事は、理事会を構成し、理事長と専務理事を互選する。

顧問および参与をおくことができる。

顧問および参与は、理事会において推薦する。

(職 務)

第25条 理事長は本社団を代表し、業務を総括する。

専務理事は、理事長をたすけ業務を執行し、理事長に事故のあるとき又は理事 長の欠けたときは、理事長の職務を代行する。

理事は本社団の事業の執行にあたる。

- 2. 監事は、次の職務を行う。
 - (1) 本社団の業務を監査すること。
- (2) 本社団の財産の状況を監査すること。
- (3) 本社団の業務又は財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、 当該会計年度終了後5月末までに社員総会に提出すること。
- (4) 第1号又は第2号による監査の結果、本社団の業務又は財産に関し不正の行 為又は法令若しくはこの定款に違反する重大な事実があることを発見したとき は、これを北海道知事又は社員総会に報告すること。
- (5) 第4号の報告をするために必要あるときは、社員総会を招集すること。
- (6) 本社団の業務又は財産の状況について、理事に対して意見を述べること。
- 3. 監事は、本社団の理事又は職員(本社団の開設する病院、診療所の管理者、その他職員を含む)を兼ねてはならない。

第6章 会 議

(会議の種類)

第26条 会議は総会及び理事会、監事会の三つとする。

(総 会)

- 第27条 総会は通常総会と臨時総会の二種とする。
 - 通常総会は毎年1回5月に理事長が招集する。
 社員総会の議長は、社員総会において選任する。
 - 2. 理事長はつぎの場合は臨時に総会を招集する。
 - ①理事長が必要と認めたとき。
 - ②社員総数の5分の1以上の連名をもって会議の目的事項を示し、請求のあったとき。

その請求のあった日から20日以内にこれを招集しなければならない。 ③監事が監査結果を報告する必要を認め、請求したとき。

3. 総会の招集は少なくとも5日前までに会議の目的である事項、日時、および場所を附した書面で、理事長がこれを記名し、社員に通知しなければならない。総会では予め通知しない議案は審議することはできない。ただし、急を要する場合はこの限りではない。

(決議事項)

- 第28条 次の事項は総会において議決しなければならない。
 - 1. 定款の変更
 - 2. 基本財産の設定及び処分
 - 3. 毎事業年度の事業計画の設定及び変更
 - 4. 収支予算及び決算
 - 5. 剰余金又は損失の処理
 - 6. 借入金の最高限度額
 - 7. 社員の除名
 - 8. 本社団の解散
 - 9. 他の医療法人との合併、契約の締結
 - 10. その他重要な事項
 - 2) . 監事監査規定の改廃事項は、総会において承認を受けなければならない。

(決 議)

第29条 総会は社員の過半数の出席により成立する。 総会の議長は出席社員の中から選任する。

第30条 総会の議事は、別段の定めのあるもののほか出席した社員の議決権の過半数で 決し、可否同数のときは議長の決するところによる。ただし、定款の変更、社員の 除名及び解散の議決は、社員の3分の2以上が出席し、その3分の2以上の同意が あることが必要である。

(議決権)

第31条 社員は総会において各1個の議決権及び選挙権を有する。

第32条 社員はあらかじめ通知のあった事項についてのみ書面又は代理人をもって議決 権を行うことができる。

ただし代理人は社員でなければならない。

2. 代理人は代理権を証する書面を議長に差し出さなければならない。

(利害関係者の議決権)

第33条 会議の議決事項につき、特別の利害関係を有する者は当該事項につき、その議 決権を行うことができない。

(理事会)

- 第34条 理事会は随時必要なときに開催し、定款の他の条項で定めたものの外、次の事項を議決する。
 - 1. 総会に提出する議案

- 2. 経営管理者の任免
- 3. 役員の報酬、手当、従業員の俸給と手当
- 4. 諸規定の制定および変更
- 5. その他必要と認めた事項 理事会の議決事項にして簡易な案件であり、緊急実施を要する時は書面に より意見を徴し、理事会の決議にかえることができる。
- 第35条 理事会は過半数で成立し、議決は3分の2以上の同意を要する。 理事は他の理事に書面で議決権の行使を委任することができる。 理事の3分の1以上から連名をもって理事会の目的たる事項を示して請求あった 時には、理事長は理事会を招集しなければならない。
 - 2. 理事会の議長は理事長をもってあてる。

(常任理事会)

第36条 理事会は互選により常任理事若干名を選任することができる。 常任理事は、常任理事会を組織し日常業務の円滑な執行にあたる。 その執行事項は理事会に報告し、承認を受けなければならない。

(議事録)

第37条 総会、理事会の議事録はすみやかに作成し、議長および議長指名の出席者2名 以上が署名捺印する。

(監事会)

第38条 監事は監事会を構成し、別に定める監事監査規定に従い業務を行う。

(細 則)

第39条 この定款に規定してあるものの他、総会および理事会の議事についての細則は、 それぞれの会議の決議を経て別に定める。

第7章 定款の変更及び解散

(定款変更)

第40条 この定款は、総会の決議を経て、北海道知事の認可を得なければ変更すること ができない。

(解 散)

第41条 本社団の解散は、総会の決議を経て、北海道知事の認可を得なければならない。

(残余財産)

第42条 本社団解散の際における残余財産は、総会の決議を経て、北海道知事の認可を 得て処分する。

(清算人)

第43条 本社団が解散したときは、理事が清算人となる。 ただし、総会の議決によって社員の中からこれを選任することができる。

第8章 雑 則

(公告)

第44条 本社団の公告は官報によって行う。

(施行期日)

第45条 この定款は医療法人成立の日から施行する。

付 則

(設立時の役員)

第46条 本社団設立当時の役員は、次のとおりとする。

理事	₹ 長		畑	中	恒	人
専務	Щ	田	信	吉		
理	事		井	村	修	司
"		•	佐	藤	達	雄
11			溝	井	辰3	5郎
II			長名	陪宅	健	夫
11			柳	原	幸	盛
11			山	田	要	江
監	事		窗	田	啓	Ξ
]]			高	田	敝	充



履歷事項全部証明書

北海道函館市中道三丁目51番1号 医療法人道南勤労者医療協会

会社法人等番号。	4400-05-000275
名称	医療法人道南勤労者医療協会
主たる事務所	北海道函館市中道二丁目 5 1 番 1 号
法人成立の年月日	昭和55年7月18日
目的等では、「関する事項」	目的 本社団は、道南地域において医療機関を経営し、科学的でかつ適正な医療を 普及するとともに、患者の立場にたって、親切でよい医療を行い、地域医療の 向上をはかることを目的とする。 事業 本社団はこの目的達成のために下記の事業を行う。 1 医療施設の開設 2 地域住民の保健予防対策 2 集団検診、健康調査の実施 3 保健医療知識の普及啓蒙に関する事業 4 その他目的達成に必要な事業 北海道函館市深堀町26番26号 理事長 佐々木悟 ・ 本格 ・ 本の 2年 5月27日重任 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
資産の総額	金0円(債務超過額金1 <u>179万1686円)</u> 平成31年 3月31日変更 令和 1年 6月13日登記
	金0円(債務超過額金2991万9539円) 令和 2年 3月31日変更 令和 2年 6月18日登記
登記記録に関する事項	平成元年法務省令第15号附則第3項の規定により。 平成14年 6月13日移記



北海道函館市中道二丁目51番1号 医療法人道南勤労者医療協会

これは登記簿に記録されている閉鎖されていない事項の全部である した書面である。 (函館地方法務局管轄)

令和 5年 1月17日

函館地方法務局

登記官

役 員 名 簿

役職	氏 名
理事長	佐々木 悟
専務理事	堀口 信
副専務理事	堀岡 純
常任理事	川口 篤也
II .	木田 史朗
n	近藤 忠幸
l)	宝福 優子
理事	石田 英人
· n.	大城 忠
n	奥山 敬
N.	葛西 幹男
"	笠原 毅
"	金子 宇彦
"	後藤 若菜
"	鈴木 由紀恵
"	田村 渉
· //	早坂 真一
"	舩木 幸子
"	宝福 尚
"	増田 清治
"	水野 美智子
"_	山本 由美子
監事	金城 克則 :
"	筑田 智己



北海道運輸局 函館 運輸支局長 殿

宣誓書

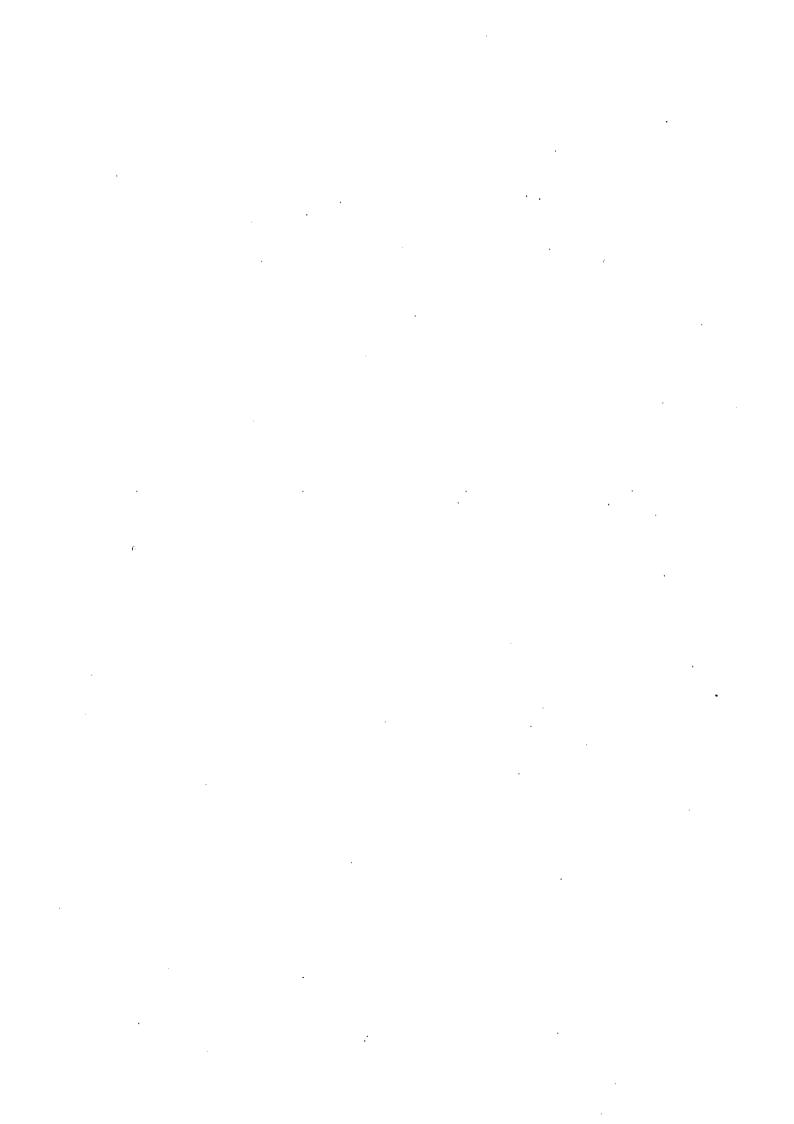
当法人における役員の全員が、道路運送法第79条の4第1項第1号から第4号までのいずれにも該当しないことを宣誓いたします。

令和5年 1月 日

住 所 函館市中道二丁目51番1号

名 称 医療法人道南勤労者医療協会

代表者名 理事長 佐々木 悟



自家用有償旅客運送に使用する車両の一覧

自家用有償旅客運送者の名称へルパーステーションゆいっこ

番号	自動車登録番号 又は 車両番号	乗車定員 (人)	所有者名	使用者名	備考
1	函館500に6722	7人	株式会社ホンダファイナンス	医療法人道南勤労者医療協会 道南動医協江菱診療所	
2	函館580そ2798	4人	株式会社ホンダファイナンス	医療法人進南勤労者医療協会 進南動医協工差診療所	
3					
4			-		
5		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·	
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					· .
16					
17					
18			.,		
19	<u> </u>				
20					

• . ;

値車制備実備1第他门「適量施施の2様

ന്

ູນ

伸氏语:...

Ġ

늘

緊

差町中

山都江

Ю.

有効期間の満

の子宮

黑)出

Ħ

秖.

.9.6 Ø

のよれ 組織

0

40

ب ب

田 魯

Ш

赵 旧:

575 Bel (1	· (2)
	5

00257

ūφ

原東原東

館運輸支

瓷

nin)		[3]	i	Ž	鱼	610k	nic.		
		003	哩	1755 _{kg}	期面後前鄰面後後軸	61	· 類別区分番号] 	
₹ 到			橿	, ,	2X		(大	. :::	
<u> </u>			ļ.	. :	100		200		
i I	革命の形状		练		温	.:: .	紻		
Σ Σ	米		匿		挹		<u> </u>		
য় য	٦				絾	:: 1:	中市		
_	0	スポーショジウゴジ			Щ		便		
	*	, D	÷÷	<u> </u>	4		點		
,•	毌.	:: 3	唱	7.0	古通一意物	4.	融		
		m	H						
· , · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	:::	· · · · · · ·	i. HE			∵&		1 1 1	
); :::ik	框	1	前前				
: 	Ŀ	К			湿	. • . • . • .	擬		
	る	,					類		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	中業用の別		팩		žų.			20 SEA	
	1		每		# 1 <u> </u> 1 <u> </u> 1	1	薬を		
5 :: · 🍍	量	一一一一一一一一	孟	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			菜	,	1.7
<u> </u>	E	F ~			14.55	169	媝		
• • • • • • •	#H		場"、大		1	16		=	
F	用途。自然用	Щ	嚼		_			3	
I		· 秦 · 声				· · · ·		49 L XX	استد.
E	嚍				10	. 421	起协众政义住近格旧为	7.0	į i
•	自動車の種別	44. 44.	ĮΨ,			4	沿水	-	
	胃胃				:		Ħ X	-	• •
		强	聚单定				Ä		- :
	-	_	账		啉		**	! !	近
•	-		-				342	7	二江差診療所
·:	町		}: 	296	ŀ				业
	度登錄年月			ب			私	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ħ
31	阙	1	ŀ				哑	 ~, <u>.</u>	7.5
	隐	成的					~	i i	
	(F)	中成成	L 191.		"		原動機の		· · · · · · · · · · · ·
111	Щ	∰ 60					雞		一種
11111	交付年月日			4			75		三河
	X	4	. 4	710	£ ::			. 4:	
		成 23年		11	į.		画	1.5 A	4
TH.	世	23.	名	3,50	<u>.</u>		b	1	茶
	44:	清: . 周::···	. 1		4		劃	<u>. 1</u>	. IX
				::::.	悔				裖
K 民	Į,	W				, ,	ŝ	F	迎
. 75	無							٠٠.	医療法人:道南勤労者医療協会:道南勤医協
	屋.		· .		30		,		· 125
1	車		:::			Januall		liin a	:: ??
Ш	Į.	7.2.2	曲]	+				∹
.;	X					, o			世
	uķ.	9			11	0.8		- 1	, P
運	带:		[[∵: <u>:</u>]			
(IIIII)	礟	7.7		.:::	1	0			"哈"
	树		. :				盟	ص :: دونالا	·杏二
12-1-2	串	5 0 0 : 12 : 16 : 1			: . .	. iņ	: 1	ં હ	₩.
4111	自助車登錄番号又位車両	വ	Ì	· [·]	.				成
	100		ļ	X	Í	G B 3 5 2		D B A \leftarrow G B	使用者の氏名又は名を
		函館		オンタ		B	ſ	B	馬
		[23]	ſ	াব		<u> </u>	1	<u></u> <u>⊢</u> ∤	-€- - (

Ш

: 4

∞.O O

保米し「米め 変チルギギル基値

蹇年度度年年離

動のの一丁重2年年72四

【所所一【自令令令平平】本有有「函動和和和成成走自者者」館車 12222行

				•			•	٠	• .						٠.			
經自動車校查協会 問題	形状	ョンワゴン [003]	阿尔	147 cm 167 cm	類別区分番号	0000		[53800 0074]	[25203]		7 /	音規制車	一ド燃費値	· .· · · · · · · · · · · · · · · · · ·			·	
怪自動車	車作の	の変形があった。	一世 一世 一世 一世 一世 一世 一世 一世	14 July 33 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	训型式指定带号	17660						車 平成1.0年騒音規制車	合和2年度エネルギー消費効率(WL TCモード燃費値	·. :				
1月 24日	(१४आ-४ऋगाळका)		划距 张	1100	報後 楠 簠	340 kg		:			•	0%向上達成	ネルギー消費	•				
令和 4年 	用 途		。) 可供明的工作。	540 kg				, ,	٠	平成2.7年度燃費基準20%向上達成車 **	令和2年度工	※ 大 ※ 大 ※ 大 ※ 大 ※ 大 ※ 大 ※ 大 ※ 大 ※ 大 が が が が が が が が が が が が が	衛記載ありま	•		100
;	・自動車の超別	軽自動車	市面成品	880 kg	RUNGCONTROL	0, 651.	死					2.7年) 算定未了	50%成稅措置洛分*	4日)* 点依整備記錄符記載あ	.,		
	初度検査年月	平成 31年 2月	最大類破影		燃料の組積	ガンリン	為江芜診療		,			改基準110%達成車 平成 ラー加速騒音規制適用車**	モード燃費値	新規検査 5適用*	84年1月2 循映指状况】,			
香 証	交付年月日	平成 31年 2月 19日	派址定員	44	原動権の型式	S07A	省医療協会道南勤医協江芜診療所	-歌町199-6	イナンス	2丁目4一15	•	2年度燃B マン	珍略(平成31年2月19日 ¥5,000 本則税率 ************************************	』50,300mm(〒和4年1月2 備車 【 検査時の点検整備実施状況】、 備工場**		,	
車機		8	- Se		型	DBA-JH2	医療法人 道南勤労者医療	北海道檜山郡江差町中歌町	株式会社、ホンダファイナ	東京都武蔵野市中町2丁	使用者住所に同じ	【面馆】山 維続檢查 近接排気脇 普頓制値	条括12年度ユネジメー海)、域定表示を	[29年度税制]] [自動車重量税額]]	『远河田聖記表示』」50, 【受偽預別】指定整備車 【 【受檢形態】指定整備工場。			
動	串品	6.2.2	# **********	4.6			医療	·集·	林	—— 東			18H			Ш	ш	
4111	戶	6.2.2. 2 0.8	中人公公公	1223246	名: 1355	[296]	氏名又は名称	刑	氏名又は名称	· 所	心の位置	打了都圖圖哪	E N	H		H	三	
00296		函館 58		H2-1	車	ホンダ	氏名]	争	氏名入	無	使用の本拠の位置	有効期間の満	和 6年		. 体	年	舟	
卷 点 中			<u> </u> ,	Ţ		₩.	使田	:神	一所有	中	 ●	検	- 令		·.	į,	.,_1	

OCR01-3037

Financial Se		See Miles			SPEC AMERICA	II4 10 0 0 1 1 1 0 0 .		2017年8月改1
3 お箸	様へ必ずお渡しくださ	ز ل ^ر ه		好年1月5日	10/02/06 10:01	70 000000		HFC 012-017-1708
〇 リース見損 〇 は算番号	6. 0 2 0 1 9 0 2 0	6 0 0 1 1	契約日 平和	起/年2月/6日	19/02/06 13:31:		となりますのでご	浄食ください。
野規入	代替軍事	f 東 中古東	やがなへ、	ファイナシス				
では ででは ででは ででは ででは ででは ででは ででは	511-0852 2281 人2ダイシ・オカミブ	.~4x9/5.516.°X.1	. z. ż		リース期間は登録日又に 日) 単両登録番号等についただきます。			
	"。 函館市中道2丁目51本1号 / 1997 医療法人道南勤労者医療福養	ウランパケンテックタ	資本金	5 ≠ 7 n l 8 a ann	私及び連帯保証予定格 (中込を含む) における す。			
	四米 佐々木 培		双角 车 商	չ <i>አውሪ</i> ፣ ፪ភନ	私及び運輸保証予定者! 必要と関めた場合には、私 ごします。	が正常保証予定状の	在风景的社界最初	し利用することにお
第4元記名 で 類1・元記名 で 個人以内は	HAT 13 FAD TOT TEN	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	E 120		では 3 人 東京者		丁目4沿15号	
お名前		女教护	月日 学成	# / B	株式	は会社ホンダ		
	138- 326136	13.00	•		·	表取締役 .	5 橋 明 5	去學沙
A	nepatenta Apparenta Apparenta				· 本版 2 □ F			
	2 4 2 4 6 6 7 7 9 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		H EXE 1. T CH TH	・ さの比 人 同意才は 人	北海道植山郡江	<u>5 1 1 8 2 </u> 芝町中弥加 7 Q	10 11 16.1	10_11_
一 或形先 Secondary 是 号 M		3373 4 78 54 24 4 78 54	Taria canvina a	inst ()	1	20-3-1-9(N-3-1-O		
所在地	-	Ans Ans	\$# -1-7400 \$2\$ 7.5.	h 87% RÉUGS	│ C江差 │ (有)江差モー:	ター商会		
	ひてマク・ンエサンチョウ	アケンナのクタチック			江蓌店			
東 河 M	震震震 一起 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	字中歌四199	-6		TEL 01395-2-053 FAX 01395-2-084	4 β ⊐-F	02] 超過影田	
		13 0/39-	<u>52 - 736</u>	6 mar	3−K			-["]
加茨先 7	7977 - 18227 - 1742507 - 1820		<u>-</u> 6		保守先组			
11	到江美多來打 電腦裝置	下到 司 0139-	52-136	6 ME . 1	TEL	·-·· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22	
预 %	レデ Unite 2018 Unite Chirt 409	らかごンドウナンキンロウシ キンパウェインシントウミュシ	さりおうでうか	1	で展別す			
斯· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	V 6 38 0	+40152250000	שיבתה קיביד	77.	· 本 不	府 1918年	AM F	
RE RECORD	3037335	遊洗人 语有约分者图6 道 前 弱 置 區 江 差 區	原体会 ※投所	3 10 11 C D C 13 10 11 C D C 20 10 11 C D C 20 10 11 C D C 20 11 C	10 0/38-35	- 6136		
座 2 1	0 B	介長 大 城	忠	14411			١.	
1: 79#±		位別 生本月日		7987			12別 生华月日	
æ	·	50 男 輪板 年 位 女 年成 年	月日	£		, ii	男 ASTO 年	., .
046466	J	····	(<u>a</u> <u>a</u>)	AEG244		- 12 8	* · · ·	(\$1 (\$2) -
带鼠1	7464			器 計	70 <i>37</i>			
保事の込まとの	<u> </u>	(野谷 6.上旬) 7.周位 8.元	<u> නැම (</u>)	作 大学 大学 とのごう	06 1.10子 2.余8 3.兒			その他()
REE ILE	17	# -A	7F	報	4 5 8 7 日 8 8 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(小数周度高度 人	ล และส	* 78A
定 世 ??於		LIMPER SHEET	-	定 # 29## 者 #		nus	# S354 -	-
光压 托切技	ĝij	211 211		元 矢 [115	<u>3 −5 m2 (</u> #82	
		-		MIZIE				
$\psi_{A} = ab \exp i i$	ONES LEUR-REG LUDUO LUDUO S./ ONES LEUR DEL REGER LUDUO LUDUO DE	Harris Director Commonest	学王 9.参目役員 [354年	型双耳用語的 1.6%	HANT DUT-CHT. 628		M代 0.年全 7.月日	0.44 0.8HBU
り T Cコード	古華 登印日 中位 中位	^{20年取} 成31 ≥ 9 A	付属品・その)値 (ザ マッドガー		规定损害金基本数		
ス 型式 DRA-	H-WGH 4WD	С	フロアマ		- AJ-Be	金		
至600,	1 - 2 /	660 cc 🖹	オーディ		ラ ハイパワー	#	1,616	700 FF
前 月 12 - 前 宋 (1 - 馬出NO.			14S7	マタ 指定報板		· 连 月局 花 阿同	1	,0∓knı
ジース同節日	Betable 0 7 2798	初海宝化日	1	ene of the grad	tota -	発 紅色:		5 Pl/km
Ψ <i>i</i>	~ /	平成 31 年 4		AALD WH	atts	arera a	THUSES.	
ツース当了日	ま 年 月 日 ヶ月	五种英雄日 平成 年	月 日	5 8	4.00	经税款	*	
リリース和お客はは	日 内海母取甲 日 1.260.000 93,300	月級リース科 (E)+例回	21,000 -	任 回為	~			
7 日 (8)収金(6)	四 中海四级年 四	W MINNER	Ħ	βo ∰	カート 割引・割削車	in wedge dire		
条 U U (C) FREE(2)	* 0 0 ** 内海は4 A	条 件	1,555 . m	保景		持見を構工	. And	Œ ·
14 (O) \$1	四月海路联节 用	(1 回貨リ) 内流負後等	Fi Fi	rX.	万円 免前込	万円	75円	5円
(E)リース料	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	投資ダーナス		—————————————————————————————————————	NA 投条件 その他 ()	西 兔万顷	
支払合計 (A) — (I	₩ 1.260.000 93.300	加工年月 平成 本-+>加工月 月	年 月 月	(************************************	万円 万円 万円	万円 祥章 万円 5年	万円 6半日	万円 万円 万円
資×り東角代	* 0	頂	R	Ž XÚ ELS EL	1 0 10		л 5	<u> </u>
江 本字 巴列東	it D	124-57四国改進 🖔		プロ世紀を記	在2.数D 在2.数D	パッテリー タイヤ 交	 	
5 t 2		手立保後科 ×		サック エンジング	理べ			
区	12に含まれる作用以外の費用	マイクル注印度日本は、自計業日本省でA5キング 自計車工作の開発・電化の原理		トビス内容		•		
公用 市 6	2機基本契備費用は外の追加費用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ 自動車の原状で型にかかる費用 ・ 車両保険の免疫金額		25				
日本中込上のご当日 0.50円 第4日に日本 6年年 第一元の元	l Bott grundingersträttig i Stadistic Typertyrist regeligietersker i tradis	BTBMASSYNERIUS CARROLL	・ 日本語を	対応・に関するこ法だり 込むに又は、契約を行る Minimum	のでは、 のでは、	MANAGRONIZOA	公。当社 公加盟 で3日	Aprendation
08913-05-05-05-05-05-05-05-05-05-05-05-05-05-	Bate (1920) Seculos Brands (1960) Chiaren Control Brands (1960) Chiaren Control Brands (1960) Chiaren Chiaren (1960) Chiaren Chiaren (1960)	errando e setamento de constant	の製御内容は	こ。このの別は年代が長 別が「自己中リースが持 長の利用目的の2回年	(大)が国際を制造性指する他 (単位を含む)における個人信 に同義されたい場合は、最後名	の代人を出版。新版的ではの加 外の記録いた例する会員 毎に基づな対象がます。	記与に対策により利 でご記引下さい、また 式送者す。知論、出手	1151にす。 同21克が記憶の とでもお出する。

		·	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
N		ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	2021#4ATRM
2	契約	## D O 2 2 O 2 D D O 2 2 D U 3	<u> </u>
914	リース	現積 . 契約日分40	04年8月
٢	新類	代 毎 増 車 リース 新 車 中古車 アポージへ	7
	MA.	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	·
•	ف -	100/ - 08537987 ハングデン オカニナ ン・セック エーバー (ニーアー) 100/ - 08537987 ハングデン オカニナ ン・セック エーバー (100/ 100/ 100/ 100/ 100/ 100/ 100/ 100	· 网络艾达自亚维达
شهود	· 法.	18	<u> </u>
1	· 译 建入	高姓市中道2丁目51会1号 () and 20079ディック 医療法人道京教労者医療協会 1寸1 寸)/ 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	文字月日 (GR)
		AND REPORTED 274 位令木 信	東京都武蔵野市中町二丁目4番15号
ľ	h:	B	株式会社ポンダファイナンス
1	生	を同一とする者 一門男性 子内 一十の性 一十年日 1. 2. 2. 4. 6. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 7. 8. 8. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	
1		佐名 29ガナ	## #\RUEBB# #\RUE
	又也	■ 日本 本 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年 ヶ月(4 年	北海道桧山郡江差町中歌町79
	īħ:	在地	us C遊南
1	A.F		(株) 江差モーター商会
	名	サング・ナー・ファー・ファー・ 第番名 第一列を扱うをジャン	江芝店 江島松1 FAX 2000年 2014 コードの1 29年 京田
	, z	国内で大阪東部所に北京 国内が悠休 12 (0139) 5: (0139) 5: 日前 12 (0139) 5: 12 (0139	
		フリカナイトウボ・ファドラン・オンプライナオンパー・ファットフレインロックエアにことがプロー	279万比拉公
	ķ	株 医埃洛人英国斯瓦里埃根全 医毒色 英国城市 以完多多元的	52- (366) TE NIE
I		MXL1分子为了文字型作的7199一方	内部((1)) 技術名式表 中心社会等
	ij		石附 为 4年3 珠
	宁全		# 10. 12 Mach 3/4 PM2:00
	全コー		2 相引
ľ			· 本会計學 〇正年史神経 〇パスポート 〇個美国 〇成智力一片/特別永佳以明章 (西班牙克)
1	= 4	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	フリガナ 1.似子 之先月 3.兄弟 1.以子 2.先月 3.兄弟 1.以子 2.先月 3.兄弟 1.以子 2.代刊者
	氏	を ご関係 のより 7.地板 男・女	氏 石
		生代日 (6間) 自己電影 円元電影 円元電影 円元電影 一 1 一 1	() - i - i
ŧ	条 計	± #	# z t #
	泉虫		会 性計を同一とする 第(新星を含む) 紀代春 本・美 子供 人 その他 人 その他 人 まの他 上 本
Ì	us 人	tt E	本人又は配気者の住宅ローンもしくは常貴支払 → 有・無 助務先支払
ı	以	フリカデ 快表 関	財政会会 文位更等
,	西	「「京央 T ー 」	時 馬 兄 『 所 在 排
		15個 1.名言見者 2.正社員-弘治天 3.其附は民 4.知は社員 別総 日本 7月 日込 6.パートフルバイト 6.年全 7.真領 6.7全 9.責社収長 平京 平 7月 年収	運用形態 1.全国共産 2.正社員・公務用 3.同的社長 4.海は日長 計略 本 ヶ月 初以 5.パートフルバイト 6.年金 7.英間 6.平金 6.会社会員 本歌 本 ヶ月 本収
1	*	- 大学単 100mm 100mm	その他
	7 1	C2-F MB 945 31.040H FREED FF 315 5137473	現の他 現在 損害 金鉱 本質 284,000 円
	スポープ		. (新 284,000 7円
	幼	GB3-5200180	进 月間
ł	10 X	- 第世NO	
	4-	2022 年 2 月 9 日 2022 年 4 月 5 日	対定日 智用
	ŋ-	2022 2 8 2022 4 3	5 B RAMEN
2 %	سة ناب ل	2024 年 2 月 8 日 一一月 日 日 日 日 日 日 日 日 日	7 7
ı	j ''		日 は入身中 フリート お引・打団年 フリート 第引・打団年 24 向 ジャンフリート 第二 第四 年齢取りず現在) 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
•	ス 質 は 質	0 0 %	NAME OF THE PER PERSON ASSESSMENT OF THE PERSO
	件	(2) 天東北東北京 (1 開催リ)	第 万円 万円 万円 万円 万円 万円
- 1	Ĥ	(a) + (c) 0 0	日 東西保険 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	(E	リース科 月 内外球投票 月 加速・ナス 年 月 支払合計級 004 000	ANY - PHO A
		(A) — (D) 264,000 本-ナスは東月 月 月	現 皇 採 五
		○ 単質代 至	×○ 産廃車検要値 パッテリー交換 偏まで はは 法定点検整備 タイヤ交換 本生で まむ 一般修理
	自	G F S S S S S S S S S S S S S S S S S S	
	担心区上	自 施 東 保 旅 科 ウ 月分 リサイクル説明可見用に金額を用金ではるもングファイナンスが負担いたし	
	· 分 ·		8
		The state of the s	

運転者の一覧 兼 運転者就任承諾書

<u>医療法人道南勤労者医療協会</u>が、申請した自家用有償旅客運送登録申請書に基づき登録を受けた場合には、その運転者として就任することを承諾いたします。

- ,		r			भक्त ±	= <i>A</i> = 1	· / ·	4	54	tte 4	= 41	3 Bile	十久	·/	16	(B.12)	多·按
氏 名		住	住所														
	Α 12	[五] [7]	区		利		類_	_		関				項関			
1 奈良真由美					Ø	多 通		第:	2 種	Ø	22 7	定講	꼍			蒦福·	
		1		1									定請	肾			
				<u>п</u> 2	- 空	10	筹	1 建		~	<u>ත</u>		_		の	他	
					Øi	き 通		第	2種	Ø	22.7	定請	짭			遵福	
2	廣瀬ありさ						1							Ø		定請	
]						- 至	12	雰	1 代里	긔	τ —	の	먠	_		の	他
					Ø f	子 通		第	2種	Ø :	記 :	定講	習			護福:	
3	米 瑞恵		• •	•	<u>ا</u> ۔		1							127	認	定計	
					<u> </u>	<u> </u>	9	弗	作室 	ב	<u> </u>	の	TE.			の	他
				连		第:	2種	Ø	認,	定調	習			護福			
4	蛯名奈保子				۱, .	- -=	٦		1 7 %	l.,	z _	Ф	tif.			定品	
					<u> </u>							の			そ	の	他
					Ø i	普 通		第	2種	Ø	涩,	定調	習		11	護福	祉士
5 高橋幸子	髙橋幸子		 - ;										7.7	<i>A</i> L 5	具省		
			<u> </u>		-			_		Ø.		Н		の	也		
					Ø	許 通		第	2種	Ø	認 :	定請	習			護福	
6	田附希美		[₀ ;	- ₩	حاا	99	1種	П	z -	Ø	冊			定量			
	: 				├—		-			⊢				ᆖ		の	他
					🗆 i	普 通	i O	第	2種		認	定請	習			護福	
7					l .	大 元	٦	室	1 種	lп	7 -	တ	曲		必 そ	定制	男 日 他
					├									_			
		,			□ i	普通		第	2種	0	認.	定調	習	lä	ンド i 記分	護福 定 訳	体 五
8					lo :	大 4	do	第	1種		そ	Ø	他	片	22	での	月 日 松
\vdash				 · · · · · · · · · · · · · · · · · 	<u> </u>		┽—			_				_		護福	ᆥ
] _		}			🗆 1	音通	ıاٍ□	第	2 桂	l 🗆	Z,	定請	省			定言	
9					: 1	大 猛		第	1種		そ	Ø	他			での	他
		ļ								 						護福	
					🗆 i	首 迅	▮⊔	秀	∠ 程	۳۱	66	定課	ĕ			定語	
10					o :	大 猛		第	1種		そ	Ø	他	lä	7	~ ຄ	他
		l												<u>, </u>		/	

- 注1 「運転免許の種類等」欄は、該当事項の口の中によ印を記入すること。
- 注2 「運転免許の種類等」欄の「種類」欄が「第1種」となる場合は、「施行規則51条の16関係資格」欄の「第1項関係」欄に 次の区分により該当事項の口の中によりを記入すること。
 - ① 交通空白地有償運送

「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行う交通空白地有償運送運転者講習を修了している運転者 「その他」・・・(一社)日本自動車運行管理協会 自家用自動車運転士専門校の運転サービス士科を修了した運転者

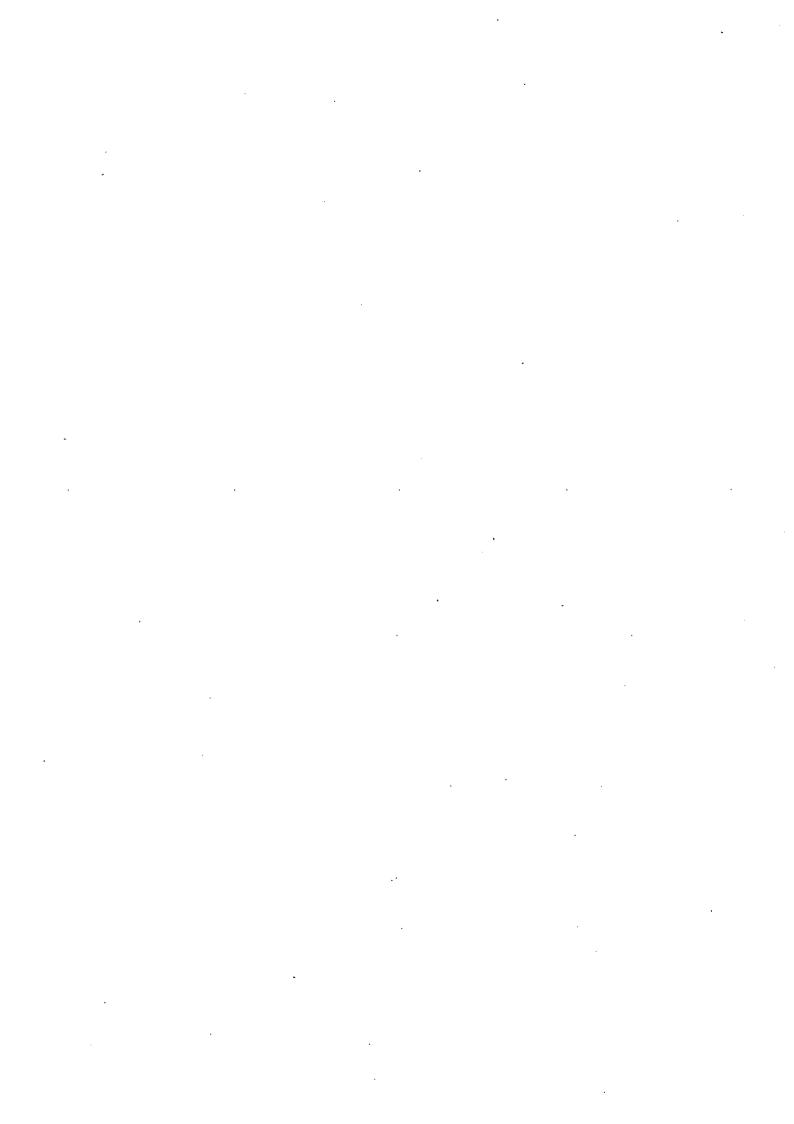
② 福祉有償運送

「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行う福祉有償運送運転者講習を修了している運転者 『その他」・・・(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した運転者

注3 福祉有償運送において、福祉自動車以外の自動車を使用して運送を行う場合には、「施行規則51条の16関係資格」欄の 「第3項関係」欄に次の区分により該当事項の口の中に✔印を記入すること。

「介護福祉士」・・・社会福祉士及び介護福祉法第42条第1項の介護福祉士の登録を受けている運転者「認定講習」・・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行うセダン等運転者講習を修了している運転者「その他」・・・・

①(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した運転者 ②介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居 宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示 第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者





第 011090138 李

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

奈良 真由美 殿

あなたは、北族道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

> 平成21年 6月14日 国自旅第217号認定 北海道移送・探索が、ビス連絡会 でであり、上海道) 代表 選回 勝夫 責任インストラクター 行田 保



第 01115102 子

移送サービス運転協力者講習

廣瀬 ありさ 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会において所定の全課程を修了されたことを ここに証します。

> 平成 27年 9月 6日 国自旅第 217号認定 北海道移送・伊藤 ビス連絡会 代表 電源 光弘 責任インストラクター 行田 保



第 14136 号

国土交通大臣認定

福祉有價運送運転者講習、セダン等運転者講習

修了。証

田附希美殿

あなたは特定非営利活動法人さっぱろ 福祉支援ネットあいなびが主催する道路 運送法施行規則第51条の16第1項及び 第3項に規定する、福祉有償運送運転者 講習・セダン等運転者講習の全課程を 修了されたことをここに証します。

年成26年9月12日 国土交通大臣器定办专 国自旅第25号 特定非常利活動法人

さっぽろ福祉支援ネットあ歴 理事長 下川原清美な

第 07010413 号 🖯

移送サービス運転協力者講習 修 了 証

米 瑞惠 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会(セダン等免除)において所定の全課程を 修了されたことをここに証します。

平成 19年 7月 22日

国自旅第217号認定

北海道移送・機構をビス連絡会 食育器・ト北海道) 代表で選集・勝夫

責任インストラクター 行田 保



第 07010415 子点

移送サービス運転協力者講習

蜷名 奈保子 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会(セダン等免除)において所定の全課程を 修了されたことをここに証します。

平成 19年 7月 22日

国自旅第217号認定

北海道移送。



ビス連络金

大報 电影型 勝夫

責任インストラクター 行田 保



第 07010416 专员

移送サービス運転協力者講習

髙橋 幸子 殿

あなたは、北海道移送・移動サービス連絡会 が主催する福祉有償運送運転者・セダン等運転者 講習会(セダン等免除)において所定の全課程を 修了されたことをここに証します。

平成 19年 7月 22日

国自旅第217号認定

北海道移送・震動震 ビス連絡の 食育器 ト北海道 代表 電器 勝夫

責任インストラクター 行田 保

整理番号

2022013788 P006-1

04-3-0055 北海道檜山郡江差町中歌町199-6 ヘルパーステーションゆいっこ 奈良 真由美 様

運転記録証明書

申	氏	名	奈良真由美	: " .	
請	生年)	∃ ∃			
者	免許証	番号			

	1		
	行政処分の前歴	0回 累積点数	0 点
	年 月 日	京。内 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	点数
	4.	以下余白 《	
	Sec. Sec.		
	in the state of th		
証			
<u>. </u>			
明	. ' '		*.*
			÷
事	強		.5.1
項			
1	د سده	and the state of t	, 4
],			
	備考		
			-

命和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 1 月 17日

自動車安全運転センター 北海道函館方面事務



整理番号 2022013789 P007-1

043-0055 北海道檜山郡江差町中歌町199-6 ヘルパーステーションゆいっこ 廣瀬 ありさ 様

13

転記録証明書 運

申:	氏	名	1. "1. 1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1		÷1_34	
請	生 年	月日				
者	免 許 副	E番号				

		77.	**************************************	
	行政処分の前歴	0 回	界 積 点 数	0点
	年 月 日	> 内	容	点数
	- 15 - 15 - 14.4	以下余白		
				.*•
			The second secon	
証	general to		en de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de	
.		A Company of the Comp		
			Grand Against	
明	eler or well		Call Agents	~ <u>~ ;</u> ;
	jang ja			U4 14.
事	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	- Tage 199		
}				<u> </u>
項			<u> </u>	2.15
<u>.</u>	يه. العالمانية العالمانية	numarine dum residentialistic dum res	olia. Anna Millia aggi soliani Mi	
	備考			
- 1 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3	San Service (1922) Service (1922)			. · '
		The state of the s		

- 令和 5. 年 1 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 1 月 17 日 証明します。

<u> يونانون النون</u>.



整理番号 2022013787 P005-1

043-0055 北海道檜山郡江差町中歌町199-6 田附 希美

運転記録証明書

	<u></u>	· ·				The state of the s	•
	申	氏	• •		名	一种,希美	
-	請	生	年	月	日:		
	者	免	許	証番	号		

	- 필드	# <u></u>	<i>3</i> 2	4,5		1944 Ace	-			
.]	行政	処分の	前歴	<u> </u>	O 回	累 積 点	数		0点	;
:	年	月	B		。。内	答		6:	点多	
V.				以下余白	X., - 4.					·:.
		,						7		
					·					
証					<u>.</u>		<u> </u>	-41		
	٠			, Na .			e ga Tanan ang paga		:	
明			· •		19. 19. (1	157.0				
1773					<u> </u>	·:				
			. 1 N. 1		***		<u> </u>			<u></u> .
事	•	•	•	-		',	<u> </u>			
				<u> </u>	····-			?		
項	; ;	. ii	<u> </u>	2 (4) (4)	1.00 miles	<u>, : ::-</u> 3.			•	;
	1.,				<u>: 4 . </u>	\$4. .:	·		· · ·	
ii'				STATE OF THE PARTY	Allainajauliki araa sauna sarrista liikkassa		ijeka. Ng kasa si	and adjustment with	Ø.	
		_					2.9			·
		寿	<u></u>		A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O		, .			
: .							•			
		:. <u></u>	• ;					-		

日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを F 1 月 17 日 令和 5 月 証明します。



整理番号 2022013786 P004-1

043-0055

北海道檜山郡江差町中歌町199-6 ヘルパーステーションゆいっこ 米 瑞恵 様

運転記録証明書

申	氏	名	米瑞惠		
請	生 年 月	Ħĵ.	A Company State Company	,,,,	
者	免許証	子是			

1 [行政処分	か前歴		O 回 	累.積.点数	文		0点	•
		Á		点。内	容		÷	点数	 次
	令和2年9	月20日	〇指定場所一			200.39	. :	2,5	点
	·		以下余白			and the second of the second o			-
		. Ogra	"要有疑 "。		64 miles				
証		i gara							
			18 to 18 to	* -131 * 14					<i>∴</i> ,
[1.5	<u></u>	4		Andrew States	\$ 1 m		•	
明	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		11 . M. K.				.*	- .	
		100				<i>.</i>		-	• .
事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>			<u> </u>		:-		
	Alexander	<u> </u>	2.5	······································			,	.•	
ا ا	i j	· Few			<u> </u>	a see			•
項	15. N	<u>: </u>	Particular de la companya del companya del companya de la companya	MA De	<u> </u>	i de		5.6	
l				2年以上無事されません。 たません。。。。。		する特例により	•		
膨					;		The state of the s		
	備	考(************************************			<u></u>			; t.,	
		- • •		riges o		13.34		``.: .	
		n i				1,	A		

令和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 1 月 17日

北海道函館方面事務所



整理番号

2022013785 P003-1

043-0055 北海道檜山郡江差町中歌町199-6 ヘルパーステーションゆいっこ 蛯名 奈保子 様

運転記録証明書

申	氏	÷.;		名	蛯名 奈保子	:
請	生	年	月	日		
者	兔	許真	正番	是		!

									
-		行政	処分の	の前歴		. O 📵	累 積 点 数		0 点
7		:年	月	日		内	容		点数
	Ž., 8				以下余白		* .	, , 1	• ;
			*(11 to 1	4.		1915	
		10				; -			•
Ì	証		•			1.		1.3	
Į	٠.	?	,						
İ	H. CT		· · ·						
.	明		· ··	•		d de	7.		
					- 13. - 21 21.	•	•		
	事	<u> </u>							
			· ·	V			:.	•	
						, \$\display{6}			
	項	×			- 17-51 		Fig. 18		
			•	,				Silliantial Little State City	
	<i>k</i> *								·
		備	i i	考			; ·		
									•.
		-	i.	4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			14 T	
·L			-						

令和 5 年 1 月 17 日 現在の過去 3 年間の記録は、上記のとおりであることを 証明します。

令和 5 年 1 月 17 日

自動車安全運転センター 北海道函館方面事務 自動車個用 調整センター 関係を対象 関係に対象 関係に対象

整理番号 2022013790 P008-1

043 - 0055

北海道檜山郡江差町中歌町199-6 髙橋 幸子

転記録証明書

申	氏 .	名.	高橋。幸子	
請	生 年	月日	the second secon	,
者	免 許	証番号		

	一一一			
	行政処分の前歴	0回 累	積点数	0点
	年 月 日	· 人	容	点 数
		以下余白		
	ages and all the second			
	1984 - 1984 1984 -			
証		A Company of the Comp		
, ; ,				
		N _{St} &		
明	- ·•			e
	<i>√</i> 2 /3			
事		等。 <u>(1)</u>		<u>. </u>
				-
		4. 4.		, :
項		The state of the s	<u> </u>	
	·	connuctings satisfies a special state of the satisfies of		山 齿
y	4			
	備考			
İ				
Ş				

17 日 現在の過去 3.年間の記録は、上記のとおりであることを 6 年 1 月 17 日 令和 5 年 1





第376097号

介護福祉士登録証

本籍地 北海道 奈 良 真由美

登 録 年 月 日 登 録 番 号

法第39条第4号該当年月

平成19年4月13日 第D-3760.97号

平成19年3月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録 じたことを証する

平成19年4月27日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長面沃美加



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成19年4月27日

厚生労働大臣 才印 泽 (自







第 0987435 号

介護福祉士登録証

^{本籍地} 北海道 廣 瀬 ありさ

登録年月日登録番号

法第39条第4号該当年月

平成27年4月2日 第D-987435号

平成27年3月

社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成27年4月17日

指定登録機関

公益財団法人社会福祉振興·試験センター

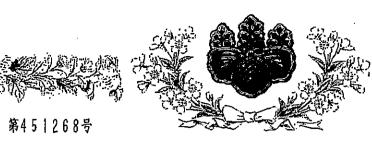
理事長多久島耕治



公益財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士 及び介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成27年4月17日

土地配置通流。





登録年月日登録番号

法第39条第4号該当年月

平成20年4月14日 第D-451268号

平成20年3月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成20年4月23日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長旧中敬雄縣以外



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成20年4月23日

厚生勞飲臣內冷多





范围语证士.





本籍地 北海道 高 橋 幸 子

登録年月日登録番号

法第39条第4号該当年月

平成22年4月16日 第D-614734号

平成22年3月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録 したことを証する

平成22年4月27日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長田中教権競別



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成22年4月27日

熙分 長妻





本籍地 北海道 岩 谷 智 子

登録年月日登録番号

法第39条第4号該当年月

平成19年4月13日

\$D-379615号

平成19年3月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録 じたことを証する

平成19年4月27日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

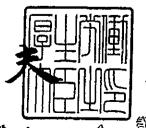
理事長面沃美加



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成19年4月27日

厚生労働大臣才卯澤、白









北海道 本籍地 岸 田 由美子

登 録 誉

平成22年4月12日 第1-581829号

法第39条第4号該当年月

平成22年3月

社会福祉士及び介護福祉士法第42条第1項の規定により登録 したことを証する

平成22年4月21日

指定登録機関

財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長旧中放加聯



財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士及び 介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成22年4月21日

厚生労働大臣 長妻





TENETS



第 0079580 号

介護福祉士登録証

本籍地 北海道 田 附 希 美

登録年月日登録番号

平成3 1年4月5日 第7 9 5 8 0号 平成3 1年3月

厚生省令第49号第24条の2第4号 に基づく喀痰吸引等行為

該当無し

社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第42条第1項の規定により登録したことを証する

平成31年4月16日

指定登録機関

公益財団法人社会福祉振興·試験センター

理事長根本嘉明

公益財団法人社会福祉振興・試験センターは社会福祉士 及び介護福祉士法第43条第1項の規定により厚生労働大臣が 指定した指定登録機関である

平成31年4月16日

厚生労働大臣 木艮 本



tatas enterrareas

修了証明書

蛯名 奈保子

介護保険法施行令(平成10年政令第412号) 第3条第1項第2号に掲げる研修の2級課程を 修了したことを証明する

平成 16年 07月 21日

株式会社ニチイ学館代表取締役 寺田明

修了証明書

柳原 洋子

介護保険法施行令(平成10年政令第412号) 第3条第1項第2号に掲げる研修の2級課程を 修了したことを証明する

平成 22年 12月 03日

株式会社ニチイ学館 代表取締役 寺田大輔

修了証明書

杉田 いずみ

介護保険法施行令(平成10年政令第412号) 第3条第1項第2号に掲げる研修の2級課程を 修了したことを証明する

平成 24年 02月 27日

株式会社ニチイ学館代表取締役齊藤正俊

乗務員名簿 兼 乗務員就任承諾書

<u>医療法人道南勤労者医療協会</u>が、申請した自家用有償旅客運送登録申請に基づき登録を受けた場合には、その乗務員として就任することを承諾いたします。

	氏 名	佳	所	ğ	資格の種類	
1	奈良真由美			☑介 ☑認 □ そ	護福祉 定講 の	習 他
2	廣瀬ありさ			□介 □記 □そ	護福祉 定講 の	他
3	田附希美			□介□記□そ	護 福 祉 定 講 の	習 他
4	米瑞恵			□介□記□そ	護 福 祉 定 講 の	: 士 習 他
5	岩谷智子			②介 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	護 福 祉 定 講 の	: 士習
6	髙橋幸子			分割の	護福祉 定講 の	習
7	岸田由美子			☑ 介 □ 記 □ そ	護福祉定講の	習 他
8	蛯名奈保子			介認を	護福祉定講の	他
9	柳原洋子			介認を	護福祉 定講の	習 他
10	杉田いずみ		1,21,74	介記を	護福祉定講の	古習他
11		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		介認その	護福祉定講の	習 他
12				介認その	護福祉定講の	習 他
13				介記その	護福祉定講の	習 他
14		,	,	口 介 辺 そ へ	護福祉 定講の の 護福祉	習他
15				□介□認□そ	護 福 祉 定 講 の	習他

注「資格の種類」欄は、次の区分により該当事項にど印を記入すること。

「介護福祉士」・・・社会福祉士及び介護福祉法第42条第1項の介護福祉士の登録を受けている運転者。 「認定講習」・・・国土交通大臣の認定を受けた者が行うセダン等運転者講習を修了している運転者。

「その他」・・・・

- ① (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会等が行っていたケア輸送サービス従事者研修を修了した 運転者
- ②介護保険法施行令(平成10年政令第412号)第3条第1項各号に掲げる研修の課程又は「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成18年9月29日厚生労働省告示第538号)に規定する研修の課程を修了し、その旨の証明書の交付を受けた運転者



運行管理の責任者就任承諾書

下記の者が申請した自家用有償旅客運送登録申請に基づき登録を受けた場合には、その運行管理の責任者として就任することを承諾いたします。

また、乗車定員11人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員10人以下の車両を5 両以上配置する事務所の運行管理の責任者として就任した場合には、道路運送法施行規 則第51条の18に規定する国土交通大臣が告示で定める講習を受講することを宣誓いた します。

記

申請者名 医療法人道南勤労者医療協会

令和 5年 1月 日

住 所

氏 名 奈良真由美



運行管理の体制等を記載した書類

事務所の名称 ヘルパーステーションゆいっこ

1. 運行管理・整備管理の体制

(ア)運行管理の責任者の就任予定名簿

No.	氏名	住所	資格の種類	委託	協力
1	奈良真由美				
2				_,	
3					

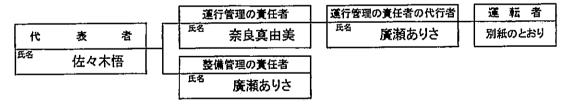
- ・乗車定員11人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員10人以下の車両を5両以上配置する事務所の運行 管理の責任者にあっては、運行管理者資格者証の写し又は施行規則第51条の17第2項各号のいずれかの要件を備え ていることを証する書類を添付すること。
- ・資格の種類には、法23条第1項の運行管理者、その他の別を記載するものとする。
- ・運行を委託する場合は、受託者における運行管理の責任者を記載し、委託欄に〇印を記載するものとする。
- ・事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、協力事業者における<u>運行管理者</u>を記載し、協力欄に〇百を記載するものとする。

(イ)整備管理の責任者の就任予定名簿

۱	No.	氏名	住所	協力
	1	廣瀬ありさ		
-	2			
Ì	3			

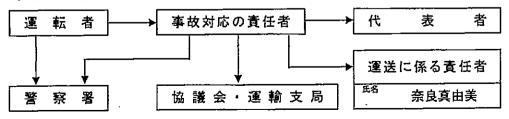
事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載し、協力欄に〇印を記載するものとする。

(ウ)運行管理・整備管理に係る指揮命令系統



・事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載するものとする。

2. 事故処理連絡体制



事故対応の責任者: 奈良真由美

3. 苦情処理体制

苦情処理の責任者: 奈良真由美

苦情処理の担当者: 廣瀬ありさ



自動車保険 契約証明書

当社は、次の契約内容のとおり、自動車保険契約が締結されていることを証明します。

保険契約者

医療法人 道南勤労者医療協会

理事長 佐々木 悟 様

証券番号

D893580101 - 00013

ご契約の内容

一般自動車保険 SGP 保険種類

保険期間

令和 4年11月15日午後4時から令和 5年11月15日午後4時まで

ご契約の自動車

登録番号 ハコダテ 580 ソ 2798 車台番号

JH2-1223246

車名 N-WGN

用途車種

自家用軽四輪乗用車

記名被保険者

保険契約者と同一です

相手方への賠償

対人賠償

無制限

対物賠償

無制限 / 自己負担額 なし

こ自身・搭乗者など

人身傷害

1名につき 3,000 万円 入通院定額給付金 なし

搭乘者傷害

補償されません

こ契約の自動車

車両保険

100 万円 / 自己負担額 1回目 10 万円·2回目以降 10 万円

ご契約の等級など

主	かは	纵	生

基本項目	特約等名称	基本項目	特約等名称
その他	全車両一括	その他	安心更新サポート対象外
対人	被害者救済費用	その他	NA
対物	対物全損時修理差額費用	その他	NZ
人傷	入通院定額給付金対象外	その他	W4
その他	無保険車傷害	その他	1E
その他	臨時代替自動車	***	****
その他	ロードアシスタンス	***	****
その他	弁護士費用(自動車)	***	****
その他	全損時諸費用対象外(EF)	* * *	****
	運転者從業員限定(ZR)	***	****

- ◆ 本契約証明書は、発行日時点の契約内容を記載しています。なお、発行日後の契約内容の変更については反映しておりません。
- ご契約の詳細内容(特約など)は、保険証券(または保険契約維続証)・変更手続き完了のお知らせをご確認ください。
- 本契約証明書の記載が、保険証券(または保険契約経続証)・変更手続き完了のお知らせと異なる場合は、保険証券(または保険契約 継続証)・変更手続き完了のお知らせが優先します。
- 記載されている契約内容が加除訂正されている場合、本契約証明書は無効です。



損害保険ジャパン株式会機影響

自動車保険 契約証明

当社は、次の契約内容のとおり、自動車保険契約が締結されていることを証明します。

保険契約者

医療法人 道南勤労者医療協会

理事長 佐々木 悟 様

証券番号

D893580101 - 00015

ご契約の内容

保険種類 一般自動車保険 SGP

保険期間

令和 4年11月15日午後4時から令和 5年11月15日午後4時まで

車名 フリード

こ契約の自動車

登録番号 車台番号

用途車種

ハコダテ 500 ニ 6722

GB3-5200180

自家用小型乗用車

記名被保険者

保険契約者と同一です

相手方への賠償

対人賠償

無制限

対物賠償

無制限 / 自己負担額 なし

こ自身・搭乗者など の補償

人身傷害

1名につき 3,000 万円 入通院定額給付金 なし

搭乘者傷害

補償されません

ご契約の自動車

車両保険

50 万円 / 自己負担額 1回目 10 万円・2回目以降 10 万円

ご契約の等級など

主な特約等

特約等名称	基本項目	特約等名称
全車両一括		運転者従業員限定(ZR)
被害者救済費用	その他	安心更新サポート対象外
対物全損時修理差額費用	その他	NA
入通院定額給付金対象外	その他	NZ
無保険車傷害	その他	W4
臨時代替自動車		1E
ロードアシスタンス	***	****
代車等諸費用	***	****
弁護士費用(自動車)	***	****
全損時諸費用対象外(EF)	***	****
	全車両一括 被害者救済費用 対物全損時修理差額費用 入通院定額給付金対象外 無保険車傷害 臨時代替自動車 ロードアシスタンス 代車等諸費用 弁護士費用(自動車)	全車両一括 その他 被害者救済費用 その他 対物全損時修理差額費用 その他 入通院定額給付金対象外 その他 無保険車傷害 その他 臨時代替自動車 その他 ロードアシスタンス *** 代車等諸費用 *** 弁護士費用(自動車) ***

くこ注意>

- ◆ 本契約証明書は、発行日時点の契約内容を記載しています。なお、発行日後の契約内容の変更については反映しておりません。
- ご契約の詳細内容(特約など)は、保険証券(または保険契約維続証)・変更手続き完了のお知らせをご確認ください。
- ◆ 本契約証明書の記載が、保険証券(または保険契約雑続証)・変更手続き完了のお知らせと異なる場合は、保険証券(または保険契約 継続証)・変更手続き完了のお知らせが優先します。
- ◆ 記載されている契約内容が加除訂正されている場合、本契約証明書は無効です。



損害保険ジャパン株式会社

旅客の名簿

2023年1月17日

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称 ヘルパーステーションゆいっこ

番号	氏 名	住所	入会年月日		運	送を必	要と	するキ	里由		備考
田万	14 14		八五千万山	7		八		ホ	^	7	. C⊞1
1	,	江差町字南が丘	2022.7				0				1
2	1 d :	江差町字柏町	2022.7				0				2
3		江差町字円山	2011.3				0				1
4		江差町字田沢町	2020.1				0				2
5		江差町字泊町	2022.11				0				3
6		江差町字南浜町	2017.6				0				2
7	個人情報	江差町字豊川町	2021.3				0				2
8	保護のた め、氏名、	江差町字柏町	2021.4				0				3
9	住所の地 番等を表示	江差町字越前	2021.5				0				1
10	しない	江差町字田沢町	2017.1				0				2
11		江差町字伏木戸	2019.5				0				2
12		江差町字豊川町	2018.7				0				2
13		江差町字田沢町	2023.1				0				1
14		江差町字円山	2021.4				0				2
15		江差町字新栄町	2019.9				0			,	2
16		江差町字豊川町	2022.4				0				2
17		江差町字円山	2021.1				0				3
18	,	江差町字陣屋町	2021.9				0				2
19		江差町字本町	2022.11				0				1
20		江差町字本町	2021.1				0	1			2

- イ 身体障害者
- □ 精神障害者
- 八 知的障害者
- 二 要介護認定者
- 木 要支援認定者
- へ 基本チェックリスト該当者
- トその他(肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)

旅客の名簿

2023年1月17日

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称

ヘルパーステーションゆいっこ

番号	 氏 名	住 所	入会年月日	į	運道	送を必	要と	するエ	里由	-	備考
ਜ਼੶			人云牛乃口	1		八	=	木	^	 	畑与
21	•	江差町字円山	2022.5				Ó				1
22		江差町字田沢町	2022.6				0				1
23		江差町字中歌町	2021.12				0				1.
24		江差町字桧岱	2017.7				0				1
25		江差町字豊川町	2022.5				0				4
26		上ノ国町字上ノ国	2016.4				0				3
27	個人情報	江差字津花町	2021.3				0				2
28	保護のた め、氏名、	江差町字津花町	2022.2				0			İ	2
29	住所の地 番等を表	江差町字柳崎	2022.6	-			0				2
30	示しない	江差町字田沢町	2016.9				0				2
31		上ノ国町北村	2021.3				0				2
32		江差町字南浜町	2019.11				0				1
33		上ノ国字北村	2020.7					0			1
34		上ノ国町字上ノ国	2020.3					0			2
35		上ノ国町字大留	2020.5					0			1
36		上ノ国町字北村	2022.4					0			1
37		上ノ国町字大留	2021.11		0						1級
38		江差町陣屋町	2022.1	· · ·						0	その他
39		江差町字陣屋町	2017.9		0						2級
40		江差町字円山	2018.12	0							1級

- イ 身体障害者
- □ 精神障害者
- 八 知的障害者
- 二 要介護認定者
- 木 要支援認定者
- ヘ 基本チェックリスト該当者
- トその他(肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)

旅客の名簿

2023年1月17日

(福祉用)

自家用有償旅客運送者の名称

ヘルパーステーションゆいっこ

	TT 67	/) ===	7.6年日口		 送を必	要と	するも	里由		備考
番号	氏 名	住所	入会年月日	1	八	=	木	^	7	
41		江差町字柏町	2018.12		0					В
42	Ī	上ノ国町字大留	2021.11						0	内部
43	Ī . Ī	江差町字津花町	2022.11	0						2級
44	[江差町字円山	2018.12		0					В
45	Ī . [江差町字尾山町	2016.9	0						1級
46] [江差町字中歌町	2011.2	0						3級
47	個人情報	江差町字田沢町	2018.12	0						1极 (视觉)
48	め、氏名、	江差町字陣屋町	2021.4					<u></u>	0	内部
49	住所の地 番等を表	上ノ国町字大留	2021.6	0						1級
50	示しない									
51										
52							,			
53										
54										
55										
56	[
57										
58] [
59] [
60							<u> </u>			

- イ 身体障害者
- □ 精神障害者
- 八 知的障害者
- 二 要介護認定者
- 木 要支援認定者
- ヘ 基本チェックリスト該当者
- ト その他 (肢体不自由、内部障害、精神障害、その他の障害)



身体状況等、態様ごとの会員数

自家用有償旅客運送者の名称

道南動労者医療協会 ヘルパーステーションゆいっこ

2023年1月17日 現在

身体障害	者		人	数	要	介護認定者	人	数
	6	級				要 介 護 1		10
	5	級				要 介 護 2		17
	4	級	1 1 1 1 1			要 介 護 3		4
	3	級	! ! ! !	1		要 介 護 4		1
	2 -	級		1		要 介 護 5		0
	1	級	t t 1 1	4	合計			32
					要	支援認定者	人	数
合計			 - - - -	6		要 支 援 1		3
精神障害者			人	数		要 支 援 2		1
	3	級			合計	·		. 4
,	2	級	 	1	基本壬-	ックリスト該当者	人	数
	1	級		1				0
		•	 		合計			0
合計				2	その他の	の障害を有する者	人	数
知的障害者			人	数		肢体不自由		
4	圣	度	1 1 1			内部障害		2
F.	 	度	1 1 1 1 1	2		知的障害(認定者を除く)		
	Ē	度				精神障害(認定者を除く)		
						その他		1
合	計		 	2		合 計		3
総合計	_							49

函運輸第496号

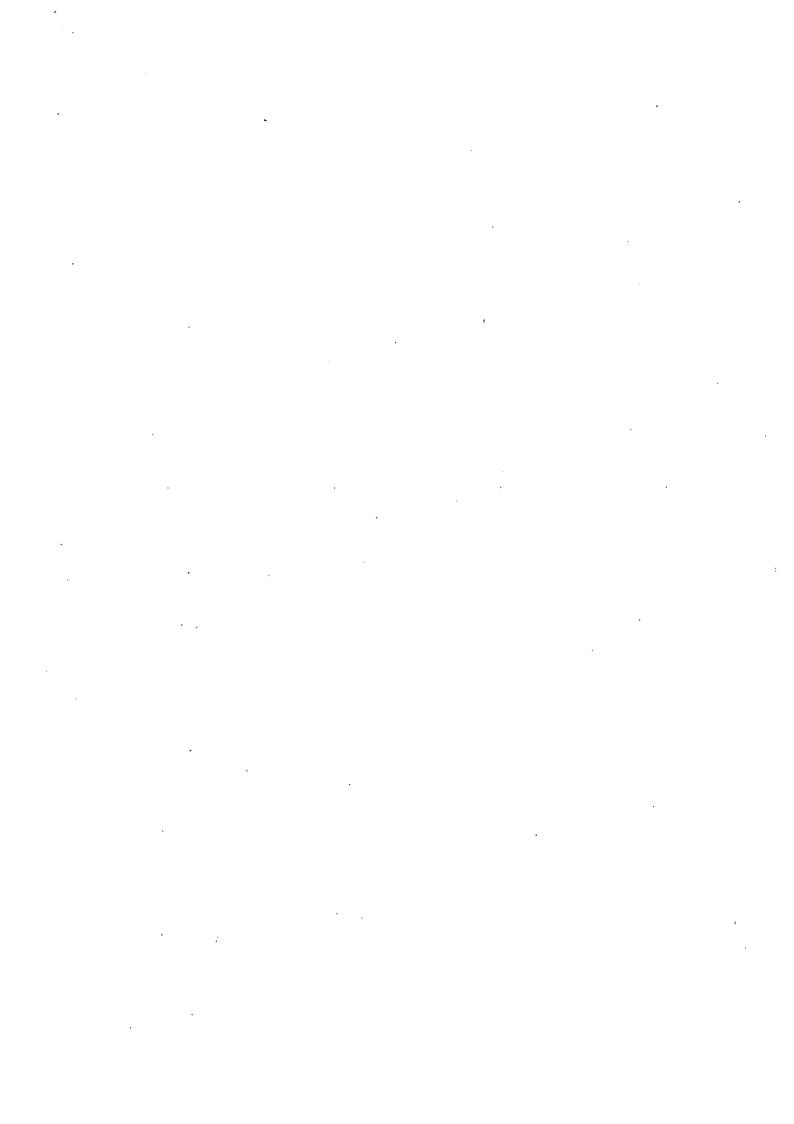
自家用有償旅客運送者登録証

道路運送法第79条の3の規定に基づき、下記のとおり自家用有償旅客運送者 として登録を行ったことを証する。

記

- 1. 登録番号 北函福第11号
- 2. 登録の有効期間令和2年3月1日 から令和5年2月28日 まで
- 3. 名称及び住所 医療法人 道南勤労者医療協会 函館市中道2丁目51番1号
- 4. 自家用有償旅客運送の種別 福祉有償運送
- 5. 運送の区域 檜山郡江差町

令和2年2月12日 北海道運輸局函館運輸支局長 田中 勝利輸局函館 運輸支局長



2023年度~2027年度

江差町地域公共交通計画 (素案)



令和5年 江差町 江差町地域公共交通活性化協議会

【江差町地域公共交通計画 目次】

第1章	計画策定にあたって	1
1.1	計画策定の背景と目的	1
1.2	計画の位置づけ	3
1.3	計画の区域	. 23
1.4	計画期間	. 23
第2章	地域の現状	24
2.1	位置・地勢	. 24
2.2	人口・高齢化	26
2.3	通勤・通学等の人流の動き	. 30
2.4	移動目的地となる施設の分布	31
第3章	地域公共交通の現状	35
3.1	道路網の状況	35
	公共交通体系の状況	
3.3	交通空白地域の整理	49
	公共交通関連財政支出の整理	
	当町内を運行する公共交通で補完すべきターゲット	
	地域の現状及び地域公共交通の現状から見える課題(ニーズ)	
	地域公共交通に対するニーズ	
	住民ニーズ把握アンケート調査結果	
	江差マース実証実験結果	
	北海道江差高等学校への通学状況に関するアンケート調査結果	
	町民意見交換会結果	
	各種調査結果から見える地域公共交通へのニーズ	
	地域公共交通の方向性	
	計画期間内で解決すべき課題(重点課題)	
	計画の基本理念と基本目標、将来像	
	基本目標を達成するために行う事業	
	基本目標と事業の体系整理	
	実施する事業の内容及び実施スケジュール	
	事業の進捗状況を評価する指標及び計測方法	
	推進方針	96
第8章	汀差町地域公共交通活性化協議会の運営方針	98



第1章 計画策定にあたって

∭ 1.1 計画策定の背景と目的

現在の当町における公共交通体系は、函館バス株式会社によるバス路線(道南圏域の中心市である 函館市や新幹線駅が立地している北斗市・木古内町までの基幹的地域間幹線系統のほか、檜山振興局 管内の各自治体を繋ぐ準基幹的地域間幹線系統)が運行しているほか、有限会社桧山ハイヤーが町内 の末端交通としての役割を担っています。

一方で、町内を運行するバス路線は国道・道道を中心に運行されており、また、当町の地域特性として国道・道道までアクセスする際、急勾配の坂道を徒歩で移動する必要があるなど、高齢化が進行する当町においては、町民が気軽に利用できる公共交通体系の構築は急務な課題となっています。

国は、地域の移動ニーズを踏まえ、地域が自ら交通をデザインし、持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(以下、活性化再生法)」を令和2年11月に改正しました。この改正により、地方公共団体は、地域の運送サービスの持続可能な提供に係る基本的な方針を定め、公共交通のマスタープランとなる「地域公共交通計画」の作成が努力義務となりました。さらに、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の変化に伴う公共交通サービスの需要縮小等により、地域が主体となった公共交通の維持・確保の重要性が高まっています。

これらを背景として、町内の多様な公共交通を貴重な"資源"と捉え、町民等の移動実態に即した公 共交通体系へと生まれ変わりを目指すほか、公共交通サービスの需要創出に向けた取組をセットで 展開し、当町における持続可能な公共交通網を構築していくために、当町の公共交通網の方向性を示 す「江差町地域公共交通計画(以下、「本計画」という。)」の策定が必要となっています。

主な 交通機関 当町における役割等 運行区域 本州への公共交通の主軸であり、東北・東京方面への早く広 域的な移動を支える役割を担う当町から新幹線を利用する 町外 新幹線 場合は、新函館北斗駅もしくは木古内駅まで移動する必要が ある。 道内移動における公共交通の主軸であり、札幌方面への広域 的な交通のほか、道南圏域での生活移動を支える役割を担 J_R 町外 う。当町から利用する場合、最寄り駅となる新函館北斗駅も しくは八雲駅まで移動する必要がある。 道南圏域の中心市である函館市や新幹線駅が立地する北斗 基幹的地域間 市・木古内町への公共交通であり、町民の生活交通及び町外 町内外 幹線系統 からの来訪者の生活・観光移動を支える役割を担う。 バス 檜山振興局管内の各自治体を繋ぐ公共交通であり、町民の生 準基幹的地域間 活交通及び町外からの来訪者の生活移動を支える役割を担 町内外 幹線系統 う。

表 1-1 当町における各公共交通機関等の役割(その1)









表 1-2 当町における各公共交通機関等の役割(その2)

交通機関	当町における役割等	
フェリー	当町と奥尻島を結ぶ航路として運航しており、奥尻町民や奥	町内外
	尻島への来訪者の移動を支える役割を担う。	
	町内外の移動手段として、身体障がい者等の他人の介助によ	
 福祉有償運送	らずに移動することが困難であると認められ、かつ、単独で	町内外
福祉行识廷	バスその他の公共交通機関を利用することが困難な者の生	₩J P J J J T
	活移動を支える役割を担う。	
福祉バス	福祉バス 町民のコミュニティ活動を支える役割を担う。	
क्त श्रद्ध स्तर वर्ष । ।, →	町民の社会教育及び学校教育活動に関する移動の役割を担	町山り
生涯学習バス	う。	町内外
事前予約制	当町北部の公共交通空白地域において、北部居住者の移動の	OT ch
乗合タクシー	足を確保する役割を担う。	町内
	小中学校が廃校となった地域の通学支援としての役割を担	mr.ch
スクールバス	う。	町内
ハイヤー	上記公共交通では確保できない需要等を支える役割を担う。	町内外









暦 1.2 計画の位置づけ

(I) 関係法令・上位計画等と本計画との関連性

本計画と関係法令及び上位・関連計画との関連性について、以下に整理します。

本計画は、関係法令に基づく計画であるとともに、まちづくりの一環としての公共交通のマスタープランとしての顔を持つ計画であることから、本計画と関係する法令を根拠とし、上位・関連計画との整合性を持った計画として策定します。

関係法令

交通政策基本法、道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

Positioning(地方公共団体が定める計画に求めること)

- ・まちづくりとその他の観点を踏まえた、施策間の相互連携
- ・持続可能な地域旅客運送サービスの提供
- ・輸送資源の総動員による移動手段の確保
- ・データに基づくPDCAサイクルの強化

上位計画

第6次江差町総合計画

(第2期江差町人口ビジョン、第2期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

Positioning(計画の位置づけ)

- ・交通・交流拠点の創出
- ・まちづくりと一体となった、地域の足づくりの検討
- ・公共交通機関等と連携した2次交通の確保

関連計画(本町における関連計画)

江差町都市計画マスタープラン 江差町立地適正化計画 江差町強靭化計画 第5期江差町地域福祉計画

第6期江差町障がい福祉計画・第2期江差町 障がい児福祉計画

第2期江差町子ども・子育て支援事業計画 江差町過疎地域持続的発展市町村計画

Positioning (計画の位置づけ)

- ・交通結節点の創出
- ・既存路線バスを補完する交通として の新たな交通システムの導入検討
- ・路線バスの利用促進
- ・2次交通の確保方策の検討

関連計画 (北海道等における関連計画)

北海道総合計画 北海道交通政策総合指針 第2次北海道定住自立圏共生ビ ジョン

Positioning (計画の位置づけ)

- ・地域の実情に応じた交通 ネットワークの構築(地 域における最適な交通 モードの検討)
- ・公共交通の利用定着に向けた地域全体の意識改革
- ・圏域内を結ぶ路線バス等 の生活路線の維持・確保

江差町地域公共交通計画

図 1-1 関係法令及び上位・関連計画と本計画の関係性









(II) 関係法令

(II)-i 交通政策基本法(平成 25 年 12 月施行、令和 2 年 12 月改正)

同法では、交通が担うべき役割などを示しており、特に地方公共団体が行うべき施策として「まちづくりその他の観点を踏まえた、施策間の相互連携」が示されています。

表 1-3 交诵政策基本法の概要

	表 1-3 交通政策基本法の概要
項目	内容
基本的認識	○交通が果たす機能・国民の自立した生活の確保・活発な地域間交流・国際交流・物資の円滑な流通○国民等の交通に対する基本的需要の充足が重要
交通の役割	○交通機能の確保・向上・少子高齢化の進展等に対応しつつ、以下の内容に寄与・豊かな国民生活の実現・国際競争力の強化・地域の活発な向上・大規模災害に的確に対応○環境負荷の低減、様々な交通手段の適切な役割分担と連携、交流の安全の確保
国の施策	 ○豊かな国民生活の実現 ・日常生活の交通手段確保 ・高齢者、障害者等の円滑な移動 ・交通の利便性向上、円滑化、効率化 ○地域の活力の向上 ・国内交通ネットワークと拠点の形成 ・交通に関する事業の基盤強化、人材育成等 ○国際競争力の強化、大規模災害への対応、環境負荷の低減、適切な役割分担と連携
地方公共団体の施策	〇自然的経済的社会的諸条件に応じた交通に関する施策を総合的かつ計画的に実施 ・まちづくりその他の観点を踏まえた、施策間の相互連携

Positioning(地方公共団体が定める計画に求めること)

・まちづくりとその他の観点を踏まえた、施策間の相互連携









(II)-ii 道路運送法(昭和 26 年 6 月施行、令和 4 年 6 月改正)

同法では、有償で交通を運行するにあたっての種別及び定めるべき事項やこれらを協議する場な ど、旅客自動車運送事業を行うにあたり必要となる手続内容等について定めています。

表 1-4 道路運送法の概要

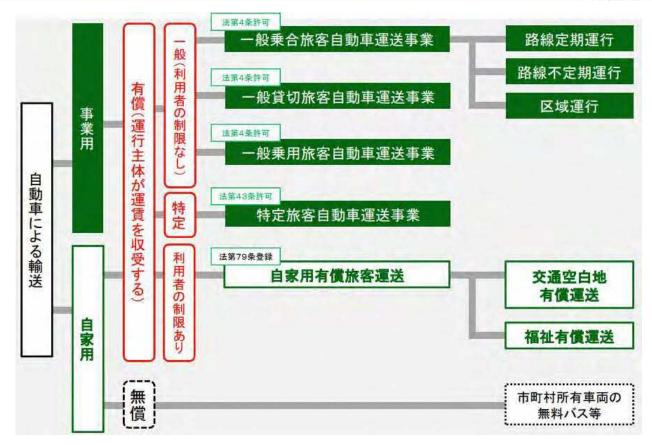
	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
項目	内容
目的	○道路運送の分野における利用者の需要の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、輸送の安全を確保し、道路運送の利用者の利益の保護及びその利便の増進を図ること ○道路運送の相互的な発達を図り、もって公共の福祉を増進すること
定める運行の種別	 ○事業用旅客自動車運送事業 (4条) ・一般乗合旅客自動車運送事業 ・路線定期運行 ・路線不定期運行 ・区域運行 ・一般貸切旅客自動車運送事業 ・一般乗用旅客自動車運送事業 ・特定旅客自動車運送事業 ○一般乗合旅客自動車運送事業者による運行が困難な場合における一時的な需要のための運送 (21条) ○自家用旅客自動車運送 (78条) ・市町村運営有償運送 ・公共交通空白地有償運送 ・福祉有償運送
運行 にあたって 定める事項	 ○事業計画 ・路線又は営業区域 ・停留所の名称、位置、停留所間の距離 ・主たる事務所及び営業所の名称、位置 ・営業所に配置する事業用自動車の数 ・自動車車庫の位置及び収容能力 ○運行計画 ・運行系統(ルート) ・運行回数 ・運行時刻 ・運賃 -上限運賃(上限の範囲内で実施運賃を届出) -協議運賃(地域公共交通会議において運賃の協議が行われ、協議が調ったもの)





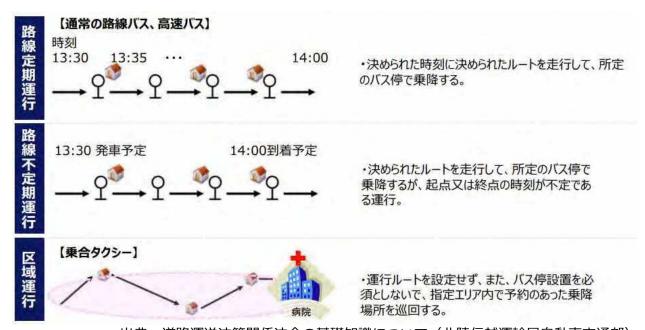






出典:道路運送法等関係法令の基礎知識について(北陸信越運輸局自動車交通部)

図 1-2 道路運送法上の事業区分と運行形態



出典:道路運送法等関係法令の基礎知識について(北陸信越運輸局自動車交通部)

図 1-3 一般乗合旅客自動車運送事業のイメージ









(II)-iii 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成 19 年 5 月施行、

令和 2 年 11 月一部改正)

同法では、地域公共交通計画の策定にあたって「まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成」が求められるとともに、持続可能な地域公共交通の構築に向け、「地域における輸送資源の総動員」による地域公共交通の維持・確保に向けた具体策を盛り込むことができるようになりました。

表 1-5 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律における改正の概要

項目	大容 内容
	○人口減少の本格化、運転手不足の深刻化等に伴い、公共交通サービスの維持・確
	保が厳しさを増す中、高齢者の運転免許の返納が年々増加する等、地域の暮らし
改正の背景	と産業を支える移動手段を確保することがますます重要
以上の日京	
	〇加えて、多様な関係者が連携し、地域経済社会の発展に資する交通インフラを整
	備することにより、生産性向上を図ることも必要
	〇地域が自らデザインする地域の交通
	・地方公共団体による「地域公共交通計画」の作成
	-地方公共団体による地域公共交通計画作成が努力義務化
	-バス・タクシー等の従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源(自
	家用旅客有償運送、福祉輸送、スクールバス等)も計画に位置付け、きめ細やか
	に対応(情報基盤の整備・活用やキャッシュレス化の推進にも配慮)
	-定量的な目標 (利用者数、収支等) の設定、毎年度の評価等、データに基づく PDCA
	を強化
ルエの柳亜	・地域における協議の促進
改正の概要	○地域の移動ニーズにきめ細かく対応できるメニューの充実
	-様々な補助メニューや制度を創設
	・輸送資源の総動員による移動手段の確保
	-地域に最適な旅客運送サービスの継続(地域旅客運送サービス継続事業)
	-自家用有償旅客運送の実施の円滑化
	-貨客混載に係る手続の円滑化
	・既存の公共交通サービスの改善の徹底
	-利用者目線による路線の改善、運賃の設定(地域公共交通利便増進事業)
	-MaaS の円滑な普及促進に向けた措置

Positioning(地方公共団体が定める計画に求めること)

- ・持続可能な地域旅客運送サービスの提供
- ・輸送資源の総動員による移動手段の確保
- ・データに基づく PDCA サイクルの強化









法改正

地域公共交诵網形成計画

地域公共交通計画

「まちづくり」と「公共交通」が連携 した面的な計画策定を重視

地域旅客運送サービスを「地域が自らデザインすること」を重視

«必須事項»

- ① 移動手段の確保、社会全体の価 値向 F等
- ② 鉄道やバス等の個々の事業に関する留意事項
- ③ 交通網の形成に資する事業評価
- ④ 国、地方自治体、事業者の役割

«必須事項»

- ① 移動手段の確保、社会全体の価値向上、新技術を活用した利便性向上等
- ② 鉄道やバス等の個々の事業、地域公共交通再編事業 に対する留意事項
- ③ 新しいモビリティサービスの活用
- ④ 地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に 関する評価
- ⑤ 国、地方自治体、事業者等の役割
- ⑥ 災害対策との連携、感染症対策、共同経営等の活用

図 1-4 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正前後の違い



出典:地域公共交通の活性化及び再生に関する法律について(国土交通省)

図 1-5 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の概要









(III) 上位・関連計画

(III)-i 上位計画

①第6次江差町総合計画

(第2期江差町人口ビジョン、第2期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

本計画の上位計画にあたる「第6次江差町総合計画」では、「旧江光ビル跡地やかもめ島周辺にお ける交通・交流拠点整備」に加え、「町民等の継続的な生活の足の確保方策の検討」、「当町への来訪 者の移動方策の確保」など、町民に加え来訪者等の移動の足の確保に係る施策を整理しています。

	表 1-6 第6次江差町総合計画の概要
項目	内容
	令和 2 年度から令和 11 年度
計画期間	※第2期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間は、
	令和2年度から令和6年度
目指すまちの姿	誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなでつくる自分たちごとのまちづくり
	基本目標1:経済基盤を持続させる産業の進行
まちづくり	基本目標2:あたたかなつながりのある地域・ひとづくり
の基本目標	基本目標3:住民が元気に安心して暮らせる生活環境づくり
	基本目標4:住民とともにあり続ける行政運営
	基本目標1:経済基盤を持続させる産業の進行
	(4)商工業
	〇重点施策
	・商店街の拠点化
	-拠点となる商店街の維持及び賑わい創出
-t-1	(6)観光・江差追分
本計画に	○継続施策
関係する	・江差に誘う
内容	-公共交通機関等と連携した2次交通の整備
	基本目標 2: あたたかなつながりのある地域・ひとづくり
	(8)子ども・子育て支援、(11)健康づくり
	○継続施策
	・安心して出産できる環境の確保
	-他市町村の医療機関で受診する妊産婦検診及び出産時の交通費を助成









基本目標3:住民が元気に安心して暮らせる生活環境づくり

(19) 土地利用

○重点施策

- ・かもめ島周辺の観光・交流拠点としての土地利用の推進
- -かもめ島周辺を①交通の拠点②物流の拠点③交流の拠点として位置付けし、マリーナエリア・南埠頭エリア・かもめ島エリアのコンセプトを明確にした北の江の島構想の着実な推進
- (23) 地域公共交通・情報通信

○重点施策

本計画に 関係する 内容

- ・面的な交通ネットワークの再構築
- -地域公共交通網の実態把握・分析
- -まちづくりと一体となった、まちづくりの装置としての、江差町らしい地域の足づくり(地域公共交通)の検討

○継続施策

- ・生活バス路線の確保
- -路線バスの利用促進
- ・フェリーの利用促進
- 奥尻離島航路の維持整備対策の推進
- -関係機関による利用促進活動の実施
- ・交通弱者対策に向けた取り組み
- -路線バス廃止地区の代替交通手段の確保対策
- -交通弱者のための移動手段の確保・運営体制についての検討

Positioning (計画の位置づけ)

- ・交通・交流拠点の創出
- ・まちづくりと一体となった、地域の足づくりの検討
- ・公共交通機関等と連携した2次交通の確保









(III)-ii その他関連計画

①本町における関連計画

①-I) 江差町都市計画マスタープラン・江差町立地適正化計画

江差町都市計画マスタープラン・江差町立地適正化計画では、公共交通に係る内容として、「かもめ島周辺における交通結節機能の確保」のほか、「既存路線バスを補完する交通としての新たな交通システムの導入検討」、「関係機関・事業者等を連携した 2 次交通の確保方策の検討」を整理しています。

表 1-7 江差町都市計画マスタープラン・江差町立地適正化計画の概要

	表 1-7 江差町都市計画マスタープラン・江差町立地適正化計画の概要
項目	内容
計画期間	令和 2 年度から令和 21 年度
まちづくり	歴史・文化・人々の絆が暮らしを彩り新しい出会いと賑わいを生み出す
のテーマ	工工町・江差
基本目標	目標1:歴史や文化を活かし、多世代が気軽に集まって交流する回遊型のまちなかづくり 目標2:地域の絆を感じながら、安心して暮らし続けることのできる居住地づくり目標3:都市機能の利用を円滑にする持続的な移動ネットワークづくり目標4:農林水産業の振興や都市・地域の健全な発展を促す"適材適所"の土地利用の実現
対応する 都市の 将来像	 1. 広域・都市レベル ○檜山管内の生活サービスの拠点、ネットワーク -道南圏日本海側の観光・交流拠点 2. 市街地レベル ○町内の中核的なサービス機能ネットワーク -季節や行事に合わせ町民が憩える交流拠点 3. 地域・コミュニティレベル ○身近な環境で支え合い豊かに暮らせる -拠点・ネットワークづくり
本計画に 関係する 内容	■道路・交通の方針 (5)公共交通 ○基本方針 ・既存路線バスの利用促進を図ります。 ・路線バスを補完する新たな移動サービスを検討します。 ○個別方針・その他 ・かもめ島周辺では、路線バスと市街地内公共交通をつなぐ新たな交通結節機能の確保を検討します。 ・空路や鉄道からの2次交通については、利用者の利便性・快適性の向上を図る観点から、関係機関や事業者等と連携して検討を進めます。









・既存路線バスを補完する、デマンド交通、ライドシェア、フリー乗降など地域に 合わせた新たな手法を検討します。

- ■都市機能誘導区域内の取組
- ○歩行者中心、まちなかへのアクセス強化
- ・まちなかへのアクセス強化を図る、公共交通網や交通結節点の形成

-既存の路線バスのサービス水準を維持確保するとともに、まちなかへのアクセス 強化を図るための新たな交通移動手段を検討するとともに、「かもめ島周辺観光・ 交流拠点」での交通結節点の形成を検討します。

本計画に 関係する 内容

- ■居住誘導区域内の取組
- ○安全性・交通利便性を確保するための取組
- 新たな公共交通システムの検討
- -既存の路線バスによる公共交通サービスの維持保全に加え、市街地内をよりきめ 細かにカバーする新たな公共交通システムの導入を、「地域公共交通網形成計画」 の策定・推進も視野に入れながら検討していきます。



出典:江差町都市計画マスタープラン・江差町立地適正化計画

図 1-6 対応する都市の将来像









表 1-8 将来都市構造の総括

区分	拠点		9->
広園・都市	【メイン拠点】 ○かもめ島周辺観光・交流 拠点 ○上町腫わい中心拠点 ○下町交流・サービス拠点 ○下町交流・サービス拠点 ○神崎・伏木戸町広域サービス拠点 【サブ拠点】 ○北部地区田園・生活サブ 拠点 ○日明地区福祉・保養・生活サブ拠点	 ○広域連携軸 ・国道 227 号、228 号、229 号 ・函館江差自動車道 ○既存バス路線ネットワーク 	 ○都市地域 ・江差市街地、北部・日明エリア(都市計画区域内) ○農業地域 ・水堀町、越前町、中郷町、小黒部町、朝日町、鰔川町 ○森林地域 ・東山、桧岱、萩ノ岱、砂川、町民の森、檜山古事の森
市画地	○かもめ島周辺観光・交流 拠点○上町賑わい中心拠点○下町交流・サービス拠点	まちなか回遊ネットワーク・既存バス路線ネットワーク・新たな移動サービスによるネットワーク	○商業地 ○住宅地 ○工業地
地域・コミ ユニティ レベル	● 身近な拠点の形成・運営 ・空き店舗・空き地の活 用、リノベーション ・既存の集会施設の活 用。更新時の多用途複 合化 ・その他公園・広場、空 き地、社寺、蔵	○商店街の目抜き通りや 路地空間○高台への避難路	
都市計画 マスター プラン	高業地、沿道業務地。 高度利用住宅地	道路・交通の方針	土地利用の方針
立地表正化 H面	都市機能誘導区域	基幹的な 交通ネットワーク	居住誘導区域 (用途地域内)

出典: 江差町都市計画マスターフラン・江差町立地適止化計画

Positioning(計画の位置づけ)

- ・かもめ島周辺における交通結節機能の確保
- ・既存路線バスを補完する交通としての新たな交通システムの導入検討
- ・関係機関・事業者等を連携した 2 次交通の確保方策の検討









①-II) 江差町強靭化計画

江差町強靭化計画では、公共交通に係る内容として、「路線バス廃止地区の代替交通手段の確保対策」のほか、「交通弱者のための移動手段の確保・運営体制の検討」、「路線バスの利用促進」、「関係機関と連携した奥尻離島航路の維持」を整理しています。

表 1-9 江差町強靭化計画の概要

	女 1-9 圧左門は初に門門の地名	
項目	内容	
計画期間	平成 30 年度から令和 5 年度	
	目標1:人命の保護が最大限図られること	
強靭化の	目標 2 : 町及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること	
目標	目標3:町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化	
	目標4:迅速な復旧復興	
	1-7 情報伝達の不備・途絶等による死傷者の拡大	
	○観光客、高齢者等の要配慮者対策	
	・路線バス廃止地区の代替交通手段の確保対策の実施	
	・交通弱者のための移動手段の確保・運営体制についての検討	
	4-4 町外との基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止	
本計画に	○交通ネットワークの整備	
関係する	・路線バスの利用促進	
内容	・奥尻離島航路の維持整備対策の推進	
	・関係機関によるフェリー利用促進活動の実施	
	5-2 町内外における物流機能等の大幅な低下	
	○港湾の機能強化	
	・奥尻離島航路の維持整備対策の推進(再掲)	
	・関係機関によるフェリー利用促進活動の実施(再掲)	

Positioning(計画の位置づけ)

- ・路線バス廃止地区の代替交通手段の確保対策
- ・交通弱者のための移動手段の確保・運営体制の検討
- ・路線バスの利用促進
- ・関係機関と連携した奥尻離島航路の維持









①-III) 第 5 期江差町地域福祉計画

第 5 期江差町地域福祉計画では、公共交通に係る内容として、「高齢者等が社会参加等をできる環境整備」を整理しています。

表 1-10 第5期江差町地域福祉計画の概要

項目	内容
計画期間	令和4年度から令和8年度
基本理念	「助け愛・支え愛」を未来へつなげ 誰もが安心して暮らせるまちづくり
	基本目標1:福祉サービスを利用しやすい"仕組みづくり"
基本目標	基本目標2:安全で安心な暮らしを支える"基盤づくり"
	基本目標3:気軽に参加できる"環境づくり"
	基本目標2:安全で安心な暮らしを支える"基盤づくり"
	■安全で安心な環境の充実
	(1)福祉サービス提供体制の充実
	○具体的な取組
	・福祉バスの運行にあたっては、高齢者をはじめ、住民の福祉活動の促進と社会参
本計画に	加の充実を図ります。
関係する	(2)地域の見守り支援体制の構築
内容	〇共通して取り組むべき事項
	・高齢者等の移動手段への支援
	-高齢者等の自立と社会活動への参加を促進するため 65 歳以上の方を対象に、町
	内を運行する路線バス運賃の半額助成を実施します。
	-また、通院等外出支援を目的として「外出支援サービス」と「福祉タクシー利用券
	の交付」を実施します。

Positioning(計画の位置づけ)

・高齢者等が社会参加等をできる環境整備









①-IV) 第6期江差町障がい福祉計画・第2期江差町障がい児福祉計画

第6期江差町障がい福祉計画・第2期江差町障がい児福祉計画では、公共交通に係る内容として、「障がいのある方が自立して地域で暮らせるための移動支援の実施」に加え、「障がい児の健やかな成長等に関する移動支援の実施」について、整理されています。また、これら支援の実施にあたっての具体的な事業についても定めています。

表 1-11 第6期江差町障がい福祉計画・第2期江差町障がい児福祉計画の概要

項目	1-1
計画期間	令和3年度から令和5年度
基本理念	○障がい福祉計画・自立と共生の社会を実現 障害者が地域で暮らせる社会に○障がい児福祉計画・健やかな成長・発達や自立等を保障されること等の権利を有する
基本方針	基本方針 1: 障がいのある方等の自己決定の尊重と意思決定の支援 基本方針 2: 障がい種別によらない障がい福祉サービス等の提供 基本方針 3: 地域生活への移行、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備 基本方針 4: 地域共生社会の実現に向けた取組 基本方針 5: 障がいのある児童の健やかな育成のための発達支援 基本方針 6: 障がい福祉の人材確保 基本方針 7: 障がい者の社会参加を支える取組
本計画に 関係する 内容	○障がい者支援(その他) (1) 町独自事業 ・障がい者等福祉タクシー利用助成事業 ・重度の障害者等に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、障害者等の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進等を図ります。申請時等で利用者から困りごとなどを把握するとともに、助成額の拡充等について検討します。 ・高齢者等外出支援サービス事業 ・一般交通機関を利用して外出することが困難な身体に障害がある者等に対し、移送用車両による送迎を行うことにより、自立と生活の質の確保及びその家族の負担軽減を図るとともに、自立した日常生活を営むことができるよう支援します。・高齢者等交通費助成事業 ・難病患者が健康で明るく豊かな生活を営み、自立と社会活動への参加を促進するため「江差町高齢者・特定疾患患者乗車証」を交付し、江差町内の路線バス運行区間のみの利用料金の2分の1を助成し、生活と福祉の向上を図ります。・地域活動支援センター通所交通費助成事業 ・江差町地域活動支援センター「あゆみ共同作業所」への通所に係る交通費の一部を助成し、障がい者世帯の経済的負担を軽減し福祉の増進を図ります。









○障がい児支援(その他)

本計画に 関係する

内容

(1) 町独自事業

- ・子ども発達支援センター等通所交通費助成事業
- -障がい児世帯の経済的負担を軽減するため、上ノ国町子ども発達支援センター及びたまみずき上ノ国町(放課後等デイサービス)への通所に係る交通費の一部を助成します。
- -なお、保護者の送迎の負担を軽減する支援の拡充を検討します。

Positioning (計画の位置づけ)

- ・障がいのある方が自立して地域で暮らせるための移動支援の実施
- ・障がい児の健やかな成長等に関する移動支援の実施









①-V) 第2期江差町子ども・子育て支援事業計画

第2期江差町子ども・子育て支援事業計画では、公共交通に係る内容として、「子どもたちが自由 に少年団活動をできる支援」について整理しています。

表 1-12 第2期江差町子ども・子育て支援事業計画の概要

項目	及 1-12 第2期 上記 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日
計画期間	令和2年度から令和6年度
基本理念	13/11 2 年度が 9 13/11 0 年度
	- 」ことの子とを第一に与え - すべての子どもと子育て家庭を地域全体で支え合い
坐个生心	子どもの最善の利益が実現されるまちづくりを目指します。
	すともの敬喜の利益が支続されるようラくりを自由しよす。 基本目標1:のびのび子育て
	盆本白伝 1 . 000000 月 C ○教育・保育・子育てサービスを充実させ、安心して子育てできる環境を目指しま
	し教育・保育・丁育でダーと人を光美させ、女心して丁育でできる境境を目指しな
	9° 基本目標 2 : すこやか子育て
	金本日保と・9 これが 同 C 〇妊娠・出産・子育て期を通じた親と子の心身の健康を支援します。
	○妊娠・山産・丁育で期を通じた税と于の心身の健康を又援します。 基本目標3:あんしん子育て
	基本日保3:のんしん丁月 C ○安全・安心が保たれ、子育て家庭に優しく住みよい街づくりを進めます。
基本目標	
	基本目標4:みんなで子育て
	○学校・家庭・地域が連携し、地域社会の中で子どもの成長を支えます。
	基本目標5:つながる子育て
	〇ひとりひとりの特性を尊重した子育てが進められるような体制を整備します。
	基本目標6:はばたく子育て
	〇生まれ育った環境により将来への希望をなくすことなく成長できる支援を整備し ・・・
	ます。
	基本目標4:みんなで子育ての取組
	(2) 家庭や地域による子どもの育ち支援
本計画に 関係する 内容	〇スポーツ少年団活動支援
	・スポーツを通じた「人材」の育成を図るため、青少年の健全育成を理念として、
	子どもたちにスポーツを経験させる上で重要な役割を担っているスポーツ少年団
	活動の活性化に向けた取組に対して支援していきます。大会参加時の生涯学習バ
	スの運行や、町民野球場への企業広告料を原資とした各少年団への活動費助成も
	行います。

Positioning (計画の位置づけ)

・子どもたちが自由に少年団活動をできる支援









①-VI) 江差町過疎地域持続的発展市町村計画

江差町過疎地域持続的発展市町村計画では、公共交通に係る内容として、「地域間連携による取組の推進」に加え、「より住みよい町に向けた交通対策の抜本的見直し」を挙げている。

表 1-13 汀差町過疎地域持続的発展市町村計画の概要

ĺ	表 1-13 江差町過疎地域持続的発展市町村計画の概要
項目	内容
計画期間	令和3年度から令和7年度
基本方針	地域住民が、安全で、安心を実感できる暮らしと、豊富な地域資源の有効的な活用による雇用の創出や産業振興を図り、その担い手として若者や高齢者、女性など様々な年齢層及び行政、各町内会等のコミュニティ、地元企業等の多様な実施主体の連携、協働により、過疎地域における豊かで個性的な地域
本計画に関係する内容	5. 交通施設の整備、交通手段の確保 (1) 現状と問題点 ○交通 ・鉄道・バス ・バス運行については、江差・八雲間の通年バス運行は、JR八雲駅経由で札幌圏 との距離を短縮する公共交通機関として有効なバス路線であるが、年々利用者が 減少しているうえに、赤字経営を余儀なくされており、経路となる3町と函館バス株式会社でその在り方を検討し、令和3年10月に江差八雲線(2往復)が廃止となる。 ・生活維持路線バス対策として、バス運行に対する助成を実施しているが、不採算路線の廃止が進む中、地域交通の確保対策として、乗合タクシーについての取組みを平成21年度から開始し、平成25年度からは、利用者の利便性の確保と効率的な運行体制の一環としてデマンド型へと進化している。より住みよい町とするため、地域住民の交通対策を抜本的に見直すことが急務である。 ・また、JR江差線は昭和11年に全線開通して以来、函館を結ぶ基幹交通手段であったが、平成26年5月11日に江差・木古内間が廃線となり、道道江差・木古内線経由のバス運行に切り替わっている。 (2) その対策 〇鉄道バス等 ・新幹線開業後の地域間連携の推進(JR江差線有効活用推進)・地域公共交通対策の強化

Positioning (計画の位置づけ)

- ・地域間連携による取組の推進
- ・より住みよい町に向けた交通対策の抜本的見直し









②北海道等における関連計画

本計画における北海道等の関連計画としては、「北海道総合計画」及び「北海道交通政策総合指針」、「第2次南北海道定住自立圏共生ビジョン」の3計画が挙げられ、各関連計画では、「地域の実情に応じた公共交通ネットワークの構築」や「地域における最適な交通モードの検討」、「担い手確保」などの地域公共交通に関する方針を整理しています。

表 1-14 北海道等における関連計画の整理

2	L-14 北海道寺にのりる関連計画の登理				
計画名・年次	記載内容				
	〇地域で互いに支え合うまちづくりの推進				
	・買い物支援や安否確認のモデルの幅広い発信				
	・日常生活に必要不可欠な生活交通の確保				
	・街並み・景観への配慮や脱炭素化、エネルギーの地産地消、資				
O北海道総合計画	源の域内循環などの取組との連携				
-平成 28 年度	○本性 しなされ ナニス 炒入 切れ 女子 ル しロー りの形式				
から令和7年度	○連携と交通を支える総合的な交通ネットワークの形成				
	・交通・物流を担う人材の確保・育成				
	・国をはじめ市町村や交通事業者等と緊密に連携し、地域の実情				
	に応じた公共交通ネットワークの構築				
	・交通インフラ整備と自動運転や MaaS 等との連動				
	〇シームレス交通戦略				
	・交通インフラとデジタルサービスが連動した利便性の向上				
	・公共交通の利用定着に向けた地域全体の意識改革				
〇北海道交通政策総合指針	〇地域を支える人・モノ輸送戦略				
-平成 3 年度	・地域における最適な交通モードの検討				
から令和 12 年度	0 L. White				
	〇ウィズコロナ戦略				
	・コロナ禍で失われた交通需要の回復				
	・非接触型サービスの拡大による移動の質の向上				
	・社会背景・住民ニーズを踏まえたサービス持続性の確保				
O第 2 次南北海道定住自立圏	〇圏域内における公共交通手段の維持および確保等				
共生ビジョン	・圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線の維持・確保を図るため、				
-令和元年度	運行事業者に対する支援等を実施				
から令和 5 年度					

Positioning(計画の位置づけ)

- ・地域の実情に応じた交通ネットワークの構築(地域における最適な交通モードの検討)
- ・公共交通の利用定着に向けた地域全体の意識改革
- ・圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線の維持・確保









<北海道型公共交通ネットワークの基本イメージ>

韓

中核都市間等を結ぶ本道の骨格となるネットワーク

【主なモード:鉄道、航空機、都市間バス】

線 交

誦

本道のさらなる発展を牽引する路線であり、交流人口や経済活動の拡充、国土強靱化な どに資するため、高速性、大量輸送を担う交通ネットワークの継続と、その基盤の充実 を進める。

取組の 方向性 鉄道や航空機、都市間バスといった高速な移動手段により、相互に補完しなが ら、全体として強靭なネットワークを形成

広

过

交

通

中核都市や地域中心都市と周辺市町村などを結ぶネットワーク

【主なモード:鉄道、都市間バス、乗合バス、離島航路】

観光客の周遊促進や。通学、通院、買い物など地域住民が分散する都市機能を享受する ために必要な移動手段であり、様々な地理的条件なども踏まえながら、利便性や接続性 の向上に取り組むなど、持続的な公共交通の維持・確保や機能強化を進める。

取組の 方向性

地域の利用実態や今後の見込みなどを見据え、地域の中核的な都市との円滑

な接続に配慮した利便性の高い持続的なネットワークを形成

生

活

交

通

単一市町村・周辺エリアでの日常生活に密接した交通ネットワーク

【主なモード:乗合バス、タクシー、デマンド型交通】※都市部では鉄道も含む

地域住民の日常生活に必要な移動手段であり、それぞれ地域のまちづくりの形に応じ て、きめ細かな対応を進める。

地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域が主体となり、事業者と住民などとの

方向性 協働により、まちづくりと一体的に、最適な公共交通サービスを確保

図 1-7 北海道交通政策総合指針で示される北海道型公共交通ネットワークの基本イメージ









(IV)上位・関連計画から整理する当町の公共交通に求められる役割

本計画に関係する法律や上位・関連計画から当町の公共交通に求められる役割について整理すると、当町のまちづくりの指針となる「第6次江差町総合計画」で示されている「まちづくりと一体となった地域の足づくり」が挙げられ、この役割を実現するために、「交通弱者支援の検討」や「交通・交流拠点の創出」が必要となっています。

加えて、公共交通網の維持に向けては、当町の町民に加え、当町への来訪者なども利用したいと思える公共交通網として、「2次交通の確保」や「奥尻離島航路の維持」など、関係する交通の確保が必要となっています。

まちづくり計画等との施策間相互の連携

2次交通の確保

持続可能な交通サービスの提供

奥尻離島航路の維持

輸送資源の総動員

PDCAサイクルによる管理

まちづくりと一体となった 地域の足づくり

交通・交流拠点の創出

交通弱者支援の検討

旧江光ビル跡地

公共交通の利用定着かもめ島周辺

既存路線バスを補完する交通 新たな交通システムの導入検討

図 1-8 上位・関連計画等から整理する当町の公共交通に求められる役割









₹ 1.3 計画の区域

計画区域は、江差町全域とします。

なお、隣接町である乙部町、厚沢部町、上ノ国町からの生活移動も見られることから、施策展開に あたっては、必要に応じて隣接町とも連携し取り組みます。



図 1-9 計画区域図

₹ 1.4 計画期間

本計画の計画期間は、令和5年度から令和9年度の5か年1とします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢の変化や施策推進状況を加味し、柔軟に見直しを行ってい くものとします。

¹ 計画期間:「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き(令和2年11月 国土交通省)」において、 原則5年程度とされていることに基づき設定。









第2章 地域の現状

₩ 2.1 位置・地勢

(I) 位置と公共交通の現況

当町は、北海道の南西部、檜山振興局の南部に位置し、総面積 109.48 kmのアルファベットの「B」の形をした町です。また、当町の中央に厚沢部川が流れ、北は乙部町、東は厚沢部町、南は上ノ国町と隣接し、北西方向では日本海を挟んで奥尻町と対しています。

当町の公共交通は、基幹的地域間幹線系統として、道南圏域の中心市である函館市や新幹線駅が立地している北斗市・木古内町と結ぶ函館江差線、江差木古内線、また準基幹的地域間幹線系統として、檜山振興局管内の各自治体を繋ぐ桧山海岸線、小砂子線、稲見線、館線、木間内線が函館バス株式会社により運行されています。また、当町と日本海を挟んで対している奥尻町とを結ぶ航路として、江差〜奥尻航路がハートランドフェリー株式会社により運航されています。このほか、末端交通として、バス路線等でカバーしきれない需要や運行区域において、桧山ハイヤーや福祉有償運送が補完する関係で運行をしています。



図 2-1 江差町の位置図









(II) 地勢

当町の地理的特性として、「森林」の面積が当町全体面積の約8割を占める一方で、「建物用地」は当町全体面積の3%以下であり、これまで居住に活用可能土地を確保するため、平地のほか急勾配な大地を切り開き、居住地等を形成してきました。

このような背景から、当町では急勾配な土地に居住地が形成されており、バス路線が運行する国道 や道道などの主要幹線道路まで自宅から急な坂道を移動する必要があり、高齢化が進行する当町の 町民にとって、公共交通を利用することが困難な状況となっています。



出典: H27 国勢調査(総務省統計局)、国土数値情報(国土交通省)

図 2-2 土地利用の状況

表 2-1 土地利用区分別面積の状況

土地利用区分	定義	面積 (k㎡)	割合
田畑及びその他農用地	田、麦・陸稲・野菜・草地等を栽培する土地	13.2	11.8%
森林	多年生植物の密生している土地	89.0	79.8%
荒地	荒地・がけ・岩等で旧土地利用データが荒地の土地	3.4	3.1%
建物用地	住宅地・市街地等で建物が密集している土地	3.2	2.9%
その他用地	運動競技場、空港、競馬場・野球場・学校・港湾地区・ 人口造成地の空地等の土地	1.5	1.3%
河川及び湖沼	人口湖・自然湖・池・養魚場等で平水時に常に水を湛 えているところ及び河川・河川区域の河川敷の土地		1.2%
	111.6	100.0%	

出典:国土数值情報(国土交通省)

Keyword (課題)

・地理的条件を踏まえた最適な交通モードの導入検討









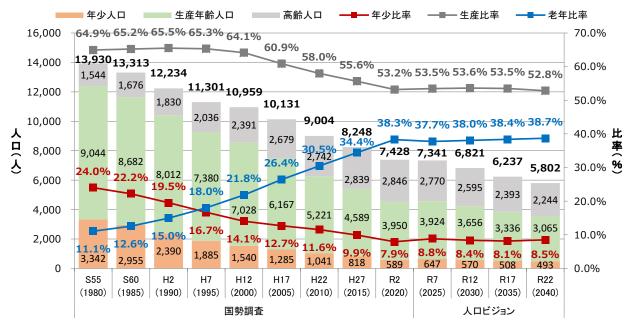
₩ 2.2 人口・高齢化

(I) 総人口と高齢化の推移

(I)-i 人口推移

当町の人口は、減少の一途を辿っており、同様に世帯数も減少傾向にあります。特に人口区分(年少人口、生産年齢人口、高齢人口)では、これまで年少人口や高齢人口の家族間送迎などを担ってきた生産年齢人口の減少割合が大きく、家庭によっては、送迎自体が困難になるケースが増加する懸念があります。

このことを踏まえ、当町に安心して住み続けられる環境整備として、公共交通が必要となる方々が 気軽にお出かけできる交通モードの導入が必要となっています。



出典: H2~R2 国勢調査(総務省統計局)

R7~R22 将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

図 2-3 人口推移

表 2-2 人口·世帯数推移

		H29	H30	R1/ H31	R2	R3	R4
人口	(人)	7,956	7,767	7,564	7,365	7,185	6,917
世帯数	(世帯)	4,322	4,271	4,231	4,216	4,152	4,104
1 世帯当たり 世帯人員	(人/世帯)	1.84	1.82	1.79	1.75	1.73	1.69

出典:住民基本台帳(各年4月1日現在)

Keyword(課題)

・公共交通が必要となる方々が気軽にお出かけできる交通モードの導入検討









(I)-ii 人口分布

当町の人口分布状況を整理すると、五勝手地区、下町地区、上町地区に集積しており、このほか、 当町との隣接自治体である乙部町、厚沢部町との町境であり、商業施設や医療施設、高校が立地している北部地区においても人口が集中している状況です。

一方で、五勝手地区の柏町、砂川、椴川町では、道路沿いに人口低密度の集落形成がされており、 また北部地区の柳崎町を除く地域では農業主体地域であり散居形態の居住地が形成されています。

また、高齢化の状況としては、日明地区や五勝手地区の柏町、椴川町、北部地区(柳崎町除く)で特に高齢化が進行しています。

このような状況を踏まえると、これまでの路線バス中心の交通網から、商業施設や医療施設等の生活利便施設や路線バスの拠点までなどの近距離送迎に適した交通と路線バスを組み合せた交通網への転換を行い、より当町の実情に即した交通体系の構築を行うことが必要です。

五勝手 上町 下町 日明 北部 その他 南浜町・ 上野町・ 新栄町・ 大澗町・ 柳崎町・ 老人ホー ムひの 柏町・南 橋本町・ 愛宕町・ 泊町・尾 水堀町・ ケ丘・砂 本町・新 豊川町・ 山町・田 五厘沢 き・えさ 川・萩ノ 東山・絵 沢町・伏 地町・緑 町・越前 し荘・あ 合計 岱・椴川 丘・茂尻 岱・中歌 木戸町 町・中網 すなろ学 町 町・円山・ 町・姥神 町・小黒 藁 陣屋町・ 町・津花 部町・朝 海岸町 町・鷗島 日町・鰄 川町 人口総数 (人) 1,140 1,945 1,454 709 1,191 478 6,917 年少 40 78 (人) 83 185 124 510 人口 生産年齢 (人) 551 710 1,062 410 610 285 3,628 人口 高齢 (人) 506 698 620 259 503 193 2,779 人口 年少 (%) 7.3 9.5 8.5 5.7 6.6 7.4 人口割合 生産年齢 (%)48.3 54.6 48.8 57.8 59.6 52.4 51.2 人口割合 高齢 (%)44.4 35.9 42.7 36.5 42.2 40.4 40.2 人口割合

表 2-3 町内の地区別人口(令和4年)

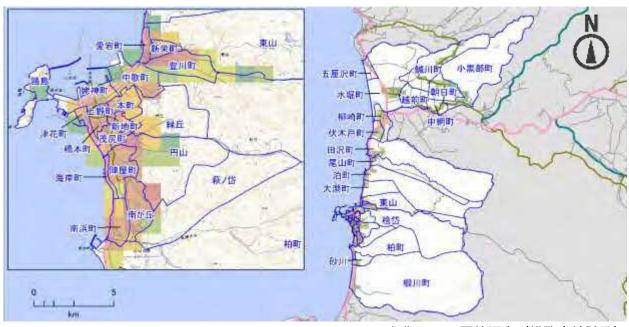






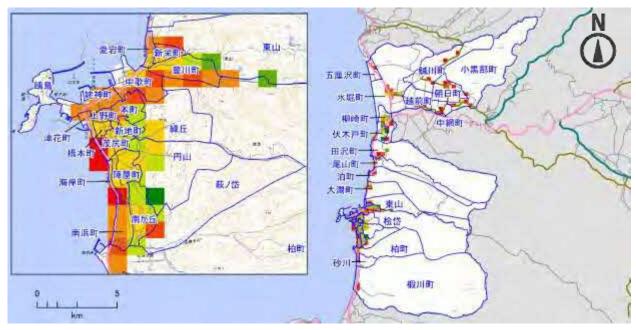






出典: H27 国勢調査(総務省統計局)

図 2-4 人口分布



出典: H27 国勢調査(総務省統計局)

図 2-5 高齢者分布

【注記:国勢調査結果の活用について】

令和 2 年に実施された国勢調査について、人口推移などの一次集計などが段階的に公表されており、P.26 に示した内容は令和 2 年国勢調査が活用していますが、P.25 や P.28 に示すメッシュ単位の人口及び P.30 で示す通勤・通学圏の状況は未公表であることから、平成 27 年国勢調査結果を活用しています。

Keyword (課題)

・近距離送迎に適した交通と路線バスを組み合せた交通網への転換を検討









(I)-iii 非免許保有者の状況(推計)

町民の自動車運転免許証の保有データを基に、自動車運転免許証を保有していない町民(非免許保有者)を推計した結果、下町地区や北部地区において、当町の免許非保有者割合の平均値を超えている状況です。一方で、町内で最も高齢化率が高い五勝手地区では、免許保有者割合が町内で最も高く、高齢者になっても当町の市街地から距離が離れていることから、自家用車を手放せない状況になっていることが推察されます。

このような状況を踏まえ、町民が自家用車に依存せず、公共交通も使って移動できる環境整備として、これまでのライフスタイル(自動車依存等)を考慮した交通モードの導入検討を行うことが必要です。

		五勝手	上町	下町	日明	北部	合計		
人口総数	(人)	1,248	2,113	1,621	1,034	1,412	7,428		
免許保有 者数	(人)	812	1,344	1,013	665	853	4,687		
免許保有 者割合	(%)	65.1	63.6	62.5	64.3	60.4	63.1		
免許非保 有者数	(人)	436	769	608	369	559	2,741		
免許非保 有者割合	(%)	34.9	36.4	37.5	35.7	39.6	36.9		

表 2-4 自動車運転免許証保有状況(推計)

【注記:自動車運転免許証非保有者の推計方法について】

- 1)年齢別自動車運転免許保有者数(データ A)から、年齢別自動車運転免許証保有者割合(データ B)を整理
- 2) 当町各地域の年齢別人口(データ C)にデータ B を乗じて、地域別年齢別自動車運転免許証 保有者数(データ D)を算出

《2)の算出式》

 $\vec{F} - \phi C \times \vec{F} - \phi B = \vec{F} - \phi D$

3) データ C からデータ D を差し引くことで、地域別年齢別自動車運転免許証非保有者数(データ E) を算出

《3)の算出式》

 $\vec{r} - eta C - \vec{r} - eta D = \vec{r} - eta E$

Keyword (課題)

・これまでのライフスタイル(自動車依存等)を考慮した交通モードの導入検討







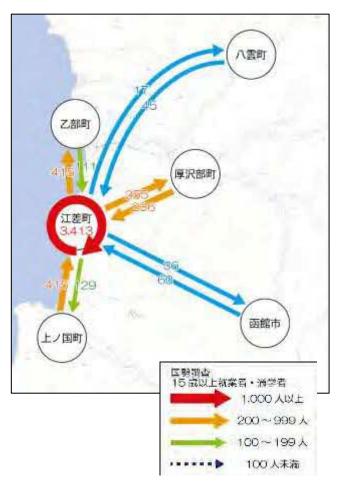


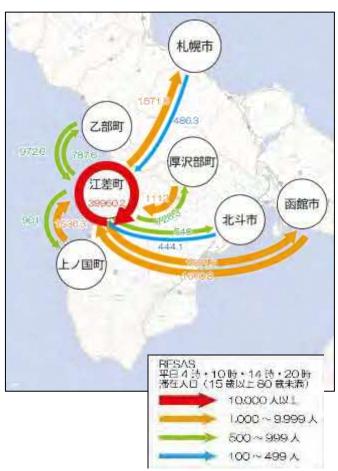
₹ 2.3 通勤・通学等の人流の動き

当町に係るヒトの動きとして、通勤・通学については、当町内で完結する動きが最も多い状況ですが、近隣自治体である乙部町、厚沢部町、上ノ国町といった南檜山管内での流動が主な動きです。

一方で、全目的でのヒトの動きについては、当町内や南檜山管内のみならず、道南圏域の中心市で ある函館市までの動きが多いことも特徴の一つとして捉えています。

このようなことを踏まえ、南檜山管内の中心自治体として、管内からのヒトの流動を支えつつ、当町内での移動を支援する交通の確保を行うとともに、函館市までの通院等の広域的な町民の移動も確保し続けることが必要です。





出典:令和2年度国勢調査(左図)、地域経済分析システム(RESAS)-内閣府(右図)

図 2-6 通勤・通学圏 (左図)、全目的での移動図(右図)

Keyword (課題)

- ・当町内の移動を含む南檜山管内での移動を確保
- ・道南圏域の中心市である函館市までの広域的な移動も確保









万 2.4 移動目的地となる施設の分布

(I) 医療機関

当町の医療施設(病院・診療所)は、商業施設が立地している柳崎地区及び市街地に立地しており、特に柳崎地区に立地している北海道立江差病院は、当町の町民のみならず、近隣自治体の住民も利用する拠点病院としての位置づけであり、かつ基幹的・準基幹的地域間幹線系統も接続しており、公共交通の拠点としても機能しています。



図 2-7 医療機関の位置図









(II) 商業施設

当町の商業施設 (スーパー・ドラッグストア) についても、柳崎地区及び市街地に集積しています。 一方で、市街地においては、急勾配の坂道等の地理的特性の関係から、特に足腰の弱っている高齢者 等に対して、移動の負担を強いていることが想定されます。



図 2-8 商業施設の位置図









(III) 主要施設

前段で整理した医療機関及び商業施設に加え、当町の行政機能(役場・振興局)、公共施設、教育施設の主要施設は、市街地に集積している状況であり、自家用車を保有しないなど自力で移動できない町民などのためにも、当町内各地区から市街地までの足の確保が必要です。

また、当町に立地している北海道江差高校は、当町に居住する高校のみならず、近隣自治体からも 通学している重要な教育施設であることから、バス路線で通学できる環境を維持していくことが必 要です。



図 2-9 主要施設の位置図









(IV) 観光資源

当町では、「歴史を生かすまちづくり事業」を実施するなど、北海道の中でも古くから和人が訪れ、 最も早く開港した港町のひとつが江差町です。このような歴史的建造物が当町に多く存在しており、 「いにしえ街道」を中心に江差らしい外観を残す土蔵や町家などを「歴史的景観形成建物」として指 定し、重要な観光資源として保全・整備をしています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当町への来訪者は大きく減少していますが、アフターコロナを見据え、観光交通についても近隣自治体と連携し取り組んでいくことが必要です。

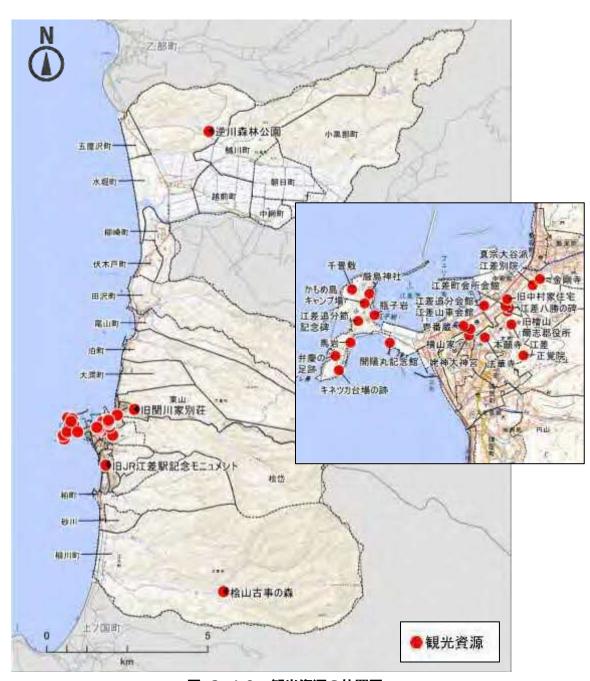


図 2-10 観光資源の位置図

Keyword (課題)

- ・自家用車等で自力で移動することができない町民の足の確保
- ・近隣自治体と連携した観光交通の確保









第3章 地域公共交通の現状

₹ 3.1 道路網の状況

当町の道路網は、函館市と当町を結ぶ国道 227 号のほか、上ノ国町方面への国道 228 号、乙部町方面への国道 229 号が整備され、このほか主要地方道・一般都道府県道を中心に道路網が形成されています。



図 3-1 道路網の整備状況









冊 3.2 公共交通体系の状況

当町内を運行する公共交通は、函館バス株式会社が運行する民間バス路線が国道を中心に運行しており、これらを補完する公共交通として、有限会社桧山ハイヤーが運営するハイヤー事業、各種団体が運行する福祉有償運送、当町が運行する福祉バス、生涯学習バス、事前予約制乗合タクシーが運行しています。

このほか、江差港と奥尻港を結ぶ江差〜奥尻島航路 (フェリー) や当町の小学生及び中学生の通学の足を確保するスクールバスが運行しています。

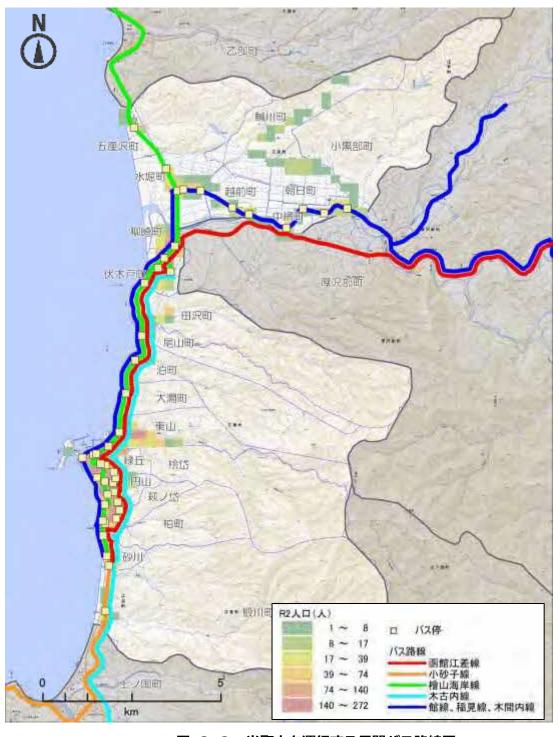


図 3-2 当町内を運行する民間バス路線図









表 3-1 町内を運行する公共交通の運行状況

3	交通機関名	運行区間			
	函館・江差線	江差ターミナル	\rightarrow	函館バスセンター	5 便
	(610 系統)	函館バスセンター	\rightarrow	江差ターミナル	5 便
	江差小砂子線	江差ターミナル	\rightarrow	原口漁港前	3 便
	(621 系統)	原口漁港前	\rightarrow	江差ターミナル	3 便
	江差小砂子線	江差ターミナル	\rightarrow	小砂子	1 便
	(622 系統)	小砂子	\rightarrow	江差ターミナル	2 便
	桧山海岸線	江差ターミナル	\rightarrow	熊石	6 便
	(624 系統)	熊石	\rightarrow	江差ターミナル	6 便
民間	江差・木古内線	江差病院前/江差高校前	\rightarrow	木古内駅前	6 便
バス路線	(631・632 系統)	木古内駅前	\rightarrow	江差病院前/江差高校前	6 便
	館線	江差ターミナル	\rightarrow	富里	2 便
	(641~644系統)	富里	\rightarrow	江差ターミナル	2 便
	館線	江差ターミナル	\rightarrow	東部館	2 便
	(661・662 系統)	東部館	\rightarrow	江差ターミナル	2 便
	稲見線	江差ターミナル	\rightarrow	稲見	2 便
	(651~653系統)	稲見	\rightarrow	江差ターミナル	2 便
	木間内線 (663 系統)	上木間内	\rightarrow	江差ターミナル	1便
ハイヤー事	業	町内を発地、着地のいずれかとする、予約に応じて自宅 と目的地間などをドア・トゥ・ドアで運行			
フェリー	シューク及び百期	江差港	\rightarrow	奥尻港	1便
※ゴールデンウィーク及び夏期 の期間 1 日各 2 便を運行		奥尻港	\rightarrow	江差港	1 便
		身体障がい者等の他人の介助によらずに移動すること			
福祉有償運	送	が困難であると認められ、かつ、単独でバスその他の公			
		共交通機関を利用することが困難な者を対象に運行			
福祉バス		老人クラブ等の地域のコミュニティ活動に活用			
生涯学習バス		社会教育及び学校教育活動に関する研修時に活用			
事前予約制乗合タクシー		町北部の「船越、鰔川神社前、鰔川西、旧朝日小学校、 万寿山、小黒部バス停」を結ぶ区間を運行			
スクールバス		町内の小中学生を対象に、江朝日便、日明便、柳崎便の 3系統を運行			





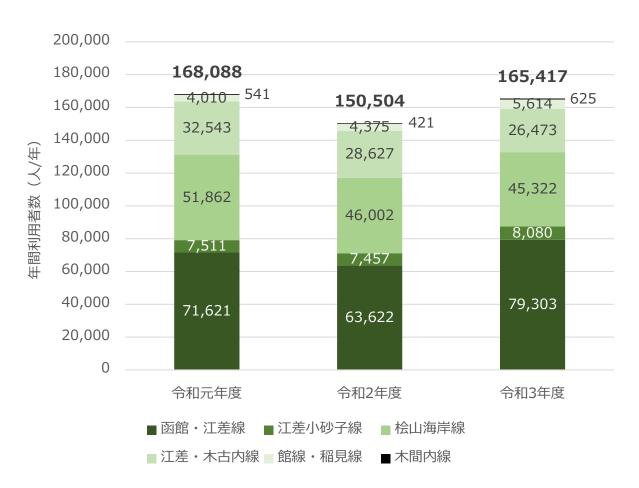




(I) 民間バス路線

(I)-i 年間利用者数の推移

当町の民間バス路線は、函館バス株式会社により、7路線16系統が運行されており、令和3年度 実績で年間利用者数165,417人であり、その利用者数は年々減少傾向となっています。特に利用者 数が少ない路線は、当町と厚沢部町間を運行する館線・稲見線・木間内線であり、抜本的な見直しも 含め再編を行う必要性があります。



出典:函館バス株式会社

図 3-3 民間バス路線の年度別利用者数推移









(I)-ii 民間バス路線乗降調査結果概要

令和4年11月1日(火)に、町内を運行している各種公共交通の利用状況の把握に向け、調査員の全便乗り込み調査を行う、民間バス路線乗降調査を実施しました。

乗降調査当日の利用者数は、7路線 15系統の合計で592人/日、うち高校生の利用は126人/日でした。特に、江差・小砂子線及び館線、稲見線、木間内線の利用者数が他路線と比較し、少ない傾向にあります。

表 3-2 各路線・系統の1日の利用者数

路線	起点	\rightarrow	終点	便数	利用者数	内 高校生
図館・江差線	江差ターミナル	\rightarrow	函館バスセンター	5	235	36
610 系統	函館バスセンター	\rightarrow	江差ターミナル	5	235	30
江差・小砂子線	江差ターミナル	\rightarrow	原口漁港前	3	12	0
621 系統	原口漁港前	\rightarrow	江差ターミナル	3	12	0
江差・小砂子線	江差ターミナル	\rightarrow	小砂子	1	10	2
622 系統	小砂子	\rightarrow	→ 江差ターミナル		13	3
桧山海岸線	江差ターミナル	\rightarrow	熊石	6	175	40
624 系統	熊石	\rightarrow	江差ターミナル		175	48
江差・木古内線	江差病院前 /江差高校前	\rightarrow			110	21
631 系統、632 系統	木古内駅前	\rightarrow				
館線	江差ターミナル	\rightarrow	富里	2	1 -	10
641~644 系統	富里	\rightarrow	江差ターミナル	2	15	12
館線	江差ターミナル	\rightarrow	東部館	2	17	0
661 系統、662 系統	東部館	\rightarrow	江差ターミナル	2	17	0
稲見線	江差ターミナル	\rightarrow	稲見	2	17	3
651~653 系統	稲見	\rightarrow	江差ターミナル	2	12	3
木間内線 663 系統	上木間内	\rightarrow	江差ターミナル	1	3	3









①バス利用者の属性や移動状況、利用目的

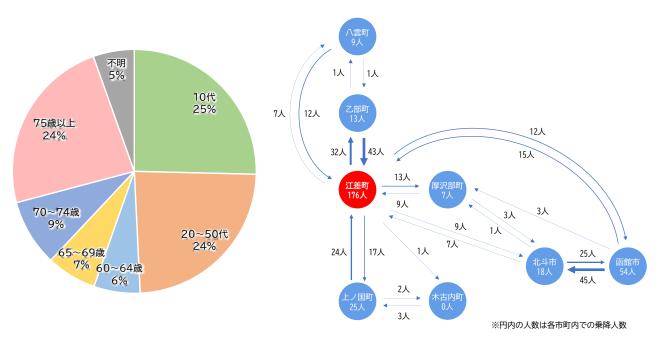


図 3-4 バス利用者全体の年齢層

図 3-5 自治体間の移動状況

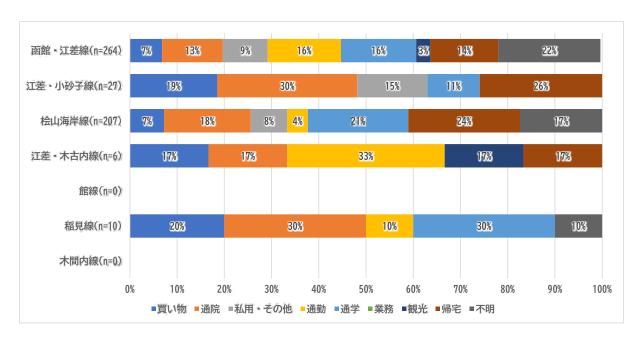


図 3-6 路線別利用目的









②系統別の利用状況

系統別に利用者数を整理すると、館線及び稲見線においては、極端に利用者数が少ない状況です。 このような状況に加え、経年的に利用者数も少ない状況を踏まえ、館線及び稲見線、木間内線など、 当町と厚沢部町間を結ぶ路線は、他路線と比較し、極端に利用者数が少ない傾向にあることから、1 便当たりの輸送量の向上など、より効率的な公共交通ネットワークの確保の観点での見直しが必要 であることが考えられます。

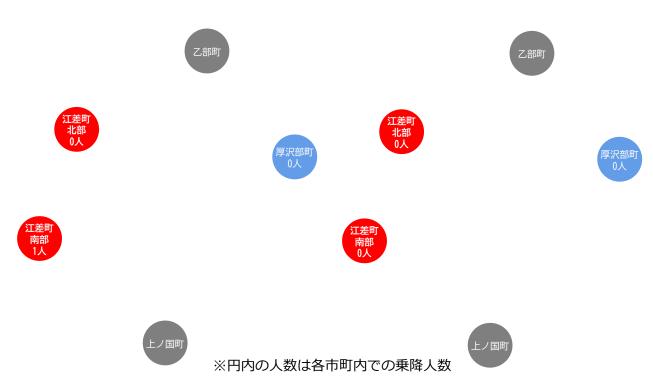


図 3-3 館線 (641 系統) の OD 図

図 3-3 稲見線(652 系統)の OD 図

Keyword (課題)

・利用者が極端に少ない路線の抜本的な見直し





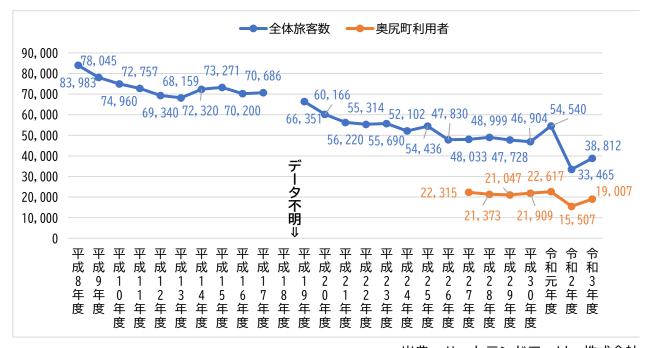




(II) フェリー

当町と奥尻町を結ぶ航路として、ハートランドフェリー株式会社により、江差〜奥尻島航路が運航されています。江差〜奥尻島航路は主に奥尻町民が函館市への通院等の目的で利用されていますが、 当町を含む桧山管内を来訪する観光客が奥尻島まで移動する手段としても重要な公共交通の 1 つとなっています。

また、奥尻町民が函館市まで通院等の目的で移動する際は、江差港フェリーターミナルを起点とする檜山・渡島管内での移動となりますが、通院帰りなどに奥尻町民が当町内で公共交通を利用して買い物などを行う場合、フェリーと民間バス路線の接続性などの関係から、当町内での生活移動が不便な状況となっているため、当町内で気軽に買い物などの生活移動が可能となる移動手段の確保を検討することが必要です。



出典:ハートランドフェリー株式会社

図 3-7 江差〜奥尻島航路の年度別利用者数推移

	函館方面行き
奥尻港発	7:00
\downarrow	\downarrow
江差港着	9:10
待ち時間	2:02
姥神町フェリー前発	11:12
\downarrow	\downarrow
函館バスセンター着	13:38

	函館方面帰り
函館バスセンター発	6 : 44
\downarrow	<u> </u>
姥神町フェリー前着	9:08
待ち時間	2:52
江差港発	12:00
\downarrow	<u> </u>
奥尻港着	14:10

図 3-8 フェリー1 便運航時のフェリーと民間バス路線の接続状況

Keyword (課題)

・フェリーと民間バス路線の待ち時間の有効活用方策の検討









(III) ハイヤー事業

当町のハイヤー事業は、有限会社桧山ハイヤー1社が運行を担っており、車両台数7台(小型車両5台、9人乗り車両2台)、運転手6人で運行を行っています。

令和3年度実績(6月・12月・2月)の平均値では、1か月当たり1,014人の利用であり、買い物や通院などの生活移動で利用されています。特に利用が多い区間では、市街地内での利用であり、次いで市街地と柳崎地区がある北部間での移動が多くなっています。

一方で、有限会社桧山ハイヤーでは運転手不足が深刻化しており、常時 $2\sim3$ 台体制での運行維持 に努めておりますが、町外への長距離運行等の関係から 1 台体制となってしまう時間帯も発生しています。

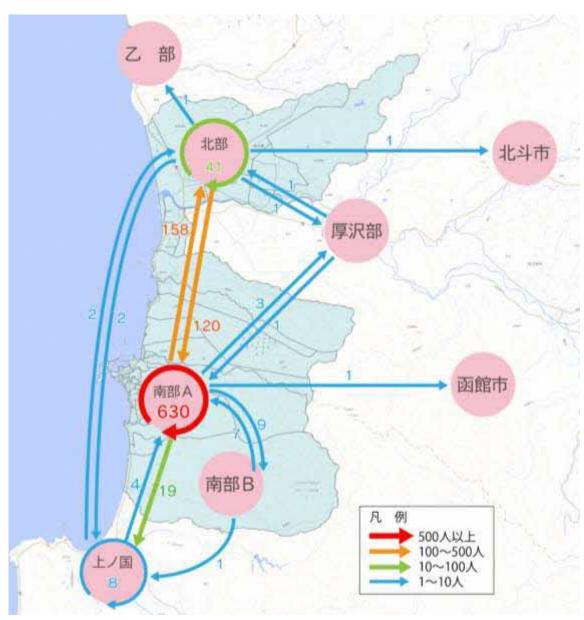


図 3-9 ハイヤー事業の1か月当たりの利用区間

Keyword (課題)

・ハイヤー事業による利便性の確保と運営効率化に向けた取組の検討









(IV) その他

(IV)-i 福祉有償運送

当町内の福祉有償運送は、当町を含め 4 事業者で運行しており、身体障がい者等の移動の足を確保しています。

一方で、江差町社会福祉協議会や医療法人道南勤労者医療協会(ヘルパーステーションゆいっこ) においては、近年の燃料費の高騰などの影響から、今後事業継続が困難となるおそれがあるため、運賃設定の見直しなどについて検討することが必要です。

また、NPO 法人南桧山在宅福祉支援ゆいも含めた福祉有償運送事業者は、運転手不足が深刻化しており、担い手確保の観点からも事業継続に向けた取組を検討することが必要です。

			11	
事業者名	江差町	江差町社会福祉協	医療法人道南勤労	NPO 法人南桧山在
尹未日石	<u> </u>	議会	者医療協会	宅福祉支援ゆい
	・要介護者又は要	・身体障がい者	・身体障がい者	・身体障がい者
	支援者に該当し	・精神障がい者	・精神障がい者	・要介護認定者
	ない、公共交通機	・要介護認定者	・知的障がい者	・要支援認定者
運送旅客	関を利用して外	・要支援認定者	・要介護認定者	・その他障がい者
の範囲	出することが困	・基本チェック	・要支援認定者	
	難な車椅子生活	リスト該当者	・基本チェックリ	
	者及び身体に障	・その他障がい者	スト該当者	
	がいがある者等		・その他障がい者	
	・兼用車 1 台	・車いす車2台	・車いす車1台	・セダン等 4 台
車両数		・兼用車 2 台	・セダン等 1 台	
		・セダン等6台		

表 3-3 当町内の福祉有償運送事業者の状況

(IV)-ii 福祉バス

町民の老人クラブ等地域のコミュニティ活動の支援を一環で、福祉バス(40人乗りバス1台、20人乗りバス1台)を運行させており、年間1,000人程度の町民が福祉バスを利用しています。

表 3-4 福祉バスの概要

利用対象	老人クラブや町内会、福祉関係の研修など団体での利用
利用方法	使用日の 10 日前までに申請書の提出が必要
去計步	・40 人乗りバス:函館バス株式会社
委託先	・20 人乗りバス:高齢者事業団









(IV)-iii 生涯学習バス

町民の社会教育及び学校教育活動に関する研修時の移動支援として、生涯学習バスを運行させており、年間3,000人以上の町民の支援を行ってきましたが、令和2年度以降においては新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少しています。

表 3-5 生涯学習バスの運行状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
運行回数	139 回	187 回	79 回	90 回
実稼働日数	121日	158 日	76 日	80日
乗車延人数	3,799 人	4,814 人	1,253 人	1,535 人

(IV)-iv 事前予約制乗合タクシー

当町の中での広く公共交通空白地域が広がる町北部において、北部居住者の移動の足を確保する こと目的に、事前予約制の乗合タクシーを運行させています。

年間の利用者数は 100 人超であり、北部居住者のうち、自家用車を運転することができず最寄りのバス停までの移動も困難な町民の足の確保として一定の役割を担っているものの、利用者数は減少傾向となっていることから、町民の移動実態に即したサービスの見直しが必要です。

表 3-6 事前予約制乗合タクシーの運行状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
運行回数	113 🗆	134 🗆	104 🗉	68 🗉
利用者数	125人	153 人	121人	81人
月平均利用 者数	10.42 人/か月	12.75 人/か月	10.08 人/か月	6.75 人/か月









(IV)-v スクールバス

当町の中で、小中学校が閉校となった旧朝日小中学校区及び旧日明小中学校区に居住する児童・生徒の通学の足の確保を目的に、町立江差北小学校及び町立江差北中学校までのスクールバスを 3 路線運行させています。

小中学校が廃校となった地域に居住する児童・生徒の重要な移動手段として今後も確保し続ける 一方で、スクールバス運行に要している経費は年々増加の一途を辿っていることから、今後はスクー ルバス運行の最適化も検討していくことが必要です。

表 3-7 スクールバスの運行概要

対象者	旧朝日小中学校区及び旧日明小中学校区に居住する児童・生徒
路線数	3 路線(旧朝日小中学校区 1 路線、旧日明小中学校区 2 路線)
運行台数	大型バス 3 台、ジャンボハイヤー1 台
委託先	函館バス株式会社、有限会社桧山ハイヤー

Keyword (課題)

- ・福祉有償運送事業の継続化に向けた取組の検討
- ・スクールバス運行の最適化の検討









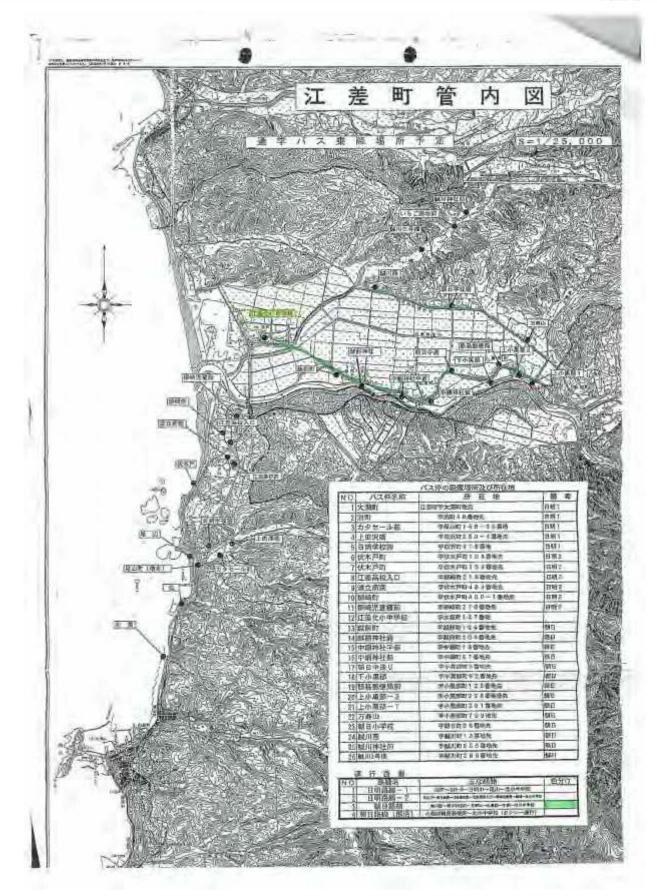


図 3-10 スクールバス (旧朝日小中学校区) 路線図









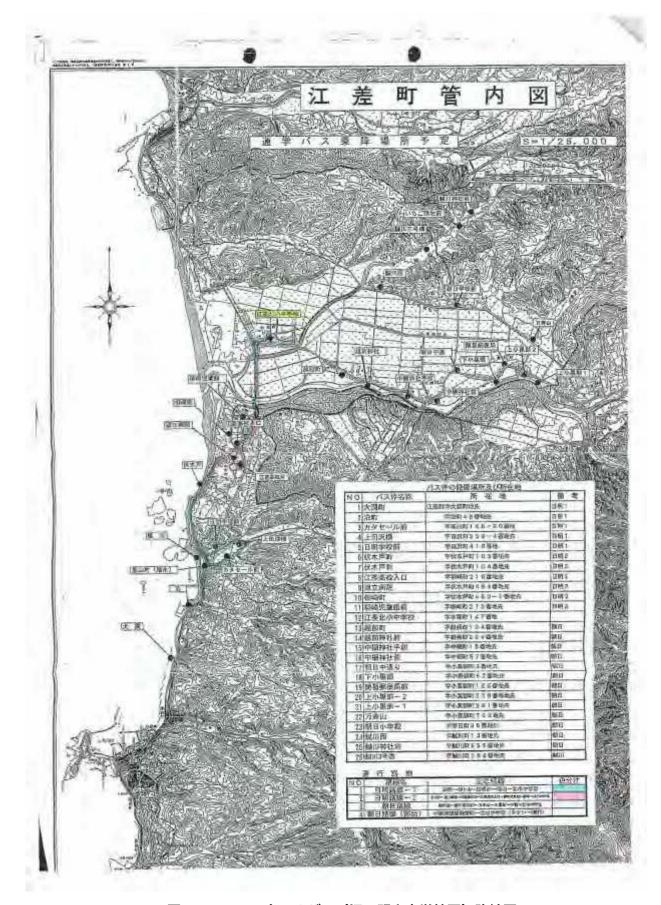


図 3-11 スクールバス (旧日明小中学校区) 路線図





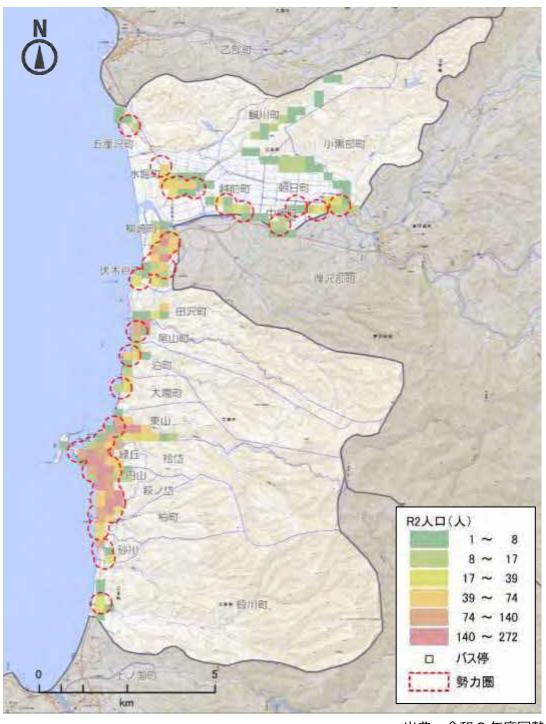




₹ 3.3 交通空白地域の整理

(I) 交通空白地域の状況

当町の交通空白地域(函館バス株式会社のバス停から半径 300m以上離れた地域)の状況を整理すると、当町の市街地にあたる下町地区(新栄町・愛宕町・豊川町・東山・絵岱・中歌町・姥神町・津花町)において、交通空白地域の居住人口が多くなっています。また、下町地区と商業施設等が集積する柳崎との間に位置する日明地区(大澗町・泊町・尾山町・田沢町・伏木戸町)において、バス停間の間に位置する居住地が交通空白地域となっています。



出典:令和2年度国勢調査

図 3-12 交通空白地域の状況









当町の北部(柳崎町・水堀町・五厘沢町・越前町・中網町・小黒部町・朝日町・鯎川町)において も交通空白地域が広く分布しておりますが、函館バス株式会社の路線が運行していない地域におい ては、事前予約制乗合タクシーが運行しており、函館バス株式会社の路線と乗合タクシーが補完する 関係性で地域の足を確保している状況です。

表 3-8 交通空白地域への居住状況

		五勝手	上町	下町	日明	北部	合計
人口総数	(人)	1,248	2,113	1,621	1,034	1,412	7,428
交通空白 地域人口	(人)	1,113	1,967	802	564	1,006	5,452
交通空白 地域人口 割合	(%)	89.2	93.1	49.5	54.5	71.2	73.4

Keyword(課題)

・交通空白地域への対応









(II) 到達圏分析

函館バス株式会社のバス停位置と当町に立地している主要な施設の位置図を整理したところ、医療機関においては、4施設中3施設がバス停から100m圏内に立地し、高齢者等においてもバス停から徒歩で施設までストレスなくアクセスすることが可能と考えられます。

一方で、町民の日常生活を支える上で重要な集客施設となる商業施設においては、フードセンターブンテン江差店やラルズマート江差店、サツドラ江差柳崎店が、バス停から 100m 以上離れた箇所に立地するとともに、金融機関においては 100m 圏内に立地している施設は 1 か所もなく、高齢者等の徒歩で移動するのが困難な方にとっては、アクセスしづらい位置関係にあります。

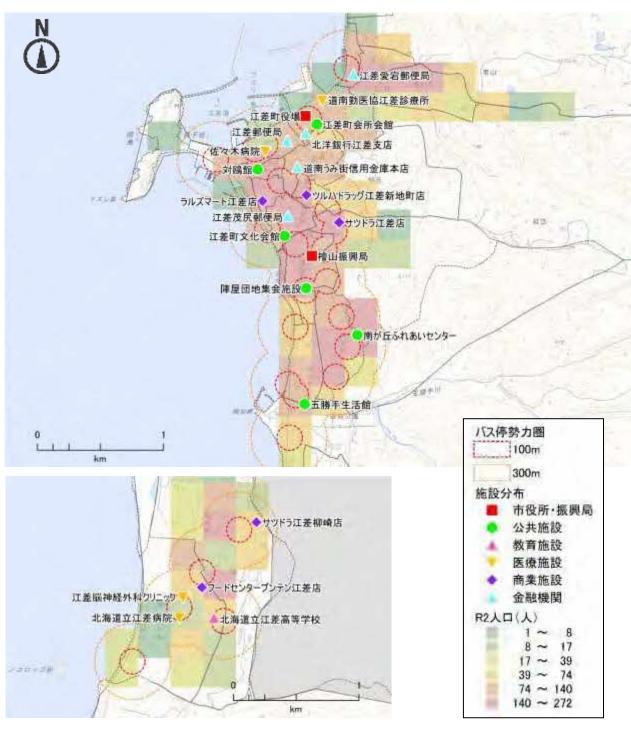


図 3-13 バス停位置と生活関連施設の位置状況









表 3-9 バス停圏と生活関連施設の立地状況の整理

生活関連施設	施設名称	100m圏	300m圏
	北海道立江差病院	0	0
FE (## 1446 BB	道南勤医協江差診療所	-	0
医療機関	江差脳神経外科クリニック	0	0
	佐々木病院	0	0
	フードセンターブンテン江差店	-	0
	ラルズマート江差店	-	0
商業施設	サツドラ江差店	0	0
	サツドラ江差柳崎店	-	0
	ツルハドラッグ江差新地町店	0	0
	江差町役場	0	0
	檜山振興局	-	0
	泊生活館	-	-
	対鴎館	-	0
公共施設	陣屋団地集会施設	0	0
公共心政	五勝手生活館	0	0
	江差町会所会館	-	0
	水堀コミュニティセンター	-	-
	南が丘ふれあいセンター	-	0
	江差町文化会館		
教育施設	北海道立江差高等学校	0	0
	江差郵便局	-	0
	江差愛宕郵便局	-	0
金融機関	江差茂尻郵便局	-	0
並際域域	江差尾山郵便局	-	0
	道南うみ街信用金庫本店	-	0
	北洋銀行江差支店	-	0

Keyword (課題)

・高齢者等の公共交通の主な利用者層が気軽に移動できる環境整備









₩ 3.4 公共交通関連財政支出の整理

(I) 当町における公共交通事業経費の予算状況

当町では、町民の日常生活における移動支援として、全 9 事業を展開しており、支出している全体経費として、予算額として年間 5,000 万円超の経費を支出しています。うち、半数以上は通学支援や高齢者等の移動支援に係る事業に支出していますが、いずれも利用目的は限定的な事業となっています。

今後、ますます進行することが予想される高齢化やニーズの多様化等を勘案し、移動を必要とする 方のニーズに即した移動支援策の実施に向け、交通に要する経費の最適化(必要な事業に必要な分の 経費を支出)を行うことが必要です。

表 3-10 当町における公共交通事業経費の予算状況

(千円)

事業名等	概要	H30 年度	R 元 年度	R2 年度	R3 年度
生活交通路線等維 持費補助	函館バス株式会社に対する生活路 線バス運行に係る補助	15,650	15,827	18,776	20,323
乗合タクシー運行	公共交通空白地域である町北部に おける事前予約制乗合タクシーの 運行	365	458	364	238
高齢者交通費助成	65 歳以上の高齢者等を対象とした 町内バス利用への運賃半額助成券 の交付	3,086	3,114	3,143	3,143
福祉バス運行	老人クラブ等地域のコミュニティ 活動に活用	2,742	2,929	1,496	1,883
高齢者等外出支援サービス事業	外出が困難な町民を移送車両の機 能訓練車にて送迎し自立した日常 生活を支援するサービス	479	442	284	262
福祉タクシー助成	身体障がいのある方などへのタク シー券の交付	346	419	414	540
スクールバス運行 委託 (小学校)	江差北小学校の遠距離通学となっ た児童のためのバス運行	12,096	12,613	14,167	14,010
スクールバス運行 委託 (中学校)	江差北中学校の遠距離通学となっ た生徒のためのバス運行	12,190	12,930	14,989	15,318
生涯学習バス管理	社会教育及び学校教育活動に関す る研修時に使用する生涯学習バス の運行管理	3,285	2,340	2,228	3,053
	合計	50,239	51,072	55,861	58,770









(II) 生活交通路線等維持費補助の内訳

生活交通路線等維持費補助の内訳を整理すると、当町内を運行する路線の中で、最も利用者数が多い函館・江差線及び次いで利用者数が多い桧山海岸線においては、近年の人件費や燃料費の高騰などの影響から、令和 2 年度以降、補助の発生あるいは増額を行っておりますが、町民をはじめとする広域的な移動支援として欠かせない路線であることから、今後も継続的な路線維持に向けた支援を行うことが必要です。

一方で、当町内を運行する路線中でも比較的利用者数が少ない館線・稲見線においては、年間利用者数約5,000人(44人/日、7.3人/便)に対して、年間1,200万円以上の費用負担を行っており、運行効率の観点からも早急な見直しが必要な路線であると考えられます。

なお、館線・稲見線に次いで費用負担が大きくなっていた江差八雲線については、令和3年9月30日を以って、路線廃止となっているほか、当町内を運行する路線の中でも最も利用者数が少ない木間内線については、当町としての費用負担が発生しておらず、近隣町である厚沢部町単独補助となっています。



図 3-14 生活交通路線等維持費補助の内訳及び推移

Keyword (課題)

・交通経費の最適化に向けた路線見直し









一 3.5 当町内を運行する公共交通で補完すべきターゲット

当町内を運行する路線バス等の各種移動手段の主な利用者や関係機関・関係者への聞き取りから見えてきた、当町内を運行する公共交通で補完すべきターゲットについて、以下に整理します。

表 3-11 町内を運行する移動手段と利用者属性の整理及びターゲットの整理

表 3-11 町内を運行する移動手段と利用者属性の整理及びターゲットの整理							
○:利用可能△:利用制約の可能性有×:利用不可 or利用しない	学 生	— 般	高齢者	要介護・要認定	観光客	島民	課題
路線バス (町内移動)	0	0	0	Δ	0	0	・坂道等の関係でバス停までのアクセスが困難・フェリーとの乗継時間が長い
路線バス (町外移動)	0	0	0	Δ	0	0	・運行キロが長く、所要時間が長いため、通学利用は困難・坂道等の関係でバス停までのアクセスが困難・フェリーとの乗継時間が長い
ハイヤー	0	0	0	Δ	0	0	・バス交通と比較して運賃が高い ・乗務員不足
福祉有償運送	×	×	×	0	×	×	・運賃が安く、運営継続が困難 ・担い手不足の関係から事業継続 が困難
おでかけ サポート事業	×	×	×	0	×	×	-
フェリー事業	0	0	0	Δ	0	0	・奥尻島内の宿泊施設の不足 ・燃料高騰などにより、運営維持 が困難
課題	影響から家族による送迎を実施・路線バスの定期券代が高いなどの	利用に繋がらない・自家用車への依存が強く、公共交通	・非運転者の足の確保が急務	当性が不明確・運送しようとする旅客の範囲の妥	な施設も存在・町内観光施設へのアクセスが不便	ち時間等の関係から不便・江差町内での公共交通の移動が待	■当町内を運行する公共交通で 補完すべきターゲット・学生・高齢者・観光客・島民

出典: R4 年度関係者ヒアリング調査結果









| 3.6 地域の現状及び地域公共交通の現状から見える課題(ニーズ)

地域の現状及び地域公共交通の現状から見える課題の関係を整理すると、当町の地理的条件を踏まえた最適な交通モードの確保が必要であり、町民が気軽にお出かけでき、かつこれまでのライフスタイルを勘案した公共交通網の構築が必要となっています。一方で、当町としては限られた予算を効率的に運用していくことが求められるため、函館バス株式会社の路線を活かしつつ、そこにアクセスする交通・交流拠点とセットの近距離交通の確保が重要と考えます。

また、高齢者や障がいのある方など、公共交通では賄い切れない需要も存在することから、現在、 町内を運行している福祉有償運送事業の継続化に向け、必要な協議・検討の場を設ける必要があると 考えています。

加えて、近隣自治体と連携した観光交通の確保やフェリー利用者の更なる利便性向上策の検討も必要な状況です。

地理的条件を踏まえた 最適な交通モードの確保 近隣自治体と連携した観光交通

フェリーと民間バス路線の 待ち時間の有効活用

公共交通が必要な方

自家用車等で自力で移動できない町民

福祉有償運送事業の継続化

気軽にお出かけ これまでのライフスタイル 交通経費の適正化

> 民間バス路線の 見直しによる運転手等 のリソースの確保 交通空白地域への対応

近距離送迎に適した交通 と路線バスのセット 交通・交流拠点の創出

ハイヤー事業の運営持続化 目的地やバス停から自宅間など 近距離送迎確保

図 3-15 地域の現状及び地域公共交通の現状から見える課題の関係性









第4章 地域公共交通に対するニーズ

₩ 4.1 住民ニーズ把握アンケート調査結果

(I) 調査概要

(I)-i 調査目的

町民の生活圏の把握に加え、町民が考えている公共交通に対するニーズを把握することを目的に、 町内 1,700 世帯を対象として町民ニーズ把握調査を実施しました。

(I)-ii 調査実施期間

調査実施期間は、令和4年2月11日(金)から25日(金)までの計15日間と設定しましたが、 最終的な取りまとめについては、より多くの町民の意見を収集するため、令和4年3月6日(日) までの回収分を活用しています。

(I)-iii 調査対象及び調査方法、回収率

調査対象は、当町に居住する 15 歳以上の町民(1,700 世帯を無作為抽出) とし、1 世帯あたり 2 票の調査票を配布(1 世帯の場合は 1 票の回答とし、2 人以上の世帯については、公共交通を利用するあるいは利用したい方が優先的に回答) しました。

調査方法は、配布・回収ともに郵送で実施しました。(回収率:35.8%(回収世帯数:605世帯))

(I)-iv 調査内容

調査内容は、以下に示す通りです。

表 4-1 調査内容一覧

☆ マーエー 神直げき 見				
調査項目	内容	ねらい		
1.属性	・性別、年齢、職業、居住地	・年齢や免許証保有状況、地区な		
	・免許証及び自動車の保有状況、自動車の運転意	どの個人属性の把握		
	向、運転困難時の移動手段、免許証返納により	・他項目とのクロス集計による		
	困ること	属性ごとの傾向分析に活用		
2.日常的な	・移動手段及び移動先、移動時間等	・現状の生活行動の実態把握		
生活状況	-通勤・通学、買い物、通院、私用などのお出か	・「生活圏」及び「医療圏」の把		
	けの4目的	握・分析に活用		
3.公共交通	・普段の移動で困っていること	・新たな公共交通等の導入に関		
に対する二	・運行してほしい公共交通	する検討項目		
ーズ	-その運賃、その利用目的等	・個人属性等とクロス集計によ		
	・MaaS 等の利用意向	り、各地区で導入すべきモー		
	-スマートフォン等の携帯端末の保有状況、及び	ドの検討や MaaS 等の利用意		
	利用用途、公共交通予約等のサービス利用意向	向の把握に活用		









(II) 調査結果

(II)-i 回答者の属性

- ・回答者の性別は、男性・女性でおおよそ半数の割合
- ・回答者の年代は、65歳以上の高齢者からの回答が若干多い
- ・運転免許・自動車保有状況は、約7割が運転免許及び自動車を保有しており、自動車等を保有 せず、**自由に移動することができない回答者は約3割**
- ・運転免許を返納できない理由として、**タクシーやバス等の公共交通機関が不便**であること が挙げられている
- ・自動車を保有している方で、運転が困難になった際の移動手段としては、**バスの利用が 6 割**で、免許返納で困ることは買い物や通院などの**生活交通に支障が出る**こと

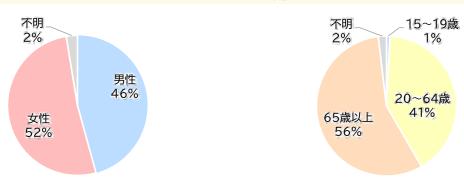


図 4-1 問1①性別(n=855)

免許を持った 不明 ことがない 2% 18% 免許返納済み 6% 免許·自動車 免許あり・ あり 自動車なし 免許・自動 68% 4% 車あり、免 許返納を 考えている 2% 図 4-3 問 4 免許・自動車の保有 (n=855)

図 4-2 問12年齢(n=855)



図 4-4 問 6 運転困難時の移動手段 (n=598)

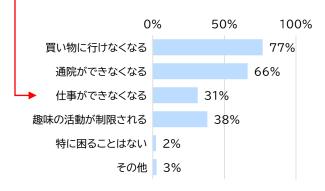


図 4-5 問 7 免許返納により困ること (n=598)









(II)-ii 回答者の生活圏

- ・通勤・通学圏は、江差町内が約8割
- ・買い物圏についても**約9割が江差町内**である一方で、**約2割は函館市までの広域的な移動**を行っている
- ※10 時台に到着する移動が最も多い
- ・通院圏についても**約 8 割が江差町内**である一方で、大規模な病院が立地している**函館市までの広域的な移動を行っている方が約 4 割**と多い
- ※9時台に到着する移動が最も多い
- ・私用圏についても**約7割が江差町内**である一方で、**函館市までの広域的な移動を行って** いる方が約5割と多い
- ※10 時台に到着する移動が最も多い

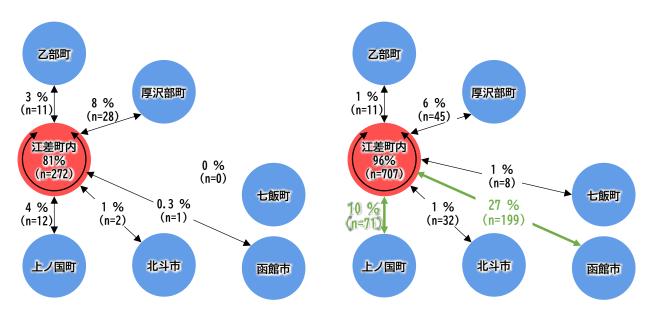


図 4-6 問 8②通学・通勤圏(n=336)

図 4-7 問 9③買い物圏(n=739)

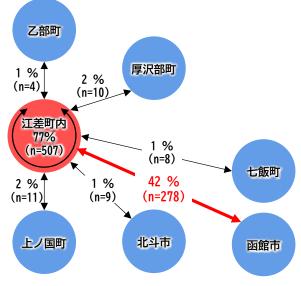


図 4-8 問 10②通院圏(n=657)

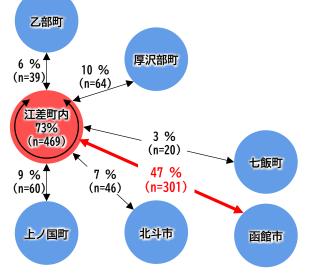


図 4-9 問 11②私用圏(n=642)









(II)-iii 移動で困っていること・運行してほしい交通サービス

- ・移動で困っていることとして、**冬期の運転に不安がある**、との回答が約3割と最も多い
- ・この他、運転できず外出機会が制限される、や、近隣住民等で送迎しあう際の交通事故の心配が 各1割の回答
- ・運転できず外出機会が制限される項目は、15~19 歳及び高齢人口の回答割合が高く、送迎に関する項目は、高齢人口の回答割合が高い
- ・その他の回答内容として、「バス等の公共交通サービスに関する内容」のほか、「冬期除排雪に関する内容」などが挙げられている
- ・新たに運行してほしい交通サービスとしては、**コミュニティバスが約3割**である一方で、自宅付近まで来る交通として、**予約運行型バスやタクシーチケットなどの交通支援の割合が各2割**の回答
- ・上記、各種交通サービスの導入により、外出機会が今よりも週に 1回以上増加

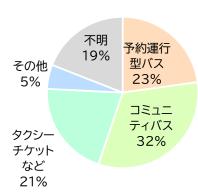


図 4-10 問 15 新たに運行してほしい 交通サービス (n=855)

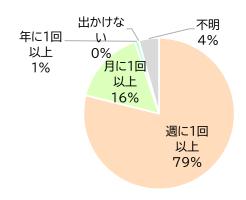


図 4-11 問 18 新たに運行してほしい 交通サービスが運行した場合の外出回数の変化 (n=232)









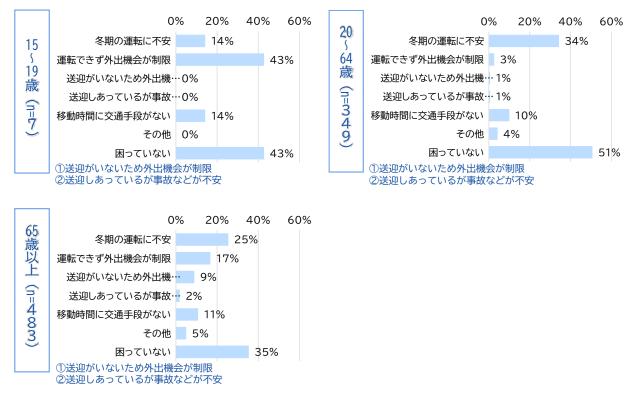


図 4-12 移動で困っていること

(II)-iv 携帯端末を活用したサービス

- ・生産年齢人口(15~64 歳) と比較し、**高齢人口(65 歳以上)は、携帯端末を保有する 割合は低い**(生産年齢人口の約9割が保有、高齢人口では約5割が保有)
- ・インターネットの利用用途として、生産年齢人口はコミュニケーションのほか、アプリ等を活用 した利用で携帯端末を多く使用している一方で、**高齢人口は主にコミュニケーションでの 利用となっており、携帯端末の利用に不慣れである状況が推察**される
- ・携帯端末での運行情報や予約サービスの運用について、生産年齢人口では 4 割以上が「利用したい」と回答している一方で、**高齢人口では「利用したい」の回答が 4 割以下と比較的** 低い

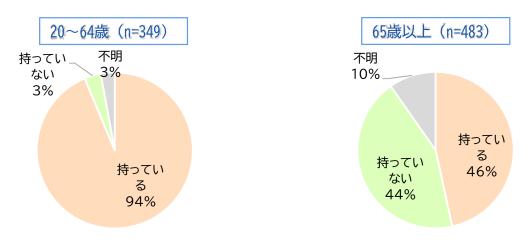


図 4-13 携帯端末の所持









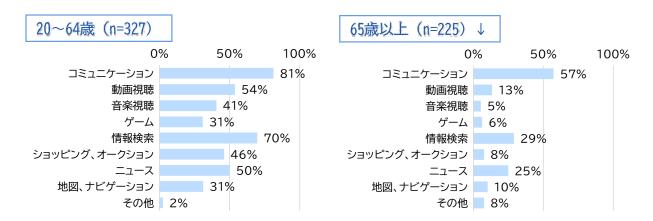


図 4-14 インターネットの利用用途

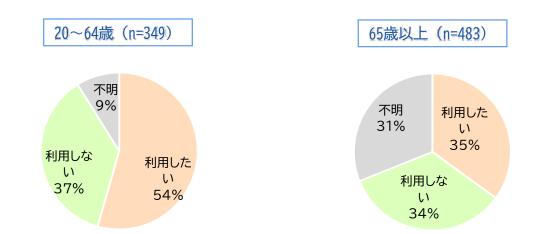


図 4-15 携帯端末を活用した予約サービスの利用有無









番 4.2 江差マース実証実験結果

※現在、実証実験結果の取りまとめ作業を 実施しておりますので、後日、差し替えに より反映させていただきます。









(I) 調査概要

(I)-i 調査目的

公共交通の主な利用者となり得る北海道江差高等学校への通学者の現状の通学状況の把握及び公 共交通へのニーズを把握することを目的に、通学者及び保護者を対象としたアンケート調査を実施 しました。

(I)-ii 調査実施期間

調査実施期間は、令和4年7月13日(水)から22日(金)までの計9日間と設定しました。

(I)-iii 調査対象及び調査方法、回収率

調査対象は、北海道江差高等学校に通学している生徒(全学年)及びその保護者(各 222 人)とし、学校を通じたアンケート票の配布・回収を行いました。(生徒回収率:57.7%(回収数:128 人)、保護者回収率:61.7%(回収数:137 人))

(I)-iv 調査内容

調査内容は、以下に示す通りです。

表 4-2 調査内容一覧

項目	回答種別	内容	ねらい
1.属性	共通	・学年、居住地	・属性別で傾向を把握
	生徒用	・部活動所属	
2.通学時の移	共通	・行き・帰りの移動手段	・居住地による特性を
動状況	生徒用	・普段の通学時間	把握
3.公共交通に	共通	・公共交通を利用していない理由	・公共交通利用におけ
対するニーズ		・公共交通の利用頻度、通学費用	る課題の把握
		・通学で困っていること、不便に感じている	・改善策の検討
		こと	
		・公共交通の改善策や要望及び改善時の利	
		用頻度の変化	
	生徒用	・公共交通を活用した移動区間	









(II)調査結果

(II)-i バス運行時間帯と通学時間帯 (帰宅時) のミスマッチ

- ・生徒及び保護者からの回答で共通して最も多く挙げられた、公共交通が不便な点は、「バスの 運行時間が合わない」
- ・生徒の通学時間帯を整理した結果、帰宅時において、午前授業(定期試験等)や部活動を行う生徒の帰宅時に、**現バス運行時間帯とのミスマッチが発生**していることが予想される



図 4-16 生徒の帰宅時間の状況





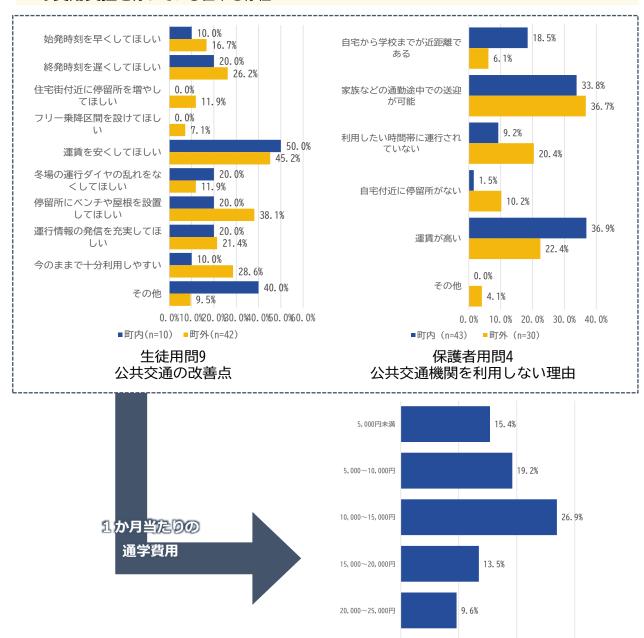




(II)-ii 運賃助成等の住民が利用したいと思える運賃体系

«把握できた内容»

- ・生徒が挙げる公共交通の改善点として、最も回答割合が高いのは「運賃を安くしてほしい」
- ・保護者からの要望として、公共交通機関を利用しない理由として、**「運賃が高い」**が最も多く の意見
- ・北海道江差高等学校が立地する町内からの利用であっても、1 か月当たり 10,000 円以上 の費用負担を行っている世帯も存在



保護者用問6 公共交通を利用した際の1か月の通学費用

10.0%

15 4%

20.0%

30.0%

図 4-17 公共交通の改善要望等及び1か月当たりの通学費用

25,000円以上









万 4.4 町民意見交換会結果

(I) 開催概要

(I)-i 開催目的

江差町地域公共交通計画を策定していく上で、アンケート調査等では把握しきれない町民の詳細な移動実態の把握や町民の公共交通に対するニーズを把握することを目的に開催しました。

(I)-ii 対象者

当町に居住する町民を対象としています。

(I)-iii 開催日・場所・意見交換会内容・参加者数

開催日や意見交換会内容等の詳細については、以下に示す通りです。

表 4-3 町民意見交換会の開催日・場所・意見交換会内容・参加者数

開催日時	場所	意見交換会内容	参加 者数
令和4年 3月15日(火)	江差町老人福祉センター		4人
	五勝手生活館	TP小小校科小小刀 7°4-江网	3 人
	南が丘ふれあいセンター	・現状の移動状況及び生活圏	7人
令和4年 3月16日(水)	コミュニティセンター水堀会館	・普段の生活移動で困っていること	7人
	田沢憩いの家	・提供してほしい生活移動支援策 	7人
	江差町文化会館小ホール		6人
令和4年 11月17日(木)	コミュニティセンター水堀会館	・江差町地域公共交通計画素案	7人
	中網老人憩いの家	・地域概況や各種調査結果に基づい	2人
	江差町老人福祉センター	た公共交通の実態の共有	5 人
令和4年 11月18日(金)	江差町文化会館小ホール	・江差マース実証実験	2人
	田沢憩いの家	・町民が使いたいと思える生活移動	5人
	南が丘ふれあいセンター	支援策	14 人













(II) 意見交換会結果概要

(II)-i 町民移動範囲

«把握できた内容»

- ・柳崎地区に立地している商業施設及び道立江差病院を利用
- ・江差町市街地に立地している商業施設を利用
- ・上ノ国町の商業施設を利用
- ・函館市への通院に合わせ、買い物目的や私用目的等で移動

(II)-ii 移動で困っていること

«把握できた内容»

- ·荷物を持って帰ることが大変
- ・**バス停までの移動**が大変(坂などがあると特に) + 冬はツルツル路面となり転倒事故なども 心配
- ・バス時刻に合わせて生活することが不便(便数などが少ない、時間が合わない)+**バス運行情** 報や利用方法を知らない町民も存在
- ・運賃が高い+学生などは部活動後にバスで移動するのが不便であり、**定期券を買うのはもっ** たいない
- ・いつまでも**車を運転することが不安**+特に冬はツルツル路面となり、交通事故が不安

(II)-iii 導入してほしい交通サービス

«把握できた内容»

- ・江差マースのような自宅まで来る交通が望ましい。
- ・函館バス路線の**自由乗降化**が望ましい
- ・地区をきめ細かく運行する**コミュニティバス**が望ましい
- ・高齢者が乗りやすい低床車両の導入
- ・運賃負担の軽減化
- ・町内交通と広域交通の接続性の確保及び交通結節点の整備(道立江差病院の駐車場をパーク&ライド化など)
- ・運行情報がスマートフォンなどで分かるようにしてほしい

(II)-iv 江差マース実証実験

- ・今後も継続してほしい
- · 予約システムの見直し(スマートフォンに慣れていない町民もいるため、電話予約も可など)
- ·**運行範囲**の拡大
- ・時間帯の拡大(夜間の運行など)
- ・バスやタクシーなどとのすみ分けが必要









₩ 4.5 各種調査結果から見える地域公共交通へのニーズ

当町ではこれまでに住民ニーズ把握アンケート調査に加え、令和3年度及び令和4年度に江差マース実証実験、学生アンケート調査、町民意見交換会を行っています。前段で整理した地域の現状及び地域公共交通の現状から見える課題及びこれら調査結果から見える地域公共交通へのニーズを踏まえると、町内外への将来に渡っての自由な移動を確保するとともに町民の冬期運転の不安解消として、当町市街地における坂道などの地理的特性を考慮し、自宅付近まで送迎可能な交通の導入が必要と考えます。その際、地域公共交通に投入できる人材・予算・設備等のリソースを勘案し、ICTを活用した効率化を図ることが重要です。一方で、高齢者等は携帯端末を活用する際、コミュニケーションツールとして活用している方が多く、ICTに不慣れな状況であることから、現在、町で実施しているスマホ教室などと連携した対応策を併せて実施していくことが必要です。

さらに、令和3年度及び令和4年度に実施した、江差マース実証実験では、一定の利用者数が存在していることが分かり、継続的な運行を行うことが望ましい一方で、運賃の有償・無償の有無により利用者数が大きく変化するなど、利用者定着や利用方法の周知など、運行継続に向けた課題が表面化しています。

将来に渡っての自由な移動を確保 町外(函館市)&町内

> 近距離送迎に適した交通 と路線バスのセット 交通・交流拠点の創出

ハイヤー事業の運営持続化 目的地やバス停から自宅間など 近距離送迎確保 利用者定着

利用方法の 周知

江差マースの継続的運行

自宅付近まで 送迎可能な交通

ICTを活用した効率化

冬期運転の不安解消 確実に通学できる

交通体系の確保

ICTに不慣れな高齢者への対応

図 4-18 各種調査結果から見える公共交通へのニーズ









第5章 地域公共交通の方向性

₹ 5.1 計画期間内で解決すべき課題(重点課題)

(I)交通弱者等の町民の生活を支える地域内交通の確保

これまでの課題等の整理結果から、町民等が気軽にお出かけでき、またこれまでのライフスタイルを考慮した地域内交通として、令和3年度及び令和4年度で実証実験を実施してきた、自宅付近までの送迎可能な交通である江差マース本格運行を見据えた検討を進めることが必要と考えます。

また、身体障がい者等の移動の足として、運行してきた福祉有償運送事業については、運賃設定や担い手の問題などから、今後も現在のサービス水準で運行し続けることが困難な状況も散見されます。当町においては、福祉有償運送事業も地域の重要な移動支援であると捉えており、身体障がい者等も取り残さない地域の構築に向け、福祉有償運送事業の継続的に運行に向け、運賃設定の見直しや担い手確保の解決に向け、必要な協議・検討の場を設定していくことが必要と考えます。

(II) 地域内交通と基幹的・準基幹的地域間幹線系統との接続性の確保

将来に渡って自由な移動を確保していくためには、近距離移動を支える地域内交通と函館バス株式会社の路線である町内外へ運行する基幹的・準基幹的地域間幹線系統との接続性を確保することが重要です。

地域内交通と基幹的・準基幹的地域間幹線系統との交通結節点においては、乗継待ち時間のストレスを最小化させることが重要であり、交通拠点機能と交流拠点機能を併せ持つ拠点整備が必要です。

(III) 継続的に利用していただけるための情報提供機能等の強化

令和3年度及び令和4年度に実施した江差マース実証実験を踏まえ、町内を運行する地域内交通 及び基幹的・準基幹的地域間幹線系統の運行状況を、町民等の利用者に適切に提供していくことが重 要です。

特に基幹的・準基幹的地域間幹線系統は、地域内交通と比較し、便数が限られていることもあり、 乗り過ごしが一度発生すると、広域的な移動が出来なくなる可能性もあることから、遅れや到着時間 を見える化し、情報提供していくことが必要です。

(IV) 町民等の生活圏・移動圏に即した広域的な移動の確保

町民二ーズ把握調査の結果、町民の生活圏・移動圏は、道南の中心市である函館市も含まれ、当町内の移動に加え、函館市への移動も確保し続けることが重要です。

このことを踏まえ、当町内を運行する基幹的地域間幹線系統のうち、函館江差線については、今後 も継続的な運行維持に向け、必要な支援を行うとともに、このほかの準基幹的地域幹線系統を含め、 近隣自治体から当町を目的地とした利用者が多く乗車している実態を踏まえ、近隣自治体の中心と して路線維持に向けた必要な支援を行うことが必要です。

一方で、利用が極端に低い路線については、関係自治体及び渡島総合振興局、檜山振興局、交通事業者である函館バス株式会社とも協議を進め、路線の必要性について、協議を行う必要があります。









(V) 当町で実施している交通施策の最適化

町民等のより利便性の高い移動手段を確保していく上で、その取組が一過性とならないよう、長期的に町民に移動手段を提供し続けることが重要です。

このことを踏まえ、現在実施している函館バス路線に対する補助のほか、高齢者交通費助成やスクールバス運行などの当町単独で実施している交通施策が、多様化する町民等の移動ニーズに即しているのかを検証し、必要に応じて現在の交通施策の見直しを行った上で、新たな取り組みへと昇華させていくなど、交通施策の最適化を図っていく必要があります。









₩ 5.2 計画の基本理念と基本目標、将来像

(I) 計画の基本理念

本計画で示す基本理念や基本目標は、本計画の最終年度である令和 9 年度に向けた当町の「目指す公共交通の姿」を示すもので、本計画に掲げるすべての事業の共通目標になります。

当町の第 6 次総合計画において、目指すまちの姿として掲げている「誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなでつくる自分たちごとのまちづくり 」を前提とする、公共交通とまちづくりが連動したまちを目指すこととしています。

このことを踏まえ、当町の目指す公共交通の姿は、江差町民や当町に来訪する方の移動確保に向け、将来に渡って確保ができ(持続可能な)、また本計画で示すすべての事業は住民の生活をよくするもの(暮らし)であり、さらにこの地を愛する人がこの地に住み続けられるように取り組む(未来へ紡ぎ)こととします。

また、地域公共交通は誰かに与えられるものではなく、地域に居住する人、来訪する人などが積極的に利用する、すなわち、他人ごとではなく自分たちごととしてみんなで取り組む(みんなでつくる自分たちごとの交通)ことが重要になります。

このような想いを込め、江差町地域公共交通計画の基本理念は、「持続可能な暮らしを未来へ紡ぎ、 みんなでつくる自分たちごとの交通」とします。

持続可能な暮らしを未来へ紡ぎ、

みんなでつくる自分たちごとの交通



(II) 計画の基本目標

(II)-i 先進技術も活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

町民等の気軽にお出かけできる環境整備に向け、これまでに実証実験を行ってきた江差マース(自宅付近から目的地、目的地と目的地間の送迎)の本格運行を目指します。その際、持続的に町民等の移動支援を行うことを目的に、デジタル媒体を活用した予約受付など、より効率的に移動支援を実現できる体制構築を行っていきます。

また、当町内で身体障がい者等の移動支援を担ってきた、福祉有償運送事業の継続的な運行に向け、現在、継続性の観点で問題となっている運賃設定の見直しや担い手確保など、必要な協議・検討の場を設定し、運営継続に向けた検討を行っていきます。









(II)-ii 地域内交通と広域交通の接続拠点の創出

町民の函館市までの広域的な移動を支えるとともに、南檜山管内の自治体と当町間の移動、当町を 目的地とした来訪者等の円滑な移動を確保する観点から、本格運行を目指す江差マースと基幹的・準 基幹的地域間幹線系統との接続性を確保した運行を行っていきます。

また、江差マースと基幹的・準基幹的地域間幹線系統との乗継待ち時間を極力短く設定するほか、 "待てる空間"を創出するため、当町で検討を進めている「北の江の島構想」等と連携し、かもめ島周 辺や旧江光ビル跡地を活用した交通・交流拠点機能を持つ拠点整備を行っていきます。

(II)-iii 公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施

当町内における移動支援の確保を行っていくとともに、町内を運行する基幹的・準基幹的地域間幹線系統や本格運行を目指す江差マースの運行状況や利用方法について、紙媒体を活用した公共交通マップとして整理し、町民等の公共交通利用者に伝えていく(見える化)とともに、デジタル媒体を活用した運行情報の提供を行っていき、これまで公共交通をあまり利用してこなかった若年層等の公共交通の利用率向上を図っていきます。

また、公共交通のことをより若い年代から考えていただき、身近に感じていただく方策として、町内の児童・生徒への公共交通に関する出前講座や北海道立江差高等学校の「南ひやま学」と連携した取組など、公共交通の魅力を伝える新たな取組も実施(魅せる化)していきます。

(II)-iv 町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

町民等の広域的な移動を確保し続けるため、当町内を運行する基幹的・準基幹的地域間幹線系統の 運行維持に必要な支援を継続的に実施していくとともに、準基幹的地域間幹線系統については、これ までの利用状況を考慮し、路線維持の必要性について、関係自治体や渡島総合振興局、檜山振興局、 函館バス株式会社と協議を行っていきます。

なお、現在、渡島総合振興局及び檜山振興局では、渡島・檜山管内を運行する地域間幹線系統の今後 5 年間の維持・確保方策について取りまとめる、「(仮称) 道南地域公共交通計画」の策定に取り組んでおり、当町に関係する函館バス路線の維持・確保方策については、この計画とも連携した検討を行っていくこととします。









(III) 将来像

基本目標に基づく各種事業の実施等、当町で展開していく事業の実施箇所等を表現した将来像を 以下の通り整理します。

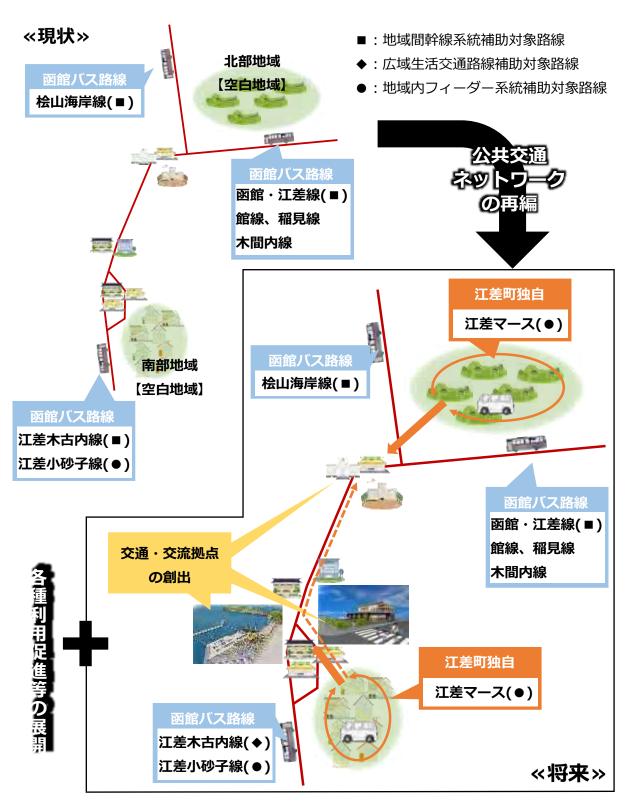


図 5-1 江差町地域公共交通計画における将来像









(IV) 本計画に基づき維持確保を行う公共交通の役割

町内を運行する函館バス株式会社の路線(基幹的・準基幹的地域間幹線系統)、ハートランドフェリー株式会社が運航するフェリーに加え、当町の近隣自治体から乗車可能な新幹線やJR等の民間事業者による公共交通、当町独自で移動支援を行っているもしくは本計画に基づき確保を行う交通の役割について、以下に整理します。

表 5-1 本計画に基づき維持確保を行う公共交通の役割

	交通機関	当町における役割等	主な 運行区域
	新幹線	本州への公共交通の主軸であり、東北・東京方面への早く広域的な移動を支える役割を担う。当町から新幹線を利用する場合は、新函館北斗駅もしくは木古内駅まで移動する必要がある。	町外
J R		道内移動における公共交通の主軸であり、札幌方面への広域 的な交通のほか、道南圏域での生活移動を支える役割を担 う。当町から利用する場合、最寄り駅となる新函館北斗駅も しくは八雲駅まで移動する必要がある。	町外
15.7	基幹的地域間幹線系統	道南圏域の中心市である函館市や新幹線駅が立地する北斗市・木古内町への公共交通であり、町民の生活交通及び町外からの来訪者の生活・観光移動を支える役割を担う。	町内外
バス	準基幹的地域間 幹線系統	檜山振興局管内の各自治体を繋ぐ公共交通であり、町民の生活交通及び町外からの来訪者の生活移動を支える役割を担う。	町内外
	フェリー	当町と奥尻島を結ぶ航路として運航しており、奥尻町民や奥	
;	江差マース	当町の地理的特性(急勾配の坂道や農村部における散居形態の集落形成)などを考慮し、町内の効率的かつ利便性の高い公共交通として、町民等の近距離における生活移動を支える役割を担う。	町内
福	記祉有償運送	町内外の移動手段として、身体障がい者等の他人の介助によらずに移動することが困難であると認められ、かつ、単独で バスその他の公共交通機関を利用することが困難な者の生 活移動を支える役割を担う。	町内外
	福祉バス	町民のコミュニティ活動を支える役割を担う。	町内
生涯学習バス		町民の社会教育及び学校教育活動に関する移動の役割を担う。	町内外
スクールバス		小中学校が廃校となった地域の通学支援としての役割を担 う。	町内外
	ハイヤー	上記公共交通では確保できない需要等を支える役割を担う。	町内









(V) 本計画における公共交通の主なターゲット(利用者)

本計画に基づき維持確保を行う公共交通のターゲット(利用者)としては、当町に居住する町民や 当町へ来訪者する方などが利用できる公共交通網として構築をしていきますが、特に早期に移動の 足を確保すべきターゲット(利用者)としては、自家用車を保有せず自力で移動を行うことが困難な 方(交通弱者)であり、学生や高齢者が挙げられます。

したがって、本計画で実施していく事業としては、これら交通弱者支援を最優先事業とし、人手・ 予算等の資源を適切に配分・確保しながら着実に事業を実施していきます。

なお、事業展開を行う際、持続性の観点を踏まえ、町民のみならず、観光客や奥尻町民等の来訪者 も利用対象者とするなど、幅広い利用者を取り込みながら、将来に渡り維持確保可能な交通体系の構築を目指します。

表 5-2 本計画における公共交通の主なターゲット(利用者)の整理

利用者分類	課題	優先順位
一般住民	自家用車への依存が強く、公共交通利用に	原生的仁來伊
一加文注上	繋がっていない	優先的に確保
学生	路線バスの定期券代が高いなどの影響か	最優先で確保
(交通弱者)	ら家族による送迎が主	取後元 C唯体
高齢者	非運転者の足の確保や冬期における安全	最優先で確保
(交通弱者)	な移動手段の確保が必要	取後元 (唯体
一声入游,而 士怪	福祉有償運送の運営継続化の問題解決が	原生的仁來伊
要介護・要支援	必要	優先的に確保
 観光客等の来訪	町内観光施設へのアクセスが不便な施設	学生・高齢者の足を確保して
111元合守ツ不切	も存在	いく中で附属的に確保
島民	当町内での公共交通の移動が待ち時間等	学生・高齢者の足を確保して
一一一一	の関係から不便	いく中で附属的に確保









第6章 基本目標を達成するために行う事業

₹ 6.1 基本目標と事業の体系整理

江差町地域公共交通計画の基本理念の実現に向けて設定した 4 つの基本目標 (基本目標 i : 先進技術も活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保、基本目標 ii : 地域内交通と広域交通の接続拠点の創出、基本目標 iii : 公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施、基本目標 iv : 町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施)に対し、全 15 事業(再掲含む)を実施することで、基本理念の実現、基本目標の達成を行います。

なお、本計画で定める以下の事業については、当町に係る社会情勢の変化や計画の推進状況を考慮 し、適宜変更を行う場合があります。

基本 目標 i

先進技術も活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

- i 事業 1 当町交通事業の最適化に向けた見直し
- i 事業 2 函館バス路線や当町交通事業の見直しによる輸送資源の確保
- i 事業 3 江差マースの本格運行及び継続的な運行に向けた取組の実施
- i 事業 4 福祉有償運送事業の継続化に向けた検討・協議の場づくり

基本

地域内交通と広域交通の接続拠点の創出 目標 ii

- 🗕 ii 🏻 事業 1 🖯 交通・交流拠点の創出
- · ii 事業 2 地域内交通と広域交通の接続性の確保

基本

目標iii

公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施

- iii 事業 1 ICT に慣れていただける環境づくり
- iii 事業 2 地域内交通の適切な運行情報の提供
- iii 事業3 公共交通を利用したいと思っていただける機会の創出

基本

目標iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

- iv- 事業 1 【再掲】当町交通事業の最適化に向けた見直し
- iv- 事業 2 【再掲】函館バス路線や当町交通事業の見直しによる輸送資源の確保
- -iv- 事業3 【再掲】交通・交流拠点の創出
- iv 事業 4 【再掲】地域内交通と広域交通の接続性の確保
- iv- 事業 5 江差町地域公共交通活性化協議会における事業モニタリングの継続的実施
- ·iv- 事業 6 (仮称)道南地域公共交通計画との連携

図 6-1 基本目標と事業の体系整理









₹ 6.2 実施する事業の内容及び実施スケジュール

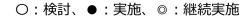
各基本目標に紐づく事業、実施主体、実施エリア及び実施年度を以下に示します。

(I) 基本目標 i に紐づく事業

基本 : ===

先進技術を活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

日信Ⅰ										
事業1	当町交けた見	を通事業の最適化に向 に直し	重点課題 1 ●	重点課題 2	重点		重点課題 4	題 重:	点課題 5 ●	
事業内容	業令り人大今し通ににすバ業きを和、件し後てに移応るスをる	 、当町で実施している 注展開しており、これら 13年度予算において 6 これらの経費は、事業を ごれらの経費は、事業を で、理点課題 5 で、重点課題 5 で、重点課題 5 で、動手段を提供し続ける が、はいくの当のはかいの当の当の当の当ので、 は、ますの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まずの は、まがの は、まずの は、まがの は、まがの は、まがの<!--</th--><th>2 6</th><th>-2 町道</th><th>江巻東半山の町は、大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大</th><th>利用者/助成券</th><th></th>	2 6	-2 町道	江巻東半山の町は、大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大	利用者/助成券				
実施主体	江差町	「、バス事業者、タクシ	一事業者、法	法定協議会						
実施 エリア	■ 江差町全域									
実施	取組	取組	事項		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
年度	1	庁内関係部署との協調	<u> </u>		•	0	0	0	0	
	2	事業統合の実施				•	0	0	0	







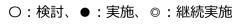




基本 目標 i

先進技術を活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

ш ж і											
	函館ノ	(ス路線や当町交通事	重点認	果題	重点課題	重点	課題	重点課題	題 重点	点課題	
事業2	業の見	直しによる輸送資源	1		2	3	3	4		5	
	の確保	ŧ	•					•		•	
	・江差	マースなどの新たな事	業を	Z							
	実施	していく上で、昨今の)社会	表 6-1 当町内を運 			重行する	行するバス路線利用者数			
	課題	見となっている担い手 を	ア足へ		路線名					更当たり 利用者数	
	の対	 応を踏まえ、運転手や	を踏まえ、運転手や車両(系統名)				更)	
	等の)輸送資源を確保してい	ハくこ	函館	ェーー 席・江差線			225	_	22.5	
	とが	必要となります。		(610系 江差小砂子線 (621系 江差小砂子線 (622系		系統)		235	2	23.5	
	・そこ	で、現在の函館バス路線	泉や当			/_\		12		2.0	
	町交	通事業の見直しを行っ	てい			糸税) ———					
	< 中	で、新たな事業を実施	値する			系統)		13		4.3	
		で、必要となる輸送資源	原の確	桧ι							
事業		行っていきます。	A-	'IAL	(624)	系統)		175	1	14.6	
内容		、当町内を運行している			差・木古内線			110		9.2	
		(路線においては、当門		_	531 · 632	系統)		110		J.2	
		iする路線とはなって 近隣自治体とも連携し		館組織	泉 541~644	玄統)	統)			3.8	
		・近隣日石体とも建済で 送続を行ってきたことか		館組							
		関再編に向け、必要な協			661 · 662	系統)		17		4.3	
	つい	Nては、函館バス株式会	会社に		見線			12		3.0	
	加え	、近隣自治体とも並行	テして	_	551~653系統)						
	協議	を行い、函館バス路線	泉の見	木間	間内線 (663	系統)		3		3.0	
	直し	を行うこととします。			(005.						
						出典	: 令和	4年度乗	降調査	結果	
実施	 汀差町	「、バス事業者、タクシ	,事举:	老:	去定協議会						
主体	/ <u>/_</u> _	, v (デ末ロ、 ノノノ 	- 一十二	<u>ы</u> 、/	ムベが扱び						
実施	 江差町	[全域									
エリア	,,_				П			1			
						令和	令和	令和	令和	令和	
	取組	取組	事項			5 	6	7	8	9	
実施						年度	年度	年度	年度	年度	
年度	1	函館バス株式会社との	の協議			•	0	0	0	0	
十汉	2	有限会社桧山ハイヤー	- との協	議		•	0	0	0	0	
	3	関係自治体との協議					0	0	0	0	
	4	函館バス路線の見直し	J				•	0	0	0	







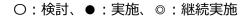




基本 目標 i

先進技術を活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

יאום													
	江差マ	アースの本格運行及び	重点課題	重点課題	重点認	果題	重点課題	夏 重点	点課題				
事業3	継続的	な運行に向けた取組	1	2	3		4		5				
	の実施	į	•	•									
	・令和] 3 年度及び令和 4 年度	度に実証				1855XXXX						
	実騎	を行ってきました、江	[差マー		1966			-3					
	スに	ついて、これまでの町]民等の		8 1				1				
	利用	者意見や利用実態を路	いまえ、			1	Q11119-	A.					
	本格	運行に実施に向けた 準	₫備を進	Sn									
	め、	準備が完了し次第、本格	各運行を		THE STATE OF	3-2							
	行い	います。		U			A	120	-				
	・本格	延行に向け、令和 4 年	F度に実	-				-					
	施し	た実証実験では、運賃	を無償				8	M					
事業	とし	,実施しており、有償と	した場	図 6-4 名	合和4年	度汀羌	マース	多計実験	&				
内容	合の	合の効果検証を令和 5 年度に実施 町内利用者による乗車状況											
	しま	します。											
	・令和	・令和 5 年度の有償による実証実験を行い、効果検証を行った後、本格運行に向けた各											
	種申	請などを行い、本格運	行を行いまっ	す。									
	・江差	マースを本格運行する	上では、基本	本目標 i -事	業1及C	ド2の。	ように、	これまっ	で当町				
	で行	ってきた交通事業や函	館バス路線	の見直しを行	行い、事	業実施	他に必要	となる	予算及				
	び運	転手等の人材確保など	輸送資源の	確保を行うる	ことが必	要です	•						
	・なお	3、江差マースの継続的	な運行に向	けては、当時	町からの	運行組	迷続に要	する経済	豊や特				
		付税の活用のほか、国											
	イー	-ダー系統補助)を活用	するなど、紅	継続的な運行	テに必要	な財源	の確保を	を行いま	きす。				
実施	 江差町	「、バス事業者、タクシ	一事業者、氵	法定協議会									
主体				•									
実施	江差町	[全域											
エリア					Δ1π	Δ 10	Δíπ	Δ1 π	Δín				
	H 化口	Ho¢□	春话		令和	令和	令和	令和	令和				
	取組	取組	争垻		5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度				
		 方学に トス字記字段/:	一点はた効果	14全章エータ	干反	干反	干反	干反	干反				
実施	1	有償による実証実験に 種申請・準備	_1円17/ご別朱	ででは・台	•								
年度	2	作中頭・停備 有償による実証実験の											
	3	江差マース本格運行に _億	_i可りた合理	単中硝・凖		•	0	0	0				
		備											
	4	江差マース本格運行				•	0	0	0				











基本 目標 i

先進技術を活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

	福祉有	「償運送事業の継続化	重点課題	重点課題	重点	課題	重点課題	夏 重;	点課題		
事業4	に向け	た検討・協議の場づ	1	2	3	3	4		5		
	くり		•								
	・令和	4 年度に実施した福祉	上有償運送事	業者へのヒ	アリン	グ調査を	を通じ、	当町の	福祉有		
	償運送事業の継続に向け、担い手不足や福祉有償運送事業の料金などに関する課題が										
事業	浮き彫りとなりました。										
内容	・このことを踏まえ、当町が中心となり、当町内で福祉有償運送事業を実施する各福祉										
rater	有償	運送事業者が、今後の	事業継続に	句け協議する	る場と	して、江	I差町地	域公共	交通活		
	性化	協議会の下部組織であ	る分科会に、	新たに福祉	业部会を	と立ち上	<u>-</u> げ、この	D部会の	中で、		
	課題	解決に向けた関係者と	の協議を継続	売的に実施し	している	きます。					
実施	汀差町	「、福祉有償運送事業者 「	法定協議。	슬							
主体	/工/王中]	(
実施	江差町	全试									
エリア	/工/エド]			1					1		
					令和	令和	令和	令和	令和		
	取組 取組事項 5 6 7 8 9										
実施	年度 年度 年度 年度 年度										
年度	1	福祉有償運送事業継続	売に向けた福	祉部会の	•						
	2	福祉部会での協議の実	尾施		•	0	0	0	0		









(II) 基本目標2に紐づく事業

基本日標:

地域内交通と広域交通の接続拠点の創出

目標ii											
事業1	交通・	交流拠点の創出	重点課題 1 ●	重点課題 2 ●	重点		重点課題 4 ●	更 重!	点課題 5		
事業內	た町外への移動を行う上で、公共交通機関同士の乗継利便性の向上は重要な課題となっています。 ・そこで、当町で計画している「北の江の島構想」に基づき整備を予定している「かもめ島周辺エリア」及び「旧江光ビル跡地活用拠点施設」を交通・交流拠点として設定し、公共交通機関同士の乗継に関する情報提供や待ち時間ストレスの軽減に資する取組も併せて実施していきます。 ・また、現在、町民の主な目的地となっている「北海道立江差病院」は複数のバス路線が停車する交通拠点の機能を有していることから、北海道立江差病院においても本計画内で交通拠点として設定します。 図 6-6 旧江光ビル跡地活用拠点施設整備イメージ 江差町、バス事業者、タクシー事業者、施設管理者、法定協議会										
実施主体	江差町	「、バス事業者、タクシ	一事業者、抗	 色設管理者、	法定協	協議会					
実施 エリア	江差町	「全域					<u>,</u>				
実施	取組	取組	事項		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 <i>7</i> 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
年度	1	交通・交流拠点として	び要な機能	の検討	0						
	2	交通・交流拠点として	この位置づけ	の協議	•						
	3	交通・交流拠点として	の維持			•	0	0	0		









基本 目標 ii

地域内交通と広域交通の接続拠点の創出

事業2	地域内続性の	3交通と広域交通の接 9確保	重点課題	重点課題 2 ●	重点		重点課題 4 ●	通 重	点課題 5	
事業内容	── 待ち時間が 2 時間を超えるなど、バス交通を利用する機会を逸しているとも考えられ ──									
実施主体	江差町	「、フェリー事業者、バ	ス事業者、関	関係自治体、	法定協	協議会				
実施エリア	江差町	「全域								
実施	取組	取組	事項		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
年度	1	交通事業者との協議			•	0	0	0	0	
	2	関係自治体との協議			•	0	0	0	0	









(III) 基本目標3に紐づく事業

基本 目標iii

公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施

事業1	ICT(i	こ慣れていただける環 り	重点課題 1 ●	重点課題 2	重点		重点課題 4	題 重;	点課題 5
事業 内容	・当町ではスマホやタブレット、パソコンなどの操作方法を説明する ICT 教室やスマホ教室を開催しており、基本目標iの事業3で掲げた江差マースをより多くの町民の皆さまにご利用いただける環境づくりとして、このような教室と連動し、江差マースの利用方法(予約の仕方や乗車方法など)を周知していく機会を創出していきます。 図 6-7 スマホ教室開催状況								
実施主体	江差町	「、法定協議会							
実施 エリア	江差町	江差町全域							
実施年度	取組	取組	事項		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	1	ICT 教室・スマホ教室	との連携		•	•	•	•	•









基本 目標iii

事業

内容

公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施

		地域の大海の海切り海には	重点課題	重点課題	重点課題	重点課題	重点課題
	事業2	地域内交通の適切な運行情報の提供	1	2	3	4	5
			•	•	•	•	
		四カた 実行 オス地ばんせか	ネル				

- ・町内を運行する地域公共交通について、接近情報を視覚的に把握できるシステムを導入することで、町内を運行する地域公共交通の運行状況の見える化を行っていきます。
- ・本事業を推進するにあたり、基本目標 ii の事業 1 で掲げた交通・交流拠点の創出と連携し、「北の江の島構想」に基づく「かもめ島周辺エリア」や「旧江光ビル跡地活用拠点施設」などと連動した交通・交流拠点において、より利用者が公共交通を利用しやすい環境づくりを行っていきます。
- ・なお、バスロケーションシステムの導入にあたっては、函館バス株式会社が保有するシステムを有効活用できるよう函館バス株式会社と継続的な協議を行っていきます。



出典:函館バス株式会社

図 6-8 函館バス株式会社バスロケーション システム設置事例①



出典:函館バス株式会社

図 6-9 函館バス株式会社バスロケーション システム設置事例②

主体	江差町、法定協議会
実施 エリア	江差町全域

宝佐

			令和	令和	令和	令和	令和
	取組	取組事項	5	6	7	8	9
実施			年度	年度	年度	年度	年度
年度	1	バスロケーションシステム設置個所の検討	0				
	2	函館バス株式会社との協議	0				
	3	バスロケーションシステムの設置・稼働		•	0	0	0









基本 目標iii

公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施

事業3		を通を利用したいと思 かただける機会の創出	重点課題 1 ●	重点課題 2 ●	重点		重点課題 4 ●	題 重;	点課題 5
事業内容	を用て通運いそにのた教学生で展者いの行くご加運だ室材のい	目標 i 及び ii で掲げた 関する一方で、より間 には、 にな共交通を利用側に がただける機会をが の利用のは で、よりのでで、 で、よりのでででででででででででででででででででででででででででででででできますができますが	民い、が確。1公知通江馬との思共内しが交でてり高高考のでをて、2通い方等校え	図 6-1		南ひや	ま学の開	出典: E	自老町
実施主体	江差町	J、法定協議会							
実施エリア	江差町								
実施	取組	取組	事項		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度



0

 \bigcirc

0

 \bigcirc

0

 \bigcirc

0



年度

1

2





庁内関係部署との協議

各種利用促進策の展開



(IV) 基本目標ivに紐づく事業

基本 目標iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

事業1		引)当町交通事業の最 に向けた見直し	重点課題 1 ●	重点課題 2	重点		重点課題 4	題 重	点課題 5 ●
事業内容	・基本	に目標 i の事業 1 と同じ	,						
実施主体	・基本	に目標 i の事業 1 と同じ							
実施エリア	・基本	目標 i の事業 1 と同じ	,						
実施年度	取組 取組事項 5 6 7 8 9						令和 9 年度		
	・基本目標 i の事業 1 と同じ								

○:検討、●:実施、◎:継続実施

基本 目標iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

	【再掲]】函館バス路線や当	重点課題	重点課題	重点	課題	重点課	題 重点	点課題
事業 2	町交通	事業の見直しによる	1	2	3	3	4		5
	輸送資	源の確保	•				•		•
事業	#+	・口価:の声響った同じ							
内容	・基本	:目標 i の事業 2 と同じ							
実施	#+	・日価:の声響った目が							
主体	・基本	:目標 i の事業 2 と同じ							
実施	#+	・口価:の声響うに同じ							
エリア	・奉本	:目標 i の事業 2 と同じ							
					令和	令和	令和	令和	令和
実施	取組	取組	事項		5	6	7	8	9
年度					年度	年度	年度	年度	年度
	・基本目標 i の事業 2 と同じ								









基本 目標iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

事業3	【再掲 出] 交通・交流拠点の創	重点課題	重点課題		課題	重点課 4	題 重!	点課題 5
事業内容	・基本	に目標 ii の事業 1 と同じ	,						
実施 主体	・基本	に目標 ii の事業 1 と同じ	,						
実施 エリア	・基本	に目標 ii の事業 1 と同じ	,						
					令和	令和	令和	令和	令和
実施年度	取組	取組 	事項		5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度
	・基本目標 ii の事業 1 と同じ								

○:検討、●:実施、◎:継続実施

基本 日煙iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

			b-mor	h-max			- L-m		
	【再掲	別地域内交通と広域	重点課題	重点課題	重点		重点課	退 車兒	点課題
事業4	交诵の	接続性の確保	1	2	3	3	4		5
	~ <u>~</u>	12470 1247 FE PK		•	•		•		
事業									
内容	・基本	ミ目標 ⅱ の事業 2 と同じ	,						
実施									
主体	・基本	目標 ii の事業 2 と同じ	,						
実施									
	・基本	目標 ii の事業 2 と同じ	,						
エリア				1			1		T
					令和	令和	令和	令和	令和
実施	取組	取組	事項		5	6	7	8	9
年度					年度	年度	年度	年度	年度
	・基本目標 ii の事業 2 と同じ								









基本 目標iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

	江差町	「地域公共交通活性化	重点課題	重点課題	重点認	果題	重点課題	重,重,	点課題
事業5	協議会	における事業モニタ	1	2	3		4		5
	リング	の継続的実施	•				•		
事業	向け 変化 を継 に本 重要	理念及び基本目標の実では、各事業の実施効でする社会情勢等との整然的に検討・評価し、計画の見直しを行うこです。	果や 合性 柔軟 とが						â
	活性 の実 検証	きた「江差町地域公共 化協議会」において、 施・推進状況について記 を行うなど、事業モニ の継続的な実施を行い	事業 平価・ タリ	6-12 ž	L差町地	域公却	! 交通活情	生化協詞	養会
実施 主体	江差町	「、法定協議会							
実施 エリア	江差町	[全域			·		.		
実施年度	取組	取組	事項		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	1	事業モニタリングの実	手施		•	0	0	0	0









基本 目標iv

町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

	(仮称	下)道南地域公共交通	重点課題	重点課題	重点		重点課題	題 重!	点課題
事業6	計画と	の連携	1	2	3	3	4		5
	пшс	·V)Æ1/3	•	•			•		
	・当町	「内を運行する函館バス	、路線は、当	町内で完結で	する路線	泉ではな	よく、近	隣自治	体であ
	る乙	こい かいま とり こうない かいま とり こうない かいしん アンド おい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい	国町内も運行	うしており、	路線に	よって	は、北か	ら八雲	町、北
	斗市	ī、七飯町、函館市、木	古内町も運行	行するなど、	広域的	りなバス	、路線で	す。	
事業	・これ	ら広域的なバス路線の	再編につい [*]	ては、現在、	函館絲	総合振興	興局及び	檜山振	興局で
内容	策定	を進めている「(仮称)	道南地域公	共交通計画	(当町を	をはじめ	めとする	各振興	号に属
	する	自治体で協議会を組織))」でその方	向性が示さ	れるこ	とから、	、当町と	しても	計画策
	定に	あたり、必要な協議・	意見出しを行	テい、より良	い広域	的なバ	ス路線の	維持・	確保に
	努め	ます。							
実施	\ _								
主体	江差町 	「、法定協議会							
実施									
エリア	江差町	「全域							
					令和	令和	令和	令和	令和
実施	取組								9
年度									年度
	1	(仮称)道南地域公共	 t交通計画と	の連携		•	0	0	0









一 6.3 事業の進捗状況を評価する指標及び計測方法

当町における持続可能な公共交通体系の構築と、本計画に位置付けた各施策の進捗確認に向け、以下の評価指標を設定します。評価指標については、毎年、協議会において、実績データ、アンケート調査データ等を用いて達成状況を評価し、進捗状況を管理していきます。

(I) 基本目標 i に紐づく評価指標

基本目標 i	先進技術を活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保						
評価指標 1	江差マースの利	江差マースの利用者数					
目標設定の 考え方、 計測方法等	は、運賃を有信 有償とした本 ・そのため、令 に、その利用	賞とした実証実験 格運行の実施をた 和 5 年度の実証 者数をもとに目標	運賃を無償とした の実施を予定し ⁻ 想定しています。 実験時の利用者数 票値を設定するこ の利用者数を算出	ており、令和 5 年 数を現状値として ととします。	度以降に運賃を 整理するととも		
現状値	目標値						
令和 5 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和8年度	令和 9 年度		
_	_	令和	05年度の実証実	験結果を踏まえ言	没定		

評価指標 2	 江差マースの収	江差マースの収支率							
目標設定の 考え方、 計測方法等	令和 5 年度に 令和 5 年度以 を設定するこ	予定している運賃 降の本格運行にる ととします。	年度までは実証系 意を有償とした実 おける収支状況を 運行経費をもと(証実験をもとにま もとに、収支率を	現状値を整理し、 発出し、目標値				
現状値		目標値							
令和 5 年度	令和 5 年度 令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度 令和 9 年度								
-	_	- 令和 5 年度の実証実験結果を踏まえ設定							









評価指標 3	江差マースに係	る収益循環の金額	頂				
	・評価指標1及	なび2と同様に、	令和 4 年度までに	は実証実験での運	行となっている		
目標設定の	ため、令和 5	年度に予定して	いる運賃を有償。	とした実証実験を	もとに現状値を		
考え方、	整理し、令和	5 年度以降の本	格運行における場	又支状況をもとに	、収支率を算出		
計測方法等	し、目標値を	設定することとし)ます。				
	・目標値は、毎	年度の収益循環の	の金額で把握する	こととします。			
現状値		目標値					
令和 5 年度	令和 5 年度 令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度 令和 9 年度						
_	_	令和	05年度の実証実	験結果を踏まえ言	没定		

評価指標 4	本町の交通施策	に対する公的資金	 					
目標設定の 考え方、 計測方法等	進期間中も増 た、増加率を ・また、事業 1 で、令和 6 年 施による効果	加が見込まれるが設定し、目標値をで、当町交通事度から江差マースを含めた公的資金費の最適化を図り	ため、これまでの 記設定します。 業の最適化に向い なの本格運行を想 会投入額の推計値	は年々、増加傾向 の公的資金投入額 けた見直しを実施 定しているため、 を算出し、その数 は、毎年度の事業	の推移を踏まえ のほか、事業 3 これら事業の実 で値を下回ること			
現状値			目標値					
令和3年度	令和 5 年度 令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度 令和 9 年度							
58,770 千円/年	60,374 千円以下	60,374 73,125 74,338 75,571 76,825						

評価指標 5	福祉有償運送事	業者との協議回数	效				
	・事業 4 の実施	内容を踏まえ、福	配有償運送事業	者間の協議を行う	3場として、江差		
	町地域公共交	通活性化協議会の	D下部組織である	分科会に、新たに	福祉部会を立ち		
目標設定の	上げ、この部	会の中で、継続的	りに協議を行いま	す。			
考え方、	・目標値につい	ては、この部会で	での協議を年に 2	回以上を行うこ	とを継続してい		
計測方法等	くことを設定	します。					
	・目標値は、毎	年度の江差町地域	以公共交通活性化1	協議会分科会(福	祉部会) の開催		
	状況により、	把握することとし)ます。				
現状値			目 標 値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度	令和8年度	令和 9 年度		
0	2 2 2 2 2						
回/年	回/年以上	回/年以上	回/年以上	回/年以上	回/年以上		









(II) 基本目標2に紐づく事業

基本目標 ii	地域内交通と広域交通の接続拠点の創出				
評価指標 6	接続拠点の創出				
目標設定の 考え方、 計測方法等	・事業1の実施により、「かもめ島周辺エリア」、「旧江光ビル跡地活用拠点施設」が交通拠点と創出されるため、新規で交通拠点として位置づけを整理します。・目標値は、交通・交流拠点の創出状況について、庁内関連課及び施設管理者等への確認によって把握することとします。				
現状値	目標値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度	令和8年度	令和 9 年度
1 箇所	1 箇所以上	1 箇所以上	1 箇所以上	1 箇所以上	1 箇所以上

評価指標 7	交通・交流拠点	としての機能強化	៥		
目標設定の 考え方、 計測方法等	 ・交通・交流拠点の機能強化として、本計画においては、当町内を運行する公共交通の運行状況を町民等の公共交通利用者に分かりやすく提供することとし、公共交通の運行状況を利用者に分かりやすく提供する機会の創出回数(維持を含む)を目標値とします。 ・目標値は、当該年度ごとに実施している各種取組実施件数について、カウントすることで把握することとします。 				
現状値	目標値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度	令和8年度	令和 9 年度
0件	1 件以上	1 件以上	1 件以上	1 件以上	1 件以上









(III) 基本目標3に紐づく事業

基本目標iii	公共交通の見える・魅せる化に向けた利用促進策の実施				
評価指標 8	江差マースに関する勉強会等の周知活動の実施数				
	・令和 3 年度及	・令和 3 年度及び令和 4 年度の実証実験の実施時に、江差マースの利用方法等を			
目標設定の	周知する活動	を実施しており、	概ね好評をいた	だいていることか	ら、令和5年度
考え方、	以降も継続して、事業1を実施するため、現状値以上の周知活動の実施回数を目				
計測方法等	標値とします。				
	・目標値は、毎年度、実施回数をカウントすることで把握することとします。				
現状値	目標値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度	令和8年度	令和 9 年度
3 🛽	3 回以上	3 回以上	3 回以上	3 回以上	3 回以上

評価指標 9	【再掲】交通・交流拠点としての機能強化
目標設定の	
考え方、	・評価指標7に同じ
計測方法等	

評価指標 10	地域公共交通に関する江差高校との連携回数				
目標設定の 考え方、 計測方法等	・事業 3 の実施において、北海道江差高等学校と連携した公共交通に対する意識 醸成を図るため、令和 5 年度以降も継続した実施に向け、現状値以上の連携回数 を目標値とします。 ・目標値は、毎年度、実施回数をカウントすることで把握することとします。				
現状値	目標値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和8年度	令和 9 年度
10	1 回以上	1 回以上	1 回以上	1 回以上	1 回以上









(IV) 基本目標ivに紐づく事業

基本目標iv	町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施				
評価指標 11	江差高校生のバ	江差高校生のバス通学割合			
目標設定の 考え方、 計測方法等	 ・令和 4 年度に実施した、北海道江差高等学校への通学状況に関するアンケート 調査結果から、回答者のうち、バス通学している生徒は約4割となっています。 ・本計画策定後、各施策の取り組みにより、通学交通の利便性が向上し、函館バス 路線の利用率向上にもつながることが期待されるため、現状値以上の割合を目指 した目標値とします。 ・目標値は、毎年度、江差高校へのヒアリングなどで把握することとします。 				
現状値	目標値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度	令和8年度	令和 9 年度
39.8%	39.8%以上	39.8%以上	39.8%以上	39.8%以上	39.8%以上

評価指標 12	【再掲】本町の交通施策に対する公的資金投入額
目標設定の	
考え方、	・評価指標4に同じ
計測方法等	

評価指標 13	江差町地域公共交通活性化協議会の開催回数				
目標設定の 考え方、 計測方法等	・本計画で整理した、各事業の実施効果や変化する社会情勢等との整合性が、継続的に検討・評価されているかの指標として、江差町地域公共交通活性化協議会の開催回数を目標値とします。・目標値は、事務局で開催回数をカウントすることで把握することとします。				
現状値	目標値				
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度	令和8年度	令和 9 年度
5 回	2 回以上	2 回以上	2 回以上	2 回以上	2 回以上









第7章 推進方針

本計画で設定した事業を推進し、基本理念及び基本目標を実現していくために、本計画策定にあたり活性化再生法に基づき設置された「江差町地域公共交通活性化協議会」を、計画に基づく事業実施の推進及び評価、進捗管理、事業間の調整等を行う組織として位置付けます。

江差町地域公共交通活性化協議会は、行政(町、道、国)、交通事業者、福祉有償運送事業者、運転手が組織する団体、町民・地域、道路管理者、その他関係者を構成員とし、各主体の具体的な役割を下表のように定め、目標の実現に向けて取り組んでいきます。

表 7-1 江差町地域公共交通活性化協議会構成員の主な役割

	ス /・1 江左町地域公共文地市は心協議会構成員の土体技制
主体	主な役割
行政	目標の実現に向け、関係者との調整役を担うとともに、公共交通の維持・改善の取組を実施します。また、特に町においては、協議会運営にあたってのコーディネート役を担うとともに、本計画に示す事業実施について、必要となる助言者の招聘も行います。
交通事業者	事業経営・交通運営の主体として、事業について、交通事業者間や行政と協議・ 調整を行いながら、実現に向けた検討を行うとともに、情報提供・発信を行います。
福祉有償運送 事業者	福祉有償運送に係る事業経営・交通運営の主体として、事業について、福祉有償 運送事業者間や行政と協議・調整を行いながら、実現に向けた検討を行うととも に、情報提供・発信を行います。
運転手が組織する団体	運転手の労働環境等の観点から、事業に対し助言を行います。
町民・地域	公共交通サービスを享受するだけではなく、町内の公共交通を維持していくため に、主体的に公共交通の需要確保等に取組むとともに、他の関係者とも連携・協 働します。
道路管理者 交通管理者	事業について、道路・交通行政の観点から公共交通運営の正当性、妥当性、道路・ 交通に対する安全性等について評価を行います。
その他	行政や交通事業者等と連携した取組に協力します。







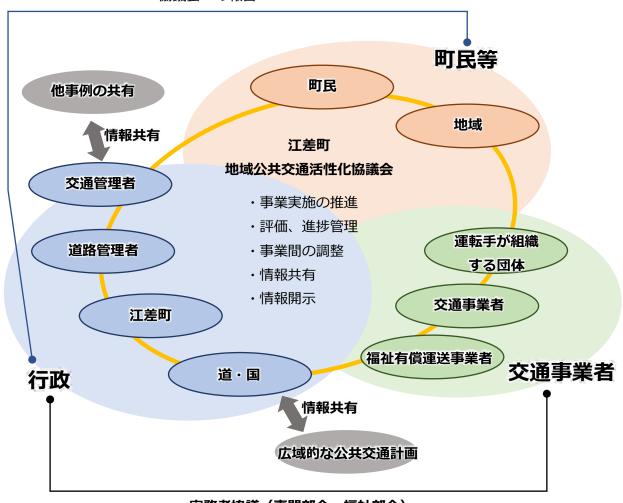


なお、事業実施にあたっては、交通事業者間や交通事業者と行政間での実務的な協議・調整が必要になること、また、公共交通の利用者である町民の要望を把握する場が必要であることを踏まえ、江 差町地域公共交通活性化協議会の下部組織である分科会の専門部会及び住民部会、新たに立ち上げ 予定の福祉部会において、継続的に協議を行い、事業の推進を図っていきます。また、実務者と町民の議論の場等、状況に応じて様々な意見交換の機会を設けることや、必要に応じ、町民の要望を把握するための調査の実施について検討します。

また、北海道で策定を進めている広域的な地域公共交通計画との連携を図るほか、事業の推進や今後の社会情勢の変化等を踏まえたさらなる事業の検討に向け、交通管理者である北海道運輸局などを通じ、他事例等の共有を行っていただきながら、より良い町内公共交通網の構築を図っていきます。

利用者協議 (住民部会)

- ・要望等のとりまとめ
- ・協議会への報告



実務者協議(専門部会・福祉部会)

- ・実務的な協議・調整
- ・協議結果の協議会への報告

図 7-1 江差町地域公共交通活性化協議会の推進体制









第8章 江差町地域公共交通活性化協議会の運営方針

本計画は、計画策定(Plan)、事業の実施(Do)、モニタリング・評価(Check)、見直し・改善(Action) を繰り返す PDCA サイクルの考え方により推進していきます。

また、PDCA サイクルについては、毎年度の事業の実施・評価・見直しという短期の PDCA サイ クルと、計画期間を通しての長期の PDCA サイクルにより、計画の推進及び進捗管理を行っていき ます。

短期・長期の PDCA サイクルについては、江差町地域公共交通活性化協議会で行い、毎年 6 月頃 (本年度検討・実施する事業の確認、本年度予算組みの協議等) と1月頃 (本年度事業の最終評価、 次年度実施事業の実施方針の協議等)の計2回の開催を基本とし、追加で協議が必要な場合は、開 催回数を増加させることを検討します。

なお、江差町地域公共交通活性化協議会の開催方法については、協議事項等の案件により、対面・ 書面開催を使い分け、適切な開催を行うこととします。

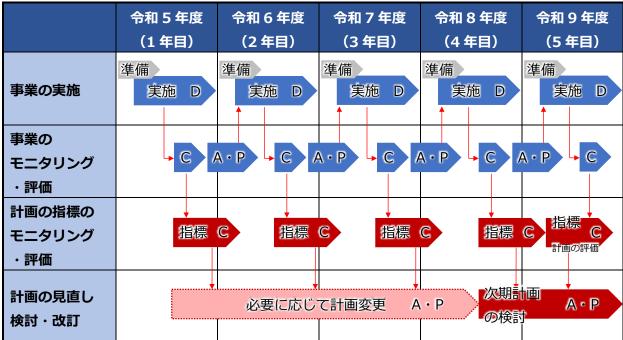


表 8-1 毎年度の短期の PDCA サイクル及び計画期間を通しての長期の PDCA サイクル

表 8-2 年間スケジュール案









江差町地域公共交通計画策定に向けた今後の流れ

2月6日(金)	令和4年度第5回江差町地域公共交通活性化協議会 ➤ ○ 計画(素案)の提示・概要説明 ○ 計画策定に向けたスケジュール確認
2月上旬~下旬	書面による計画(素案)に対しての意見集約 ➤ ○ 本協議会構成員のほか、庁内各課及び関係機関 (道立江差病院・江差高校など)に対しての意見 照会を併せて実施 ○ 意見内容を精査の上、適宜、計画内容への反映 について事務局側で検討
3月上旬	計画(素案)に対する意見の反映結果の共有 ➤ ○ 本協議会構成員、庁内各課及び関係機関からの意見を反映した計画(素案)を、本協議会内で書面による内容共有 ○ 本内容をもって、一般住民へのパブリックコメントによる意見募集へ進む
3月上旬~下旬	 パブリックコメントの実施 ➤ ○ 広報えさし3月号及び町ホームページによる一般住民への周知を実施 ○ パブリックコメントの意見を精査の上、適宜、計画内容への反映について事務局側で検討
3月下旬 ~4月上旬	江差町地域公共交通計画(案)の策定 ➤ パブリックコメントの意見を反映した計画内容を本協議会で諮り、正式決定
4月上旬~下旬	国土交通省への江差町地域公共交通計画の認定申請 > 認定され次第、江差町地域公共交通計画の正式策定

道路運送法及び同法施行規則 条文抜粋

●道路運送法

(有償運送)

- 第七十八条 自家用自動車(事業用自動車以外の自動車をいう。以下同じ。)は、次に掲げる場合を除き、 有償で運送の用に供してはならない。
 - 一 災害のため緊急を要するとき。
 - 二 市町村 (特別区を含む。)、特定非営利活動促進法 (平成十年法律第七号) 第二条第二項に規定する特定非営利活動法人その他国土交通省令で定める者が、次条の規定により地域住民又は観光旅客その他の当該地域を来訪する者の運送その他の国土交通省令で定める旅客の運送(以
 - 下「自家用有償旅客運送」という。)を行うとき。
 - 三 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間 を限定して運送の用に供するとき

(登録)

第七十九条 自家用有償旅客運送を行おうとする者は、国土交通大臣の行う登録を受けなければならない。

(登録の申請)

- 第七十九条の二 前条の登録を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を国土交通大臣に 提出しなければならない。
 - 一 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名
 - 二 行おうとする自家用有償旅客運送の種別(国土交通省令で定める自家用有償旅客運送の別をいう。次 号において同じ。)
 - 三 路線又は運送の区域、事務所の名称及び位置、事務所ごとに配置する自家用有償旅客運送の用に供する自家用自動車(以下「自家用有償旅客運送自動車」という。)の数その他の自家用有償旅客運送の種別ごとに国土交通省令で定める事項
 - 四 運送しようとする旅客の範囲
 - 五 自家用有償旅客運送自動車の運行管理の体制の整備その他国土交通省令で定める事項について一般 旅客自動車運送事業者の協力を得て行う運送(以下「事業者協力型自家用有償旅客運送」という。)を 行おうとするときは、当該一般旅客自動車運送事業者の氏名又は名称及び住所
 - 2 前項の申請書には、自家用有償旅客運送自動車の運行管理の体制その他の国土交通省令で定める事項を記載した書類を添付しなければならない

(有効期間の更新の登録)

- 第七十九条の六 第七十九条の登録の有効期間満了の後引き続き自家用有償旅客運送を行おうとする者は、 国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣の行う有効期間の更新の登録を受けな ければならない。
 - 2 第七十九条の三及び第七十九条の四の規定は、有効期間の更新の登録について準用する。この場合に おいて、第七十九条の三第一項第二号中「登録番号」とあるのは、「登録番号並びに有効期間の更新の 登録の年月日」と読み替えるものとする。
 - 3 第七十九条の登録の有効期間の満了の日までに更新の登録の申請があった場合において、その申請 について前項において準用する第七十九条の三第二項又は第七十九条の四第二項の通知があるまでの 間は、従前の第七十九条の登録は、その登録の有効期間の満了後も、なおその効力を有する。
 - 4 前項の場合において、有効期間の更新の登録がなされたときは、第七十九条の登録の有効期間は、従前の有効期間の満了の日の翌日から起算するものとする。

●道路運送法施行規則

(自家用有償旅客運送)

- 第四十九条 法第七十八条第二号の国土交通省令で定める旅客の運送は、市町村又は特定非営利活動促進 法(平成十年法律第七号)第二条第二項に規定する特定非営利活動法人若しくは前条各号に掲げ る者(以下「特定非営利活動法人等」という。)が行うものであつて、次に掲げるものとする。
 - 一 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第二条第一項に規定する過疎地域その他の交通が 著しく不便な地域において行う、地域住民、観光旅客その他の当該地域を来訪する者の運送(以下「交 通空白地有償運送」という。)
 - 二 乗車定員十一人未満の自動車を使用して行う、次に掲げる者のうち他人の介助によらずに移動することが困難であると認められ、かつ、単独でタクシー(タクシー業務適正化特別措置法(昭和四十五年法律第七十五号)第二条第一項に規定するタクシーをいう。)その他の公共交通機関を利用することが困難な者(特定非営利活動法人等が行う場合にあつては、第五十一条の二十九の名簿に記載されている者)及びその付添人の運送(以下「福祉有償運送」という。)
 - イ 身体障害者福祉法(昭和二十四年法律第二百八十三号)第四条に規定する身体障害者
 - ロ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和二十五年法律第百二十三号)第五条に規定する精 神障害者
 - ハ 障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和三十五年法律第百二十三号)第二条第四号に規定する知 的障害者
 - ニ 介護保険法(平成九年法律第百二十三号)第十九条第一項に規定する要介護認定を受けている者
 - ホ 介護保険法第十九条第二項に規定する要支援認定を受けている者
 - へ 介護保険法施行規則 (平成十一年厚生省令第三十六号) 第百四十条の六十二の四第二号の厚生労働 大臣が定める基準に該当する者
 - ト その他肢体不自由、内部障害、知的障害、精神障害その他の障害を有する者

(運送の区域)

- 第五十一条の四 法第七十九条の二第一項第三号の運送の区域は、地域公共交通会議等を主宰する市町村 長又は都道府県知事の管轄する区域のうち、当該地域公共交通会議等において協議により 定められた区域(第五十一条の七第二号に該当する場合にあつては、同号の地域公共交通計 画において、当該自家用有償旅客運送を導入することが定められている区域)とする。
 - 2 自家用有償旅客運送者は、発地及び着地のいずれもがその運送の区域外に存する旅客の運送(路線を定めて行うものを除く。)をしてはならない。

(有効期間の更新の登録)

- 第五十一条の十 法第七十九条の六第一項の規定により有効期間の更新の登録を申請しようとする者は、 次に掲げる事項を記載した更新登録申請書を権限行政庁に提出しなければならない。
 - 一 名称及び住所並びに代表者の氏名
 - 二 登録番号
 - 三 自家用有償旅客運送の種別
 - 四 第五十一条の二に規定する事項
 - 五 運送しようとする旅客の範囲
 - 六 事業者協力型自家用有償旅客運送を行おうとする者にあつては、当該運送に協力する一般旅客自動 車運送事業者の氏名又は名称及び住所
 - 2 前項の更新登録申請書には、第五十一条の三に規定する書類及び登録証を添付しなければならない。
 - 3 第一項の更新登録申請書は、有効期間の満了の日までに提出するものとする。
 - 4 第五十一条の六の規定は、有効期間の更新の登録について準用する。この場合において、「法第七十 九条の三第一項」とあるのは「法第七十九条の六第二項において準用する法第七十九条の三第一項」と、 「登録番号」とあるのは「登録番号並びに有効期間の更新の登録の年月日」と読み替えるものとする。